

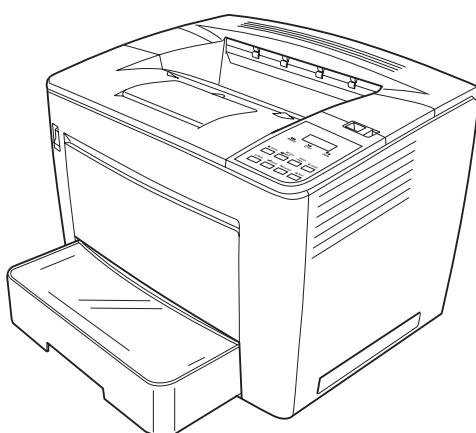


KONICA MINOLTA

# PagePro 9100 Print System

## ユーザーズ・マニュアル

---



The essentials of imaging

## ■ 安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。本説明書の内容を十分理解してから、プリンタの電源を入れるようにしてください。

本説明書に記載のない使用方法による事故、故障については、弊社保証の対象外となります。

また、弊社の許諾なくこの製品を改造して生じた事故、故障についても、保証の対象外となります。コニカミノルタグループの販売店またはこれらの社員は、本保証内容に関し、変更する権利を有しません。

## ■ 絵記号の意味

本説明書および製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

または

**警告**



**注意**

または

**ご注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を追う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ● 絵表示の例



△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が書かれています。



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。



● 記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が書かれています。

- 本説明書はいつでも見られる場所に大切に保管ください。

## 警告



- 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。
- 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。



- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。
- この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っ張ったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。
- 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービスマンにご相談ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。



必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。

アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

- コンセントのアース端子
- 接地工事を施してある接地端子（第D種）

次のような所には絶対にアース先を取り付けないでください。

- ガス管（ガス爆発の原因になります）
- 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
- 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）

## ⚠ 警告



本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。

万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。



- 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。

- 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。



トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

## ⚠ 注意



本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。

本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。《床置き型製品の場合》



本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。



- 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

- 本製品の周囲で引火性のスプレー や液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。

## 注意



- トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。
- トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。



- プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



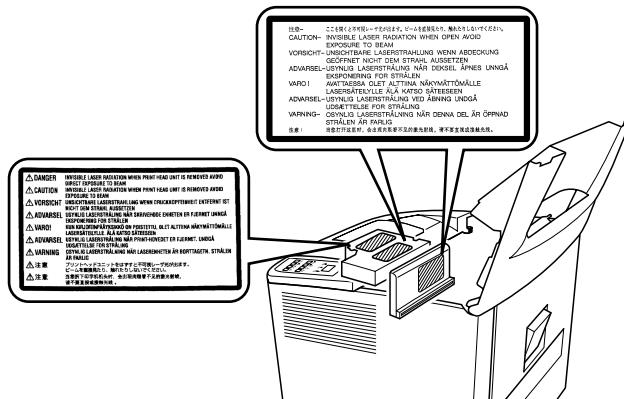
- 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。
- 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

## ■ 適合宣言文

### ● レーザーの安全性

この製品はクラス 3B の半導体レーザーを使用しています。このレーザーダイオードの最大出力は 15 mW で、波長は 775 ~ 795 nm です。

この製品はクラス 1 レーザー製品として認定されています。レーザー光放射は保護カバーの中に完全に遮へいされていますので、この本説明書に記載の指示事項を守って使用するかぎり、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。



### ● 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

本説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

この装置は、シールドタイプのインターフェースケーブルおよびネットワーカケーブルを使用して下さい。ノンシールドケーブルを使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあります、VCCI で禁止されています。

### ● 高調波対策ガイドライン

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

---

## ■ マニュアル記載内容について

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は改良のため製品の仕様および本説明書の内容を予告なしに変更することがあります。

## ■ 著作権について

PagePro9100 に添付されているソフトウェアは、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社または同社にライセンスを付与した著作権者がすべての著作権を保有します。本ソフトウェアは、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社または前記著作権者の書面による事前の同意なしでは、その全部または一部を問わず、またいかなる媒体、形式によるものかを問わず、複製、変更、ネットワーク上などへの掲示、譲渡もしくは複写を行うことを禁じます。

本説明書はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社が、すべての著作権を保有します。本説明書は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の同意なしでは、その全部または一部を問わず、またいかなる媒体、形式によるものかを問わず、複製を行うこと、変更を加えることおよびいかなる言語への翻訳を行うことを禁じます。

Copyright© 2003-2004 by KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC. All Rights Reserved.

---

# もくじ

1はじめに .....	1-1
内容物の確認 .....	1-2
各部の名称 .....	1-2
付属品 .....	1-4
オプション .....	1-4
消耗品 .....	1-4
2 プリンタのセットアップ .....	2-1
プリンタの設置 .....	2-2
安全にお使いいただくために .....	2-2
設置スペース .....	2-3
設置場所 .....	2-4
プリンタの設置 .....	2-6
トナーカートリッジの取り付け .....	2-7
排気フィルタの取り付け .....	2-10
標準給紙カセットへの用紙のセット .....	2-11
手差しトレイへの用紙のセット .....	2-15
オプションの取り付け .....	2-16
電源ケーブルの接続 .....	2-17
操作パネルについて .....	2-18
操作パネルのキー .....	2-18
メッセージウィンドウの言語選択 .....	2-20
操作パネルのランプ .....	2-21
コンピュータとの接続 .....	2-22
IP アドレスの設定 .....	2-23

---

3 プリンタドライバのインストール .....	3-1
地域設定／オプション（Windows） .....	3-2
プリンタドライバとユーティリティ .....	3-2
Windows用ソフトウェアのインストール .....	3-4
インストーラーについて .....	3-5
イーサネット接続の場合（Windows） .....	3-7
IPアドレスの設定 .....	3-7
Crownポートの選択 .....	3-9
プリントモニタのインストール .....	3-10
USB接続の場合（Windows） .....	3-12
USBデバイスドライバのインストール .....	3-12
パラレル接続の場合（Windows） .....	3-16
プラグアンドプレイでのインストール .....	3-16
プリンタドライバのインストール（Windows） .....	3-20
プリンタドライバの初期設定の確認と変更 .....	3-22
プリンタドライバのプロパティ画面について .....	3-24
「設定」タブ .....	3-24
IPP接続の設定 .....	3-27
プリンタ名の変更方法 .....	3-28
ファイヤーウォール（FireWall）を経由した インターネットフル接続（IPP接続） .....	3-30
プリンタドライバのアンインストール .....	3-31
Macintosh用ソフトウェアのインストール .....	3-32
ゾーンの設定 .....	3-33
Mac OS 8.x, 9.xをご使用の場合 .....	3-35
プリンタのPPDとユーティリティのインストール .....	3-35
ネットワーク接続の場合 .....	3-36
テストプリント .....	3-38
USB接続の場合 .....	3-40
Mac OS Xをご使用の場合 .....	3-45
プリンタのPPDとユーティリティのインストール .....	3-45
ネットワーク接続の場合 .....	3-46
UNIX .....	3-50

---

4 プリンタ ドライバの使いかた .....	4-1
印刷の手順 .....	4-2
印刷の中止 .....	4-4
プリンタ ドライバの設定 (Windows) .....	4-5
「レイアウト」タブ .....	4-6
詳細設定ダイアログ .....	4-8
「用紙／品質」タブ .....	4-11
「機能」タブ .....	4-12
「オーバーレイ」タブ .....	4-16
「バージョン情報」タブ .....	4-18
オーバーレイの背景データの作成と転送 .....	4-19
印刷設定 (Macintosh) .....	4-21
一般設定 .....	4-21
使用可能オプション .....	4-21
5 CrownView プリンタ Web ページ .....	5-1
CrownView .....	5-2
プリンタ Web ページへのアクセス .....	5-2
オペレータ・コントロール .....	5-3
全般的な設定 .....	5-4
プリンター・ジョブ .....	5-5
消耗品の状態 .....	5-5
計算 .....	5-6
ジョブファイル .....	5-7
ペーパーファイル (用紙トレイ番号) .....	5-9
ステータスファイル (状況) .....	5-10
統計 .....	5-12
システム・サポート .....	5-13
ファイル印刷 .....	5-14
インターネット プル印刷 .....	5-15
コンフィグレーションの閲覧 .....	5-16

---

6 用紙の取り扱い .....	6-1
はじめに .....	6-2
使用できる用紙サイズ .....	6-3
セットできる用紙の枚数 .....	6-4
印刷する前に .....	6-5
プリンタドライバで用紙の種類を設定するには .....	6-5
用紙の種類 .....	6-7
普通紙 .....	6-7
厚紙 .....	6-9
封筒 .....	6-9
ラベル紙 .....	6-10
はがき .....	6-12
OHP フィルム .....	6-13
印刷可能領域 .....	6-14
ページのマージン .....	6-15
印刷内容の配置 .....	6-15
用紙のセット .....	6-16
用紙のセットの方法 .....	6-16
給紙カセットへの用紙の補給 .....	6-17
手差しトレイへの用紙の補給 .....	6-21
普通紙以外の用紙の使用 .....	6-22
封筒のセットと印刷 .....	6-23
ラベル紙のセットと印刷 .....	6-24
はがきのセットと印刷 .....	6-25
厚紙のセットと印刷 .....	6-25
OHP フィルムのセットと印刷 .....	6-26
両面印刷 .....	6-27
自動両面印刷の方法 .....	6-27
排紙トレイ .....	6-28
用紙の保管方法 .....	6-28

---

---

7 消耗品の交換 .....	7-1
消耗品の寿命 .....	7-2
消耗品の寿命の目安 .....	7-3
消耗品の注文 .....	7-4
トナーカートリッジの交換 .....	7-5
トナーカートリッジの寿命の目安 .....	7-6
トナーカートリッジの取り扱い .....	7-6
トナーカートリッジの交換 .....	7-7
排気フィルタの交換 .....	7-11
排気フィルタの交換方法 .....	7-11
8 紙づまりの処理 .....	8-1
紙づまり .....	8-2
ジャムリカバリー機能 .....	8-3
用紙送りの流れ .....	8-3
紙づまりのステータスマッセージ .....	8-5
給紙部の紙づまり .....	8-6
標準給紙カセットまたはオプションの 給紙カセットでの紙づまり .....	8-7
手差しトレイでの紙づまり .....	8-9
プリンタ内部の紙づまり .....	8-10
4 トレイメールボックススタッカ装着時の プリンタ内の紙づまり .....	8-13
両面ユニット内の紙づまり .....	8-15
排紙部の紙づまり .....	8-16
4 トレイメールボックススタッカ内の紙づまり .....	8-16
排紙トレイでの紙づまり .....	8-16

---

9 メンテナンス .....	9-1
プリンタの取り扱い .....	9-2
プリンタ清掃 .....	9-3
プリンタ外側の清掃 .....	9-3
プリンタ内部の清掃 .....	9-4
給紙カセットの給紙ローラーの清掃 .....	9-4
手差しトレイの給紙ローラーの清掃 .....	9-5
10 オプションの取り付け .....	10-1
はじめに .....	10-2
静電気防止の対策 .....	10-4
4 トレイメールボックススタッカの取り付け .....	10-5
メモリの取り付け .....	10-10
両面プリントユニットの取り付け .....	10-14
550 枚ユニバーサルカセットフィーダの取り付け .....	10-16
給紙カセット .....	10-18
Time-of-Day Clock の取り付け .....	10-19
エミュレーション、フォント、ハードディスク .....	10-22
■ エミュレーション .....	10-22
■ フォント .....	10-25
■ 漢字フォント内蔵 IDE ハードディスク（標準） .....	10-25
11 トラブルシューティング .....	11-1
セットアップ時の問題 .....	11-2
プリンタ本体の問題 .....	11-4
印刷の問題 .....	11-8
紙づまりの問題 .....	11-10
印刷品質 .....	11-12
ステータス、エラー、サービスのメッセージ .....	11-16
ステータス、エラーメッセージ .....	11-16
サービスメッセージ .....	11-21

---

---

HP-GL エラーコードと PCL エラーコード .....	11-22
ポストスクリプトエラー .....	11-23
ステータスページの印刷 .....	11-24
CrownView から PDF ファイルを直接印刷するときの トラブルシューティング .....	11-25
ネットワークプリントに関する トラブルシューティング .....	11-26
はじめに .....	11-26
クイックチェック .....	11-26
EtherTalk の問題 .....	11-28
LAN Manager / LAN Server の問題 .....	11-30
NetWare の問題 .....	11-31
TCP/IP の問題 .....	11-34
SYSV UNIX システムの問題 .....	11-35
サービスとサポート .....	11-36

## 付録

### もくじ

A PagePro9100 の仕様 .....	A-1
はじめに .....	A-2
PagePro 9100 の仕様 .....	A-2
電源仕様 .....	A-4
プリンタ部とコントローラ部の仕様 .....	A-5
プリント速度 .....	A-5
プリンタ部 .....	A-5
コントローラ部 .....	A-6
電気 .....	A-7
物理特性 .....	A-8

---

<b>B 特殊印刷</b>	<b>B-1</b>
はじめに	B-2
PDF ファイルの直接印刷（Direct Printing）	B-2
PDF 印刷のためのメモリクライアントの調整	B-3
CrownView を利用した印刷	B-3
IPP 印刷	B-4
ドキュメントオプションコマンド	B-6
DOC／PJL コマンド対応表	B-9
メモリ設定	B-12
<b>C メニューの構造</b>	<b>C-1</b>
はじめに	C-2
「オペレータ コントロール」メニュー	C-3
「アドミニストレーション」メニュー	C-10
インターフェイス（Communications）	C-11
エミュレーション（Emulations）	C-46
スペシャルページ（Special Pages）	C-56
スタートオプション（Startup Options）	C-59
メモリー（Memory）	C-60
エンジン（Engine）	C-64
ショウモウヒン（Consumables）	C-70
ソノタノセッティ（Miscellaneous）	C-71
ディスクオペレーション（Disk Operations）	C-74
「セキュリティ」メニュー	C-75
<b>D セキュリティの設定</b>	<b>D-1</b>
セキュリティ機能	D-2

---

E UNIX ユーティリティの使い方 .....	E-1
はじめに .....	E-2
リモートコンソールセッションの開始 .....	E-2
Telnet セッションの開始 .....	E-2
コンソールのモード .....	E-4
メッセージモード .....	E-4
コンソールモード .....	E-5
インターネットアドレスの設定 .....	E-7
bootp プロトコルで設定する .....	E-7
rarp プロトコルで設定する .....	E-9
qpr コマンド .....	E-10
構文 .....	E-10
オプション .....	E-10
注意事項 .....	E-12
FTP (ファイル転送プロトコル) .....	E-13
サポートされる FTP コマンド .....	E-13
FTP を使ったプリンタへのログイン .....	E-14
FTP の終了 .....	E-15
F リモートコンソールコマンド .....	F-1
はじめに .....	F-2
リモートコンソールコマンドの概要 .....	F-2
user / offline モードコマンド .....	F-2
admin モードコマンド .....	F-3
ジョブのステータス情報 .....	F-4
システム情報コマンド .....	F-5
ヘルプの表示 .....	F-5
フォント情報の表示 .....	F-6
ステータスページのプリント .....	F-8
時刻の表示 .....	F-8
エミュレーションの情報の表示 .....	F-9
コンソールユーザーの表示 .....	F-9
ジョブの表示 .....	F-10

---

---

ジョブ制御コマンド .....	F-11
ジョブ優先順位の変更 .....	F-11
ジョブの処理順序の変更 .....	F-13
特定のジョブを最優先に変更 .....	F-14
ジョブの取り消し .....	F-15
ファイル操作コマンド .....	F-16
現在の作業ディレクトリの表示 .....	F-17
ディレクトリ内容の表示 .....	F-17
作業ディレクトリの変更 .....	F-18
ファイルのコピー .....	F-19
ファイル名の変更 .....	F-20
ファイルの削除 .....	F-21
システム設定コマンド .....	F-22
システムロックの時刻設定 .....	F-22
メッセージモードを normal に設定 .....	F-23
メッセージモードを silent に設定 .....	F-23
すべてのジョブアカウント情報のリセット .....	F-24
プリンタの設定をリセット .....	F-24
プリンタの設定 .....	F-25
コンソールモード切り換えコマンド .....	F-27
システムを offline モードにする .....	F-27
offline モードから user モードに戻す .....	F-28
システムを admin モードにする .....	F-28
admin モードから user モードに戻す .....	F-29
セッション終了コマンド .....	F-30
コンソールセッションの終了 .....	F-30
システムのリスタート .....	F-30
コンソールの強制終了 .....	F-31

---

G Crown Net の仕様 .....	G-1
はじめに .....	G-2
CrownNet ネットワークインターフェイスカード仕様 ....	G-2
ネットワーク／プロトコル .....	G-2
主な機能 .....	G-2
EtherTalk 仕様 .....	G-3
接続 .....	G-3
特徴 .....	G-3
プロトコル .....	G-3
LAN Manager ／ LAN Server 仕様 .....	G-4
接続 .....	G-4
特徴 .....	G-4
プロトコル .....	G-4
NetWare 仕様 .....	G-5
接続 .....	G-5
特徴 .....	G-5
プロトコル .....	G-5
TCP/IP 仕様 .....	G-6
接続 .....	G-6
特徴 .....	G-6
FTP .....	G-6
プロトコル .....	G-7
Telnet .....	G-7
索引 .....	G-8



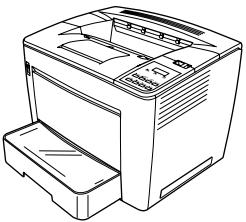
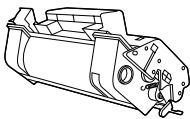
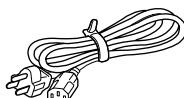
# 1

---

はじめに

---

## 内容物の確認

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プリンタ（550枚標準給紙カセット、250枚手差しトレイ</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ トナーカートリッジ 1本（ブラック）</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源ケーブル</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CD-ROM 1枚（「Software Utilities」CD-ROM）</li> <li>■ ユーザーズマニュアル（本書）</li> </ul>

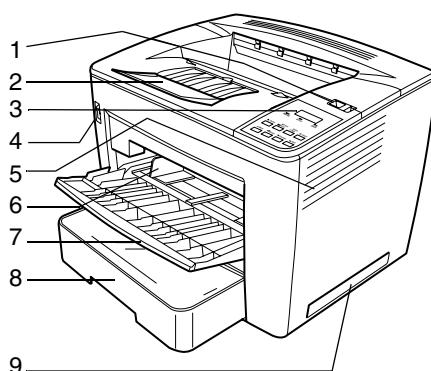
コンピュータとの接続ケーブルは含まれていません。販売代理店またはコンピュータショップにお問い合わせください。

## 各部の名称

以下の図は、本書で使用されるプリンタ各部の名称を示しています。

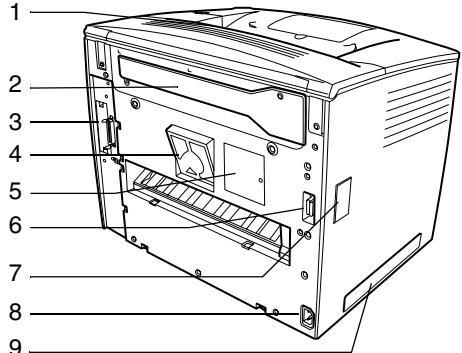
### 前面

- 1 トップカバー解除レバー
- 2 排紙トレイ拡張部
- 3 操作パネル
- 4 電源スイッチ
- 5 通気口
- 6 用紙ガイド
- 7 手差しトレイ  
(図では開いています)
- 8 標準給紙カセット
- 9 取っ手（両側）



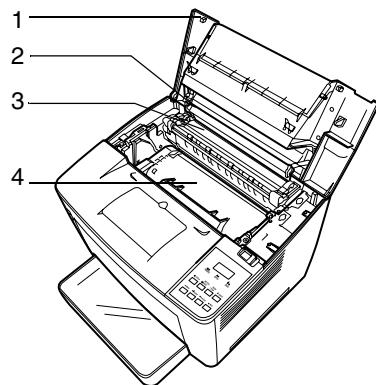
## 背面

- 1 トップカバー
- 2 オプション取り付けカバー
- 3 インターフェイスポート
- 4 排気口
- 5 定着ユニットカバー
- 6 両面プリントユニット用コネクタ
- 7 4トレイメールボックススタッカ用コネクタ
- 8 電源コネクタ
- 9 取っ手（両側）



## プリンタ内部

- 1 トップカバー
- 2 転写ローラー
- 3 定着ユニット
- 4 トナーカートリッジ



## 付属品

製品名	備考
漢字フォント内蔵 IDE ハードディスクドライブ	モリサワフォント 2 書体内蔵 (リュウミン L-KL、中ゴシック BBB)
メモリ (168 pin DIMM)	標準 128 MB (PC-100 準拠)

## オプション

製品名	備考
550 枚ユニバーサルカセットフィーダ	550 枚の給紙カセット付属。
給紙カセット (550 枚)	用紙のサイズや種類を頻繁に変更する場合に別の給紙カセットがあると便利です。
4 トレイメールボックススタッカ	4 つの排紙トレイを持ち、印刷した書類を指定したトレイ (メールボックス) に排紙することができます。
両面プリントユニット	用紙の両面に印刷することができます。
増設メモリ (168 pin DIMM)	増設メモリ 64, 128, 256 MB。 プリンタには 512 MB まで増設可能。 (PC-100 準拠)
ImageServer	TIFF/CALS エミュレーション
Time-of-Day Clock	アカウンティング情報にプリンタの日時を記録させます。

## 消耗品

製品名	メッセージウィンドウでの表示／備考
トナーカートリッジ	「トナーがアリマセン」 トナーカートリッジには、OPC ドラム、トナーが含まれます。

消耗品、オプションの購入方法については、<http://printer.konicaminolta.jp> にアクセス、または販売代理店へお問い合わせください。

# 2

---

プリンタの  
セットアップ

---

### プリンタの設置

#### 安全にお使いいただくために

本プリンタを安全に使用していただくために次の注意事項をお読みになってからセットアップを行ってください。

- 電源ケーブルをコンセントに差し込む前にプリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
- プリンタの電源ケーブルは、他の機器のサービスコンセントには接続せず、必ず独立したコンセントに接続してください。
- コンセントの容量を確かめて、容量を超えないようにしてください。
- 高電流の機器と同じコンセントに接続しないでください。
- 電源ケーブルの配線は、人がよく通る場所を避けてください。
- 電源ケーブルに強い力がかかるないようにしてください。
- 濡れた手で電源ケーブルに触れないでください。
- 電源ケーブルがしっかりと接続されていることを定期的に確認してください。
- お子様や、機械類の操作に不慣れな方には操作を行わせないでください。
- 電源ケーブルおよびインターフェイスケーブルを傷つけたり、加工しないでください。
- プリンタの通気口／排気口をふさがないでください。
- プリンタは、直射日光の当たる所や暖房器の近く、湿気、ホコリの多いところには設置しないでください。
- プリンタの上に花瓶・植木鉢・コップや水などの入った容器、または金属物を置かないでください。
- トナーカートリッジは火中に投げ込まないでください。
- レーザー光を直接見ないでください。
- トナーカートリッジはトナーが飛散しないように取り扱ってください。
- 狹い部屋で使用する場合は、換気をしてください。
- 使用中や使用直後にプリンタの定着部に手などを触れないでください。
- 高圧電気部品には手を触れないでください。

## 設置スペース

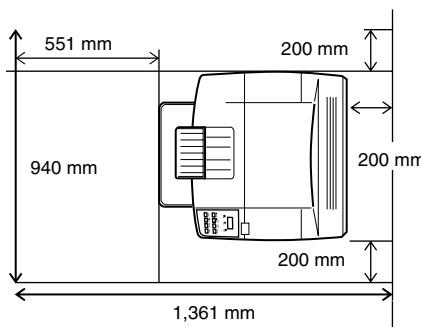
下図は、プリンタの操作、消耗品の交換、紙づまりした用紙の除去などで必要なスペースを示しています。



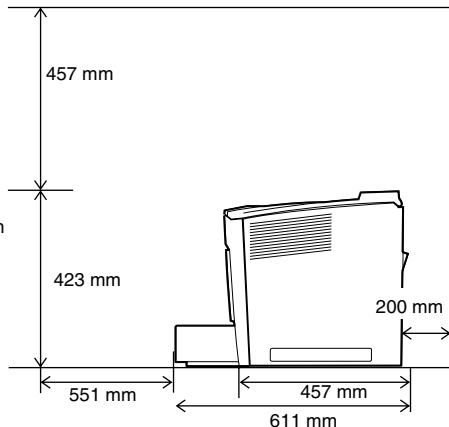
通気をよくし、修理をしやすいように、プリンタのまわりには十分なスペースを確保してください。出力結果を最も良い状態に保ち、消耗品の寿命を長くするために、プリンタを頑丈で水平な（傾きが±1°以内の）場所に設置してください。

## 本体

上から見た図



側面

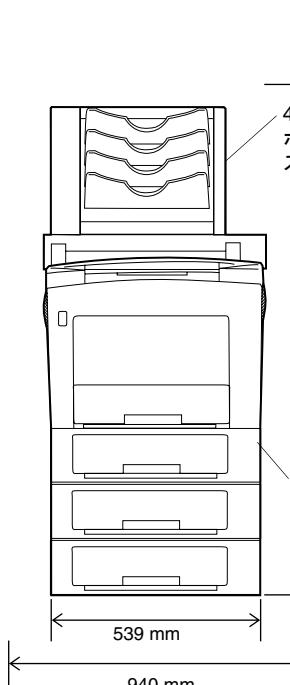


注: 数値は切り捨て

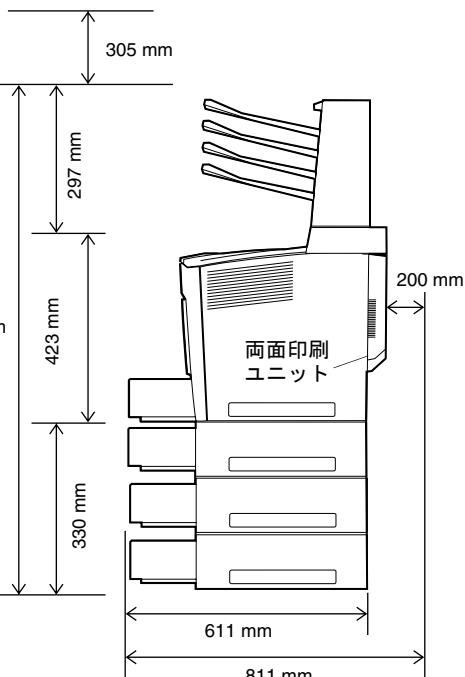
## 2 プリンタのセットアップ

### オプション取り付け時

前面



側面



注: 数値は切り捨て

### 設置場所

- プリンタ、オプション、消耗品、用紙の重さを支えることのできる場所に設置してください。

質量	
プリンタ	28 kg
消耗品（トナーカートリッジ等）	5.5 kg（総重量）
用紙	2 kg（75 g/m <sup>2</sup> の用紙 550 枚）
550 枚ユニバーサルカセット フィーダ	各 9.19 kg（3 個まで取り付け可能）

次のような場所に設置してください。

- 表面が固く、平らで、安定して、水平な（本体周辺がすべて±1°以下 の傾きの）場所
- アース接地されている専用のコンセントに近い場所
- お使いのコンピュータに近い場所
- IEEE1284 の双方向パラレルケーブルの長さが 2 m 以下になる場所
- 使いやすさと適度な換気のため、十分に広い場所
- 周囲の温度が 10° ~ 35° C、湿度が 15% ~ 85%
- 海抜 0 ~ 2,500 m

次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 暖房機や冷房機が近くにあり、温度差、湿度の差が激しい場所
- 風の吹く場所やほこりの多い場所
- 直火のある場所や燃えやすい場所
- 高電流の機器と同じコンセントに接続しないでください
- コピー機やエアコンなどノイズが発生する機器や、冷蔵庫など強い磁力 や電磁力の発生する機器に近い場所
- 水、水道管、液体（飲物）の入れ物、腐食させる薬品や蒸気（アンモニアなど）に近い場所
- クリップやホッチキスの針などの細かい金属物が散らばっている場所
- 激しい振動が起こる場所
- プリンタが温度の低い部屋に置かれて急激に温度が上がった場合、また 温度の低い場所から暖かい湿度の高い場所にプリンタを移動した場合、 プリンタ内部で結露が起り、印刷品質が低下する可能性があります。 結露が起った場合は、使用する前に約 1 時間置いてその環境に適応させてください。
- 加湿器や蒸発器がプリンタのある部屋にある場合は、精製した水または 蒸留水を使用してください。水の中の不純物が空気中に放出されると、 プリンタ内部に溜まり、印刷結果の低下の原因になります。

## 警告！

通気口をふさぐと、火災の危険があります。



### ご注意

アース線をガス管、水道管、電話専用アースに接続しないでください。

### プリンタの設置

 プリンタを移動または発送するときのために、梱包材は保管しておくことをおすすめします。

箱から消耗品を取り除いてから、以下の手順でプリンタを設置します。

#### 1 2人以上で、プリンタを箱から持ち上げます。

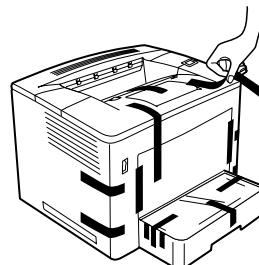
常にどの方向にも 1° 以上傾かないように平らな場所に設置してください。

最良のプリント品質と最長の消耗品の寿命のために、プリンタを水平で頑丈な場所で、69.6 kg（付属品と消耗品を含みますが、用紙は含みません）の重さに耐えられる場所に置きます。



#### 2 プリンタの保護テープを取り外します。

 紙給料セット内にも保護テープがありますので、紙給料セットを引き出し保護テープを取り外してください。

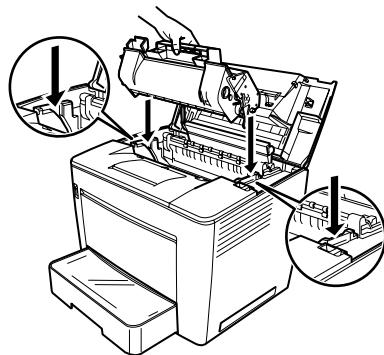


#### ご注意

指示があるまでは、電源ケーブルを差し込まないでください。

## トナーカートリッジの取り付け

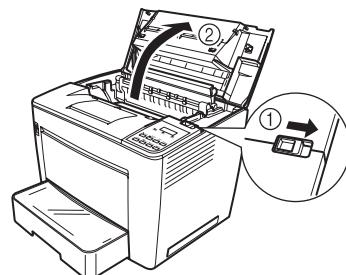
トナーカートリッジには、OPC  
(Organic Photo Conductor) ドラム  
とトナーが入っています。



### ⚠ ご注意

トナーカートリッジ内の OPC ドラムは、明るい光、直射日光、接触に非常に敏感です。トナーカートリッジは、装着するまでは保護袋に入れておいてください。取り付け時に光に当たる時間は 2 分以下にしてください。感光すると損傷するおそれがあります。

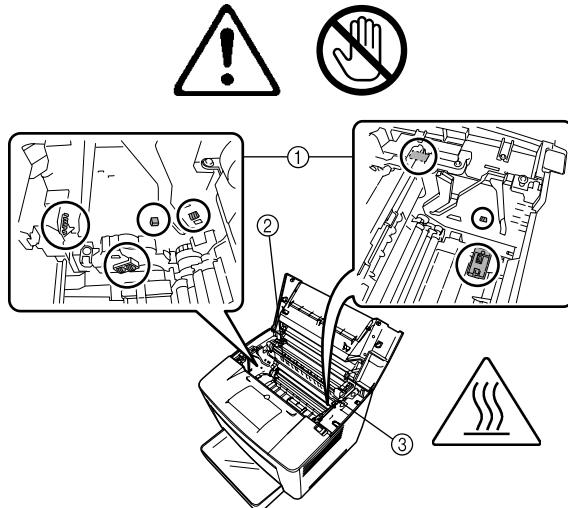
- 1 トップカバー解除レバーを右にスライドさせて①、トップカバーを開けます②。



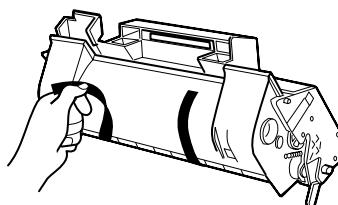
### ⚠ ご注意

銅または真鍮の電極（①）、トップカバー内やトナーカートリッジの下にある電子部品には触らないでください。プリンタが故障する原因になります。

画像転写ローラーの周りの②も触らないでください。この付近の部品に触ると、印刷品質が落ちる場合があります。また、定着ユニットの周りの③も触らないでください（内部の温度が約 200 °Cまで高温になるため、この部分を触るとやけどのおそれがあります）。

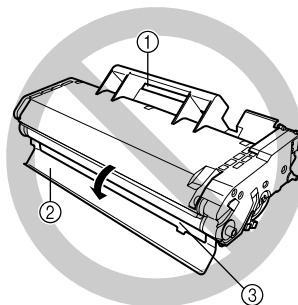


- 
- 2** 新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。
  - 3** 梱包用のテープをはがします。



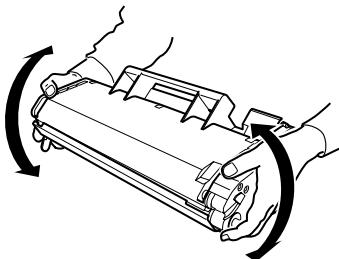
**A ご注意**

トナーカートリッジを持つときは、取っ手①の部分を持ってください。OPC ドラム（緑色の部分③）の保護シャッター②を開けたり、OPC ドラムに触れたりしないでください。  
OPC ドラムは、手の脂や傷に非常に敏感で、どちらの場合も印刷品質が低下します。このような損傷は保証の対象になりません。

**4**

トナーカートリッジを左右にゆっくり7、8回振って、トナーを均一にします。

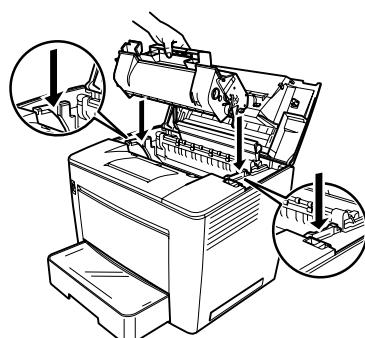
トナーは有毒なものではありませんが、トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。トナーが衣服に付着したときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。

**警告！**

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

**5**

トナーカートリッジのガイドピン（左右1つずつ）をプリンタ側の溝に沿って、ゆっくりプリンタに差し込みます。



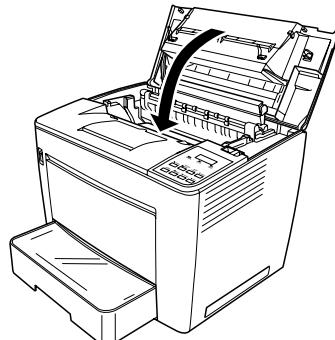
## 2 プリンタのセットアップ

- 6** トップカバーを閉じ、ロックされるまで下に押します。

**⚠ ご注意**

トナーカートリッジが装着されたままプリンタを運ばないでください。

トナーがプリンタ内にこぼれ、印刷品質の低下やプリンタの損傷の原因となります。



**警告！**

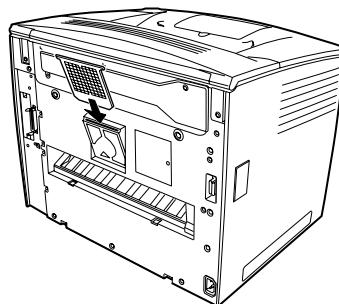
どのような状況でも、トナーカートリッジは絶対に開けないでください。

## 排気フィルタの取り付け

排気フィルタはプリンタ背面の排気口に取り付けられています。

トナーカートリッジを交換した際に同時に交換してください（排気フィルタはトナーカートリッジに同梱されています）。

詳しくは、「排気フィルタの交換」(p. 7-11) を参照してください。



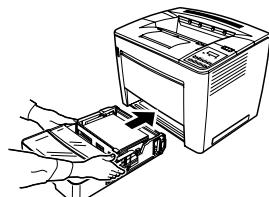
**⚠ ご注意**

オプションの両面プリントユニットを取り付ける場合は、排気フィルタを取り付ける必要はありません。

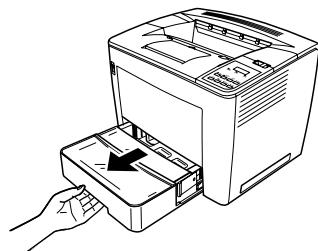
## 標準給紙カセットへの用紙のセット

対応用紙については、「用紙の取り扱い」  
(p. 6-1) を参照してください。

対応用紙の注文については、販売店にご連絡ください。

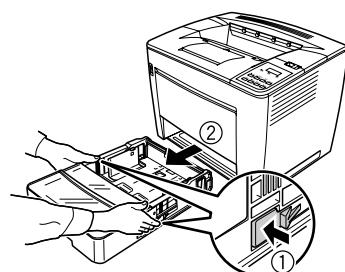


- 1 給紙カセットが止まる位置まで引き出します。

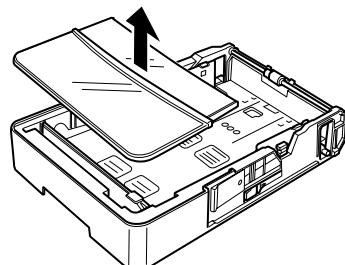


- 2 給紙カセットの両側にある解除ボタン①を押しながら、給紙カセットを引き出します②。

給紙カセット内に保護テープが残っている場合は、保護テープを取り外してください。



- 3 給紙カセットのカバーを取り外します。

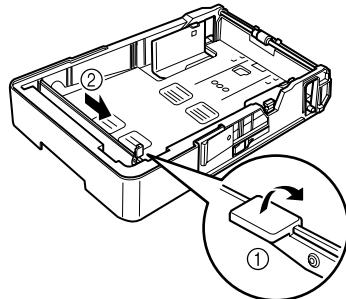


## 2 プリンタのセットアップ

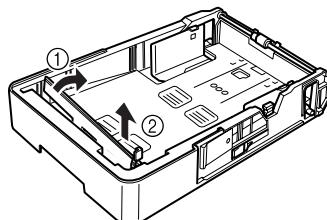
### 4

用紙固定ガイドを、セットする用紙のサイズに合わせた位置に取り付けます。  
用紙サイズは、用紙固定ガイドの位置によって検出されます。

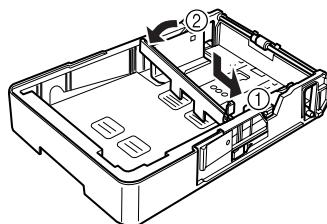
- a 用紙固定ガイドの右端にある灰色のレバー①を引き上げ、用紙固定ガイドを右へスライドさせます②。



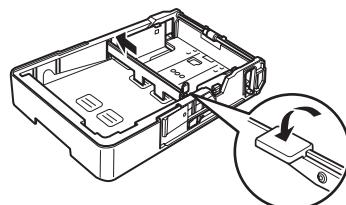
- b 用紙固定ガイドの左端を引き上げ  
①、取り外します②。



- c 用紙固定ガイドの右端を、セットする用紙サイズの位置のスロットに差し込んでから①、左端を差し込みます②。



- d 用紙固定ガイドを左へスライドさせ、灰色のレバーを倒して用紙固定ガイドを固定します。

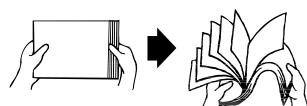


#### ご注意

用紙固定ガイドを左へスライドさせる前に灰色のレバーを倒すと、プリンタに正しく差し込まれなくなります。

### 5

約 550 枚の用紙の束をさばきます。

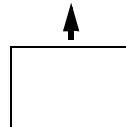


## 6

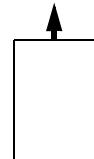
用紙の四隅をそろえて、印刷面を上にして用紙をセットします。

用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印が書かれていることがあります。

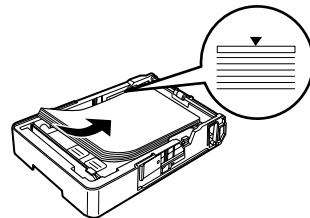
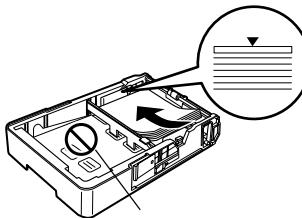
長辺から給紙



短辺から給紙



- A4、B5、Letter、それより小さいサイズの用紙では、長辺を給紙口側にセットしてください。
- A3、B4、それより大きいサイズの用紙では、短辺を給紙口側にセットしてください。

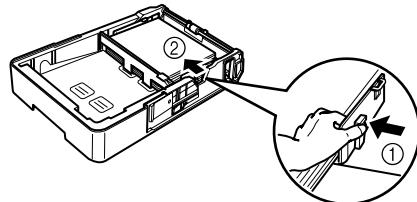


こちら側には用紙をセットしないでください。

## 7

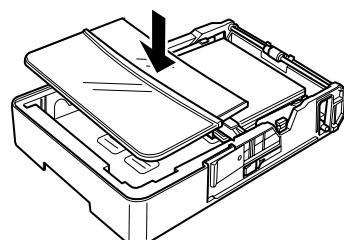
用紙固定ガイドのボタンを押して①、ガイドを用紙の端までスライドさせます②。

給紙カセット内部の左側にある最大補給量マーク (▼) より上に用紙をセットしないでください。マークを超えてセットすると、正しく給紙されない場合があります。標準給紙カセットでは 550 枚までセットできます。(75 g/m<sup>2</sup> の A4 / Letter サイズの普通紙の場合)



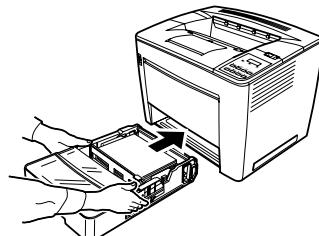
## 8

給紙カセットのカバーを取り付けます。

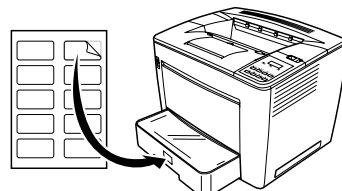


## 2 プリンタのセットアップ

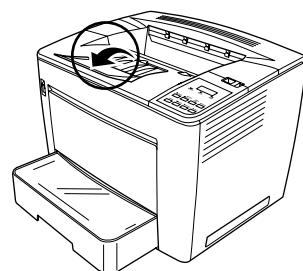
- 9** 紙カセットをプリンタの奥まで差し込みます。カチッと音がするまで挿入してください。



- 10** 紙カセットに、セットした用紙のサイズに合ったラベルを貼ります。  
用紙サイズのラベルは、プリンタに付属しています。



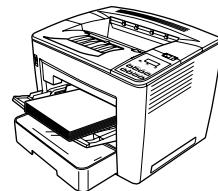
- 11** B4 より大きいサイズの用紙に印刷するときは、排紙トレイの拡張部を開きます。



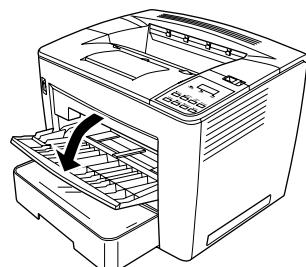
## 手差しトレイへの用紙のセット

対応用紙や異なる種類の用紙のセットについては、「用紙の取り扱い」(p. 6-1) を参照してください。

手差しトレイは、封筒、ラベル紙、官製はがき、厚紙、OHP フィルムなど、すべての種類の用紙に対応しています。

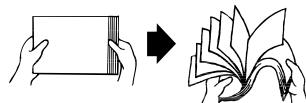


- 1 手差しトレイを開きます。



- 2 約 250 枚の用紙の束をさばきます。

- 3 用紙の四隅をそろえて、用紙をセットします。印刷面を上に、短辺を給紙口側にします。

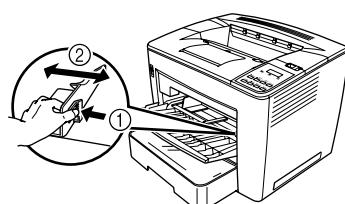


用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印が書かれていることがあります。

### **△ ご注意**

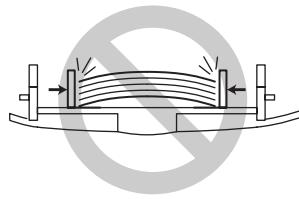
トレイ内部の左側にある最大補給量マーク (▼) より上に用紙をセットしないでください。マークを超えてセットすると、正しく給紙されない場合があります。手差しトレイでは約 250 枚までセットできます。(64 g/m<sup>2</sup> の A4 / Letter サイズの用紙の場合)

- 4 用紙ガイド①の右側のボタンを押しながら用紙ガイドをスライドさせて、セットする用紙の幅に合わせます②。

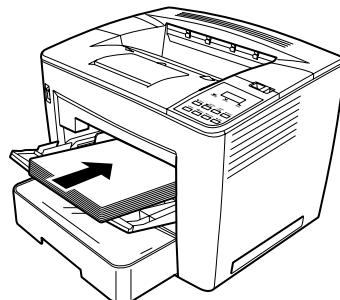


### ▲ ご注意

用紙ガイドは用紙を強く挟まないで  
セットしてください。用紙と用紙ガ  
イドの間が開いていると、斜行など  
の原因となります。用紙ガイドが正  
しく調節されていないと、印刷品質  
の低下、紙づまり、プリンタの損傷  
の原因となる場合があります。



- 5 用紙を給紙口のできるだけ奥まで挿入  
します。



## オプションの取り付け

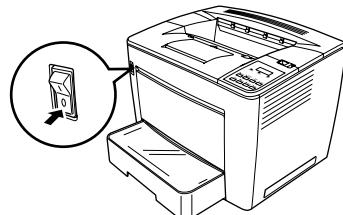
### ▲ ご注意

オプションを取り付ける際には、必ずプリンタとオプションの電源を切り、  
プラグも抜いてください。

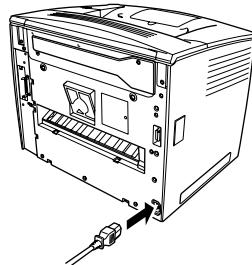
プリンタのオプション（両面プリントユニットや増設メモリなど）を追加で  
購入した場合も、それらを先に取り付けてください。購入したオプションに  
取り付け方法が記載されていれば、その指示にしたがってください。記載さ  
れていない場合は、取り付け方法については「オプションの取り付け」  
(p. 10-1) を参照してください。付属品、オプションのリストは、「オプ  
ション」(p. 1-4) に記載されています。

## 電源ケーブルの接続

- 1** プリンタの電源がオフになっていることを確認します。



- 2** プリンタの電源ケーブルをプリンタに接続し、もう一方を AC コンセントに接続します。



- 3** プリンタの電源をオンにします。

約 70 秒間（通常の気温と湿度の場合）のウォームアップの後、プリンタからスタートアップページがプリントされ、メッセージウィンドウに「アイドル」と表示されます。

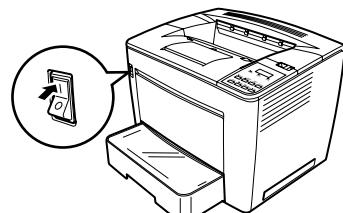
プリンタの電源を入れてウォームアップ終了後でも「アイドル」と表示されない場合は、セットアップをもう一度チェックしてください。

スタートアップページがプリントされない場合、または印刷品質が良くない場合は、「セットアップ時の問題」(p. 11-2) をお読みください。

プリンタは 30 分使用しないと自動的に節電（省電力）モードに切り替わります。プリンタが節電モードに切り替わるまでの時間は、操作パネルの「アドミニストレーション / エンジン / セーティング モード」メニューで変更できます。

### ⚠ ご注意

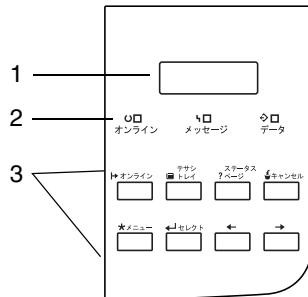
データの受信中や印刷中は、プリンタの電源を切らないでください。



## 操作パネルについて

プリンタの上部右側にある操作パネルでは、直接プリンタの操作を行うことができます。また、操作パネルでは、注意が必要な状態などのプリンタの現在のステータスも表示されます。

- 1 メッセージウィンドウ（16文字×2行）では、ステータスマッセージと設定情報が表示されます。  
ステータスマッセージについては、「ステータス、エラー、サービスのメッセージ」(p. 11-16) を参照してください。
- 2 3つのランプで、プリンタのステータス情報を示します。
- 3 8個のキーは、プリンタの設定に使います。



## 操作パネルのキー

キー	機能
オンライン	オンラインとオフラインのステータスを切り替えます。 オフラインのときは、すでに受信済みのジョブはプリントされますが、新しいデータは受信されなくなります。受信中のジョブの場合は、受信済みのデータはプリントされますが、それ以降はデータ待ちとなって中断されます。遠隔操作でプリンタがオフラインにされたときは、操作パネルの「オンライン」キーを押しても、遠隔操作でオンラインに戻すまではオンラインになりません。  [キャンセル]、[ステータスページ]、[テサシトレイ] 以外のキーを使用するときは、オフラインにしてから操作してください。
キャンセル	1つまたはすべてのプリントジョブをキャンセルすることができます。(詳しくは、「CrownBook」を参照してください。) また、ジョブを途中で終了することもできます。 プリンタがオンラインのときは、[キャンセル] キーを押すと、現在プリントしているジョブがキャンセルされます。 コンピュータからプリントジョブの送信が終了していないときにジョブをキャンセルしたい場合は、プリンタドライバでキャンセルしてください。 間違って [キャンセル] キーを押した場合、または取り消す場合は、[メニュー] キーを押して [キャンセル] キーの操作を取り消してください。
テサシトレイ	手差しトレイの用紙サイズを設定できます。用紙サイズは、ドライバ側でも設定する必要があります。

キー	機能
ステータス ページ	ステータスページをプリントできます。操作パネルに「ステータスページ プリント ハイ」のメッセージが表示されたら〔セレクト〕キーを押します。

### [メニュー]、[セレクト]、[←]、[→] キー

これらのプリンタ設定キーを使う際には、[オンライン] キーを押してプリンタをオフラインにしてください。

キー	機能
メニュー	設定メニューを表示します。まず [オンライン] キーを押してプリンタをオフラインにしてから [メニュー] キーを押してください。 プリンタの設定を変更しているとき、[セレクト] キーを押す前にこのキーを押すと、変更を取り消して元のメニューに戻ります。文字入力の際に [メニュー] キーを押すと、前の文字に戻ります。
セレクト	メニューの表示、表示されたメニューの項目の選択を行います。
←	現在表示されているメニューの前の項目に戻ります。 文字変更の際に [←] キーを押すと、現在入力している文字の前の文字が選択されます。
→	現在表示されているメニューの次の項目に進みます。 文字変更の際に [→] キーを押すと、現在入力している文字の次の文字が選択されます。

## メッセージウィンドウの言語選択

初期状態では、メッセージウィンドウの言語は日本語に設定されていますが、プリンタのステータスマッセージと設定メニューの表示を、チェコ語、英語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語で表示させることもできます。

メッセージウィンドウの言語を変更したいときは、操作パネルで以下の手順で操作してください。（装着されているオプションによって少し変わります。）

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
オンライン	アイドル（[オンライン] ランプは消灯）
メニュー	オペレータ コントロール
→	アドミニストレーション
セレクト	アドミニストレーション - インターフェイス
←を2回	アドミニストレーション - ソノタノセッティ
セレクト	ソノタノセッティ - セッティチノホゾン
←	ソノタノセッティ - ケンゴノキリカエ
セレクト	ケンゴノキリカエ - *ニホンゴ
→/←	設定したい言語（例：イイゴ）が表示されるまで、[→] または [←] キーを押してください。
セレクト	XXXX ヲ センタクサレマシタ

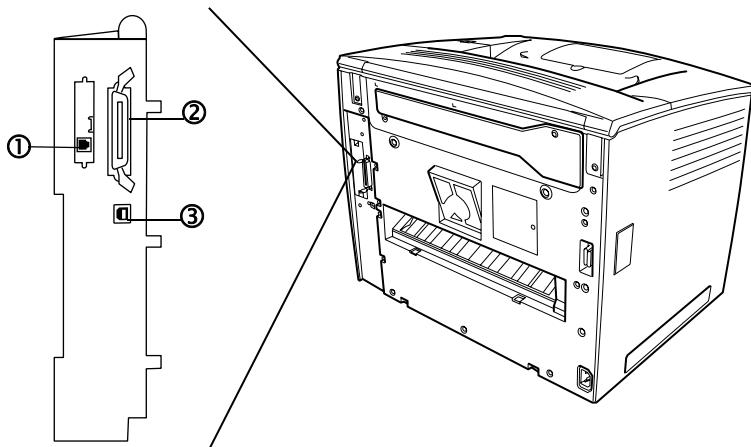
「ケンゴノキリカエ」メニューでの変更を反映させるには、プリンタを再起動させる必要があります。設定終了後、「オンライン」キーを押し、「ソノタノホゾンシマセ？」が表示されたら、「ハイ」を選択し、「セレクト」キーを押します。次に「サイタチアゲシマセ？」が表示されたら「ハイ」を選択し、「セレクト」キーを押します。プリンタは自動的に再起動し、言語切り替えの変更が反映されます。

## 操作パネルのランプ

ランプ	消灯	点灯
オンライン	プリンタは準備状態になつていません。	プリンタの電源が入っていて、データを受信する準備ができます。
メッセージ	問題なし	プリンタは注意を示しています。(メッセージウィンドウのステータスマッセージを確認してください。)
データ	プリンタはデータを受信していません。	1つ以上のインターフェイスからデータを受信中または処理中です。(通常、メッセージウィンドウにもメッセージが表示されます。)

## コンピュータとの接続

インターフェイスパネルは、プリンタの背面にあります。



### ①イーサネットポート

ツイストペア線（RJ45）のイーサネットケーブルでプリンタのイーサネットポートを 10Base-T/100Base-TX ネットワークに接続します。

接続後の IP アドレスの設定を行います。「IP アドレスの設定」(p. 2-23) をお読みください。

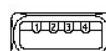
### ②パラレルポート

IEEE 1284 双方向パラレルケーブルで、プリンタのパラレルポートとコンピュータのパラレルポートを接続します。

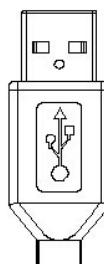
### ③ USB ポート

USB ケーブルで、プリンタの USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続します。

A プラグ  
(コンピュータへ)



B プラグ  
(プリンタへ)



## IP アドレスの設定

イーサネット接続の場合、プリンタの IP アドレスの設定を行います。

プリンタは、IP アドレスが設定された状態で出荷されますが、たいていの場合、お使いのネットワークや接続されているネットワークで使われている他の IP アドレスと重複しないように、この IP アドレスを変更する必要があります。

-  お使いのネットワークのシステム管理者が IP アドレスを割り当てる必要があります。
-  お使いのコンピュータのポート設定時にプリンタの IP アドレスが必要になります。
-  DHCP の場合：お使いのネットワークが DHCP（動的ホスト構成プロトコル／Dynamic Host Configuration Protocol）に対応しているときは、プリンタの電源をオンにしたときに、DHCP サーバによって IP アドレスを自動的に割り当てます。（プリンタ側で DHCP を有効に設定する必要があります。詳しくは p. C-40 を参照してください。）

操作	操作キー	ディスプレイの表示
1 オンラインキーを押し、オフラインにします。	[オンライン]	アイドル
2 メニューキーを押します。	[メニュー]	コンフィグレーション オペレータ コントロール
3 右矢印キーを押します。	[→]	コンフィグレーション アドミニストレーション
4 セレクトキーを押します。	[セレクト]	アドミニストレーション インターフェイス
5 セレクトキーを押します。	[セレクト]	インターフェイス タイムアウト
6 OPTIONAL NIC が表示されるまで、右矢印キーを押します。	[→]	インターフェイス OPTIONAL NIC
7 セレクトキーを押します。	[セレクト]	OPTIONAL NIC CROWNNET
8 セレクトキーを押します。	[セレクト]	CROWNNET COMMON
9 TCP/IP が表示されるまで、右矢印キーを押します。	[→]	CROWNNET TCP/IP
10 セレクトキーを押します。	[セレクト]	TCP/IP PROTOCOL
11 右矢印キーを押します。	[→]	TCP/IP INTERNET ADDRESS

## 2 プリンタのセットアップ

操作	操作キー	ディスプレイの表示
12 セレクトキーを押します。  XXX.XXX.XXX.XXX に IP アドレスを設定します。  IP アドレスの設定後セレクトキーを押します。	[セレクト]  [セレクト]	INTERNET ADDRESS XXX. XXX. XXX. XXX  右矢印キー： 数値を繰り上げます。 左矢印キー： 数値を繰り下げる セレクトキー： カーソルを右に移動させます。 メニューキー： カーソルを左に移動させます。  XXX. XXX. XXX. XXX カ センタクサレマシタ
13 右矢印キーを押します。	[→]	TCP/IP SUBNET MASK
14 セレクトキーを押します。  XXX.XXX.XXX.XXX にサブネットマスクを設定します。設定方法は、IP アドレスと同様です。 ネットワークの構成によっては、サブネットマスクを設定する必要のない場合があります。	[セレクト]	SUBNET MASK XXX. XXX. XXX. XXX
15 右矢印キーを押します。	[→]	TCP/IP DEFAULT ROUTER
16 セレクトキーを押します。  XXX.XXX.XXX.XXX にデフォルトルーターを設定します。設定方法は、IP アドレスと同様です。 ネットワークの構成によっては、デフォルトルーターを設定する必要のない場合があります。	[セレクト]	DEFAULT ROUTER XXX. XXX. XXX. XXX
17 メニューキーを押します。	[メニュー]	CROWNNET TCP/IP
18 右矢印キーを押します。	[→]	CROWNNET COMMON
19 セレクトキーを押します。	[セレクト]	COMMON SPOOLING
20 右矢印キーを SOFT RESET が表示されるまで押します。	[→]	COMMON SOFT RESET

操作	操作キー	ディスプレイの表示
21 セレクトキーを押します。	[セレクト]	SOFT RESET *No
22 右矢印キーを押します。	[→]	SOFT RESET Yes
23 セレクトキーを押します。	[セレクト]	Yes ガ センタクサレマシタ
24 オンラインキーを2回押します。	[オンライン]	アイドル
操作パネルのオンラインランプ（グリーンランプ）が点灯することを確認してください。設定完了後はプリンタを再起動します。		

## 2 プリンタのセットアップ

---

# 3

---

## プリンタ ドライバの インストール

---

## 地域設定／オプション（Windows）

プリンタに付属の「Software Utilities」CD-ROMをお使いのコンピュータのCD-ROMドライブに入れると、コンピュータの「地域」設定を確認して、そこで設定されている言語で自動的に起動します。「地域」設定（「コントロールパネル」内の「地域」）を変更することで、起動時の言語を変更することもできます。右図は、Windows 2000の「地域」設定のダイアログです。



「地域」設定を変更すると、お使いのコンピュータ内のアプリケーションも影響を受ける場合があります。

## プリンタ ドライバとユーティリティ

「Software Utilities」CD-ROMに入っているプリンタ ドライバとソフトウェアは、以下のコンピュータにインストールできます。

- Windows Me
- Windows 98
- Windows 95 (OSR 2.0 以上)
- Windows XP
- Windows 2000
- Windows NT4.0  
(Service Pack 6 以上)
- Macintosh (8.x 以上)
- UNIX

## ドライバ、PPD

ドライバ	機能	インストール方法
PostScript ドライバ (Windows Me/98/95 用)	Windows Me/98/95 上で、加工や複雑なレイアウトなど、プリンタの全機能を使用できます。	「イーサネット接続の場合 (Windows)」(p. 3-7) 「USB 接続の場合 (Windows)」(p. 3-12) 「パラレル接続の場合 (Windows)」(p. 3-16) (Windows 95 では、USB には対応していません。)
PostScript ドライバ (Windows XP/2000 用)	Windows XP/2000 上で、加工や複雑なレイアウトなど、プリンタの全機能を使用できます。	「イーサネット接続の場合 (Windows)」(p. 3-7) 「USB 接続の場合 (Windows)」(p. 3-12) 「パラレル接続の場合 (Windows)」(p. 3-16)

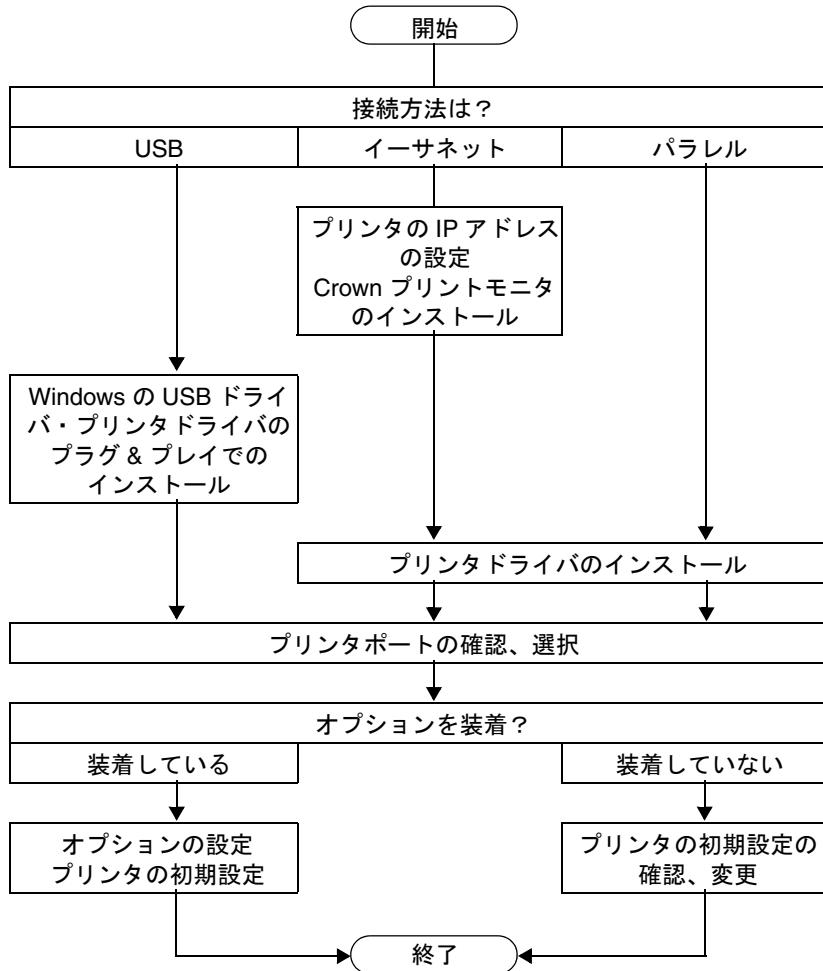
ドライバ	機能	インストール方法
PostScript ドライバ (Windows NT 4.0 用)	Windows NT 4.0 上で、加工や複雑なレイアウトなど、プリンタの全機能を使用できます。	「イーサネット接続の場合(Windows)」(p. 3-7) 「パラレル接続の場合(Windows)」(p. 3-16) (Windows NT 4.0 では、USB には対応していません。)
Macintosh PPD	PPD (PostScript Printer Description) ファイルでは、装着されたメモリなどを設定したり、使用できるオプションや機能の情報をコンピュータに伝えます。	「Software Utilities」 CD-ROM 内の「Readme」 ファイルをお読みください。
PPD (PostScript Printer Description) ファイル	PPD ファイルを使うと、さまざまな動作環境、ドライバ、アプリケーションでプリンタが使用可能になります。	「Software Utilities」 CD-ROM 内の「Readme」 ファイル、「CrownBook」 をお読みください。

## ユーティリティ

ユーティリティ	機能	インストール方法
Crown プリントモニタ + (Windows 用)	この Windows 用ユーティリティでは、TCP/IP プロトコルを使用して、サーバーを経由せずに直接プリンタへプリントジョブを送信することができます。 Crown プリントモニタ機能は、Windows XP/2000/NT 4.0 だけでなく、Windows Me/98/95 でも機能します。	「イーサネット接続の場合(Windows)」(p. 3-7)
ダウンロードマネージャ	このユーティリティを使うと、プリンタのハードディスクにフォントやオーバーレイファイルをダウンロードすることができます。	「Software Utilities」 CD-ROM 内の「Readme」 ファイルをお読みください。
PageScope Net Care	PageScope Net Care は本機種には対応しておりません。	
UNIX ホストソフトウェア	多くの UNIX 環境に対応しているため、同ソフトウェアを使用して UNIX 上のキューやフィルターのカスタマイズが可能になります。	「Software Utilities」 CD-ROM 内の Readme ファイル、「CrownBook」 をお読みください。

## Windows 用ソフトウェアのインストール

「Software Utilities」CD-ROM を使って、プリンタ ドライバとユーティリティをインストールできます。



- 上図は、初めて PagePro 9100 用のソフトウェアをインストールする場合の手順を示しています。
- 以降の説明では、基本的に Windows 2000 の画面を使用しています。操作はほとんど同じですが、お使いの環境によって画面が異なる場合があります。

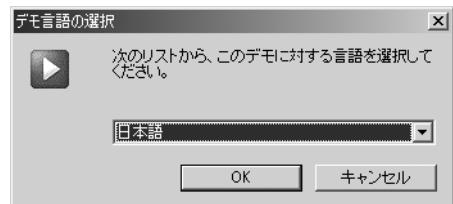
## インストーラーについて

プリンタ本体に同梱されている「Software Utilities」CD-ROMには、印刷に必要なソフトウェアをインストールするためのプログラムが入っています。以下に、インストーラーの操作の概要について説明します。

- 1 「Software Utilities」CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。

自動的にプリンタユーティリティが起動します。

- 2 デモ言語の選択画面で、言語を選択し、[OK]をクリックします。



- 3 導入画面で [?] をクリックします。



- 4 ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、同意する場合は〔同意する〕をクリックしてください。同意しない場合は〔同意しない〕をクリックしてください。



### 3 プリンタ ドライバのインストール

- 5 メインメニューで、[プリンタ ユーティリティ] をクリックします。



- 6 プリンタユーティリティ画面では、プリンタドライバとプリンタユーティリティの選択を行います。各メニューの内容は以下の通りです。



- KONICA MINOLTA PostScript プリンタ ドライバ  
本プリンタ ドライバです。
- マイクロソフトプリンタ ドライバ (PPD)  
弊社の PPD をベースにインストールされるマイクロソフト社製プリンタ ドライバです。
- Crown プリントモニタ +  
TCP/IP プロトコルによるダイレクト印刷を可能にするユーティリティです。  
プリントサーバーを介在せずに直接プリンタとデータのやりとりを行いますので、プリントサーバーを利用するよりネットワークトラフィックを減少させることができます。
- PageScope Net Care  
本機種には対応しておりません。
- ダウンロードマネージャ  
このユーティリティを使って、プリンタのハードディスクにフォントやオーバーレイ設定をダウンロードすることができます。また、プリンタのメモリにフォントをダウンロードすることもできます。
- NDPS ゲートウェイ  
Novell 分散印刷システム対応ゲートウェイおよび NWAdmin スナップインをインストールします。

## イーサネット接続の場合（Windows）

TCP/IP の設定方法について詳しくは、「CrownBook」（「Software Utilities」CD-ROM 内の PDF ファイル）を参照してください。

### IP アドレスの設定

#### DHCP の場合



TCP/IP 環境で DHCP を使用しているときは、「アドミニストレーション / インターフェイス / OPTIONAL NIC/CROWNNET/TCP/IP」メニューで「DHCP」、「WINS/Protocol」を「Enabled」（使用可能）にしておく必要があります。ネットワーク管理者に相談してください。詳しくは「CrownBook」を参照してください。

#### IP アドレスを手動設定する場合

- 1** イーサネットケーブルで、プリンタをネットワークに接続します。
- 2** 必要であれば、「アドミニストレーション / インターフェイス / OPTIONAL NIC/CROWNNET/TCP/IP / INTERNET ADDRESS」メニューで、プリンタの IP アドレスを入力します。設定方法については、「IP アドレスの設定」(p. 2-23) を参照してください。



IP アドレスの初期設定は 161.33.128.24 です。必要であれば、「アドミニストレーション / インターフェイス / OPTIONAL NIC/CROWNNET/TCP/IP / DEFAULT ROUTER」メニューでデフォルトルーターの値を入力します。



ルーターのアドレスの初期設定は 000.000.000.000 です。この設定は、ゲートウェイの自動検出に使用されます。サブネットマスクを設定すると、自動検出は行われません。



IP アドレスの代わりにホスト名でプリンタを検出したいときは、ホストファイルに以下の行を追加してシステムホストテーブルを編集してください。

```
internetaddress hostname
```

「internetaddress」の部分にはプリンタの IP アドレス（「アドミニストレーション / インターフェイス / OPTIONAL NIC/CROWNNET/TCP/IP / INTERNET ADDRESS」メニューの設定）を、「hostname」にはプリンタ名を入れます。ファイルを編集するときは、ネットワークの「Administrator」の権限が必要です。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

- 3** コンピュータに「Software Utilities」CD-ROM をセットします。

### 3 プリンタ ドライバのインストール

- 4 「インストーラーについて」(p. 3-5) の手順 1 ~ 6 にしたがって、プリンタユーティリティ画面で [Crown プリントモニタ+] を選択します。**
-  Crown プリントモニタ+ をインストールします。インストールウィザードの指示にしたがってインストールしてください。プリントモニタインストール方法については「プリントモニタのインストール」(p. 3-10) を参照してください。
- 5 「インストーラーについて」(p. 3-5) の手順 1 ~ 6 にしたがって、プリンタユーティリティ画面でプリンタドライバを選択します。**
-  ドライバをインストールします。インストールウィザードの指示にしたがってインストールしてください。ドライバのインストール方法について詳しくは、「プリンタドライバのインストール (Windows)」(p. 3-20) を参照してください。
- 6 CD-ROM をコンピュータから取り出し、大切に保管します。**
- 7 「Crown ポートの選択」(p. 3-9) の手順にしたがって Crown ポートを選択します。**
- これでイーサネット接続の場合のプリンタドライバおよび Crown プリントモニタのインストールは完了です。

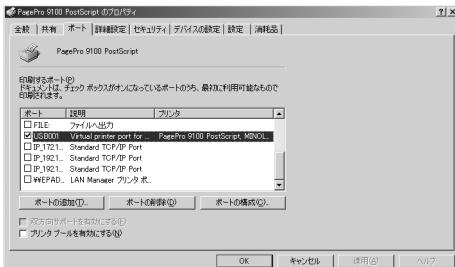


## Crown ポートの選択

Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95 用の Crown プリントモニタは、TCP/IP プロトコルを使ってプリントジョブをプリンタに送り、ステータス情報をホストに提供します。Crown プリントモニタをすでにインストールしている場合も、以下の手順にしたがって、作成された新しい Crown ポートを割り当ててください。

- 1** [スタート] をクリックし、[設定] から [プリンタ] を選択します。  
 Windows XP の場合は、[スタート] をクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
- 2** 「プリンタ」ウィンドウで、「PagePro 9100」のプリンタアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。
- 3** 「プロパティ」を選択します。
- 4** Windows XP/2000/NT4.0 の場合は、「ポート」タブをクリックします。  
 Windows Me/98/95 の場合は、「詳細」タブをクリックします。

Windows XP/2000/NT4.0



Windows Me/98/95



- 5** 「印刷するポート」で、Crown プリントモニタのインストール時に追加された Crown ポートを選択します。

 Windows Me/98/95 の場合は、「印刷先のポート」から Crown ポートを選択します。

- 6** [OK] をクリックして、プリンタのプロパティウィンドウを閉じます。

## プリントモニタのインストール

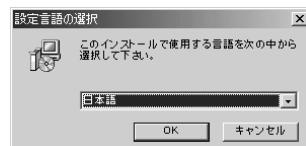
プリントモニタのインストールを行うには、プリンタユーティリティ画面の「Crown プリントモニタ +」を選択します。

プリントモニタは、Windows Me/98/95 そして Windows XP/2000/NT4.0 にインストールして、本プリンタとのダイレクトプリントを可能とさせるソフトウェアです。このソフトウェアをインストールするコンピュータには TCP/IP プロトコルがインストールされている必要があります。

- 1 「インストーラーについて」(p. 3-5) の手順 1 ~ 5 にしたがってプリンタユーティリティ画面を表示します。
- 2 「Crown プリントモニタ +」をクリックします。

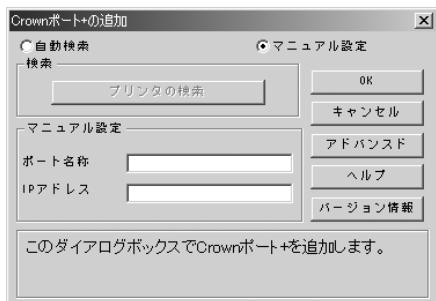


- 3 言語選択ダイアログで、使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。  
プリントモニタのインストール画面が表示されます。
- 4 [次へ] をクリックします。



プリントモニタに必要なファイルがシステムにコピーされた後、設定項目の入力画面が表示されます。

このダイアログで設定する項目は、「ポート名称」と「IP アドレス」です。



「ポート名称」はプリンタの追加ウィザードの「利用可能なポート」と、プリンタのプロパティの詳細で「印刷先のポート」に反映されますので、判別しやすい名称を設定することをおすすめします。

「IP アドレス」は、対象となる本プリンタの IP アドレスを入力します。

大規模ネットワークで本プリンタをご利用の場合は、マニュアル設定することをおすすめします。

**5** 設定項目を入力後、[OK] をクリックします。

これで、プリントモニタのインストールは終了です。

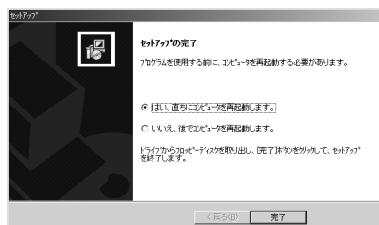


**6** コンピュータを再起動する、しないを選択し、完了をクリックします。

コンピュータが再起動します。

これでプリントモニタのインストールは完了です。

次に、プリンタドライバのインストールを行います。「プリンタドライバのインストール (Windows)」(p. 3-20) へ進んでください。



## USB 接続の場合（Windows）

お使いの OS が USB に対応しているか確認し（Windows 98SE 以降に対応）、USB ポート用の USB ドライバがインストールされているか確認してください（「デバイスマネージャ」で確認できます）。

USB ケーブルを使ってプリンタがコンピュータに接続されている場合、OS によっては USB 印刷サポートが自動的に組み込まれることがあります。PagePro 9100 のすべての機能を有効にするためには、PagePro 9100 用の USB デバイスドライバをインストールしてください。

## USB デバイスドライバのインストール

### Windows XP

- 1** コンピュータの電源を入れ、Windows XP を起動します。
- 2** プリンタの電源を入れます。
- 3** Windows XP を起動し、プリンタのディスプレイに「アイドル」と表示されていることを確認します。
- 4** 「Software Utilities」CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

 自動再生プログラムが起動します。プラグアンドプレイでの操作の際には、「Software Utilities」を終了してください。

- 5** USB ケーブルをコンピュータに接続し、もう一方をプリンタの USB ポートに接続します。

コンピュータのディスプレイに「新しいハードウェアの検出」メッセージが表示され、自動的に USB 印刷サポートが設定されます。

USB デバイスドライバの設定が終了すると、「新しいハードウェアの検出」ダイアログが表示されます。引き続きプリンタドライバのインストールを行います。

「プラグアンドプレイでのインストール」(p. 3-16) の「Windows XP」の手順 4 以降を参照してください。

 プリンタが新しいデバイスとして認識されない場合は、手動でプリンタドライバのインストールを行ってください。「プリンタドライバのインストール（Windows）」(p. 3-20) を参照してください。

## Windows 2000

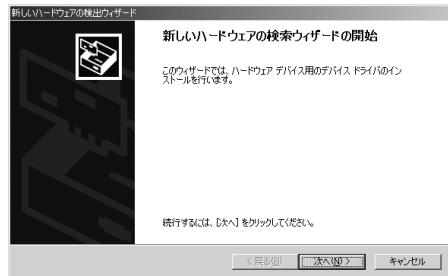
- 1** コンピュータの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。
- 2** プリンタの電源を入れます。
- 3** Windows 2000 を起動し、プリンタのディスプレイに「アドレス」と表示されていることを確認します。
- 4** 「Software Utilities」CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

 自動再生プログラムが起動します。プラグアンドプレイでの操作の際には、「Software Utilities」を終了してください。

- 5** USB ケーブルをコンピュータに接続し、もう一方をプリンタの USB ポートに接続します。

コンピュータのディスプレイに「新しいハードウェアの検出」画面が表示されます。

- 6** [次へ] をクリックします。



- 7** 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をクリックし、[次へ] をクリックします。

- 8** 画面の指示にしたがってインストールを行います。

USB デバイスドライバのインストールが終了したら、引き続きプリンタドライバをインストールします。

「プラグアンドプレイでのインストール」「Windows 2000」(p. 3-17) の手順 4 以降を参照してください。

 プリンタが新しいデバイスとして認識されない場合は、手動でプリンタドライバのインストールを行ってください。「プリンタ ドライバのインストール (Windows)」(p. 3-20) を参照してください。

### 3 プリンタ ドライバのインストール

---

#### Windows Me

- 1** コンピュータの電源を入れ、Windows Me を起動します。
- 2** プリンタの電源を入れます。
- 3** Windows Me を起動し、プリンタのディスプレイに「アイドル」と表示されていることを確認します。
- 4** 「Software Utilities」 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。  
 自動再生プログラムが起動します。プラグアンドプレイでの操作の際には、「Software Utilities」を終了してください。
- 5** USB ケーブルをコンピュータに接続し、もう一方をプリンタの USB ポートに接続します。  
コンピュータのディスプレイに「新しいハードウェアの追加」ダイアログが表示されます。
- 6** [次へ] をクリックします。
- 7** 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をクリックし、[次へ] をクリックします。
- 8** 「場所を指定」をチェックし、[参照] をクリックします。
- 9** 「Software Utilities」 CD-ROM 内の「¥drivers¥windows Me, 9x¥ps¥japanese」フォルダを表示し、[OK] をクリックします。
- 10** [OK] をクリックします。
- 11** 画面の指示にしたがってインストールを行います。  
USB デバイスドライバのインストールが終了したら、引き続きプリンタドライバをインストールします。  
「プラグアンドプレイでのインストール」「Windows Me」(p. 3-18) の手順 4 以降を参照してください。  
 プリンタが新しいデバイスとして認識されない場合は、手動でプリンタドライバのインストールを行ってください。「プリンタドライバのインストール（Windows）」(p. 3-20) を参照してください。

## Windows 98

- 1** コンピュータの電源を入れ、Windows 98 を起動します。
- 2** プリンタの電源を入れます。
- 3** Windows 98 が起動し、プリンタのディスプレイに「アイドル」と表示されることを確認します。
- 4** 「Software Utilities」 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

 自動再生プログラムが起動します。プラグアンドプレイでの操作の際には、「Software Utilities」を終了してください。

- 5** USB ケーブルをコンピュータに接続し、もう一方をプリンタの USB ポートに接続します。

コンピュータのディスプレイに「新しいハードウェアの追加」ダイアログが表示されます。

- 6** [次へ] をクリックします。



- 7** 次の画面で「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をクリックし、[次へ] をクリックします。

- 8** 次のダイアログで「検索場所の指定」をチェックし、[参照] をクリックします。

- 9** 「Software Utilities」 CD-ROM 内の「¥drivers¥windows Me, 9x¥ps¥japanese」フォルダを表示し、[OK] をクリックします。

- 10** [次へ] をクリックします。

- 11** 画面の指示にしたがってインストールを行います。

USB デバイスドライバのインストールが終了したら、引き続きプリンタドライバをインストールします。

「プラグアンドプレイでのインストール」「Windows 98」(p. 3-19) の手順 4 以降を参照してください。

 プリンタが新しいデバイスとして認識されない場合は、手動でプリンタドライバのインストールを行ってください。「プリンタドライバのインストール (Windows)」(p. 3-20) を参照してください。

## パラレル接続の場合（Windows）

### プラグアンドプレイでのインストール

 Windows 95 と Windows NT 4.0 ではプラグアンドプレイ機能に対応していないません。これらの OS をお使いの場合は、「プリンタ ドライバのインストール（Windows）」(p. 3-20) へ進んでください。

#### Windows XP

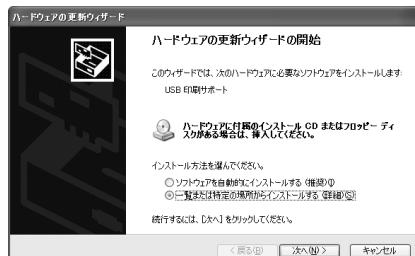
**1** プリンタとコンピュータの電源がオフになっている状態で、プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続します。

**2** プリンタの電源をオンにしてから、コンピュータの電源をオンにして Windows XP を起動します。

**3** 「Software Utilities」CD-ROMを入れます。

 自動再生プログラムが起動します。プラグアンドプレイでの操作の際には、「Software Utilities」を終了してください。

**4** 「新しいハードウェアの検出 ウィザード」の最初の画面で、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックします。



**5** 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」以外の項目のチェックをはずします。

**6** [参照] をクリックします。

**7** 「Software Utilities」CD-ROM内の「¥drivers¥windows XP-2K¥ps」フォルダを表示し、[OK]をクリックします。

**8** [次へ]をクリックします。

**9** プリンタドライバのインストール操作が終了したら、プリンタウィンドウに「PagePro 9100」 プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。

これでプリンタドライバのインストールは完了です。「プリンタドライバの初期設定の確認と変更」(p. 3-22) を参照して、設定を行ってください。

## Windows 2000

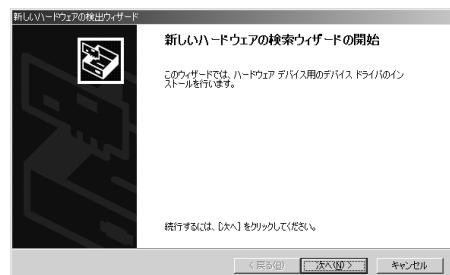
**1** プリンタとコンピュータの電源がオフになっている状態で、プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続します。

**2** プリンタの電源をオンにしてから、コンピュータの電源をオンにして Windows 2000 を起動します。

**3** 「Software Utilities」 CD-ROM を入れます。

 自動再生プログラムが起動します。プラグアンドプレイでの操作の際には、「Software Utilities」を終了してください。

**4** 「新しいハードウェアの検出  
ウィザード」の最初の画面で、「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。



**5** 「場所を指定」を選択し、[次へ] をクリックします。

**6** [参照] をクリックします。

**7** 「Software Utilities」 CD-ROM 内の「¥drivers¥windows XP-2K¥ps」フォルダを表示し、[開く] をクリックします。

**8** [OK] をクリックし、[次へ] をクリックします。

**9** 画面の指示にしたがってインストールを行います。

**10** プリンタドライバのインストール操作が終了したら、プリンタウィンドウに「PagePro 9100」 プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。

これでプリンタドライバのインストールは完了です。「プリンタドライバの初期設定の確認と変更」(p. 3-22) を参照して、設定を行ってください。

#### Windows Me

- 1** プリンタとコンピュータの電源がオフになっている状態で、プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続します。
  - 2** プリンタの電源をオンにしてから、コンピュータの電源をオンにして Windows Me を起動します。
  - 3** 「Software Utilities」CD-ROMを入れます。  
 自動再生プログラムが起動します。プラグアンドプレイでの操作の際には、「Software Utilities」を終了してください。
  - 4** 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の最初の画面で、「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ]をクリックします。
  - 5** 「場所を指定」を選択し、[参照]をクリックします。
  - 6** 「Software Utilities」CD-ROM内の「¥drivers¥windows Me, 9x¥ps¥japanese」フォルダを表示し、[OK]をクリックします。
  - 7** [OK]をクリックし、[次へ]をクリックします。
  - 8** 画面の指示にしたがってインストールを行います。
  - 9** プリンタドライバのインストール操作が終了したら、プリンタウインドウに「PagePro 9100」プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
- これでプリンタドライバのインストールは完了です。「プリンタドライバの初期設定の確認と変更」(p. 3-22)を参照して、設定を行ってください。

## Windows 98

- 1** プリンタとコンピュータの電源がオフになっている状態で、プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続します。
- 2** プリンタの電源をオンにしてから、コンピュータの電源をオンにして Windows 98 を起動します。
- 3** 「Software Utilities」CD-ROMを入れます。  
 自動再生プログラムが起動します。プラグアンドプレイでの操作の際には、「Software Utilities」を終了してください。
- 4** 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の最初の画面で「次へ」をクリックします。
- 5** [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 6** [検索場所の指定] をクリックし、[参照] をクリックします。
- 7** 「Software Utilities」CD-ROM内の「¥drivers¥windows Me, 9x¥ps¥japanese」フォルダを表示し、[OK] をクリックします。
- 8** [OK] をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 9** 画面の指示にしたがってインストールを行います。
- 10** プリンタドライバのインストール操作が終了したら、プリンタウィンドウに「PagePro 9100」プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。  
これでプリンタドライバのインストールは完了です。「プリンタドライバの初期設定の確認と変更」(p. 3-22)を参照して、設定を行ってください。

## プリンタ ドライバのインストール (Windows)

プリンタ ドライバをインストールするには、メイン画面より希望する「プリンタ ドライバ」メニューをクリックします。

 プリンタを USB 接続で使用する場合は、はじめに USB デバイス ドライバをインストールしてください。詳しくは「USB 接続の場合 (Windows)」(p. 3-12) を参照してください。

 プリンタをパラレルケーブルで接続して使用する、プラグアンドプレイを使ってプリンタ ドライバをインストールすることもできます。詳しくは「プラグアンドプレイでのインストール」(p. 3-16) を参照してください。

- 1 コンピュータの電源を入れ、Windows を起動します。
- 2 「Software Utilities」 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。  
自動的にプリンタユーティリティが起動します。
- 3 デモ言語の選択画面で、言語を選択し、[OK] をクリックします。  
導入画面で  をクリックします。
- 4 ソフトウェア使用許諾契約書をお読みいただき、[同意する] をクリックします。
- 5 メインメニューで [プリンタユーティリティ] をクリックします。  
  をクリックすると Software Utilities が終了します。  
 をクリックすると 1 つ前の画面に戻ります。
- 6 プリンタユーティリティ画面で、インストールするプリンタ ドライバを選択します。
- 7 「プリンタの追加」 ウィザードに関する説明をよくお読みいただき、[次へ] をクリックします。  
プリンタの追加 ウィザードが開始されます。



 Windows 95/98/Me の場合は  をクリックすると、プリンタの追加 ウィザード画面が表示されます。

**8**

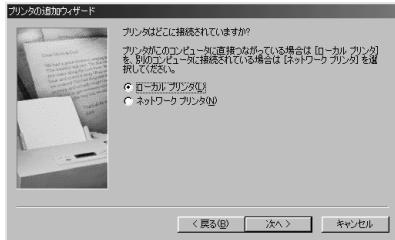
画面の指示にしたがってインストールを行います。



以降の手順については、OS やお使いの環境によって画面や手順は異なります。ここでは Windows 2000 の場合を例に説明します。

■ 使用するプリンタの接続形態を選択する画面が表示されたら：

- USB インターフェイスケーブル、パラレルインターフェイスケーブル、Ethernet ケーブルを用いた直接接続、または弊社「プリントモニタ」を利用した接続には「ローカルプリンタ」を選択します。
- ネットワーク経由でプリントサーバーを利用した接続には「ネットワークプリンタ」を選択します。



「ネットワークプリンタ」接続を行うには、Windows 環境で利用できるプリントサーバーが必要となります。

■ 製造元とプリンタを選択する画面が表示された場合：  
[ディスク使用] をクリックし、CD-ROM 内の「Setup.inf」を指定します。

使用する「Setup.inf」はインストールする OS によって異なります。



● Windows Me/98/95 の場合

¥drivers¥windows Me, 9x¥ps¥Japanese フォルダ内の「Setup.inf」を利用します。

● Windows XP/2000 の場合

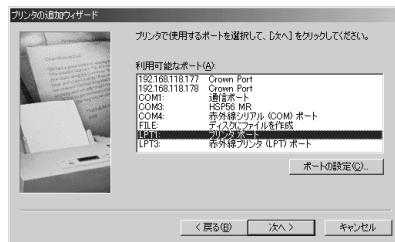
¥drivers¥windows XP-2K¥ps フォルダ内の「Setup.inf」を利用します。

● Windows NT 4.0 の場合

¥drivers¥windows NT4¥ps¥Japanese フォルダ内の「Setup.inf」を利用します。

### 3 プリンタ ドライバのインストール

- プリンタのポートを指定する画面が表示された場合：
  - パラレル接続の場合は「LPT:X」(X=1, 2等)を選択します。
  - USB接続の場合は「USB001」を選択します。
  - プリンタモニタによる接続の場合は、プリンタモニタのインストール時に設定したポート名称を選択します。
  - ネットワークプリンタを使用する場合は、使用するプリンタを選択します。
- プリンタ名を変更することができます。
- 通常使うプリンタに指定するかどうかを指定することができます。
- プリンタインストール後、プリンタが正しく接続できたか確認する印字テストを行なうかどうかを選択します。



**9** プリンタドライバのインストール操作が終了したら、プリンタウィンドウに「PagePro 9100 PostScript」プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。

これでプリンタドライバのインストールは完了です。「プリンタドライバの初期設定の確認と変更」(p. 3-22) を参照して、設定を行ってください。

### プリンタドライバの初期設定の確認と変更

プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをおすすめします。また、オプションを装着している場合は、プリンタドライバでそのオプションを設定しておいてください。

- 1** PagePro 9100 のプロパティ画面を表示します。
  - Windows XP/2000/Me/98/95 の場合  
プリンタウィンドウで「PagePro 9100」プリンタアイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」をクリックします。  
プロパティダイアログで「設定」タブをクリックします。
  - Windows NT 4.0 の場合  
プリンタウィンドウで「PagePro 9100」プリンタアイコンを右クリックし、メニューから「ドキュメントの既定値」をクリックします。

- 2** 「設定」タブをクリックします。  
オプションを装着していない場合は手順 5 へ進んでください。

- 3 「使用可能オプション」から装着しているオプションを選択し、[追加] をクリックします。そのオプションは、「実装済みオプション」リストに移動します。**

オプションは1つずつ追加してください。

間違って装着されていないオプションを追加した場合は、「実装済みオプション」リストからそのオプションを選択し、[削除] をクリックしてください。

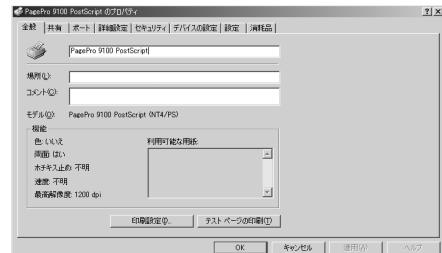


設定タブについて詳しくは p. 3-24 を参照してください。

- 4 装着されているオプションをすべて設定したら、[適用] をクリックします。**

お使いのOSによっては、[適用] ボタンが表示されません。  
その場合は次の手順へ進んでください。

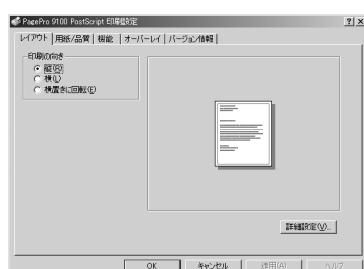
- 5 「全般」タブをクリックします。**



- 6 [印刷設定] をクリックし、印刷設定画面を表示します。**

プリンタの初期設定を確認、変更します。

印刷設定画面について詳しくは p. 4-5 を参照してください。



- 7 [適用] をクリックします。**

お使いのOSによっては、[適用] ボタンが表示されません。  
その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

- 8 [OK] をクリックし、プリンタ設定ダイアログを閉じます。**

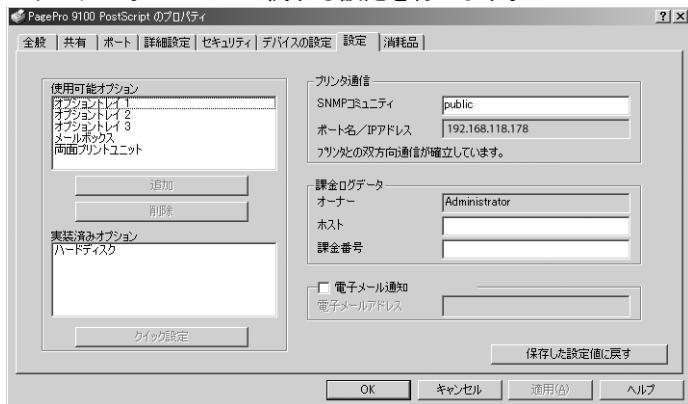
これでプリンタドライバの初期設定の確認と変更は完了です。

## プリンタ ドライバのプロパティ画面について

ここではプロパティ画面の「設定」タブと「消耗品」タブを説明します。  
印刷設定画面については p. 4-5 を参照してください。

### 「設定」タブ

本プリンタのオプションに関する設定を行います。



Windows NT4.0 の場合、「設定」タブを押すと、「重要「OK」ボタンを押す前に、「デバイス設定」タブを押してください。」と表示されます。メッセージにしたがって操作してください。

### 使用可能オプション／実装済みオプション

本プリンタが使用できるオプションの一覧です。実際のオプション装着状態とプリンタ ドライバの設定が一致していることを確認してください。



実際のオプション装着状態とプリンタ ドライバの設定が異なる場合、使用可能な機能が設定できなかったり、設定通りに印刷されない場合があります。

本プリンタに装着されているオプションを「使用可能オプション」リストから選択し、「追加」をクリックして「実装済みオプション」リストへ移動します。

「実装済みオプション」リストからオプションを選択し、「削除」をクリックして「実装済みオプション」リストから削除することもできます。

#### ■ クイック設定

本プリンタから自動的にオプション情報を取得し、実装済みオプションとして設定することができます。



「プリンタ通信」が正しく設定されている場合に有効です。

## プリンタ通信

- SNMP コミュニティ  
本プリンタの操作パネルで設定した SNMP コミュニティと同じ文字を入力します。  
初期値は「public」です。
- ポート名／IP アドレス  
本プリンタに設定されたポート名または IP アドレスを入力します。  
これらが正しく入力され、プリンタとコンピュータが正しく接続されている場合、「プリンタ通信」エリアに「プリンタとの双向通信が確立しています。」と表示されます。



Windows NT4.0/2000/XP では、IP アドレスを入力することはできません。

## 課金ログデータ

ヘッダーページに印刷したり、リモートコンソールに表示する（プリンタの稼働状況をモニターする CrownView を使用している場合）ための各ジョブごとの標識を付けることができます。また、この情報は、プリンタ上にも記録されます。

- オーナー  
オーナー（作成者）は Windows ログイン名と同じ名前になります。したがってユーザーが任意にオーナー名を変更することはできません。
- ホスト  
ホスト名を入力します。また、この情報はプリンタ上にも記録されます。  
半角英数字を入力してください。
- 課金番号  
印刷ジョブに対する課金アカウントを入力します。また、この情報はプリンタ上にも記録されます。  
半角英数字を入力してください。

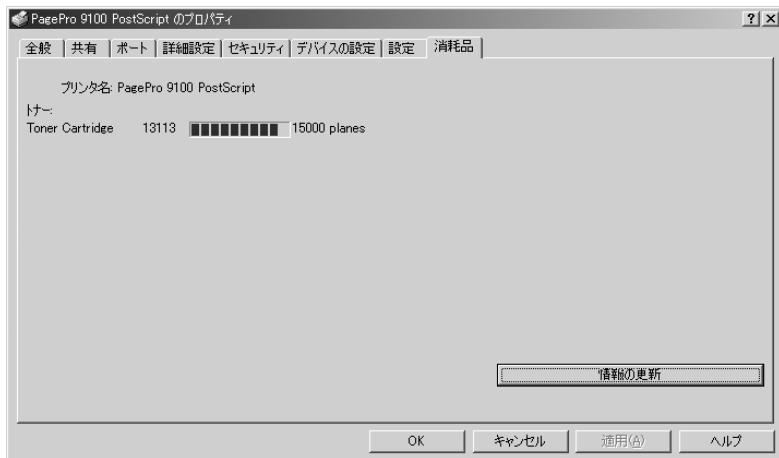
## 電子メール通知

印刷ジョブの終了時に電子メールで通知を行う機能です。この機能を利用するためには、CrownView でプリンタ内のメールサーバアドレスなどを設定する必要があります。

### 3 プリンタ ドライバのインストール

#### 「消耗品」タブ

本プリンタの消耗品（トナー等）の使用状況を表示します。ただし、「設定」タブの「プリンタ通信」で各項目が正しく設定されている必要があります。



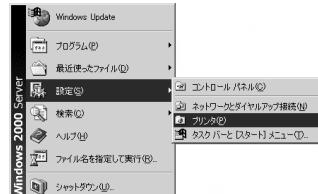
## IPP 接続の設定

IPP 接続の設定をすると、IPP 印刷することができます。詳しくは「IPP 印刷」(p. B-4) を参照してください。

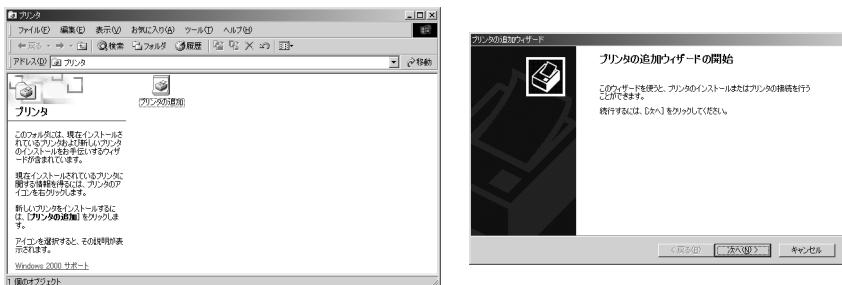
IPP (Internet Printing Protocol) による本プリンタへの接続は、Windows 2000/XP で利用可能です。

本プリンタで IPP 接続を行うときは、以下の手順にしたがって設定してください。

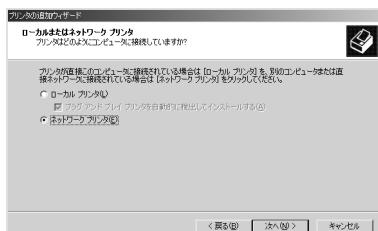
- 1 Windows 2000 の「スタート」メニューの中の「設定」から「プリンタ」を選択します。



- 2 「プリンタの追加」をダブルクリックしてプリンタ ウィザードを起動します。「次へ」をクリックします。

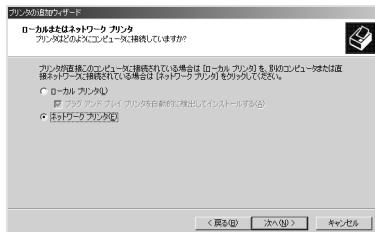


- 3 プリンタの接続形態の中から「ネットワークプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。



### 3 プリンタ ドライバのインストール

- 4 「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」を選択し、URL の欄に本プリンタの IP アドレスまたは FQDN と本プリンタのプリンタ名を入力します。



入力例 :

- IP アドレスとプリンタ名  
<http://192.168.118.178/pp9100/>
- FQDN とプリンタ名  
<http://printer.konicaminolta.jp/pp9100/>



FQDN (Fully Qualified Domain Name) :  
TCP/IP ネットワーク環境においてホスト名に続けてドメイン名まで省略せずに、すべてを指定した記述形式のこと

本プリンタのプリンタ名は、プリンタの電源をオンにして起動後にプリントされる「スタートアップページ」の「プリンタ名」で確認できます。ただしプリンタ名の初期値は、URL 記述に反するスペースが使用されているため変更する必要があります。

### プリンタ名の変更方法

- 1 下記の内容のテキストファイルを作成し、ファイル名「setname.ps」で保存します。

```
%!  
%%IncludeFeature: emulation (postscript)  
%%EndComments  
serverdict begin 0 exitserver  
statusdict begin  
(pp9100) setprintername  
end
```



カッコ内の pp9100 が変更するプリンタ名になります。使用できる文字は、英数字／英語大文字／英語小文字で、記号はー（ハイフン）以外は使用できません。文字数はできるだけ短くしてください。

**2**

保存されたファイルを FTP で本プリンタに転送します。

FTP によって本プリンタに接続するには、Windows の「MS-DOS プロンプト」または FTP プロトコルをサポートするユーティリティを使用します。以下に MS-DOS プロンプトを用いた具体例を示します。

```

Microsoft (R) Windows NT (R)
(C) Copyright 1985-1996 Microsoft Corp.

C:\>ftp 192.168.118.178
Connected to 192.168.118.178.
220 Microsoft CrownNet Rev 6.18FE ready.
User (192.168.118.178): (none)
331 User name ok, need password
Password:
230 User logged in
ftp> cd usr
250 CWD command successful.
ftp> asc
200 TYPE set to A.
ftp> put setname.ps
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for SY3:/usr/setname.ps (192.168.119.21,8,113), (mo
c1.i)
226 Transfer complete.
6881 bytes sent in 0.00 seconds (8961000.00 Kbytes/sec)
ftp> bye

```

MS-DOS プロンプトを起動します。起動したら、オーバーレイの背景ファイルが保存されているディレクトリにカレントディレクトリを変更します。

- a** ftp と本プリンタの IP アドレスを入力します。接続されましたら、User と Password を入力します。オプションのセキュリティキーで本プリンタにパスワードを設定していなければ、キーボードで【Enter】を入力してください。
- b** 「cd usr」と入力し、カレントディレクトリをオーバーレイの背景ファイルを保存するディレクトリ「usr」に変更します。
- c** 「asc」と入力します。
- 手順 1 で作成したプリンタ名情報は ASCII ファイルです。したがって、転送モードは ASCII でなければなりません。
- d** 「put ファイル名」を入力すると、ファイルが本プリンタに転送されます。
- e** 転送が完了しましたら、「bye」と入力し FTP を終了してください。

**6**

プリンタを再起動し、「スタートアップページ」で変更を確認します。

**7**

「次へ」をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」が完了すれば、本プリンタを IPP 接続にてご使用いただけます。



### 3 プリンタ ドライバのインストール

## ファイヤーウォール (FireWall) を経由したインターネットフル接続 (IPP 接続)

IPP は FireWall を経由した接続をサポートします。

ここでは、プロキシ (Proxy) サーバーを経由した IPP 接続方法について簡単に説明します。詳細についてはネットワーク管理者かシステム管理者にお尋ねください。

Proxy サーバーを経由する場合、大きく分けて 2 つのケースが考えられます。

- 1 Proxy サーバーが管理するコンピュータからインターネットに接続された外部のプリンタに IPP 接続する場合には、Proxy 内で使用される http に割り当てられたポート番号が、相手先の IPP で使用するポート番号（初期値：80）にフォワードされるように、Proxy の設定がおこなわれている必要があります。

また、コンピュータの設定として、「Proxy を利用する」の設定が必要になります。この設定は Windows 2000 での設定ですので、詳しくは Windows 2000 のヘルプをご参照ください。

- 2 インターネットに接続された外部のコンピュータから Proxy サーバーが管理するプリンタに IPP 接続する場合には、接続先を目的のプリンタが存在する Proxy サーバーに設定します。

また、この Proxy サーバーには本プリンタに対して任意のポートを設定する必要があります。Proxy サーバーと本プリンタとのデータの送受をデフォルトポート以外で行うには、本プリンタに内蔵されている CrownView で、Proxy の設定を行う必要があります。



CrownView の詳細は、「CrownView プリンタ Web ページ」(p. 5-1) を参照してください。

## プリンタ ドライバのアンインストール

プリンタ ドライバのアンインストールは以下の手順で行います。

■ Windows XP の場合

[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択し、プリンタ ウィンドウを表示させます。

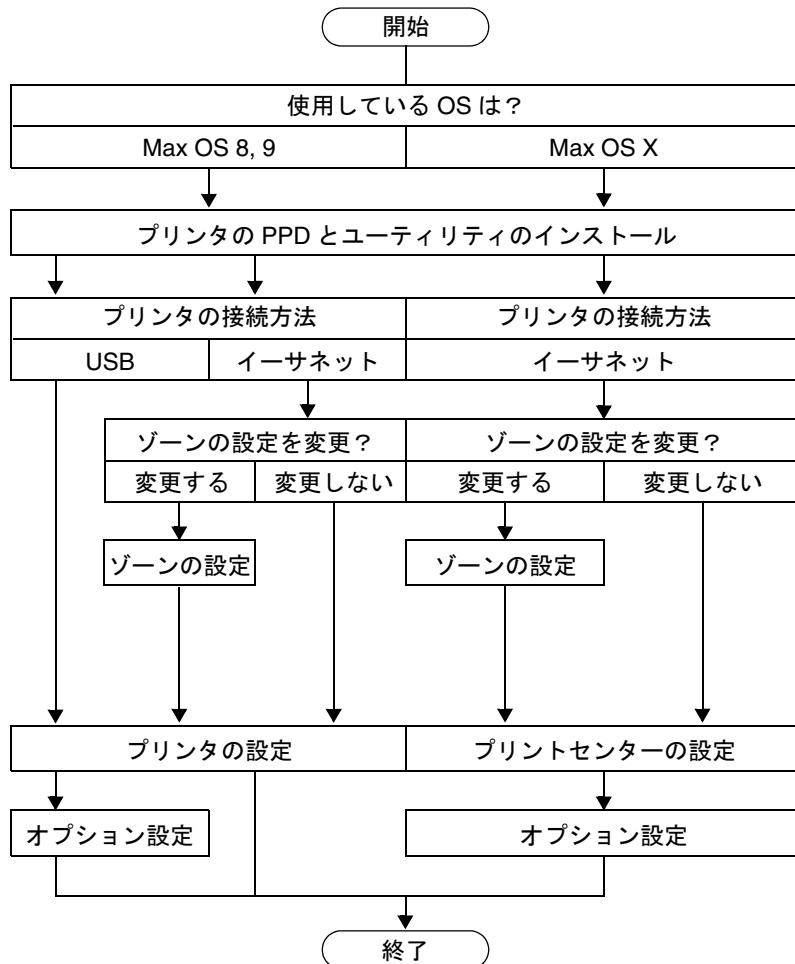
「PagePro 9100」を選択し、「ファイル」メニューから「削除」をクリックします。

■ Windows 2000/NT4.0/Me/98/95 の場合

[スタート] → [設定] → [プリンタ] を選択し、プリンタ ウィンドウを表示させます。

「PagePro 9100」を選択し、「ファイル」メニューから「削除」をクリックします。

## Macintosh 用ソフトウェアのインストール



- 上図は、初めて PagePro 9100 用のソフトウェアをインストールする場合の手順を示しています。
- 画面図は、MacOS 9 の環境の画面を使用しています。他のバージョンの OS では、画面が少し異なる場合があります。
- プリンタは、以下のケーブルで接続することができます。
  - ・イーサネットケーブル
  - ・イーサネットのクロスケーブル
  - ・USB ケーブル

## ゾーンの設定

プリンタが起動すると、初期設定のゾーンになります。お使いのネットワーク環境に複数のゾーンがあり、ゾーンの設定を変更したい場合は、プリンタ本体の「アドミニストレーション / インターフェイス / OPTIONAL NIC/CROWNNET/ETHERTALK/ZONE NAME/ZONE PART 1/2」メニューで、プリンタが属するゾーンの名前を入力します。

設定後は SOFT RESET を Yes にしてリセットします。OPTIONAL NIC のメニュー項目の値を変更した場合、必ず SOFT RESET で OPTIONAL NIC をリセットします。

操作	操作キー	ディスプレイの表示
25 オンラインキーを押し、オフラインにします。	[オンライン]	アイドル
26 メニューキーを押します。	[メニュー]	コンフィグレーション オペレータ コントロール
27 右矢印キーを押します。	[→]	コンフィグレーション アドミニストレーション
28 セレクトキーを押します。	[セレクト]	アドミニストレーション インターフェイス
29 セレクトキーを押します。	[セレクト]	インターフェイス タイムアウト
30 OPTIONAL NIC が表示されるまで、右矢印キーを押します。	[→]	インターフェイス OPTIONAL NIC
31 セレクトキーを押します。	[セレクト]	OPTIONAL NIC CROWNNET
32 セレクトキーを押します。	[セレクト]	CROWNNET COMMON
33 ETHERTALK が表示されるまで、右矢印キーを押します。	[→]	CROWNNET ETHERTALK
34 セレクトキーを押します。	[セレクト]	ETHERTALK PROTOCOL
35 ZONE NAME が表示されるまで、右矢印キーを押します。	[→]	ETHERTALK ZONE NAME
36 セレクトキーを押します。	[セレクト]	ZONE NAME ZONE PART 1
37 セレクトキーを押します。	[セレクト]	ZONE PART 1

### 3 プリンタ ドライバのインストール

操作	操作キー	ディスプレイの表示
38 ゾーン名を設定します。ゾーン名が16文字を超える場合には、ZONE PART 2に残りの文字を設定します。 ゾーン名入力後、カーソルが左端に戻るまでメニューキーを押します。	右矢印キー：数値を繰り上げます。 左矢印キー：数値を繰り下げます。 セレクトキー：カーソルを右に移動させます。 メニューキー：カーソルを左に移動させます。	
39 メニューキーを押します。	[メニュー]	ZONE NAME ZONE PART 1
40 右矢印キーを押します。	[→]	ZONE NAME ZONE PART 2
41 セレクトキーを押します。	[セレクト]	ZONE PART 2
42 ゾーン名の残りの文字を設定します。 ゾーン名入力後、カーソルが左端に戻るまでメニューキーを押します。		
43 メニューキーを押します。	[メニュー]	ZONE NAME ZONE PART 2
44 ETHERTALK が表示されるまで、メニューキーを押します。	[メニュー]	CROWNNET ETHERTALK
45 COMMON が表示されるまで、右矢印キーを押します。	[→]	CROWNNET COMMON
46 セレクトキーを押します。	[セレクト]	COMMON SPOOLING
47 SOFT RESET が表示されるまで右矢印キーを押します。	[→]	COMMON SOFT RESET
48 セレクトキーを押します。	[セレクト]	SOFT RESET *No
49 右矢印キーを押します。	[→]	SOFT RESET Yes
50 セレクトキーを押します。	[セレクト]	YES ♪ センタクサレマシタ
51 オンラインキーを押します。	[オンライン]	アイドル
操作パネルのオンラインランプが点灯することを確認してください。 設定完了後はプリンタを再起動します。		

## Mac OS 8.x, 9.x をご使用の場合

画面図は、Mac OS 9 の環境の画面を使用しています。他のバージョンの OS では、画面が少し異なる場合があります。

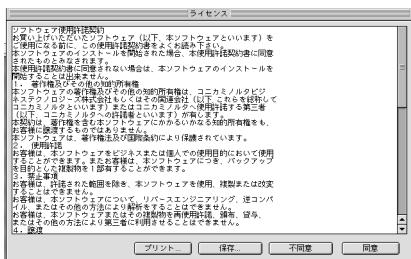
### プリンタの PPD とユーティリティのインストール

「Software Utilities」CD-ROM を使って、プリンタソフトの設定を行います。印刷に必要なソフトウェアは、プリンタドライバとプリンタ用の PPD ファイルです。プリンタドライバには Macintosh に標準で添付されている LaserWriter を使用します。バージョンは 8.0 以降をお使いください。

**1 「Software Utilities」CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。**

自動的にインストーラーが起動します。

**2 ライセンス画面で内容を確認し、[同意] をクリックします。**



**3 右図の画面が表示されたら、[ソフトウェアのインストール] をクリックします。**



**4 「簡易インストール」が選択されている状態で、[インストール] をクリックします。**

インストールが開始されます。



「インストールの場所」では、インストール先のハードディスクとフォルダの選択ができます。

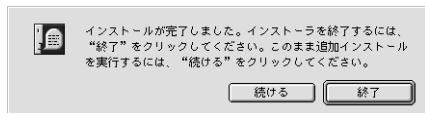


### 3 プリンタ ドライバのインストール

 「カスタムインストール」を選択すると「PPDs」「Fonts」のチェックボックスが表示され、PPDsのみ（または Fontsのみ）をインストールすることができます。



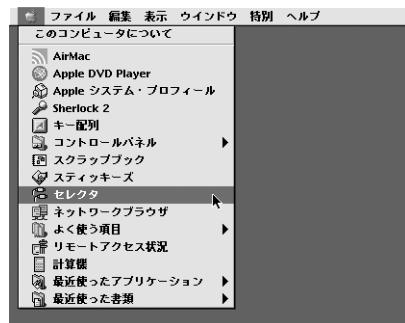
- 5** [終了] をクリックします。  
インストールが完了します。



### ネットワーク接続の場合

#### プリンタの設定

- 1 ネットワークケーブルでプリンタの LAN ポートに接続します。
- 2 プリンタの電源を入れます。
- 3 アップルメニューから「セレクタ」を選択します。



- 4** セレクタ画面で「LaserWriter 8」をクリックします。



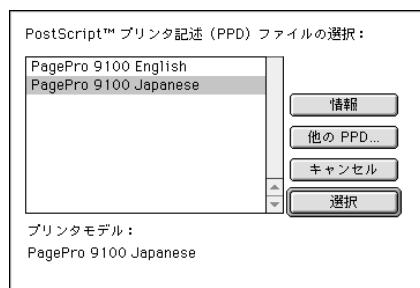
- 5** 「PostScript プリンタの選択」から「PagePro 9100」を選択し、[作成] をクリックします。

ゾーンを設定している場合は、「Apple Talk ゾーン」でゾーンを指定してから、「PagePro 9100」を選択します。

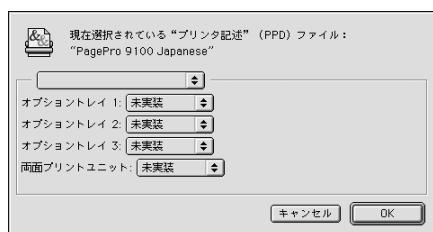


- 6** 「PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルの選択」から「PagePro 9100 Japanese」を選択し、[選択] をクリックします。

プリンタの設定が開始されます。



- 7** プリンタに装着されているオプションを設定し、[OK] をクリックします。



### 3 プリンタ ドライバのインストール

プリンタ名（PagePro 9100）の左側にアイコンが表示され、デスクトッププリンタアイコンがデスクトップに表示されます。



## テストプリント

- 1 フайнダの「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」を選択します。

用紙設定では対象プリンタを本プリンタに、「用紙」はA4サイズを選択して [OK] をクリックします。



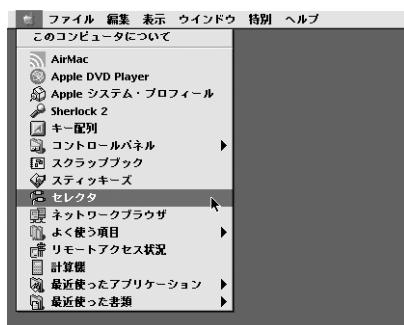
- 2 「ファイル」メニューから「デスクトップのプリント ...」を選択し、「プリンタ：」が本プリンタであることを確認します。  
「ページ指定」を「1」に指定し、[プリント] をクリックします。

正常にプリントされればプリンタの設定は完了です。



## プリンタの再設定

- 1** アップルメニューから「セレクタ」を選択します。



- 2** セレクタ画面で「LaserWriter 8」をクリックします。



- 3** 「PostScript プリンタの選択」から「PagePro 9100」を選択し、[再設定 ...] をクリックします。  
ゾーンを設定している場合は、「Apple Talk ゾーン」でゾーンを指定してから「PagePro 9100」を選択します。



- 4** 再設定する項目を選択します。

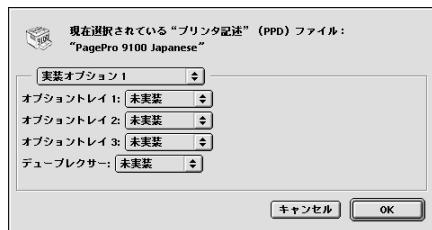


### 3 プリンタ ドライバのインストール

PPD を再設定する場合 : [PPD 選択...] をクリックします。  
「プリンタ記述ファイル」が選択されている状態で「PagePro 9100 Japanese」を選択し、[開く] をクリックします。



プリンタのオプションを再設定する場合 : [構成] をクリックします。プリンタに装着されているオプションを設定し、[OK] をクリックします。



## USB 接続の場合

### プリンタの設定

- 1 USB ケーブルの一方を Macintosh に接続し、もう一方をプリンタの USB ポートに接続します。
- 2 プリンタの電源を入れます。
- 3 デスクトップ・プリンタ Utility をダブルクリックします。  
新規画面が表示されます。  
デスクトップ・プリンタ Utility が Macintosh のハードディスクにない場合は、Macintosh のシステム CD-ROM からインストールします。

- 4** 「プリンタ」から「LaserWriter 8」を選択します。



- 5** 「デスクトップに作成 ...」から「プリンタ (USB)」を選択し、[OK] をクリックします。

設定画面が表示されます。

- 6** 「PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル」の [変更 ...] をクリックします。



表示されたダイアログで  
「PagePro 9100 Japanese」を選  
択し、[選択] をクリックしま  
す。



### 3 プリンタ ドライバのインストール

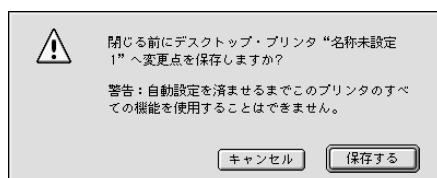
7 「USB プリンタの選択」の「[変更...]」をクリックします。



表示されたダイアログで  
「PagePro 9100」を選択し、  
[OK] をクリックします。



8 [作成...] をクリックします。表示された画面で [保存する] をクリックします。  
設定内容が保存されます。



9 「デスクトップ・プリンタの保存名」にプリンタ名を入力し、  
[保存] をクリックします。  
デスクトッププリンタアイコン  
がデスクトップに表示されま  
す。プリンタ名の初期設定は  
「PagePro 9100」です。



## オプションの設定

- 1** デスクトッププリンタアイコンをダブルクリックします。「プリンタ」メニューから「設定の変更」を選択します。

プリンタの設定画面が表示されます。



- 2** 「変更内容」でプリンタに装着されたオプション名を選択し、「実装済み」を設定します。

- 3** 「インストール可能オプション」に表示された設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

[変更] をクリックすると、プリンタ記述 (PPD) ファイルの変更を行うことができます。

[自動設定] をクリックすると、プリンタに接続され、プリンタのオプション状態を確認して自動で設定が行われます。

#### プリンタ名の変更

Macintosh のセレクタで取得できる本プリンタのプリンタ名を変更することができます。同一ネットワーク上に本プリンタが 1 台以上接続されている場合、プリンタ名を変更することによりプリンタの識別が容易になります。セレクタで取得される本プリンタのプリンタ名は、プリンタの電源をオンにして起動後にプリントされる「スタートアップページ」のプリンタ情報の欄で「プリンタ名」として記述されています。

- 1** 下記の内容のテキストファイルを作成し、ファイル名「setname.ps」でデスクトップ上に保存します。

```
%!  
%%IncludeFeature: emulation (postscript)  
%%EndComments  
serverdict begin 0 exitserver  
statusdict begin  
(pp9100) setprintername  
end
```



カッコ内の pp9100 が変更するプリンタ名になります。使用できる文字は、英数字／英語大文字／英語小文字で、記号の「@」と「:」は使用できません。また文字数は 31 文字以内です。

- 2** デスクトップ上に保存したファイルを、デスクトップ上に表示されている本プリンタのプリンタアイコンにドロップ＆ドラッグします。これでファイルが本プリンタに転送されます。
- 3** プリンタを再起動し、「スタートアップページ」で変更を確認します。

## Mac OS X をご使用の場合

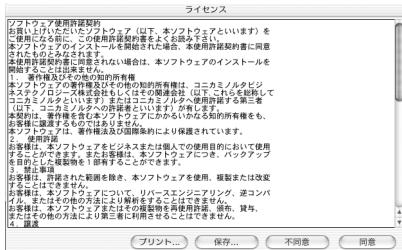
プリンタドライバのインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

### プリンタのPPDとユーティリティのインストール

- 「Software Utilities」CD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。Installアイコンをダブルクリックします。

インストーラーが起動し、ライセンス画面が表示されます。

- ライセンス画面で内容を確認し、[同意]をクリックします。



- 右図の画面が表示されたら、[ソフトウェアのインストール]をクリックします。



- 「簡易インストール」が選択されている状態で、[インストール]をクリックします。

インストールが開始されます。



「インストールの場所」では、インストール先のハードディスクとフォルダの選択ができます。

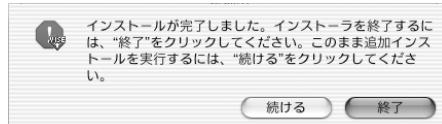


### 3 プリンタ ドライバのインストール

 「カスタムインストール」を選択すると「PPDs」「Fonts」のチェックボックスが表示され、PPDsのみ（または Fontsのみ）をインストールすることができます。



- 5** [終了] をクリックします。  
インストールが完了します。



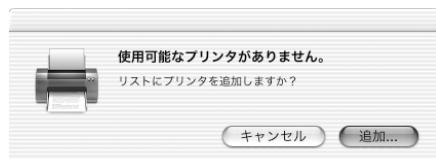
### ネットワーク接続の場合

#### プリントセンターの設定

- 1 ネットワークケーブルでプリンタの LAN ポートに接続します。
- 2 プリンタの電源を入れます。
- 3 [アプリケーション] → [ユーティリティ] → [プリントセンター] をダブルクリックします。  
プリントリスト画面が表示されます。



- 4** [追加] をクリックします。



- 5** ポップアップメニューを「Apple Talk」、「ローカル Apple Talk ゾーン」に設定し、表示されたリストから「PagePro9100」を選択します。

ゾーンを設定している場合は、「Apple Talk」、「Apple Talk ネットワーク」に設定し、ゾーンを指定してから「PagePro9100」を選択します。

- 6** [追加] をクリックします。



プリンタリストに新しいプリンタが表示されます。



## オプションの設定

- 1** [アプリケーション] → [ユーティリティ] → [プリントセンター] をダブルクリックします。  
プリンタリスト画面が表示されます。

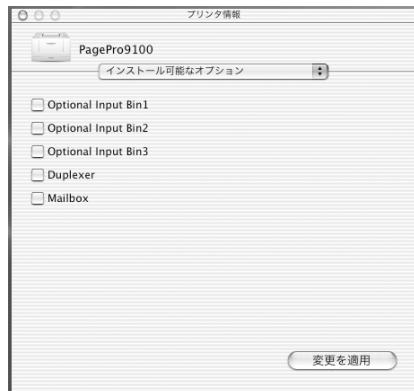


### 3 プリンタ ドライバのインストール

- 2 プリンタリストから「PagePro 9100」を選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。



- 3 ポップアップメニューから「インストール可能なオプション」を選択します。



- 4 装着の状況に合わせてオプション名をチェックし、[変更を適用] をクリックします。

## プリンタ名の変更

Macintosh のセレクタで取得できる本プリンタのプリンタ名を変更することができます。同一ネットワーク上に本プリンタが 1 台以上接続されている場合、プリンタ名を変更することによりプリンタの識別が容易になります。セレクタで取得される本プリンタのプリンタ名は、プリンタの電源をオンにして起動後にプリントされる「スタートアップページ」のプリンタ情報の欄で「プリンタ名」として記述されています。

- 1** 下記の内容のテキストファイルを作成し、ファイル名「setname.ps」でデスクトップ上に保存します。

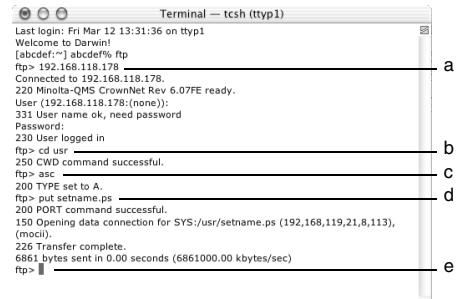
```
%!  
%%IncludeFeature: emulation (postscript)  
%%EndComments  
serverdict begin 0 exitserver  
statusdict begin  
(pp9100) setprintername  
end
```

 カッコ内の pp9100 が変更するプリンタ名になります。使用できる文字は、英数字／英語大文字／英語小文字で、記号の「@」と「:」は使用できません。また文字数は 31 文字以内です。

- 2** 保存されたファイルを FTP で本プリンタに転送します。[アプロケーション] → [ユーティリティ] → [ターミナル] をダブルクリックします。

Terminal -tcsh 画面が表示されます。

以下の手順にしたがって設定します。



- a **ftp** と本プリンタの IP アドレスを入力します。接続されたら、User と Password を入力します。オプションのセキュリティキーで本プリンタにパスワードを設定していなければ、キーボードで【Enter】を入力してください。
- b 「cd usr」と入力し、カレントディレクトリをオーバーレイの背景ファイルを保存するディレクトリ「usr」に変更します。
- c 「asc」と入力します。
- d 手順 1 で作成したプリンタ名情報は ASCII ファイルです。したがって、転送モードは ASCII でなければなりません。
- e 「put ファイル名」を入力すると、ファイルが本プリンタに転送されます。

### 3 プリンタ ドライバのインストール

---

e 転送が完了したら、「bye」と入力し FTP を終了してください。

**3** プリンタを再起動し、スタートアップページで変更を確認します。

## UNIX

UNIXでのインストールについては、コニカミノルタのWebサイトダウンロードのページ <http://konicaminolta.jp/business/download/printers/index.html> より PagePro 9100（コニカミノルタシリーズ）を選択し、■ UNIXホストソフトウェアの「手順書.txt」を参照してください。

# 4

---

## プリンタ ドライバの 使いかた

---

## 4 プリンタ ドライバの使いかた

この章では、プリンタドライバの機能と使いかたを説明しています。

本プリンタをコンピュータに接続する方法や、プリンタドライバのインストール方法については、「コンピュータとの接続」(p. 2-22) および「プリンタ ドライバのインストール」(p. 3-1) を参照してください。



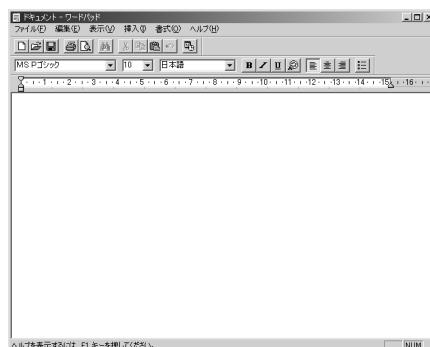
本プリンタドライバは、PostScript3 をサポートしています。

## 印刷の手順

ここでは、Windows 2000において、アプリケーションの一つであるワードパッドを用いた基本的な印刷手順について解説します。

印刷の細かな手順は、お使いのアプリケーションにより違いがある場合がありますので、詳細はご使用のアプリケーションのマニュアルをご参照ください。

### 1 ワードパッドを起動させます。



### 2 「ファイル」メニューから「ページ設定」を選択します。

このダイアログでは、用紙サイズ、給紙カセット、用紙方向や上下左右の余白の設定が可能です。用紙サイズと余白は「用紙の取り扱い」(p. 6-1) を参照してください。「ページ設定」での設定が終了したら [OK] をクリックします。



- 3** データの入力が完了したら、「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。

このダイアログでは、印刷対象、プリンタ（プリンタ名）、印刷範囲、印刷部数を設定します。



- 4** 印刷設定が終了したら、[OK] をクリックします。

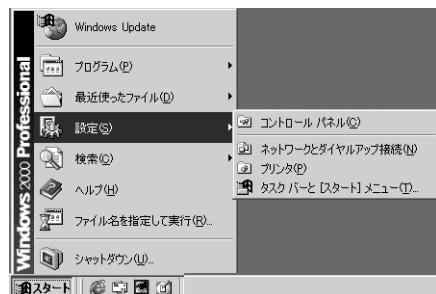
印刷処理が開始されます。本プリンタの詳細な設定を行うには、「プリンタ名」右の「[プロパティ]」をクリックし、プロパティダイアログで行います。プロパティの詳細については、「プリンタドライバの設定（Windows）」(p. 4-5) を参照してください。

## 4 プリンタ ドライバの使いかた

### 印刷の中止

ここでは、Windows 2000 での印刷を中止する手順について解説します。

- [スタート] メニューの [設定] から [プリンタ] を選択します。



- 2 プリンタウィンドウの「PagePro 9100」アイコンをダブルクリックします。



- 3 印刷を中止したい印刷データを選択した後、メニューバーの中の「ドキュメント」メニューから「キャンセル」を選択します。



## プリンタ ドライバの設定（Windows）

印刷設定に関する詳細な設定は、プリンタ ドライバの各種設定を変更することにより可能です。印刷設定画面（プロパティ）を選択する方法は2種類あります。

- アプリケーションの「印刷」項目内の印刷設定（プロパティ）の変更現在、編集・使用している文書に対してのみ変更内容を有効です。
- プリンタ ウィンドウ内での印刷設定（プロパティ）の変更お使いのコンピュータから本プリンタで印刷する場合に頻繁に使用する設定を、あらかじめ初期値として指定しておくことができます。  
例えは：
  - 通常使用する用紙サイズ・用紙種類を設定する
  - 通常使用する給紙方法・排紙方法を設定する

### プリンタ ドライバ設定画面を表示する

以下の手順で PagePro 9100 プリンタの設定画面を開きます。

- Windows XP  
[スタート] メニューから「[プリンタと FAX]」を選択し、プリンタ ウィンドウを表示させます。  
「PagePro 9100」を選択し、「[ファイル]」メニューから「[印刷設定]」をクリックします。
- Windows 2000  
[スタート] → [設定] → [プリンタ] を選択し、プリンタ ウィンドウを表示させます。  
「PagePro 9100」を選択し、「[ファイル]」メニューから「[印刷設定]」をクリックします。  
「[全般]」タブで「[印刷設定]」をクリックします。
- Windows Me/98/95  
[スタート] → [設定] → [プリンタ] を選択し、プリンタ ウィンドウを表示させます。  
「PagePro 9100」を選択し、「[ファイル]」メニューから「[プロパティ]」をクリックします。  
「[詳細]」タブで「[プリンタの設定]」をクリックします。
- Windows NT 4.0  
[スタート] → [設定] → [プリンタ] を選択し、プリンタ ウィンドウを表示させます。  
「PagePro 9100」を選択し、「[ファイル]」メニューから「[ドキュメントの既定値]」をクリックします。

### 「レイアウト」タブ

「レイアウト」タブでは、印刷のレイアウトに関する設定を行います。



#### 印刷の向き

印刷方向を選択します。

- 縦  
テキストやイメージは、用紙を縦長にして印刷されます。
- 横  
テキストやイメージは、用紙を横長にして印刷されます。
- 横置きに回転  
テキストやイメージは、用紙を横長で 270° 回転して印刷されます。

## 両面印刷

用紙の両面に印刷します。



プリンタに両面プリントユニットが装着されており、プリンタドライバの「設定」タブで「実装済みオプション」に「両面プリントユニット」が追加されている場合に有効です。

■ なし

用紙の片面に印刷されます。

■ 長辺を綴じる

用紙の両面に印刷されます。

例) 用紙の向きが「縦」の場合は、ブック形式で印刷されます。

■ 短辺を綴じる

用紙の両面に印刷されます。

例) 用紙の向きが「縦」の場合は、カレンダー形式で印刷されます。

## 詳細設定ダイアログ

「レイアウト」タブまたは「用紙／品質」タブの【詳細設定】をクリックすると表示されます。



### 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを指定します。以下の用紙サイズ・封筒サイズが使用できます。

用紙	封筒
Letter	封筒 長形 3 号
Legal	封筒 長形 4 号
Executive	
A3	297 × 420 mm
A4	210 × 297 mm
A5	148 × 210 mm
B5 (JIS)	182 × 257 mm
B4	257 × 364 mm
官製ハガキ	100 × 148 mm

\* この製品では、カスタム用紙サイズはサポートしていません。  
上記以外の用紙サイズにプリントする場合は、保証対象外となります。



上段トレイ、オプショントレイが指定されているときは、A3、A4、B4、Letter、Legal、B5 (JIS) サイズのみ有効です。  
手差しトレイが指定されているときは、A3、A4、A5、B4、B5 (JIS)、官製ハガキ、封筒、Letter、Legal、Executive となります。

**■ 部数**

「部数」では、印刷する部数を指定します。

この設定をすると、各ページが指定枚数ずつ印刷されます。1部～999部まで指定できます。

**■ 拡大縮小**

「拡大／縮小」では、テキストやイメージのサイズを調整します。

タイプして直接入力したり、ボックス右にある上下矢印ボタンを使って値を変更したりする方法があります。拡大・縮小値は、25%～400%まで指定できます。

**■ True Type フォント**

Windows の標準フォントである TrueType フォントをポストスクリプトプリンタである本プリンタでどのように扱うかを設定します。

「デバイスフォントと代替」

置換テーブルを使用して、TrueType フォントをプリンタフォント（ポストスクリプトフォント）に置き換えます。

「ソフトフォントとしてダウンロード」

フォントを TrueType としてダウンロードします。

**■ 印刷ジョブを部単位で印刷**

部単位で印刷（仕分け）を行う場合に指定します。

「有効」を指定すると、印刷書類はページ順に一枚ずつ排紙されます。例えば、ある書類を 5 部印刷する場合は、最初のページから最後のページまでの印刷を 5 回繰り返します。

「無効」を指定すると、1 ページにつき、指定した部数が一度に印刷されます。例えば、ある書類を 5 部印刷する場合は、1 ページ目が 5 部印刷された後、2 ページ目の印刷が 5 部…といった順番になります。

## 排紙方法

用紙を排出するトレイを指定します。

**■ 上段トレイ****■ メール bin 1／2／3／4**

オプションの 4 メールボックススタッカ装着時に、排出するトレイを選択します。

### ページレイアウト（倍率）オプション

複数ページを 1 枚の用紙に割り付けて印刷する機能です。

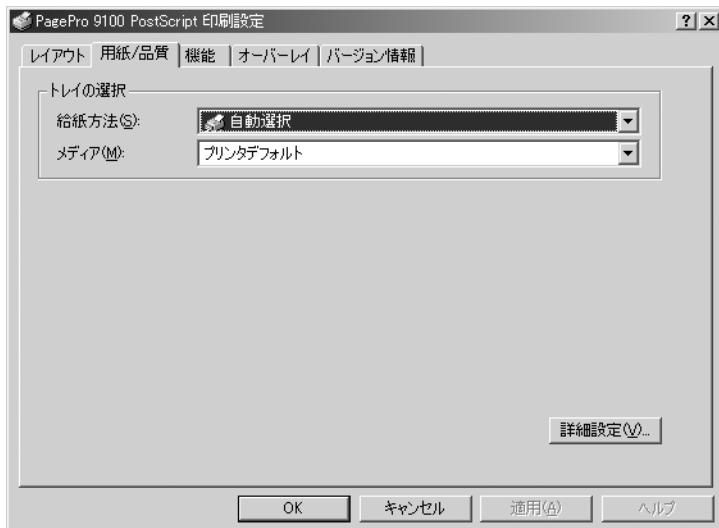
以下の設定から選択します。

- 1 : 1 枚に 1 ページ割り付け
- 2 : 1 枚に 2 ページ割り付け
- 4 : 1 枚に 4 ページ割り付け
- 9 : 1 枚に 9 ページ割り付け
- 16 : 1 枚に 16 ページ割り付け
- 小冊子 \* : 1 枚に 2 ページを両面割り付けします。  
折りたたむと小冊子のように製本できます。

\* 小冊子機能は、両面プリントユニット装着時に設定することができます。

## 「用紙／品質」タブ

「用紙／品質」タブでは使用する用紙トレイ／カセットを指定します。



### 給紙方法

#### ■ 自動選択

すべての給紙可能トレイの中から、自動的に用紙サイズに即したトレイ／カセットが選択されて給紙されます。

#### ■ 手差しフィーダー

手差しトレイから給紙します。

#### ■ 上段トレイ

標準給紙カセットから給紙します。

#### ■ オプショントレイ 1／2／3

オプション給紙カセットから給紙します。装着されている給紙カセットの数によって、上からトレイ 1、2、3となります。



「使用できる用紙サイズ」(p. 6-3) を参照してください。

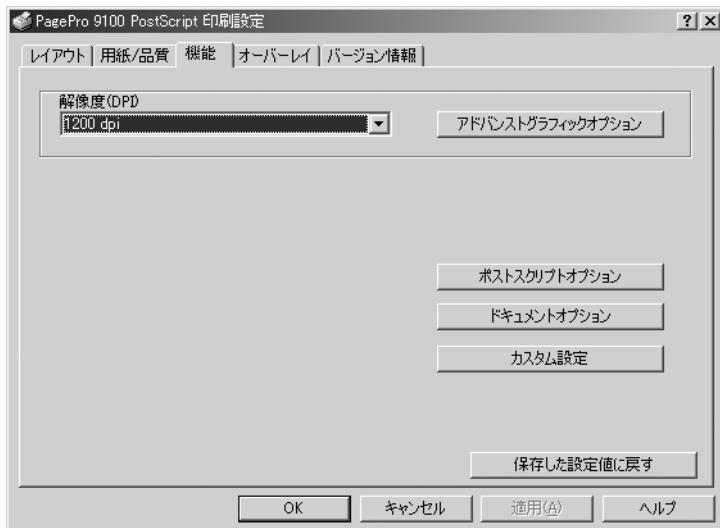
### メディア

印刷したい用紙の種類をこのボックスで指定します。

「普通紙」、「OHP フィルム」、「厚紙」が選択できます。

### 「機能」タブ

プリンタ本体の機能を変更する場合に設定します。

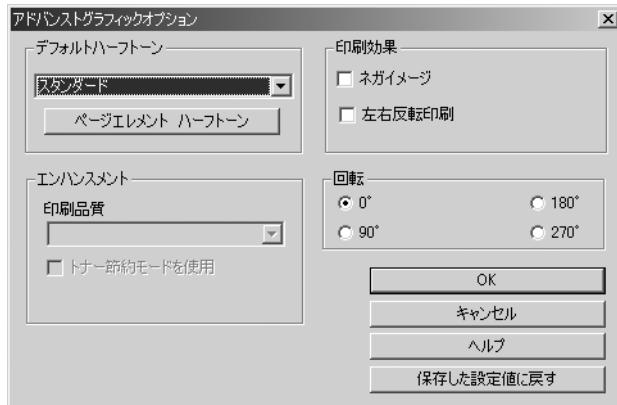


#### 解像度

印刷イメージの解像度を dots per inch (dpi) で設定します。

「600 dpi」、「1200 dpi」の 2 種類から選択できます。

## アドバンスドグラフィックスオプション



### ■ デフォルトハーフトーン

「詳細」、「ベーシック」、「標準」の3種類から選択します。ハーフトーン（中間色）の色の再現アルゴリズムの違いにより、色の再現性に変化をもたらします。

詳細 : アドバンスド

ベーシック : QMS ハーフトーン

標準 : スタンダード

【ページレメント ハーフトーン】をクリックし、「イメージ」、「テキスト」、「グラフィックス」の各種データごとに、色再現アルゴリズムに適応することもできます。

### ■ エンハンスマント

トナーの分量を増量することにより、画像をはっきりさせる「ファインモード」と通常印刷の「ノーマルモード」を選択することができます。

「印刷品質」は使用できません。

「トナー節約モードを使用」をチェックすると、トナーを節約して印刷することができます。ただし、文字や画像は薄く印刷されます。印刷品質を重視する場合は、チェックをはずしてください。

また、「トナー節約モードを使用」は解像度を 600 dpi に設定したときだけ使用できます。

### ■ 印刷効果

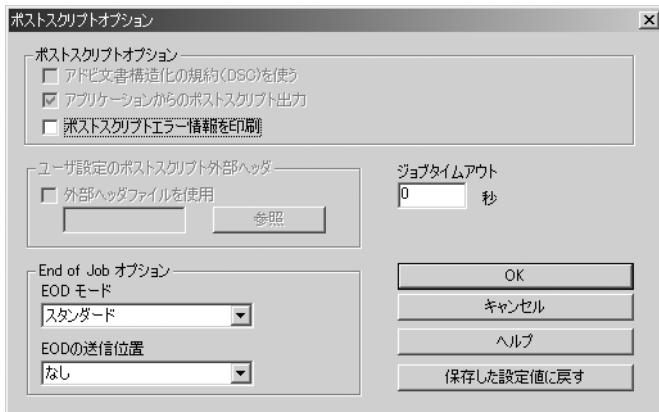
印刷するデータの左右反転と、データのネガ（データの白黒値反転）印刷を行う場合に指定します。

### ■ 回転

用紙に対してデータを回転させて印刷する場合に指定します。

「0°」、「90°」、「180°」、「270°」の4種類から選択できます。

### ポストスクリプトオプション



#### ■ ポストスクリプトオプション

「ポストスクリプトエラー情報を印刷」を選択すると本プリンタがポストスクリプトデータの処理を行っている最中に予期しないエラーが発生したとき、そのエラー情報が印刷されます。

#### ■ ユーザ設定のポストスクリプト外部ヘッダ

印刷ジョブの1ページ目の前に挿入される区切りページで、特別に作成された外部ヘッダファイルを指定します。



Windows 2000/XP では、この機能を設定できません。

#### ■ End of Job オプション

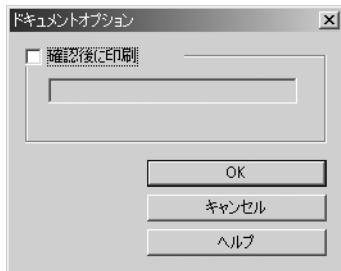
ドライバのヘルプをご参照ください。

#### ■ ジョブタイムアウト

プリンタでのジョブ処理のタイムアウトを秒単位で設定できます。

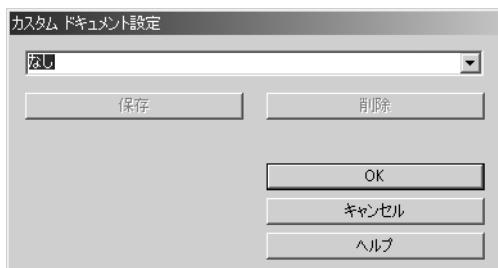
設定範囲は 0 ~ 3000 で、「0」はタイムアウトなしです。

## ドキュメントオプション



- 確認後に印刷  
複数の部数印刷を行うとき、はじめの1部で印刷結果の確認を行いたい場合などに使用します。

## カスタムドキュメント設定



現在の設定を保存します。別の機会に同じ設定で印刷したい場合などに呼び出すことができ便利です。

- 保存方法  
あらかじめ各種設定（用紙サイズ、部数、解像度など）を指定しておきます。  
カスタムドキュメント設定ダイアログを表示させ、設定名を入力し、[保存] をクリックします。  
保存使用した設定名と同じ名前の設定が既に登録されている場合、既存の設定は新しい設定に上書きされます。
- 削除方法  
ドロップダウンリストで削除したい設定名を選択し、[削除] をクリックします。  
削除の取り消しはできませんので、注意してください。

### 「オーバーレイ」タブ

オーバーレイとウォーターマークの設定ができます。



### オーバーレイ

オーバーレイを使用するには、オーバーレイ用に作成した背景データをプリンタに転送しておく必要があります。データの転送には、ダウンロードマネージャまたはFTP接続を用いて行います。

オーバーレイ用の背景データをプリンタに転送して準備が整ったら、オーバーレイ印刷を行うページを「全ページ」、「開始ページ」、「偶数ページ」、「奇数ページ」、「コンプレックス」の中から選択します。

選択した項目の下に、背景となるデータのファイル名を入力します。

利用可能なディスク装備は、標準では「SYS」のみとなります。

「コンプレックス」を選択した場合、「開始ページ」（何ページ目から印刷）と「サイクル」（何ページごとに印刷）を1～99の範囲で指定します。



オーバーレイの背景データの作成と転送については、「オーバーレイの背景データの作成と転送」(p. 4-19) を参照してください。

## ウォーターマーク

ウォーターマークは、印刷する文書の背景に決まった固定文字を印刷したい場合に使用します。(例えば、「部外秘」「校正」「コピー」など。)

ドロップダウンリストから使用したいウォーターマークを選択します。



ウォーターマークの初期設定は「オリジナル」「コピー」「原稿」「校正」「最終」「部外秘」の6種類です。

ウォーターマークを選択すると「最初のページのみ」のチェックボックスが表示されます。

- 「最初のページのみ」をチェックすると、最初のページにのみウォーターマークが印刷されます。
- このチェックボックスをチェックしていないときは、全てのページにウォーターマークが印刷されます。

「編集」、「追加」で既存のウォーターマークを編集したり、新しいウォーターマークを追加したりできます。

「削除」で不要なウォーターマークの設定を削除します。

### ■ ダウンロードマネージャー

ダウンロードマネージャー アプリケーションを開きます。

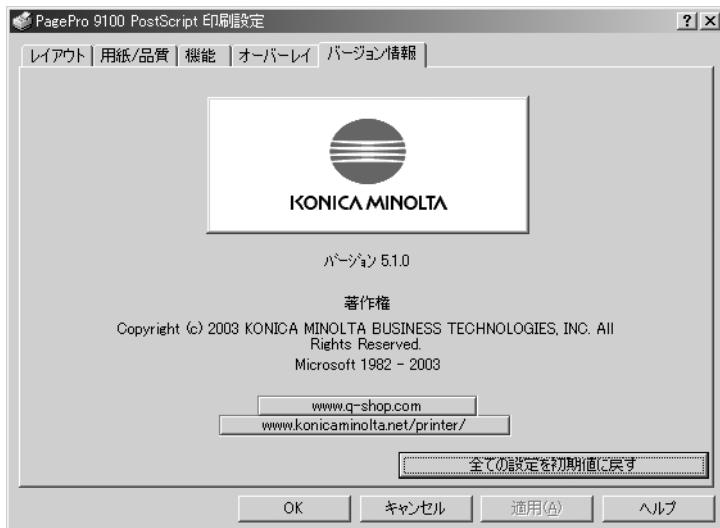
ダウンロードマネージャーを使用すると、ワークステーションからプリンタのハードディスクにカラー プロファイル、オーバーレイ、フォントをダウンロードすることができます。



ダウンロードマネージャーを使用するには、「Software Utilities」CD-ROM から Down Load Manager ユーティリティをインストールする必要があります。

### 「バージョン情報」タブ

プリンタ ドライバのバージョン情報などを確認することができます。



### 全ての設定を初期値に戻す

以下の項目以外の設定値を、初期値に戻します。

Windows 98/Me

- カスタムドキュメント設定
- 実装済みオプション設定

Windows 2000/XP

- カスタムドキュメント設定
- 実装済みオプション設定
- レイアウトタブ、用紙／品質タブ

Windows NT4.0

- カスタムドキュメント設定
- 実装済みオプション設定
- ページ設定タブ
- 詳細タブ

## オーバーレイの背景データの作成と転送

本プリンタでオーバーレイ機能を使用するには、以下に示す準備が必要です。

- オーバーレイの背景となるデータをアプリケーションで作成し、本プリンタ用のプリンタドライバを使用して「ファイルへ出力」します。
- 作成したファイルを本プリンタに転送します。

ここでは、オーバーレイの背景となるファイルの作成と転送を実例を用いて説明します。

### 1 オーバーレイの背景となるファイルを作成します。

オーバーレイの背景となるデータはアプリケーションで作成します。

次にアプリケーションの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。「印刷」のダイアログで「ファイルへ出力」をチェックし、[OK] をクリックしてハードディスクに保存します。このハードディスクに保存したファイルが、オーバーレイの背景となる印刷ファイルになります。



印刷ファイル作成時には「プリンタ名」に本プリンタが選択されている必要があります。

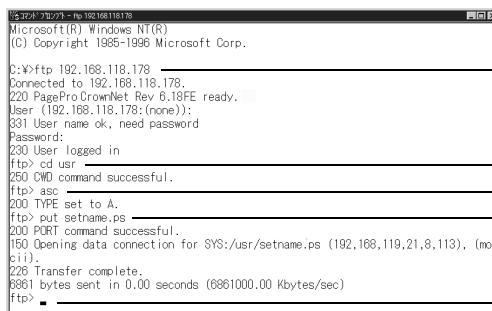


### 2 背景ファイルを転送します。

ファイルをオーバーレイ用として活用するには、ファイルをFTPによって本プリンタに転送する必要があります。

## 4 プリンタ ドライバの使いかた

FTP によって本プリンタに接続するには、Windows の「MS DOS プロンプト」または FTP プロトコルをサポートするユーティリティを使用します。以下に MS DOS プロンプトを用いた具体例を示します。



a  
b  
c  
d  
e

MS DOS プロンプトを起動します。起動しましたら、オーバーレイの背景ファイルが保存されているディレクトリにカレントディレクトリを変更します。

- a** `ftp` と本プリンタの IP アドレスを入力します。接続されましたら、`User` と `Password` を入力します。オプションのセキュリティキーで本プリンタにパスワードを設定していなければ、キーボードで `【Enter】` を入力してください。
- b** 「`cd usr`」と入力し、カレントディレクトリをオーバーレイの背景ファイルを保存するディレクトリ「`usr`」に変更します。
- c** 「`asc`」と入力します。

 手順 1 で作成した背景ファイル（ポストスクリプトファイル）は ASCII ファイルです。したがって、転送モードは ASCII でなければなりません。

- d** 「`put` ファイル名」を入力すると、ファイルが本プリンタに転送されます。
- e** 転送が完了しましたら、「`bye`」と入力し FTP を終了してください。

## 印刷設定 (Macintosh)

アプリケーションの「ファイル」メニューから「プリント」または「印刷」を選択するとプリントができます。ここではプリント時に設定する2項目に関して説明しています。またアプリケーションによりプリントのダイアログに相違があります。詳細はそれぞれのアプリケーションのマニュアルをご参照ください。

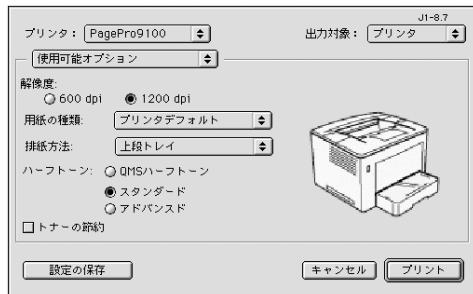
### 一般設定

一般設定では、「部数」、「ページ」、「給紙元」などが設定できます。給紙元の初期値は「自動選択」でアプリケーションの「用紙設定」で設定した用紙サイズがセットされているプリンタの給紙トレイを自動的に選択してプリントします。



### 使用可能オプション

使用可能オプションでは、「解像度」、「メディアタイプ」、「ハーフトーン」などが選択できます。



## 4 プリンタ ドライバの使いかた

---

### メディアタイプで選択できる項目：

普通紙、厚紙とOHPフィルムで、プリンタの初期値は「自動選択」。自動選択では普通紙とOHPフィルムの識別ができます。ラベル紙は「厚紙」を選択してください。

---

**5**

---

CrownView  
プリント  
Web ページ

---

## CrownView

CrownView はプリンタ内蔵の Web ページです。Netscape Navigator や Microsoft Internet Explorer などの Web ブラウザで、プリンタの設定の変更や確認などができます。

### プリンタ Web ページへのアクセス

Web ブラウザを起動します。URL の入力ボックスに「<http://>」に続けてアクセスするプリンタの IP アドレスか、設定されているプリンタのホスト名を入力します。

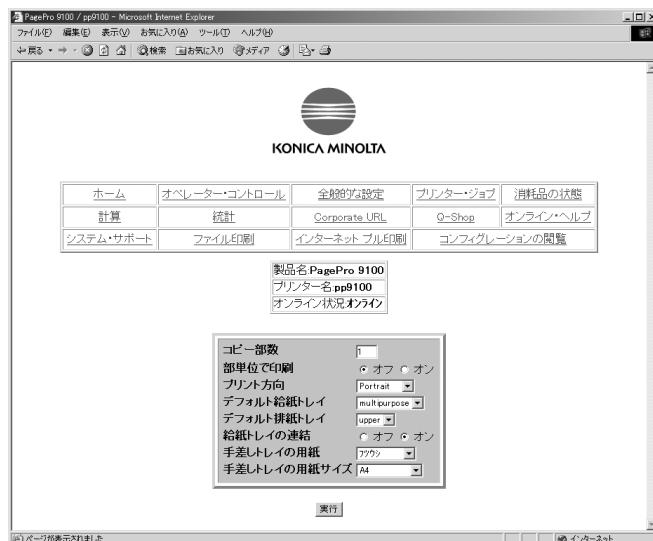
例)

- IP アドレスが「192.168.118.178」であれば入力は <http://192.168.118.178/> となります。
- またホスト名が「q178」であれば <http://q178> となります。



## オペレータ・コントロール

オペレータ・コントロールでは、メニュー操作のオペレータ コントールで設定できるコピー部数などの項目の設定変更ができます。ユーザ名とパスワードの入力が必要となります。ユーザ名は「operator」、パスワードはオプションのセキュリティキーでパスワードが設定されていなければ入力する必要はありません。



## 全般的な設定

全般的な設定では、下記の項目での設定内容が確認できます。

1. プリンタ設定
2. 通信設定＆入力バッファサイズ
3. 給紙カセット
4. オプション
5. 現在のメモリ設定
6. ハードディスク状況
7. タイムアウト

The screenshot shows the Konica Minolta PagePro 9100 printer's web interface. At the top, there is a navigation bar with links for 'File', 'Edit', 'View', 'Search', and 'Help'. Below the navigation bar is the Konica Minolta logo. A horizontal menu bar contains links for 'Home', 'Printer Control', 'General Settings', 'Printer Job', 'Consumable Status', 'Print Counter', 'Statistics', 'Corporate URL', 'Q-Shop', 'Online Help', 'System Support', 'File Print', 'Internet Full Print', and 'Configuration Overview'. A central information box displays the product name 'PagePro 9100', printer ID 'pp9100', and online status 'Online'. Below this are tabs for 'Printer Settings', 'Communication & Input Buffer Size', 'Paper Tray Setting', 'Options', 'Current Memory Settings', 'Hard Disk Status', and 'Time Out'. A detailed 'Printer ID' section provides specific printer statistics: 'Page Count: 3010041, Revision: 35', 'Release: 3.04', 'Processor: 8031', 'Memory: 64MB', 'Print Job Count: 5742', 'Print Job Error Count: 5853', 'A3 Sheet Print: 590', 'RAM Usage: 128MB', and 'Font Type: 407'. The bottom right corner of the window has a 'Close' button.

## プリンター・ジョブ

プリンター・ジョブでは、ジョブの処理状況が確認できます。

The screenshot shows the 'Printer Job' section of the PagePro 9100 web interface. At the top, there's a navigation menu with links like 'ホーム', 'オペレーター・コントロール', '全般設定', 'プリンター・ジョブ', and '消耗品の状態'. Below the menu, the KONICA MINOLTA logo is displayed. A table lists four printer jobs:

ジョブ	状況	優先	オーナー	タイトル	インターフェース	シート	ページ
1	プリントスミ	1	不明	無題	ETRAX100-NI	0	0
2	プリントスミ	1	Administrator	pp9100-143.tif	USB	1	1
3	プリントスミ	1	Administrator	pp9100-143.tif	USB	1	1
4	プリントスミ	1	Administrator	pp9100-176.tif	USB	1	1

## 消耗品の状態

消耗品の状態では、消耗品の残量などが確認できます。但し、表示する残量は推測値なので実際の残量とに誤差が発生する場合があります。

The screenshot shows the 'Consumable Status' section of the PagePro 9100 web interface. At the top, there's a navigation menu with links like 'ホーム', 'オペレーター・コントロール', '全般設定', 'プリンター・ジョブ', and '消耗品の状態'. Below the menu, the KONICA MINOLTA logo is displayed. A table lists the consumable status:

ホーム	オペレーター・コントロール	全般設定	プリンター・ジョブ	消耗品の状態
計算	統計	Corporate URL	Q-Shop	オンラインヘルプ
システム・サポート	ファイル印刷	インターネット・フル印刷	コンフィグレーションの閲覧	

Below the table, it says '製品名 PagePro 9100' and 'プリンタ名 pp9100'. It also mentions 'オンライン状況オンライン'.

A message at the bottom states: 'A4用紙/片面プリントでトナー使用率が5%の値です' (The toner usage rate for A4 paper, single-sided printing is 5%). A progress bar indicates the toner level: 'トナーカード残り' (Remaining toner card) and '最大 16000 ブラーン' (Maximum 16000 prints).

## 計算

プリントログの設定がされていれば、プリントログを構成する「ジョブファイル」、「ペーパーファイル」、「ステータスファイル」の内容を項目別に閲覧することができます。ユーザ名とパスワードの入力が必要となります。ユーザ名は「admin」、パスワードはオプションのセキュリティキーでパスワードが設定されていなければ入力する必要はありません。

The top screenshot shows a password input dialog box. The URL is <http://172.16.5.7/account>. The dialog box contains:

- ユーザー名/パスワードを入力してください。
- サイト: 172.16.5.7
- 領域: administration
- ユーザー名: admin
- パスワード:
- このパスワードを保存する? (checkbox)
- OK, Cancel buttons

The bottom screenshot shows the main configuration interface for PagePro 9100. The URL is <http://172.16.5.7/>. The tabs include:

- ホーム, オペレーター・コントロール, 全般的な設定, プリンター・ジョブ, 消耗品の状態
- 計算, 統計, Corporate URL, Q-Shop, オンラインヘルプ
- システム・サポート, ファイル印刷, インターネット・プリント, コンフィグレーションの閲覧

Job Log settings:

- 製品名: PagePro 9100
- プリンタ名: pp9100
- オンライン状況: オンライン
- ジョブ用紙トレイ番号: 1
- 計算ファイル末から複数レコードにこれを表示する: 100
- 出力スタイルを選択する: HTML (selected)
- 表示するフィールドを選択する: date, compile\_code, host, line, time, charge

A note at the bottom says: 「選択された項目に適用するコマンドです。」

- 「計算フィールドの記述」では各フィールドの説明がされています。
- 「計算ファイル末から複数レコードにこれを表示する」では、表示するレコード数を選択できます。
- 「出力スタイルを選択する」では、表示するスタイルを HTML 形式か、Comma Separated Value (カンマ区切り) のどちらかが選択できます。

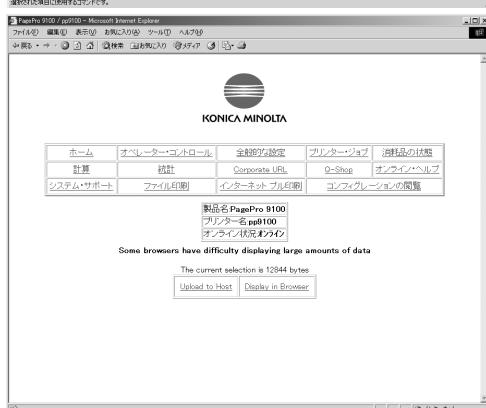
## ジョブファイル

「計算」(p. 5-6)で表示されるジョブファイルではプリントログのジョブファイルの各項目を閲覧できます。表示する項目を選択し、「実行」をクリックします（下図 1）。

表示方式として「Display in Browser（ブラウザで表示）」か「Upload to Host（ホストへアップロード）」のどちらかを選択します（下図 2）。



&lt;図 1 &gt;



&lt;図 2 &gt;

ジョブファイルの項目	概説
Job ID	プリンタを起動してからプリントされた順位
Job Priority	内部的に割り当てられた優先度
Time	プリンタがジョブを受けた時間
Date	プリンタがジョブを受けた日付
Completion Code	ジョブの終了状況 0 ユーザによる失敗 1 プリンタによる失敗 2 エミュレーションによる失敗 3 問題なくプリント

## 5 CrownView プリンタ Web ページ

ジョブファイルの項目	概説
User	ジョブを送ったユーザ名
Host	ジョブを送ったホスト名
Connection	インターフェイス情報
File	ジョブのファイル名
Charge	課金情報
Compile Time	ジョブの処理時間（単位：1/1000 秒）
Print Time	全ページのプリント時間（単位：1/1000 秒）
Header Count	ヘッダページの枚数
Error Count	エラーページの枚数
Body Count	ドキュメントのみのページ数
Simplex Count	片面プリントのページ数
Duplex Count	両面プリントのページ数
Finishing	排紙オプション状況 0 なし 1 ステープル (Staple) 2 オフセットスタック (Offset Stack)
Chunk Count	分割して処理されたジョブの分割数 1 なし
Jam Count	ペーパージャムの回数を記録
Paper Types Count	プリントで使用した用紙の種類（例：1 種類）
Black Count	ブラックのイメージ比率（単位：1/1000%）
Normalized Black Count	標準化されたブラックのイメージ比率
Monochrome Faces Count	ブラックだけでプリントされた枚数
Black Plane Count	ブラックが使用されたプリント枚数（片面）
Index Count	使用した同一種類の用紙の枚数
Index	このジョブに該当する用紙情報（ペーパーファイル）の番号

- Time/Date : 日時を表示するにはオプションの Time-of-Day Clock が必要です。
- User (ユーザ名) : Windows/UNIX では、ログイン時のユーザ名が反映されます。但し、Windows では弊社のプリントモニタが、UNIX では弊社の UNIX Host Software が使用されていなければなりません。  
Macintosh では、共有設定のネットワーク ID で設定される所有者の名前が反映されます。
- Black Count : レター (Letter) 用紙に換算されたイメージ比率（単位：1/1000%）

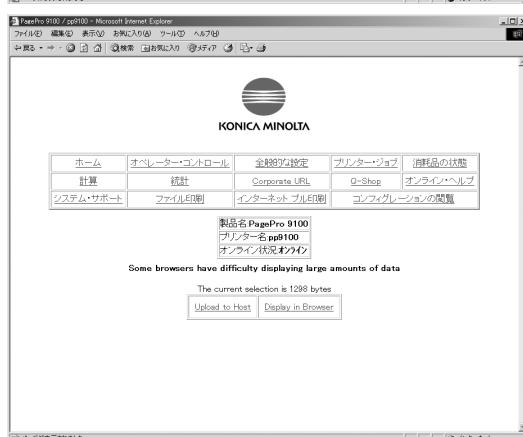
## ペーパーファイル（用紙トレイ番号）

ペーパーファイルではプリントログのペーパーファイル（用紙情報）の各項目を閲覧できます。表示する項目を選択し、「実行」をクリックします（下図 1）。

表示方式として「Display in Browser（ブラウザで表示）」か「Upload to Host（ホストへアップロード）」のどちらかを選択します（下図 2）。



&lt;図 1 &gt;



&lt;図 2 &gt;

ペーパーファイルの項目		概説
Paper Width		用紙の幅（単位：1/1000 インチ）
Paper Height		用紙の縦（単位：1/1000 インチ）
Paper Weight		用紙の坪量（単位：g/m <sup>2</sup> ）
Paper Color		カラー用紙
Paper Type		用紙の種類
Paper Label		用紙の名称

## ステータスファイル（状況）

ステータスファイルではプリントログのステータスファイルの各項目を閲覧できます。表示する項目を選択し、「実行」をクリックします（下図1）。表示方式として「Display in Browser（ブラウザで表示）」か「Upload to Host（ホストへアップロード）」のどちらかを選択します（下図2）。



&lt;図1&gt;



&lt;図2&gt;

ステータスファイルの項目	概説
Version	バージョン情報
Number of Paper Types	ペーパーファイルのレコード数
Job File Size	プリントログのファイルサイズ (単位: バイト)
Last Job File Size	最後のジョブファイルサイズ
Job File Usage	全てのジョブファイルの合計使用サイズ (単位: バイト)
Current Job File Usage	現在のジョブファイルの現時点における使用サイズ (単位: バイト)
Max Number of Job Files	最大ジョブファイル数
Current Job File	現在のジョブファイル
Number of Jobs	ジョブファイルにおけるレコード数
Multifile	プリントログファイル数 1 シングル (Single) 2 マルチプル (Multiple)
Enabled	プリントログ設定 1 有効です (Enabled) 2 設定なし (Disabled)
Job File Full	ジョブファイルの状態 0 ジョブファイルに余裕があります 2 ジョブファイルは一杯になりました
Paper File Full	ペーパーファイルの状態 0 ペーパーファイルに余裕があります 1 ペーパーファイルは一杯になりました
User	ユーザ名の最大文字数
Host	ホスト名の最大文字数
File	ファイル名の最大文字数

プリントログは「ジョブファイル」、「ペーパーファイル」、「ステータスファイル」で構成されます。プリントログの設定は操作パネルのメニュー操作で行います。詳細は付録 C 「メニューの構造」(p. C-1) を参照してください。

- 最大ジョブファイル数 : 1 ファイルの容量は 1 MB (1024 KB) です。メニュー項目の「ディスク容量設定」で、例えば 5.5 MB に設定したとすれば、最大ジョブファイル数は 6 となります。
- 最後のファイルサイズ : 上記の例では、6 番目のジョブファイルのサイズ。

## 統計

消耗品の残量やプリント枚数などが閲覧できます。

The screenshot shows a Microsoft Internet Explorer window for the Konica Minolta PagePro 9100 printer. The title bar reads "PagePro 9100 - Microsoft Internet Explorer". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "お問い合わせ", "ツール(T)", and "ヘルプ(H)". Below the menu is a toolbar with icons for back, forward, search, and help.

The main content area features the Konica Minolta logo at the top. Below it is a navigation menu with links: ホーム (Home), オペレーター・コントロール (Operator Control), 全般設定 (General Settings), プリンター・ジョブ (Printer Job), 消耗品の状態 (Consumable Status) (highlighted), 計算 (Calculation), 統計 (Statistics) (highlighted), Corporate URL, Q-Shop, オンライン・ヘルプ (Online Help), システム・サポート (System Support), ファイル印刷 (File Print), インターネット・プリンタ (Internet Printer), and コンフィグレーションの閲覧 (Configuration View).

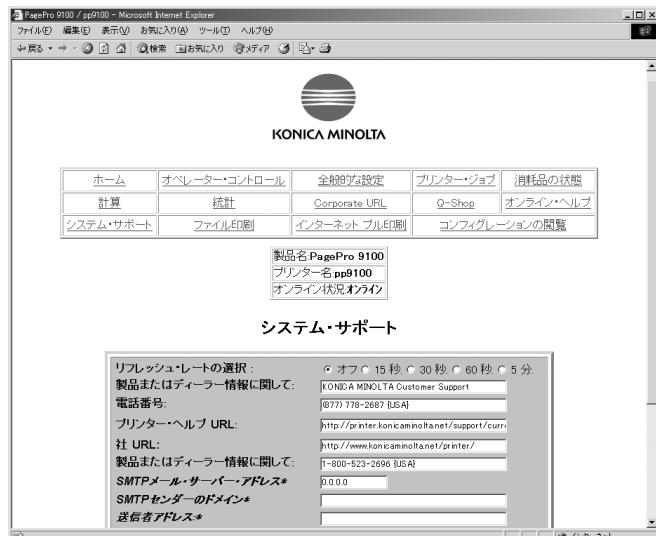
A sub-menu box displays the printer's name: "製品名 PagePro 9100", "プリンター名 pp9100", and "オンライン状況オンライン".

The central part of the screen is titled "統計" (Statistics). It shows a table with the following data:

シリアル番号: 0	最大値	% (残り)	残量カウント		
消耗品	トナー カートリッジ	15000	77%	11625	
			周期		
			ある	ユーパ	サービス
シート	用紙(全サイズ)	5742	5742	5742	
	用紙	5742	5742	5742	

## システム・サポート

プリンタの用紙がなくなった時など、ステータスマッセージを電子メールで特定のメールアドレスに送信できるように設定することができます。

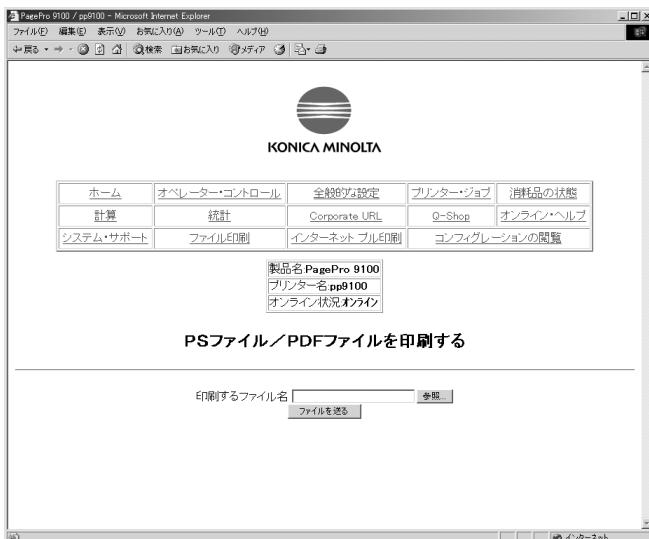


- SMTP メールサーバーアドレス : メールサーバの IP アドレスを入力します
  - SMTP センダーのドメイン : メールサーバのドメイン名を入力します
  - 送信先アドレス : 送信元のメールアドレスを入力します  
(プリンタ名などをメールアドレスとすれば、メールを受け取った時に識別しやすくなります。)
  - 宛先 : 宛先となるメールアドレスを入力します
  - CC : CC のメールアドレスを入力します  
(CC の入力は必須ではありません)
  - サブジェクト : サブジェクトとなる文章を入力します
- 「リフレッシュレート」の選択と、「エラー発生から E メール送信までの時間」を選択してから「実行」をクリックします。

### ファイル印刷

PS( ポストスクリプト ) ファイルと PDF(Portable Document Format) ファイルを直接プリントすることができます。プリントするファイルを選択し、[ ファイルを送る ] をクリックします。

直接プリントできる PDF ファイルのバージョンは 1.3 までです。



# インターネット プル印刷

ファイアーオール (FireWall) を経由した IPP 接続で、インターネットに接続された外部の PC からプロキシサーバーが管理するプリンタに IPP 接続する場合には、接続先を目的となるプリンタの存在するプロキシサーバーに設定します。



このプロキシサーバーには本プリンタに対して任意のポートを設定する必要があります。プロキシサーバーと本プリンタとのデータの送受をデフォルトポート以外で行うには、上図で「DNS/ プロキシー設定」をクリックすると表示される下図の画面で、「DNS サーバー IP アドレス」、「プロキシサーバー」と「プロキシサーバーポート」を入力します。入力が完了しましたら「オプションを保存する」をクリックします。

## コンフィグレーションの閲覧

メニュー操作で設定変更できるプリンタの設定項目と設定値を閲覧できます。



# 6

---

用紙の取り扱い

---

### はじめに

この章では、用紙の取り扱い方、使用できる用紙、用紙のセットのしかた、用紙の保管方法について説明しています。

「用紙のサイズ・種類」	p. 6-3
「印刷可能領域」	p. 6-14
「用紙のセット」	p. 6-16
「両面印刷」	p. 6-27
「用紙の保管方法」	p. 6-28

- 用紙は印刷面を上にしてセットしてください。  
A3、B4 それより大きいサイズの用紙は短辺を給紙口側に、A4、B5、Letter それより小さいサイズの用紙は長辺を給紙口側にしてセットしてください。
- すべての用紙種類で、用紙の端から 4 mm を除く領域が印刷可能領域になります。
- 印刷するデータのページフォーマットや印刷設定については、各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 自動両面印刷は、坪量 105 g/m<sup>2</sup> 以下の上質紙または坪量 60 ~ 90 g/m<sup>2</sup> の普通紙に対応しています。  
「使用できる用紙サイズ」(p. 6-3) を参照してください。



#### ご注意

---

KONICA MINOLTA 推奨の用紙をお使いください。インクジェットプリンタ用など、サポートしていない用紙を使用すると、プリンタが故障するおそれがあります。また、その場合は保証の対象外となります。

---

## 使用できる用紙サイズ

用紙	用紙サイズ (mm)	給紙 方向 *	給紙		排紙 トレイ	自動両面 印刷
			標準 カセット	手差し トレイ		
A3	297.0 × 420.0	短辺	○	○	すべて	○
A4 普通紙	210.0 × 297.0	長辺	○	○	すべて	○
A4 OHP フィルム	210.0 × 297.0	長辺	×	○	*1	×
A5	148.0 × 210.0	長辺	×	○	*1	○
B4	257.0 × 364.0	短辺	○	○	すべて	○
B5 (JIS)	182.0 × 257.0	長辺	○	○	すべて	○
Executive	184.0 × 267.0	長辺	×	○	すべて	○
官製はがき	100.0 × 148.0	短辺	×	○	*1	×
ラベル紙 (A4 または Letter)	210.0 × 297.0 215.9 × 279.4	長辺	×	○	*1	×
Legal	215.9 × 355.6	短辺	○	○	すべて	○
Letter	215.9 × 279.4	長辺	○	○	すべて	○
Letter OHP フィルム	215.9 × 279.4	長辺	×	○	*1	×
封筒長形 3 号	120.0 × 235.0	短辺	×	○	*1	×
封筒長形 4 号	90.0 × 205.0	短辺	×	○	*1	×

\*1 : 4 トレイメールボックススタッカのトレイ不可。

\* 厚紙 (91 ~ 163 g/m<sup>2</sup>) は、自動両面印刷と 4 トレイメールボックススタッカを使用した仕分け印刷には対応していません。

## セットできる用紙の枚数

給紙カセット／給紙トレイ 用紙の種類		550 枚標準 給紙カセッ ト <sup>1</sup>	250 枚手差 しトレイ	オプションの給 紙カセット <sup>1</sup> (オ プション 1、オプシ ョン 2、オプション 3)
普通紙	坪量 : 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> <sup>2</sup>	550 <sup>3</sup>	250 <sup>3</sup>	550 <sup>3</sup>
再生紙	坪量 : 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup>	550 <sup>3</sup>	250 <sup>3</sup>	550 <sup>3</sup>
特殊紙	OHP フィルム	非対応	20 <sup>4</sup>	非対応
	ラベル紙			
	封筒			
	厚紙 坪量 : 91 ~ 163 g/m <sup>2</sup>			
	はがき			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 使用される環境により印刷品質に差異が生じる場合があります。事前にチェックしてからお使いになることをお薦めします。</li> <li>*1 これらのトレイの名前を変更することができます。詳しくは、「CrownBook」(「Software Utilities」CD-ROM 内の PDF) を参照してください。</li> <li>*2 両面印刷は、上質紙、普通紙のみ可能です。</li> <li>*3 最大坪量は、64 g/m<sup>2</sup> です。</li> <li>*4 最大坪量は、163 g/m<sup>2</sup> です。</li> </ul>			

印刷時に上になる方をプリンタの背面側にして、印刷面が上になるように、用紙をセットします。

用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印が書かれていることがあります。印刷面が分からなくなった場合は、用紙を給紙カセット／給紙トレイから取り出し、紙全体を裏返して給紙カセット／給紙トレイに入れ直してください。



## ご注意

給紙カセット／給紙トレイの内側にある最大補給量マークより上に用紙をセットしないようにしてください。正しく給紙されない場合があります。

## 印刷する前に



### ご注意

KONICA MINOLTA 対応用紙のみ使用してください。

- 配置を確認するために、普通紙に印刷してみてください。
- 用紙は、サイズにより短辺または長辺のいずれかで給紙されます。「使用できる用紙サイズ」(p. 6-3) を参照してください。
- 90 g/m<sup>2</sup>以上 の厚い用紙で十分使用できるかテストして確認してみてください。
- メディアモードの「ネットワーク モード」または「シングルユーザーモード」を選択して、用紙の種類の扱い方を指定します。
- 用紙の種類を選択します。

## プリンタドライバで用紙の種類を設定するには

### 2つのメディアモードの違い

「ネットワーク モード」は、ネットワーク上での印刷に使用し、用紙変更の設定が行われてもプリントジョブは中止されません。ドライバから要求された用紙種類が給紙カセット／給紙トレイにセットされた用紙種類と同じ場合は、要求された用紙種類で印刷されます。ドライバで選択された給紙カセット／給紙トレイ内の用紙種類(OHP フィルムなど)がセットされていない場合は、予めセットされている普通紙等に印刷されます。

「シングルユーザーモード」は、ドライバで用紙種類(OHP フィルムや厚紙など)を設定したときに、給紙カセット／給紙トレイ内の用紙種類に関係なくジョブを一旦中止し、指定された用紙種類のセットを要求するモードです。指定した種類の用紙に確実に印刷する場合に使用します。

### 最適なジョブモード

最適なモードは、お使いのネットワーク環境によって異なります。早く印刷することが重要な場合には、ネットワークモードを使用します。設定した種類の用紙に印刷することが重要な場合は、シングルユーザーモードを使用します。

### ジョブモードの選択方法

ネットワークモードでは、プリンタドライバから用紙種類を選択し、プリンタの操作パネル（オペレータコントロール / メディアモード）で「ネットワークモード」を選択します。「シングルユーザーモード」の場合は、印刷する用紙の種類をドライバで指定するだけです。

### 用紙の種類の選択方法

例えば、プリンタドライバの「用紙／品質」タブの「メディア」の設定で「普通紙」を選択します。

## 用紙の種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

### 普通紙

容量	給紙カセット (オプションの給紙カセット含む)	各 550 枚 (64 g/m <sup>2</sup> ) A5 サイズの用紙の場合：各 350 枚 (64 g/m <sup>2</sup> ) 坪量によって容量が異なります。
	手差しトレイ	250 枚 (64 g/m <sup>2</sup> ) 坪量によって容量が異なります。
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	KONICA MINOLTA 推奨用紙を使用してください。	
プリンタドライバでのモード設定	普通紙	
坪量	60 ~ 90 g/m <sup>2</sup>	
両面印刷	使用できる全ての用紙サイズに対応します。	



#### ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された紙など）
- カーボン紙
- 感熱紙、熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、はがきなど）

## 6 用紙の取り扱い

---

- 一度印刷に使用した用紙
  - ・インクジェットプリンタで印刷された用紙
  - ・モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
  - ・熱転写プリンタで印刷された用紙
  - ・他のプリンタやファックス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙

湿度が35%～85%の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 重なっている用紙
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（200°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で裁断されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

## 厚紙

坪量 90 g/m<sup>2</sup> より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、十分な印刷品質が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

容量	給紙カセット (オプションの 給紙カセット含 む)	対応していません。
	手差しトレイ	50 枚 (用紙の厚さにより変わります)
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	厚紙	
プリンタド ライバでの モード設定	厚紙	
坪量	91 ~ 163 g/m <sup>2</sup>	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

- 手差しトレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

## 封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かずれる可能性があります。

容量	給紙カセット (オプ ションの給紙カセッ ト含む)	対応していません。
	手差しトレイ	100 枚 (用紙の厚さにより変わります)
印刷方向	印刷面が上向き	
適合種類	長形 3 号、長形 4 号	
プリンタド ライバでの モード設定	厚紙	
坪量	60 ~ 163 g/m <sup>2</sup>	
両面印刷	対応していません。	

- 十分な印刷品質が得られるか、また印刷がずれないかを、試し印刷してください。

## 6 用紙の取り扱い

---

以下の封筒を使用してください。

- 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりとしている事務用封筒



印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

- レーザープリンタ対応の封筒

- 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

- 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒
- テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒
- 窓付きの封筒
- 表面が粗い和紙などの封筒
- 定着部の熱（200°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒
- すでにのりでとじられている封筒

## ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

- 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。
- 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起ったときは、連続印刷を中止し、1枚ずつ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションに従ってラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

容量	給紙カセット (オプションの給紙カセット含む)	対応していません。
	手差しトレイ	50枚（ラベル紙の厚さにより変わります）
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	KONICA MINOLTA 推奨ラベル紙を使用してください。	
プリンタドライバでのモード設定	厚紙	
坪量	60 ~ 163 g/m <sup>2</sup>	
両面印刷	対応していません。	

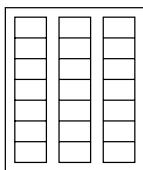
以下のラベル紙を使用してください。

- レーザープリンタ用ラベル紙
- A4 または Letter サイズのラベル紙

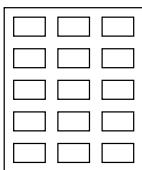
以下のようなラベル紙は使用しないでください。

- はがれやすいラベル紙
- 裏紙がはがれていたり、のりがむき出しになっているラベル紙  
ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。
- 最初から裁断されているラベル紙

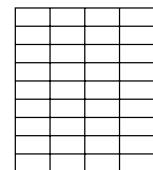
使用禁止



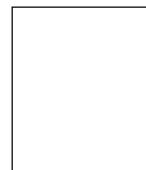
裏が光っている紙



裁断されている紙



使用可



裁断されていない  
ページ全体の紙

## 6 用紙の取り扱い

### はがき

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	給紙カセット (オプションの給紙カセット含む)	対応していません。
手差しトレイ	100枚（用紙の厚さにより変わります）	
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	官製はがき	
プリンタドライバでのモード設定	厚紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のはがきを使用してください。

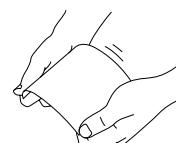
- レーザープリンタ用の官製はがき (100 × 148 mm)  
(市販のはがきには、使用できないものがあります。)

以下のようなはがきは使用しないでください。

- 光沢のあるもの
- 曲がっているもの
- インクジェットプリンタ用はがき
- 切り込みやミシン目のあるはがき
- すでに印刷されているもの、色加工されているもの  
(はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。)



はがきが曲がっているときは、手差しトレイにセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。



## OHP フィルム

### ご注意

必ず KONICA MINOLTA で推奨している OHP フィルムを使用してください。サポートしていない用紙を使用すると、プリンタが故障するおそれがあります。また、その場合は保証の対象外となります。



セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。静電気が発生し、印刷時のエラーの原因になります。



一度に多くの OHP フィルムをセットしないでください。また、OHP フィルムの表面を手で触ると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。



通紙部は清潔に保ってください。OHP フィルムは通紙部の汚れの影響を大きく受けてしまいます。用紙の先端／後端に影がみられる場合は、9 章「メンテナンス」を参照してください。



静電気が起きないように、印刷後すぐに OHP フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

OHP フィルムを連続印刷することができますが、用紙の質、静電気の発生、印刷環境によっては、うまく給紙できない場合があります。

お使いのアプリケーションにしたがって OHP フィルム用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。



一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の用紙をセットしてください。

容量	給紙カセット (オプションの給紙カセット含む)	対応していません。
手差しトレイ		100 枚 (OHP フィルムの厚さにより変わります)
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	KONICA MINOLTA 推奨 OHP フィルム (M-100(D)A4) 用紙を使用してください。	
プリンタドライバでのモード設定	OHP フィルム	
両面印刷	対応していません	
■	コーティングされていないモノクロの OHP フィルムのみ使用してください。	

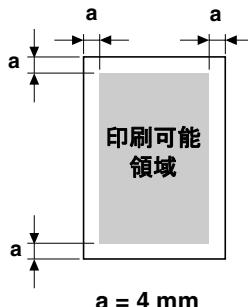
## 6 用紙の取り扱い

以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

- カラープリンタ／カラーコピー機用の OHP フィルムなど、表面加工されているもの
- 静電気が発生し、互いにくっつくものの

## 印刷可能領域

用紙サイズには印刷可能領域（画像のゆがみや欠損がなく印刷される最大領域）があります。



この領域は、ハードウェアによる制限（物理的な用紙サイズ、プリンタで必要なマージン）とソフトウェアによる制限（ページ全体のフレームバッファ用のメモリ量）によって決まります。すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

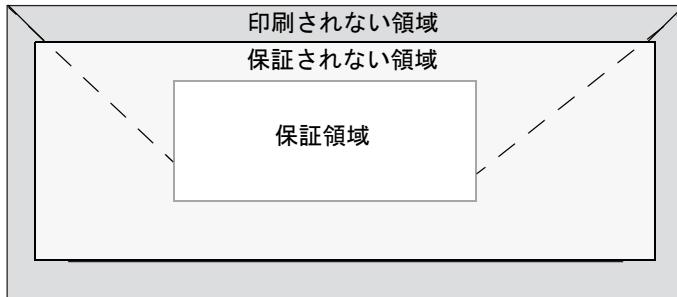
全面印刷は、プリンタの操作パネルの設定（「アドミニストレーション / エンジン / ヨウシ / ゼンソリュウヰ」メニュー）により可能です。ただし、端の 4 mm のエリアの印刷については、保証されません。保証外の領域にも印刷できますが、このエリアは印刷品質が低下する可能性があります。

## 封筒の印刷保証領域

封筒では、封の部分は印刷保証外です。また、印刷保証外領域は封筒の種類によって異なります。



封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。



## ページのマージン

マージンはお使いのアプリケーションで設定されています。アプリケーションによってはページサイズやマージンをユーザー設定できますが、標準のページサイズとマージンしか選択できないアプリケーションもあります。

標準のフォーマットを選ぶと、印刷可能領域の制限のために、作成した部分が印刷されない場合があります。アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

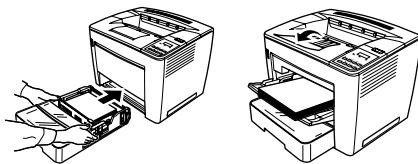
## 印刷内容の配置

何らかの理由で印刷する内容の配置を変更する必要がある場合は、以下のようない方法があります。

- お使いのアプリケーションでマージンとページサイズを調整します。
- プリンタの操作パネル（「ドミニストレーション／エンジン／カタログ／イメージ カイエン」メニュー）で設定します。
- PostScript 変換機能と拡大縮小機能を使って、印刷サイズを縮小してページ内の配置を変更することができます。（PostScript プログラミングの知識が必要です。）

### 用紙のセット

対応用紙については、「用紙の種類」(p. 6-7) を参照してください。



### 用紙のセットの方法

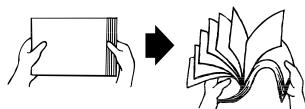
 プリンタの上で用紙の包装を開かないでください。用紙をプリンタに落とす可能性があります。

**1** 用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。

**2** 約 550 枚の用紙の束をさばき、静電気が起きないようにします。

OHP フィルムはさばかないでください。

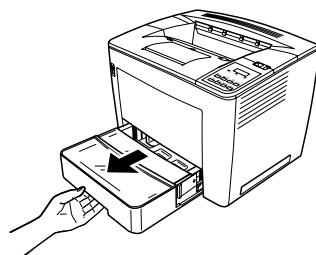
トレイの内側に最大補給量マークがあります。標準給紙カセットとオプションの給紙カセットには、 $64 \text{ g/m}^2$  の用紙を約 550 枚セットできます。



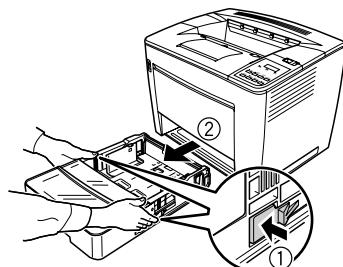
## 給紙カセットへの用紙の補給

- 1** 給紙カセットを止まる位置まで引き出します。

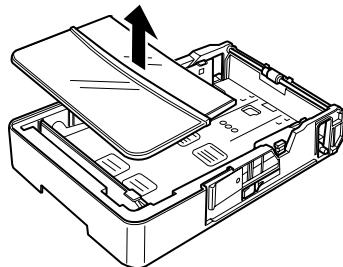
 右図は標準給紙カセットの場合です。オプションの給紙カセットの場合も同様に行います。



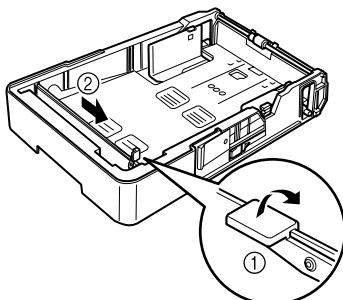
- 2** 両側にある解除ボタンを押しながら①、トレイを引き出します②。



- 3** 給紙カセットのカバーを取り外します。

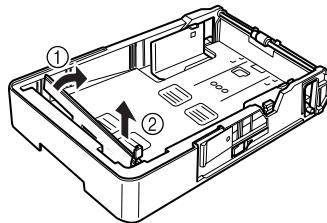


- 4** 用紙固定ガイドの右端にある灰色のレバー①を引き上げ、用紙固定ガイドを右へスライドさせます②。



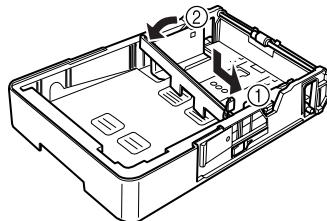
## 6 用紙の取り扱い

- 5 用紙固定ガイドの左端を引き上げ①、取り外します②。



- 6 用紙固定ガイドの右端を、セットする用紙サイズの位置のスロットに差し込みます。

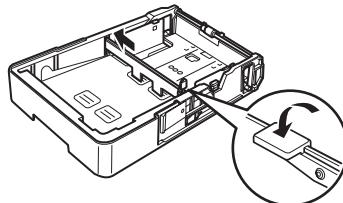
用紙固定ガイドの位置によって、用紙サイズが判断されます。セットする用紙のサイズに合わせて用紙固定ガイドを正しい位置に取り付けてください。



- 7 用紙固定ガイドを左へスライドさせ、灰色のレバーを倒して、用紙固定ガイドを固定します。

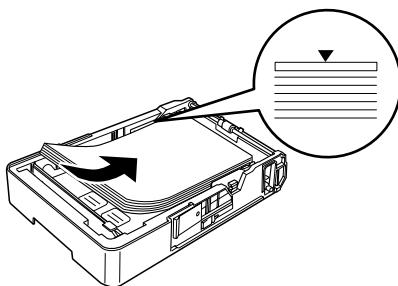


用紙固定ガイドが正しく取り付けられていることを確認してください。

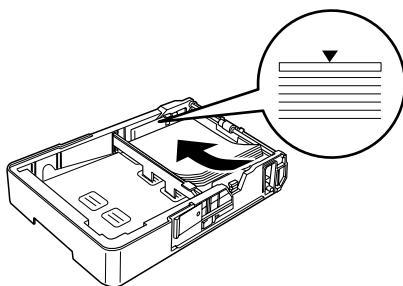


- 8 用紙の四隅がガイドに合うように、印刷面を上にして用紙をセットします。

- A3、B4、それより大きいサイズ（短辺を給紙口側にセット）
- A4、B5、Letter、それより小さいサイズ（長辺を給紙口側にセット）



A3、B4、それより大きいサイズ



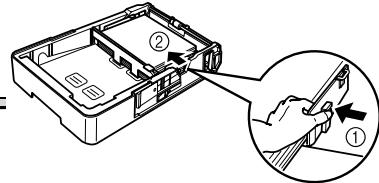
A4、B5、それより小さいサイズ

550 枚（64 g/m<sup>2</sup> の普通紙の場合）まで用紙をセットできます。最大補給量マークを超えると、正しく給紙されない場合があります。

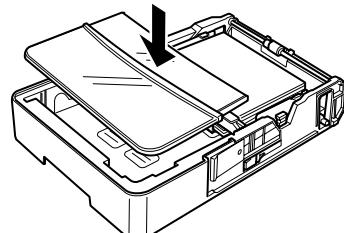
- 9** 用紙固定ガイドのボタンを押して①、用紙の端までスライドさせます②。

**⚠ ご注意**

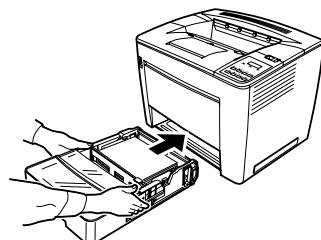
用紙は、ガイドの間に少し余裕がある状態になるようにしてください。ガイドが正しく調節されていないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因となる場合があります。



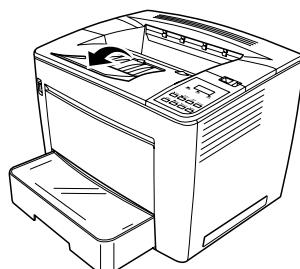
- 10** 紙給料セットのカバーを取り付けます。



- 11** 紙給料セットをプリンタの奥まで差し込んで取り付けます。

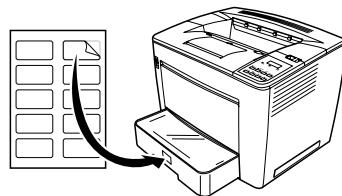


- 12** B4 サイズ以上の用紙に印刷するときは、排紙トレイの拡張部を開きます。



## 6 用紙の取り扱い

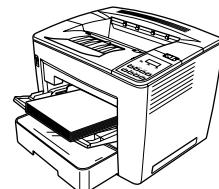
- 13** セットした用紙のサイズが分かるよう  
に、給紙カセットに用紙サイズのラベ  
ル（プリンタに付属）を貼ります。



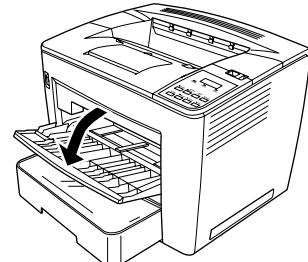
## 手差しトレイへの用紙の補給

対応用紙については、「用紙の種類」(p. 6-7)を参照してください。

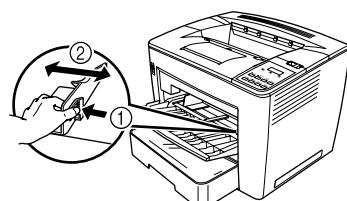
手差しトレイは、封筒、ラベル紙、官製はがき、厚紙などあらゆる種類の用紙に対応しています。



- 1 手差しトレイを開きます。



- 2 用紙ガイドの右側にあるボタン①を押しながら用紙ガイドをスライドさせ②、適切なサイズの位置に調節します。

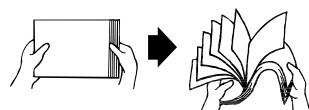


- 3 用紙の束をさばきます。

トレイの内側に最大補給量マークがあります。

約 250 枚の用紙 (64 g/m<sup>2</sup> の普通紙) をセットできます。

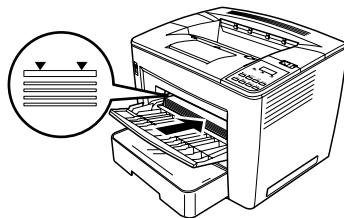
最大補給量マークを超えて用紙がセットされると、正しく給紙されない場合があります。



## 6 用紙の取り扱い

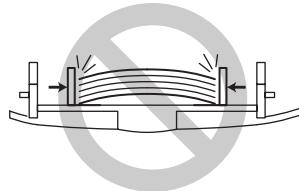
4

- 用紙の四隅がガイドに合うようにして、印刷面を上にして用紙をセットします。  
用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印が書かれていることがあります。



### ご注意

用紙ガイドは用紙を強く挟まないでセットしてください。用紙と用紙ガイドの間が開いていると斜行などの原因となります。用紙ガイドが正しく調節されていないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因となる場合があります。



## 普通紙以外の用紙の使用



### ご注意

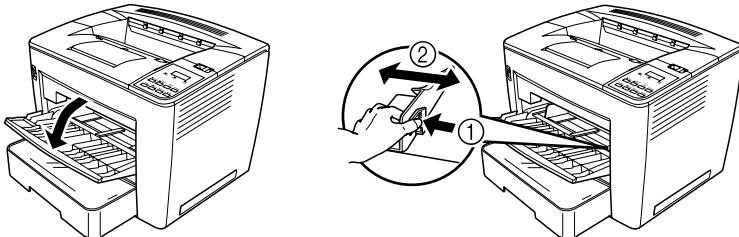
プリンタは、さまざまな種類の用紙を頻繁には使用しないものと考えて設計されており、普通紙以外の種類の用紙を大量に印刷することは考えられていません。普通紙以外の用紙（封筒、ラベル紙、厚紙、OHP フィルムなど）で連続印刷すると、印刷品質への影響や製品寿命の低下の可能性があります。

用紙をセットする前に、シングルユーザーモードとネットワークモード（「2つのメディアモードの違い」（p. 6-5）参照）を設定してください。

## 封筒のセットと印刷

 封筒の印刷は、手差しトレイのみ対応しています。

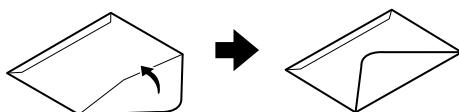
- 1 プリンタドライバの「用紙」タブの「用紙の種類」の項目で「厚紙」を選択します。
- 2 ネットワークモードの場合は、操作パネルで「オペレータコントロール/MPT メディア」を選択し、スクロールして「アゲヨウシ」を選択します。
- 3 以下のいずれかの方法で封筒のサイズを選択します。
  - a [テサシトレイ] キーを押し、使用する封筒のサイズをスクロールして選択します。
  - b 操作パネルで【メニュー】キーを押し、「オペレータコントロール/テササイズ」を選択し、使用する封筒のサイズをスクロールして選択します。
- 4 封筒を平らな場所に置き、封筒の隅を押さえて伸ばします。
- 5 なめらかに給紙されるように封筒の束を曲げます。
- 6 封筒を平らな場所で軽くトントンと打ち付けて端を揃えます。
- 7 手差しトレイを開け、用紙ガイドを封筒の幅に合わせます。



### △ ご注意

用紙ガイドの位置が正しくないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因となります。

- 8 封筒の上フタを折ります。  
のりの部分が乾いていることを確認してください。



## 6 用紙の取り扱い

---

- 9** 封筒の束を、印刷面を上にして手差しトレイにセットします。
- 封筒は、住所を記入する表側にのみ印刷できます。封筒は、3つの紙（表、裏、フタ）が重なって構成されているものもあります。これらの重なっている部分に印刷すると、ちぎれたり薄くなったりする可能性があります。

 封筒のフタの部分を右側に置くか左側に置くかについては、お使いのアプリケーションの説明書を確認してください。複数印刷する前に、最初に1枚印刷してみて、向きを確認することもできます。

- 10** 用紙ガイドが封筒の幅に合っているか、もう一度確認してください。
- 11** 封筒に印刷します。
- 12** 封筒が排紙トレイからでてきたらすぐに（温度が低くなる前に）各封筒のフタを開けてください。

 封筒が熱くなったローラーを通るため、フタののりのついた部分がくっつくことがあります。液状ののりを使用すると、この問題は起こりません。

## ラベル紙のセットと印刷

 ラベル紙印刷は、手差しトレイで、A4またはLetterサイズの用紙にのみ対応しています。

- 1** プリンタドライバの設定（「用紙」タブ、「用紙の種類」の項目）で、「厚紙」を選択します。
- 2** ネットワークモードのときは、操作パネルで「オペレータコントロール/MPTメディア」メニューを選択し、スクロールして「アッゲン」を選択します。
- 3** ラベル紙のサイズを選択します。
- a** [テサシトレイ] キーを押し、スクロールしてラベル紙のサイズを選択します。  
または、
- b** 操作パネルの [メニュー] キーを押し、「オペレータコントロール/テサシイズ」メニューを選択します。スクロールしてラベル紙のサイズを選択します。
- 4** ラベル紙を、印刷面を上にして手差しトレイにセットします。
- 5** 用紙ガイドをラベル紙の幅に合わせます。
- 6** ラベル紙に印刷します。

## はがきのセットと印刷



はがき印刷は、手差しトレイにのみ対応しています。

- 1** プリンタドライバの設定（用紙タブ、用紙の種類の項目）で、「厚紙」を選択します。
- 2** ネットワークモードのときは、操作パネルで「オペレータ コントロール/MPT メディア」メニューを選択し、スクロールして「アッテ ジュン」を選択します。
- 3** はがきを選択します。
  - a** [テサシトレイ] キーを押し、スクロールしてはがきを選択します。  
または、
  - b** 操作パネルから、[メニュー] キーを押し、「オペレータ コントロール/テサシイズ」メニューを選択します。スクロールしてはがきを選択します。
- 4** はがきを平らな場所に置き、隅をそろえて平らにします。
- 5** 手差しトレイにある用紙を取り除きます。
- 6** はがきを、印刷面を上にして手差しトレイにセットします。
- 7** 用紙ガイドをはがきの幅に合わせます。
- 8** はがきに印刷します。

## 厚紙のセットと印刷



### ご注意

給紙カセットの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

- 1** プリンタドライバの設定（「用紙」タブ、「用紙の種類」の項目）で、「厚紙」を選択します。
- 2** ネットワークモードのときは、操作パネルの [メニュー] キーを押し、「オペレータ コントロール/MPT メディア」メニューを選択して、スクロールして「アッテ ジュン」を選択します。
- 3** 厚紙を手差しトレイにセットします。
- 4** 用紙ガイドを厚紙の幅に合わせます。
- 5** 厚紙に印刷します。

## 6 用紙の取り扱い

### OHP フィルムのセットと印刷

#### ご注意

KONICA MINOLTA で承認されている OHP フィルムを使用してください。

カラープリンタ／カラーコピー機用の OHP フィルムなど表面加工されているものは使用しないでください。

表面加工されていないモノクロ用 OHP フィルムを使用してください。

- 1** プリンタドライバの設定（「用紙」タブ、「用紙の種類」の項目）で「OHP フィルム」と、「A4」または「Letter」を選択します。
- 2** ネットワークモードのときは、操作パネルで「オペレータ コントロール/MPT メディア」メニューを選択し、「OHP フィルム」を選択します。
- 3** [テサシトレイ] キーを押し、スクロールして OHP フィルムのサイズを選択します。
- 4** OHP フィルムを、印刷面を上にして手差しトレイにセットします。
- 5** 用紙ガイドを OHP フィルムの幅に合わせます。

#### ご注意

用紙ガイドが正しく調節されていないと、印刷品質の低下、紙づまり、プリンタの損傷の原因となる場合があります。

- 6** OHP フィルムに印刷します。
- 7** 印刷された OHP フィルムを排紙トレイからすぐに取り除きます。

## 両面印刷

両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。

### 自動両面印刷の方法

両面プリントユニットがプリンタに装着されている状態で、両面印刷を行います。両面プリントユニットがプリンタに装着されていないと、両面印刷を選択しても片面印刷になります。

本機は、128 MB のメモリが標準で搭載されています。

(印刷に必要なメモリの目安)

	片面印刷		両面印刷	
解像度 (dpi)	600	1200	600	1200
A4 / Letter	64 MB	64 MB	64 MB	96 MB
Legal				64 MB*
B4		96 MB		96 MB
A3				

\* A4 / Letter サイズの用紙では、2枚の用紙が同時に処理されます。Legal サイズの用紙では1枚の用紙のみ処理されます。そのため、A4 / Letter サイズの用紙の方が2枚印刷するため多くのメモリが必要になります。



自動両面印刷は、105 g/m<sup>2</sup> 以下の上質紙または普通紙にのみ対応しています。

封筒、ラベル紙、官製はがき、105 g/m<sup>2</sup> 以上の厚紙、OHP フィルムでは、両面印刷できません。

- 1 お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認します。
- 2 両面印刷するときは、トレイの奥が用紙の上側になるように、印刷面を上にセットします。  
自動両面印刷では、先に裏面が印刷され、後で表面が印刷されます。
- 3 ドライバを設定します。例えば、「レイアウト」タブの「両面印刷」の項目で「長辺綴じ」(ルーズリーフのノートのように横にめくる) または「短辺綴じ」(メモ帳のように縦にめくる) を選択します。
- 4 [OK] をクリックします。

### 排紙トレイ

どの用紙もプリンタ上部の排紙トレイに排出されます。排紙トレイは、印刷面が下向きに排出され、許容量は 75 g/m<sup>2</sup> の用紙で 500 枚までです。



用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きたります。



OHP フィルムの場合は、印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。

### 用紙の保管方法

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
- 包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。

用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。

- 湿気が多い場所
- 直射日光があたる場所
- 高温の場所（30°C 以上の場所）
- ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

# 7

---

## 消耗品の交換

---

# 消耗品の寿命

## 消耗品とは？

消耗品は、一定の期間で交換が必要な部品です。PagePro9100 には以下の消耗品があります。

サービスマンが交換するもの：

- 定着ユニット
- 紙ローラー（手差しトレイ内）
- 転写ローラー
- 紙さばきローラー（給紙カセット内）

これらの部品の交換につきましては、ご購入の販売店またはサービス代理店にご連絡ください。



定期交換部品の交換は、弊社指定のサービス機関が実施いたします。定期交換部品にともなう技術料金、部品代は保証期間内外を問わず有償となります。定期交換部品は、保守契約料金には含まれていません。

お客様が交換するもの：

- トナーカートリッジ
- 排気フィルタ

このプリンタではさまざまな種類の用紙に印刷することができますが、普通紙以外の場合、1枚ずつ印刷するように設計されています。普通紙以外の用紙（封筒、ラベル、厚紙、OHP フィルムなど）で連続印刷すると、印刷品質が落ち、本体の寿命が縮まる可能性があります。

## 面とは？

面とは、トナーカートリッジを1回通過することです。2面印刷（両面印刷）の場合は、トナーカートリッジを2回通過します。

スタートアップページに記載される累計印刷枚数は、CrownView（p. 5-1 を参照）上で表示される情報と消耗品管理ページ（「オペレータコントロール / ショウモウヒン / トウケイデータプリント」）の累計印刷枚数／印刷面数とは異なる場合があります。



スタートアップページの枚数は、プリンタが動作してからの累計印刷枚数／面数を示しています。CrownView と消耗品管理ページでの印刷枚数は、使用している消耗品が動作してから（「アドミニストレーション / ショウモウヒン / サビスカウントセッティング」メニュー）の枚数を示しています。

## 消耗品の寿命の目安とは？



消耗品の寿命は、A4／Letter サイズで印字率 5% 連続印刷時の目安です。両面印刷は 2 ページ分になります。

記載している各消耗品の寿命の目安は、一定の印字率（A4／Letter 用紙で印字率 5%）で、連続印刷（寿命が長くなる 4 ページ以上の印刷）の場合と 1 ページ印刷の場合です。

実際の寿命は、印刷環境によって異なります。気温、湿度、用紙の種類、用紙サイズ、印刷内容が文字かグラフィックかなども影響します。



本説明書に記載されている操作にしたがわない場合は、保証の対象になりません。弊社推奨品以外の消耗品や用紙を使用してプリンタが損傷した場合も保証できません。この場合は、有償修理となります。

## 消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安 (ページ数) *	備考
トナーカートリッジ (排気フィルタ付属)	製品に付属のカートリッジ： 約 6,000 ページ 交換するカートリッジ： 約 15,000 ページ（連続印刷）、 約 12,000 ページ（単ページ印刷）  （メッセージウィンドウに 「トナーが アリマセン」と表示されます。）	両面プリントユニットが取り付けられている場合は、トナーカートリッジと排気フィルタを同時に交換します。 「トナーカートリッジの交換」(p. 7-5) 参照。

定期交換部品	平均の寿命の目安 (ページ数)	備考
定着ユニット	約 300,000 ページ	定着ユニットの交換は、弊社指定のサービス機関が実施いたします。 メッセージが表示されましたら、ご購入の販売店またはサービス代理店にご連絡ください。
給紙ローラー (手差しトレイ内)	約 150,000 ページ	各ローラーの交換は、弊社指定のサービス機関が実施いたします。
転写ローラー	約 150,000 ページ	メッセージが表示されましたら、ご購入の販売店またはサービス代理店にご連絡ください。
紙さばきローラー (給紙カセット内)	約 200,000 ページ	

## 消耗品の注文

プリンタ純正の消耗品を使用することは、信頼性とパフォーマンスを向上させるだけでなく、損傷の可能性を低くします。また、KONICA MINOLTA のトナーカートリッジは、お使いの KONICA MINOLTA プリンタの仕様に合うように設計されているため、最大のパフォーマンス、効率、寿命を引き出します。

消耗品がなくなりましたら、プリンタをお買い求めの販売店、弊社指定サービス機関でお買い求めください。

お近くにお取扱店のない場合は、弊社の Web ページ : <http://printer.konicaminolta.jp> でも注文できます。

また最新の情報も、弊社の Web ページ : <http://printer.konicaminolta.jp/> にアクセスしてご確認ください。

## 詳細な情報の確認

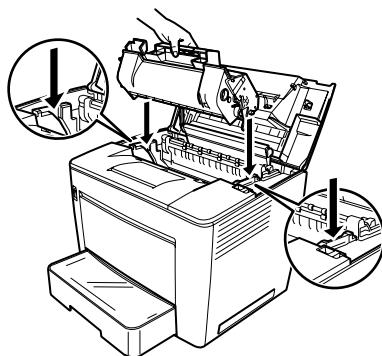
消耗品の使用に関しては、操作パネルの「オペレータ コントロール / ショウモウヒン / トウケイタ プリント」メニュー、または CrownView ユーティリティの Web ページで情報を確認することができます。

統計データページや消耗品交換に関するメニューについては、「Software Utilities」CD-ROM 内の「CrownBook」PDF を参照してください。

## トナーカートリッジの交換

文字と画像は、レーザープリンタ内でトナーカートリッジ内の感光性のOPC (Organic Photo Conductor) ドラムにトナーを付着させて作成されます。このプリンタでは、1つのトナーカートリッジを使用します。トナーがプリンタ内にこぼれたり、衣服や手についたりしないように注意してトナーカートリッジを取り扱ってください。

トナーがなくなるとメッセージ「トナーがアリマセン」が表示され、トナーカートリッジを交換するまでプリントできなくなります。トナーカートリッジを交換すると、自動的に消耗品カウンタがリセットされます。



### ご注意

トナーカートリッジは、明るい光、直射日光、接触に非常に敏感です。装着するまでは保護袋に入れておいてください。感光を防ぎます。保護袋からトナーカートリッジを取り出したら、なるべく光に当たらないようにして迅速にプリンタに取り付けてください。

トナーカートリッジの誤った取り扱いによる損傷については、保証の対象外となります。

## トナーカートリッジの寿命の目安

トナーカートリッジの寿命は、OPC ドラムの回転する回数に直接関係します。平均約 4 ページ印刷ごとに清掃するため、連続印刷の場合に最も寿命が長くなります。単ページ印刷の場合は、1 ページ印刷するごとに清掃するため、OPC ドラムの寿命が短くなります。

トナーカートリッジには、各印字率により以下の枚数の A4 / Letter サイズの用紙に印刷できるトナーが入っています。(印字率以外にもトナーの寿命に影響する要因はあります。)

印字率	製品に付属のカートリッジ	交換するカートリッジ (連続印刷時)	交換するカートリッジ (単ページ印刷時)
5%	6,000	15,000	12,000
10%	3,000	7,500	6,000
15%	2,000	5,000	4,000
20%	1,500	3,750	3,000

トナーカートリッジのトナーが残り少なくなると、メッセージウィンドウに「トナーが ショウリヨウデス」と表示されます。この時点で約 5% のトナーが残っています。メッセージが表示されてからも印刷できますが、印字が薄くなってくるので、できるだけ早くトナーカートリッジを交換してください。

「トナーが ショウリヨウデス」と表示されてから約 750 枚印刷後、「トナーが アリマセン」と表示され、印刷できなくなります。

## トナーカートリッジの取り扱い

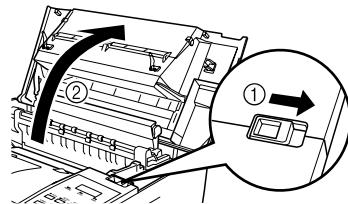
トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- 直火に近づけないでください。
- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。  
気温 35°C 以下、湿度 80% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。  
使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。  
トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。
- 塩を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

## トナーカートリッジの交換

### 4 トレイメールボックススタッカを装着していない場合

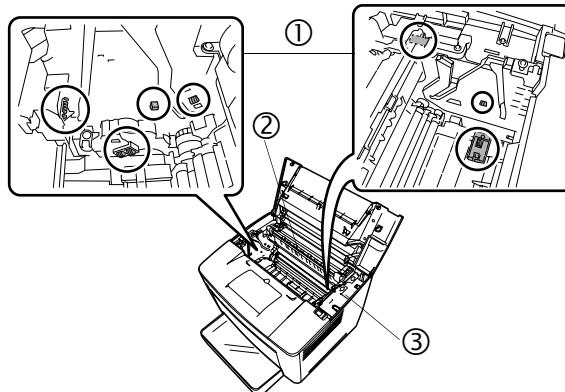
- 1** トップカバー解除レバーを右にスライドさせて①、トップカバーを開けます②。



#### ⚠ ご注意

銅または真鍮の電極（①）、トップカバー内やトナーカートリッジの下にある電子部品には触らないでください。プリンタが故障する原因になります。

画像転写ローラーの周りの②も触らないでください。この付近の部品に触ると、印刷品質が落ちる場合があります。また、定着ユニットの周りの③も触らないでください（内部の温度が約 200°C まで高温になるため、この部分を触るとやけどのおそれがあります）。

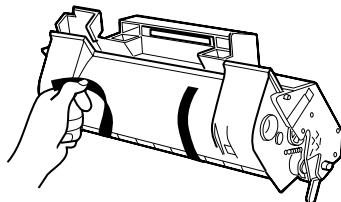


## 7 消耗品の交換

### 2 新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。

 トナーカートリッジを戻したり、プリンタを移動する必要がある場合がありますので、梱包材は保管しておいてください。

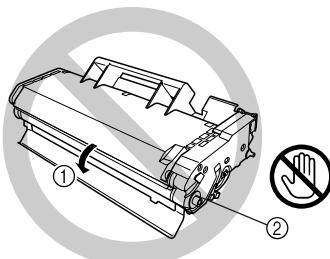
### 3 梱包のテープをはがします。



#### ご注意

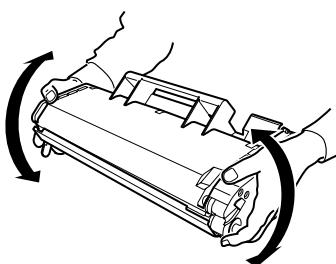
OPC ドラム（緑色の部分②）の保護シャッター①を開けたり、トナーカートリッジを保護カバーの部分を持ったりしないでください。

OPC ドラムは、手の脂や傷に非常に敏感で、どちらの場合も印刷品質が低下します。このような損傷は保証の対象になりません。



### 4 トナーカートリッジを左右にゆっくり7、8回振って、トナーを均一にします。

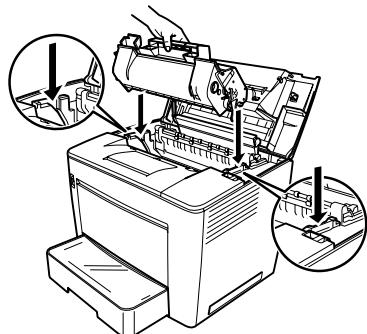
トナーは人体には無害ですが、トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。



#### 警告！

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師にご相談ください。

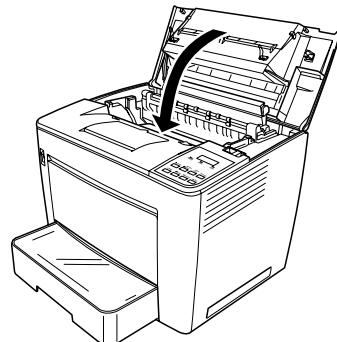
- 5** トナーカートリッジのガイドピン（左右1つずつ）をプリンタ側の溝に沿って、ゆっくりプリンタに差し込みます。



- 6** トップカバーを閉じます。

**A** ご注意

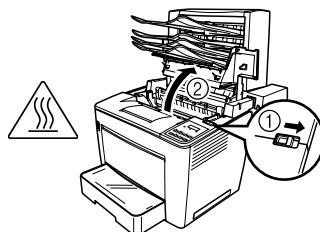
トナーカートリッジが装着されたままプリンタを運ばないでください。  
トナーがプリンタ内にこぼれ、印刷品質の低下やプリンタの損傷の原因となります。



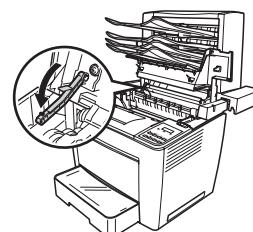
## 7 消耗品の交換

### 4 トレイメールボックススタッカが装着されている場合

1 4トレイメールボックススタッカをプリ  
ンタの後ろ側へスライドさせます。

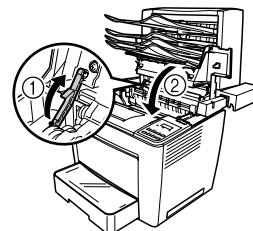


2 トップカバーを開けます。



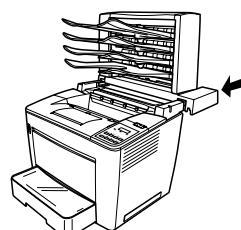
3 ストップバーを下げる、トップカバーを  
支えます。

4 トナーカートリッジを交換します。  
「トナーカートリッジの交換」(p. 7-5)  
を参照してください。



5 ストップバーを元の位置①に戻します。

6 トップカバー②を閉じます。



7 4トレイメールボックススタッカを手前  
にスライドさせ、元の位置に戻します。

## 排気フィルタの交換

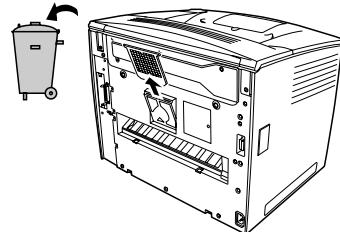
オプションの両面プリントユニットを装着していない場合は、トナーカートリッジ交換時にプリンタ背面の排気フィルタも交換します。

### 排気フィルタの交換方法

- 1 使用している排気フィルタを取り外します。



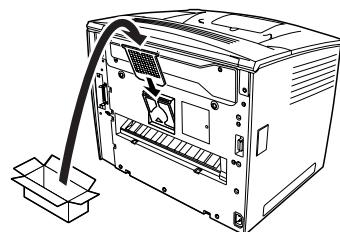
地域の条例にしたがって処分してください。



#### ご注意

オプションの両面プリントユニットを装着するときは、内蔵の排気フィルタが含まれているため、排気フィルタを交換する必要はありません。

- 2 新しい排気フィルタを箱から取り出し、排気口に取り付けます。



## 7 消耗品の交換

---

# 8

---

紙づまりの処理

---

### 紙つまり

以下の点を確認してください。

- 用紙がプリンタの仕様に合っていますか？
- 用紙（特に給紙される側）が平らですか？
- プリンタが、平らで固く安定した水平な面に置かれていますか？
- 封筒、ラベル紙、厚紙、OHP フィルムに印刷するときは、正しい種類の用紙を使用していますか？また、プリンタやプリンタドライバで正しい選択をしていますか？
- 用紙が水気や湿気のない場所に保管されていますか？
- 用紙をセットした後に、給紙カセットの用紙ガイドを用紙の幅に合わせていますか？
- 印刷面を上にして用紙をセットしていますか？  
(用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印が書かれていることがあります。印刷面が分からなくなつた場合は、用紙を給紙カセット／給紙トレイから取り出し、紙全体を裏返して、給紙カセット／給紙トレイに入れ直してください。)
- 用紙が折られているか、しわになっているか、極端にカールしていませんか？
- 用紙が2枚重なつていませんか？ 用紙を離し、くっつかないようにさばいてください。
- OHP フィルムを大量にさばいて静電気を発生させていませんか？ また、静電気の発生を防ぐため、OHP フィルムに印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。
- 給紙カセット／給紙トレイに同時に複数の種類／サイズ／厚さの用紙をセットしていませんか？
- 給紙カセットに用紙を多く入れすぎていませんか？
- 排紙トレイに 500 枚 ( $64 \text{ g/m}^2$  の普通紙の場合) 以上の用紙を置いたままにしていませんか？
- 4 トレイメールボックススタッカに 50 枚 ( $64 \text{ g/m}^2$  の普通紙の場合) 以上の用紙を置いたままにしていませんか？

## ジャムリカバリー機能

本プリンタには、ジャムリカバリー機能があります（「アドミニストレーション / エンジン / ページ / フックユウ」メニューで設定します）。つまつた用紙を取り除くと、紙づまりが起きたページから印刷が自動的に再開します。

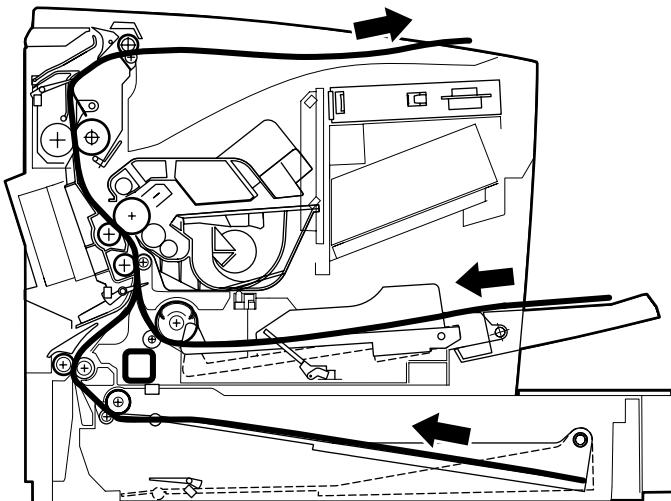


つまつた用紙を取り除くときにプリンタの電源を切っていると、ジャムリカバリー機能は働きません。つまつた用紙を取り除いた後、印刷する前にトップカバーを開けてから閉じます。トップカバーの開閉を行わないと、印刷は再開されません。

## 用紙送りの流れ

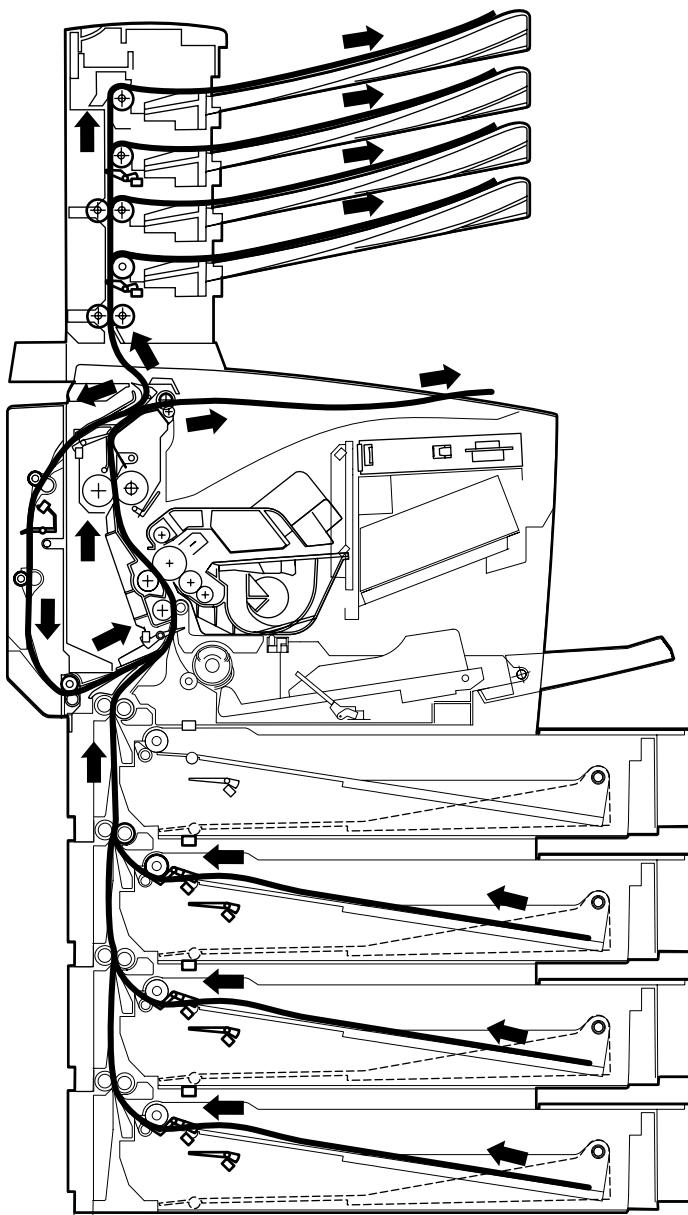
プリンタの用紙送りの流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。用紙は給紙カセット／給紙トレイから給紙され、トナーカートリッジと転写ユニットの下に送られ、定着部を通って排紙トレイに送られます。

### プリンタ（オプションなし）



## 8 紙つまりの処理

プリンタ（オプションの給紙カセット、両面プリントユニット、4トレイメールボックススタッカ）



## 紙づまりのステータスマッセージ

紙づまりが起きると、操作パネルに以下のいずれかのメッセージが表示されます。

### ■ 紙づまり

ペーパージャム アッパーエリア

ペーパージャム オプション エリア

ペーパージャム マニュアル エリア

### ■ プリンタ内部の紙づまり

ティチャクエリア デ メディアジャム

ドラム デ メディアジャム

ペーパージャム 2バンメノ テンシャローラーエリア

### ■ 両面プリントユニットの紙づまり

ペーパージャム リョウメンエリア

ペーパージャム リョウメンフィード エリア

### ■ 排紙部の紙づまり

ペーパージャム メールビンハイシュツエリア

よく紙づまりする場所は、点検、清掃、あるいは修理が必要です。対応していない厚さ（坪量）の用紙を使用した場合に、紙づまりが頻繁におこる場合があります。

### 給紙部の紙づまり

メッセージ：

ペーパージャム アッパーエリア  
ペーパージャム オプション エリア  
ペーパージャム マニュアル エリア

- 損傷を与えないために、つまった用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくとも紙片がプリンタ内に少しでも残ると、用紙送りの障害となり、紙づまりの原因となります。
- ローラーの損傷を防ぐため、つまった用紙は必ずゆっくり取り除いてください。
- 紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。



#### ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンタ内部にトナーをこぼさないでください。

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。

トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。

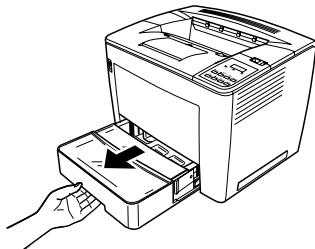
トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

#### 警告！

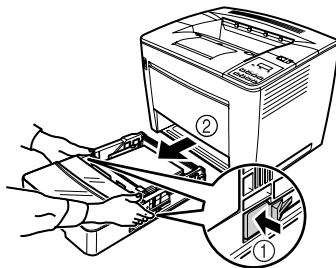
トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師にご相談ください。

## 標準給紙カセットまたはオプションの給紙カセットでの紙づまり

- 1** 給紙カセットを止まる位置まで引き出します。

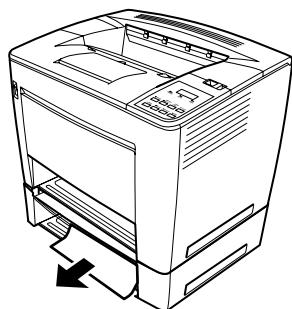


- 2** 両側にある解除ボタンを押しながら①、給紙カセットを引き出します②。

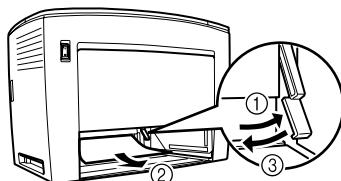


- 3** 奥でつまっている用紙を引き抜きます。

給紙カセットのローラーの下に用紙が残っていないか確認してください。



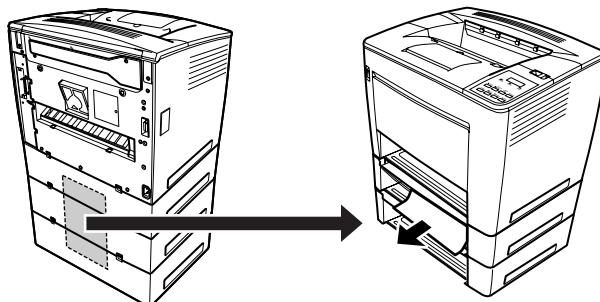
- 4** つまたった用紙が簡単に引き出せない場合は、①内部右側にある緑色のレバーを持ち上げて給紙ローラーを離し、②用紙を引き出します。  
③つまたった用紙を取り除いたら、緑色のレバーを元の位置に戻してください。  
つまたった用紙を無理に取り除かないでください。



## 8 紙つまりの処理

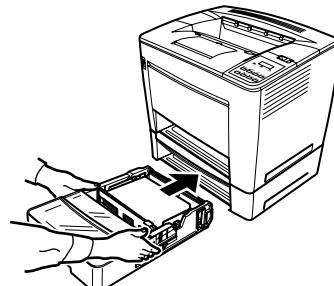
**5** オプションの給紙カセットを装着している場合は、各給紙カセットで手順1～4を繰り返してください。

-  用紙がオプションの給紙カセットの内部（裏側の用紙が通る場所）に残っていることがあります。プリンタの前面から給紙カセット内部を確認し、つまっている用紙があれば取り除いてください。

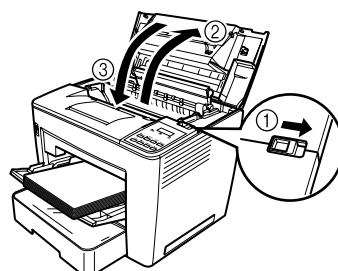


**6** 給紙カセットをプリンタの奥まで差し込んで取り付けます。

-  給紙カセットに残っている用紙が正しくセットされているか、給紙カセットを差し込む前に確認してください。また、給紙カセット内のローラーの下に用紙が残っていないか確認してください。

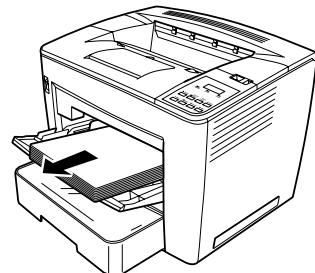


**7** 必要であれば、トップカバーを開けてから閉めて、エラーメッセージを解除してください。

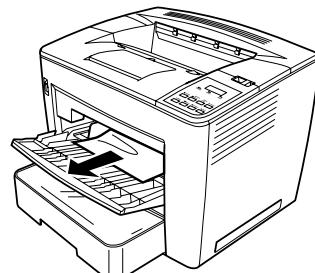


## 手差しトレイでの紙づまり

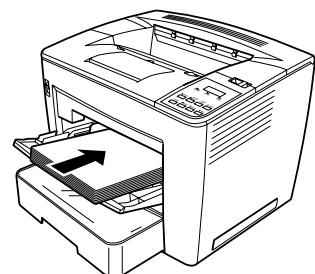
- 1** 手差しトレイからすべての用紙を取り除きます。



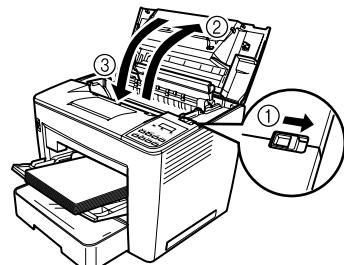
- 2** つまった用紙を引き出します。



- 3** 手差しトレイに正しく用紙をセットします。



- 4** 必要であれば、トップカバーを開けてから閉めて、エラーメッセージを解除してください。

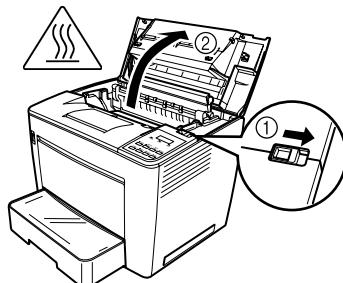


## プリンタ内部の紙づまり

プリンタ内部の紙づまりのメッセージ：

テイチヤクエリア デ メディアジャム  
ドラム デ メディアジャム  
ペーパージャム 2 バンメノ テンシャローラーエリア

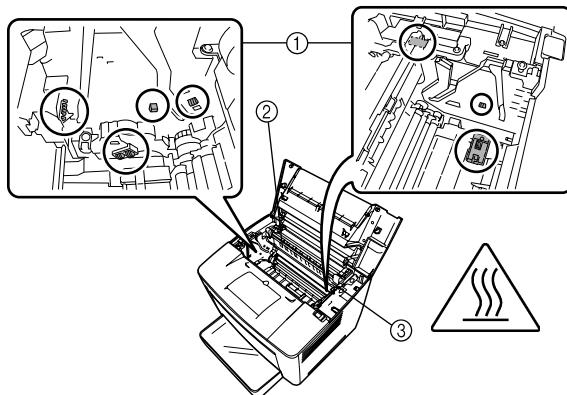
- 1 トップカバーを開けます。



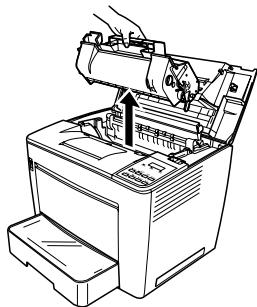
### ⚠ ご注意

銅または真鍮の電極（①）、トップカバー内やトナーカートリッジの下にある電子部品には触わらないでください。プリンタが故障する原因になります。

画像転写ローラーの周りの②も触わらないでください。この付近の部品に触ると、印刷品質が落ちる場合があります。また、定着ユニットの周りの③も触わらないでください（内部の温度が約 200 °Cまで高温になるため、この部分を触るとやけどのおそれがあります）。



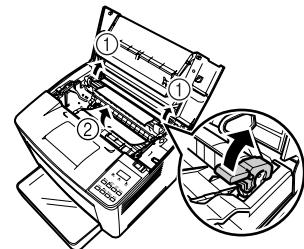
- 2** トナーカートリッジを取り外し、光が当たらないよう保護袋に入れておきます。



- 3** 用紙が定着部でつまっている場合は、両側の緑色のレバーを持ち上げ、ローラーの下から用紙をゆっくりと引き出します。

**⚠ ご注意**

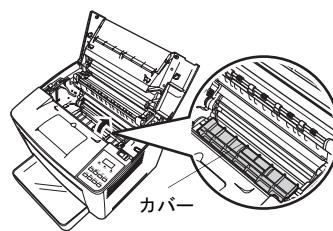
ローラーの上から用紙を引き出さないでください。印刷品質が低下するおそれがあります。



- 4** つまたった用紙を取り除いたら、レバーを元に戻します。

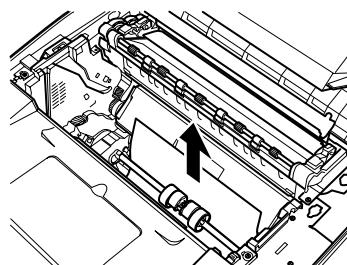


- 5** 給紙ローラーのカバーを開けます。

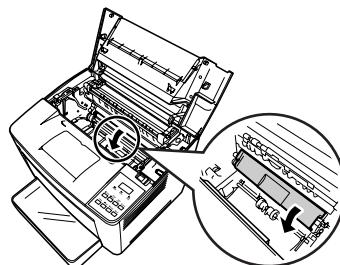


## 8 紙つまりの処理

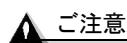
- 6 つまった用紙を引き出します。



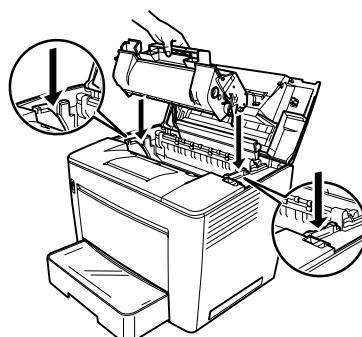
- 7 紙ローラーのカバーを閉じます。



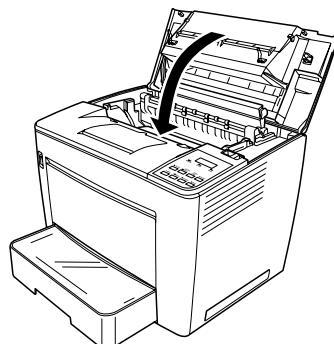
- 8 トナーカートリッジのガイドピン（左  
右1つずつ）をプリンタ側の溝に沿っ  
て、ゆっくりプリンタに差し込みます。



プリンタ内部のローラーやギアに触  
らないようにしてください。プリン  
タ損傷の原因になります。

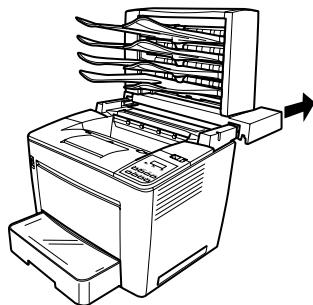


- 9 トップカバーを閉じます。

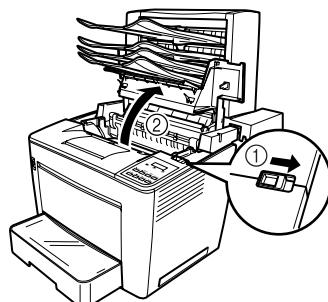


## 4 トレイメールボックススタッカ装着時のプリンタ内での紙づまり

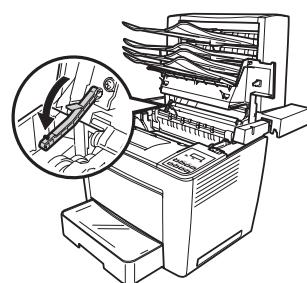
- 1** 4トレイメールボックススタッカをプリンタの後ろ側へ止まるまでスライドさせます。



- 2** トップカバーを開けます。



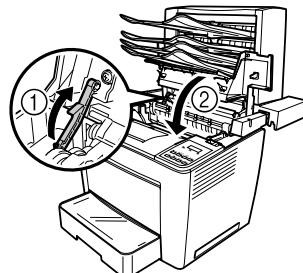
- 3** スッパーを下げてトップカバーを支えます。



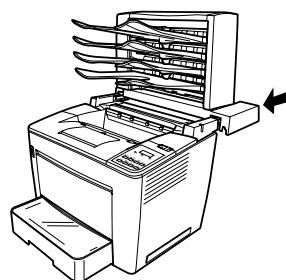
- 4** 「プリンタ内部の紙づまり」(p. 8-10)に記載されている手順どおり、つまつた用紙を取り除きます。

## 8 紙つまりの処理

- 5** ストップバーを元の位置に戻し①、トップカバーを閉じます。



- 6** 4トレイメールボックススタッカを手前にスライドさせ、元の位置に戻します。

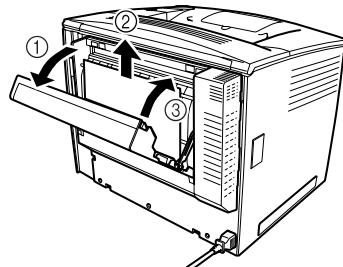


## 両面ユニット内の紙づまり

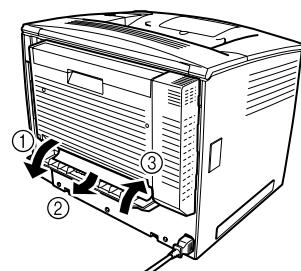
両面ユニットでの紙づまりのメッセージ：

ペーパージャム リョウメン エリア  
ペーパージャム リョウメンフィード エリア

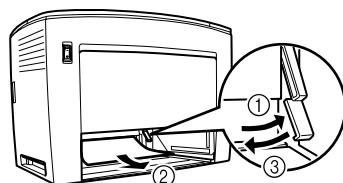
- 1** 両面プリントユニットのトップカバーを開け①、つまた用紙を取り除き②、トップカバーを閉じます③。



- 2** 両面ユニットの下カバーを開け①、つまた用紙を取り除き②、下カバーを閉じます③。



- 3** 手順2でつまた用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、プリンタから両面ユニットを取り外します。



- 4** プリンタ背面の下側にある給紙スロット内にある用紙を取り除きます。

- 5** 両面ユニットを取り付けます。詳しくは、「両面プリントユニットの取り付け」(p. 10-14) を参照してください。

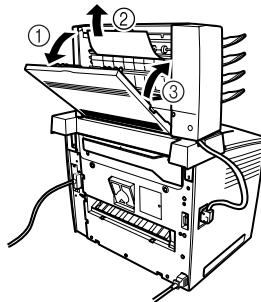
## 排紙部の紙づまり

排紙部の紙づまりのメッセージ：

ペーパージャム メールボックスハイシユツエリア

### 4 トレイメールボックススタッカ内の紙づまり

- 1** 4トレイメールボックススタッカの背面カバーを開き①、つまった用紙を取り除きます②。
- 2** 4トレイメールボックススタッカの背面カバーを閉じます③。



### 排紙トレイでの紙づまり

- 1** 排紙トレイから用紙を取り除きます。
- 2** 排紙部でつまっている用紙があれば、ゆっくりと引き出します。

# 9

---

メンテナンス

---

## プリンタの取り扱い

- 印刷中はプリンタのいずれのカバーも開けないでください。
- プリンタが長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。乱暴に扱うとプリンタが損傷する可能性があります。
- すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。ラベルは、プリンタ内部にあります。
- プリンタは水平な場所に設置してください。



出力品質をよくするため、また消耗品の寿命を長くするためには、プリンタを固く平らな水平面に設置してください。水平かどうかは、普通の丸い鉛筆で確認できます。鉛筆が転がれば、水平ではないということです。

- プリンタに油をさしたり、分解しないでください。
- 転写ローラー、電気配線、機械部分、レーザービーム装置には触れないでください。プリンタの故障や印刷品質の低下の原因になります。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- プリンタのカバーはゆっくり閉めてください。
- プリンタのカバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってトナーカートリッジが損傷を受ける場合があります。
- プリンタ内部の清掃の際や紙づまり用紙を取り除く際には、定着部などの内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。



### ご注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります  
(1時間お待ちください)。



- プリンタを使用後すぐにカバーをかけないでください。

## プリンタ清掃

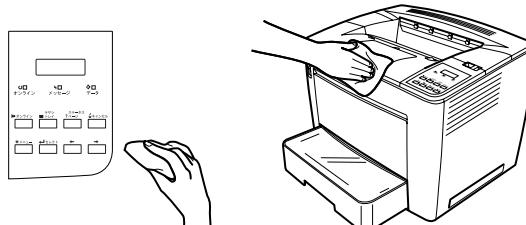
### プリンタの清掃が必要な時期

清掃が必要な箇所	清掃時期
外側	月に一度、また必要に応じて
内部（給紙ローラー）	給紙カセット／給紙トレイから給紙されなくなったとき
ご注意：プリンター内部の他の部分は清掃しないでください。必要に応じて販売店にご連絡ください。	

### 清掃用具

外側を清掃する際に使用するもの	使用してはいけないもの
操作パネルを拭く場合は、乾いた柔らかい布を使用します。	とがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの清掃パッド、ブラシなど）、液体
プリンターの外側を拭く場合は、水で湿らして固くしぼった柔らかい布を使用します。	エアゾル、ポンプ式スプレークリーナー、水で湿らせすぎた布
必要であれば、プリンタの外側を拭くのに中性洗剤を使用します。	溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤
内部を清掃する際に使用するもの	使用してはいけないもの
乾いた柔らかい布	とがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの清掃パッド、ブラシなど）、液体

### プリンタ外側の清掃



ご注意

プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間からスプレー液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。

### プリンタ内部の清掃

清掃時に取り外した内部の部品は、プリンタの電源をコンセントに接続する前に取り付けられていることを確認してください。

#### 警告！

清掃前には、プリンタの電源を切り、電源ケーブル、インターフェイスケーブルを外してください。

#### 警告！

プリンタ内部に水や洗剤がこぼれないようにしてください。プリンタの損傷や感電のおそれがあります。

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、その指示にしたがってください。ラベルは、プリンタ内部にあります。

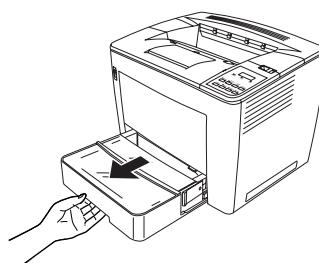
### 給紙カセットの給紙ローラーの清掃

プリンタの給紙ローラーには、用紙を1枚ずつ給紙するためのセンサーがあります。

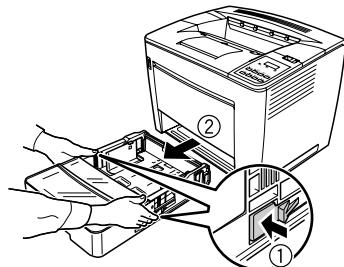
センサーによごれやほこりが付くと、誤動作の原因となります。

#### 1 給紙カセットを止まる位置まで引き出します。

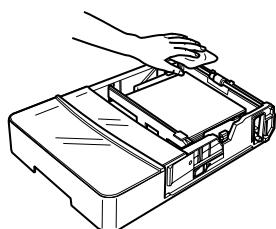
右図は標準給紙カセットの場合です。  
オプションの給紙カセットの場合も同様に行います。



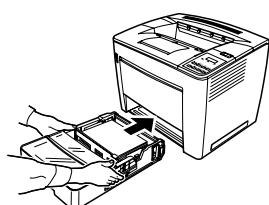
- 2** 両側にある解除ボタンを押しながら①、給紙カセットを引き出します②。



- 3** 紙ローラーを柔らかい乾いた布で拭きます。



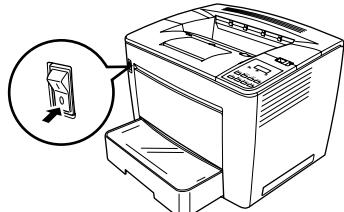
- 4** 紙カセットをプリンタに差し込みます。



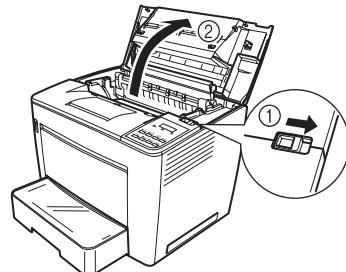
## 手差しトレイの給紙ローラーの清掃

プリンタの給紙ローラーには、用紙を1枚ずつ給紙するためのセンサーがあります。センサーによごれやほこりが付くと、誤動作の原因となります。

- 1** プリンタの電源を切ります。



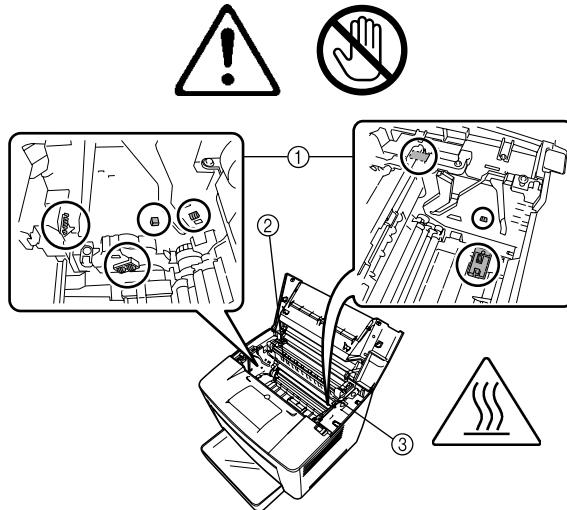
### 2 トップカバーを開けます。



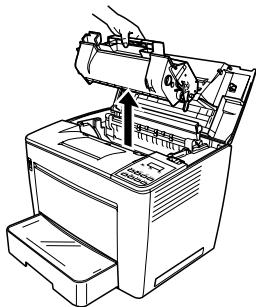
#### ⚠ ご注意

銅または真鍮の電極（①）、トップカバー内やトナーカートリッジの下にある電子部品には触らないでください。プリンタが故障する原因になります。

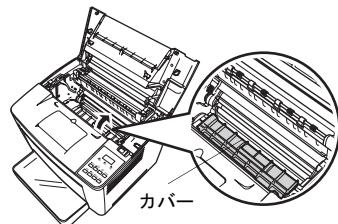
画像転写ローラーの周りの②も触らないでください。この付近の部品に触ると、印刷品質が落ちる場合があります。また、定着ユニットの周りの③も触らないでください（内部の温度が約 200°C まで高温になるため、この部分を触るとやけどのおそれがあります）。



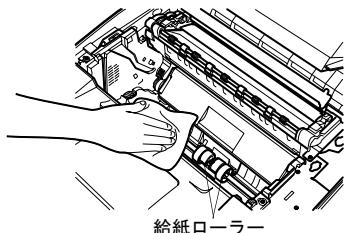
- 3** トナーカートリッジを取り外し、光が当たらないよう保護袋に入れておきます。



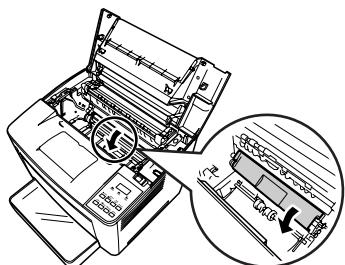
- 4** 給紙ローラーのカバーを開きます。



- 5** 2つの給紙ローラーを、柔らかい乾いた布で拭きます。

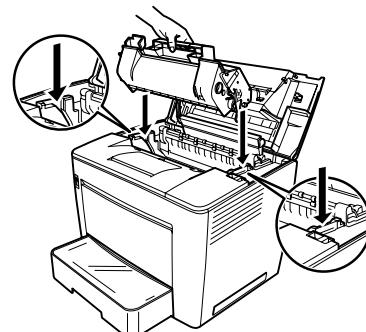


- 6** 給紙ローラーのカバーを閉じます。

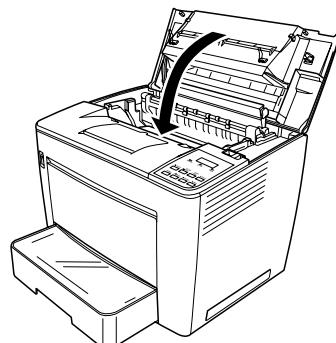


## 9 メンテナンス

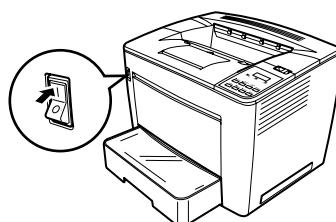
- 7** トナーカートリッジのガイドピン（左右1つずつ）をプリンタ側の溝に沿って、ゆっくりプリンタに差し込みます。



- 8** トップカバーを閉じます。



- 9** プリンタの電源を入れます。



# 10

---

オプション  
の取り付け

---

### はじめに

#### ▲ ご注意

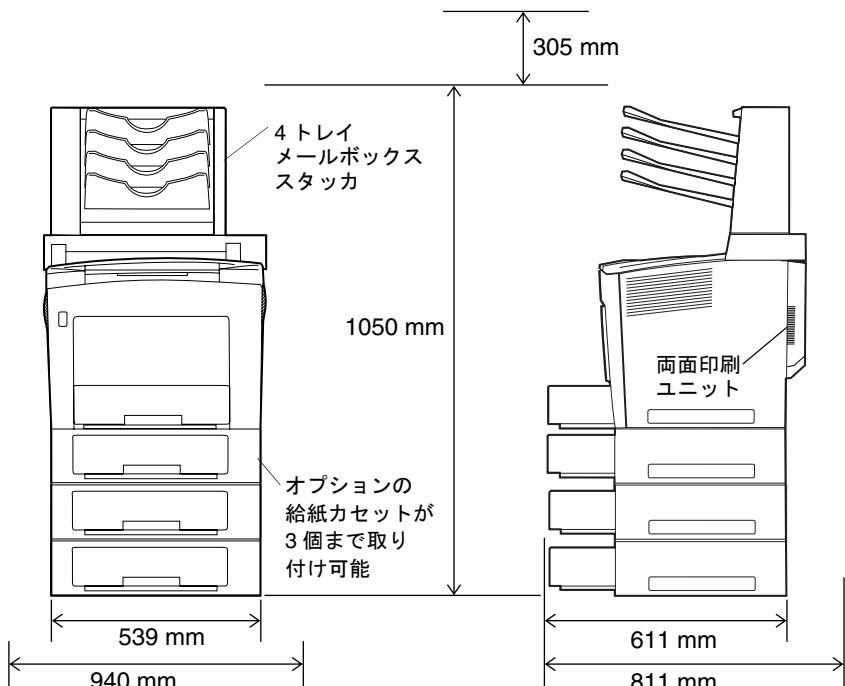
コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。

#### ▲ ご注意

本機は、弊社推奨品以外のオプションには対応していませんので、それらの使用は保証の対象外となります。

本章では、以下のオプションについて説明します。購入方法については、販売店へお問い合わせいただくか、または <http://printer.konicaminolta.jp> を確認してください。

4 トレイメールボック ススタッカ	4 つの排紙トレイを持ち、印刷した書類を指定したトレイ（メールボックス）に排紙することができます。
メモリ (DIMM) (2 スロット使用可能)	増設メモリ 64、128、256 MB 2 つの DIMM スロットで最大 512 MB まで増設できます。
両面プリントユニッ ト	用紙の両面に印刷することができます。排気フィルタを内蔵しています。
オプションの給紙力 セット  (550 枚ユニバーサルカ セットフィーダ)	オプションの 550 枚給紙力セットを最大 3 個追加できます。  追加給紙力セットを使用すると、用紙のサイズや種類を変更するときに便利です。
Time-of-Day Clock	アカウンティング情報にプリンタの日時を記録させます。
エミュレーション、 フォント、 ハードディスク（標準）	エミュレーションや市販のフォントを追加することによって、プリンタの使用用途が広がります。



注: 数値は端数切り捨て

弊社推奨品以外の消耗品またはオプションを使用した場合のプリンタ損傷  
は、保証の対象外になります。その際の修理は有償となり、通常の時間と部  
品代が適用されます。

### 静電気防止の対策



#### ご注意

---

コントローラボードは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。

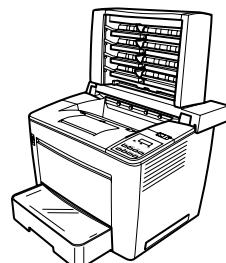
最初に電源スイッチを切っておいてください。静電気防止のリストストラップがある場合は、片方の端を手首に付け、もう片方の端をプリンタ背面の金属部分に付けます。リストストラップを機器に決して触れないようにしてください。プラスチック、ゴム、木、塗装された金属面は、接地面になりません。

静電気防止のリストストラップが無い場合は、コントローラボードや部品を取り扱う前に、接地面に触れて、身体に帶電している静電気を放電してください。また、放電後は、歩き回らないでください。再度帶電する可能性があります。

---

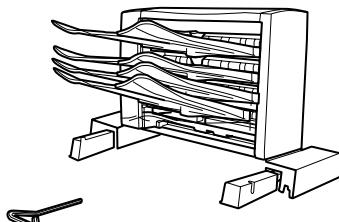
## 4 トレイメールボックススタッカの取り付け

プリントジョブのページ順を指定して出力する場合は、4トレイメールボックススタッカを装着してください。また、それぞれ別の排紙トレイに出力する場合は、排紙トレイを選択してください。ハイトレイ1、ハイトレイ2、ハイトレイ3、ハイトレイ4は、好きな名前に変更できます（アドミニストレーション／エンジン／ハイトレイX／メイショウ）が、名前をつけた排紙トレイの選択とプリントジョブの丁合は同時にはできない場合があります。



### 4トレイメールボックススタッカの構成

- メールボックススタッカ
- 搬送ユニット
- 排紙トレイ4個
- レンチ



この操作には、一般的なドライバが必要です。

### 4トレイメールボックススタッカの取り付けかた



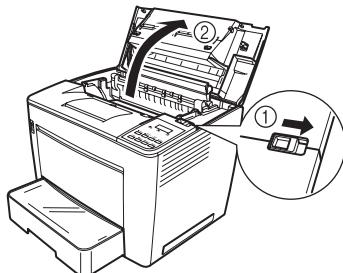
両面プリントユニットと4トレイメールボックススタッカの両方を取り付ける場合は、4トレイメールボックススタッカを先に取り付けてください。

両面プリントユニットがすでに取り付けられている場合は、4トレイメールボックススタッカを取り付ける前に取り外しておいてください。

- 1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。

## 10 オプションの取り付け

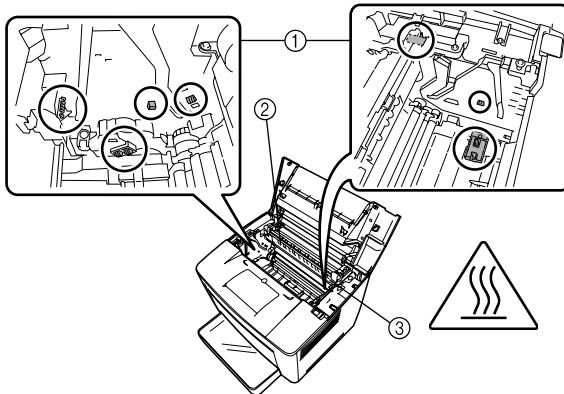
### 2 トップカバーを開けます。



#### ⚠ ご注意

銅または真鍮の電極（①）、トップカバー内やトナーカートリッジの下にある電子部品には触らないでください。プリンタが故障する原因になります。

画像転写ローラーの周りの②も触らないでください。この付近の部品に触ると、印刷品質が落ちる場合があります。また、定着ユニットの周りの③も触らないでください（内部の温度が約 200 °Cまで高温になるため、この部分を触るとやけどのおそれがあります）。



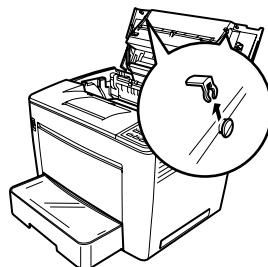
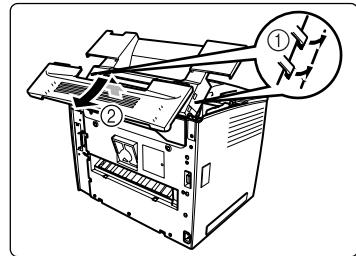
- 3** トップカバーを少し閉じ、タブ①（両側にそれぞれ2つあります）を引きます。

タブを強く引くと、破損する場合があります。

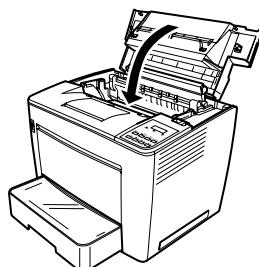
- 4** トップカバーの裏側で、背面を少し持ち上げ、プリンタ背面へスライドさせて②を取り外します。

- 5** トップカバーの裏側にある取り付け用金具（両側に各1個）を取り外します。

 取り外したトップカバーの背面部と取り付け用金具は、また使用する可能性があります。安全な場所に保管しておいてください。

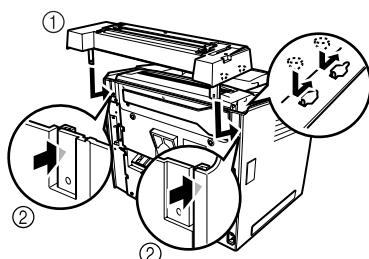


- 6** トップカバーを閉じます。



- 7** 搬送ユニット①をプリンタに取り付けます。

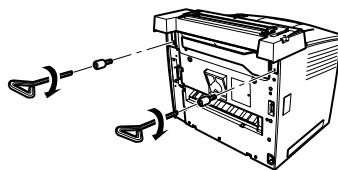
- 8** 搬送ユニットの左側と右側にある金属のタブをプリンタの溝に差し込み、搬送ユニットを前にスライドさせて取り付けます②。



## 10 オプションの取り付け

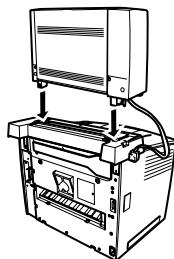
- 9** 4トレイメールボックススタッカに付属のレンチとネジを使用し、搬送ユニットの左と右の取り付け用金具をプリンタに固定します。

 レンチ使用後は、また使用するときのために安全な場所に保管してください。



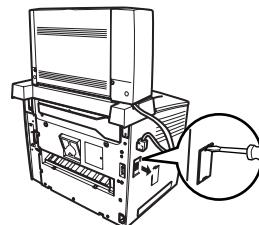
- 10** 4トレイメールボックススタッカを搬送ユニットに取り付けます。

- 11** 4トレイメールボックススタッカの底にある拡張部分を、固定するまで押し込み、搬送ユニットの穴に差し込みます。

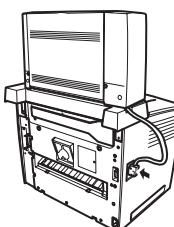


- 12** ドライバを使って、プリンタの左側にあるコネクタカバーを取り外します。

 取り外したコネクタカバーは、また使用するときのために安全な場所に保管してください。

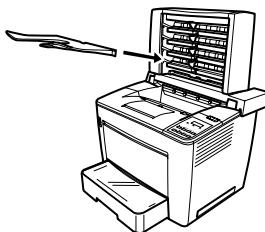


- 13** 4トレイメールボックススタッカケーブルをプリンタ左側のコネクタにロックするまで差し込みます。



- 14** 排紙トレイの左側と右側にあるタブを4トレイメールボックスタッカのスロットに差し込んで取り付けます。

4つの排紙トレイをいちばん下のトレイから取り付けてください。



- 15** 電源ケーブルとインターフェイスケーブルを接続します。



少しの距離でも、プリンタを移動する際には、4トレイメールボックスタッカをプリンタから取り外してください。

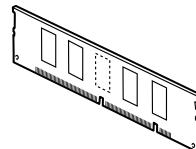
## メモリの取り付け

### 増設メモリ

メモリ (DIMM) は、メモリチップが表面に載っている小型の基板です。

PagePro 9100 には 128 MB のメモリが付属しています。

増設メモリ (DIMM) を取り付けることにより、最大 512 MB のメモリまで PagePro 9100 をアップグレードすることができます。メモリスロットは、2 つ使用できます。



メモリを増設すると、フォントをダウンロードしたり、プリンタのバッファ（コンピュータから送られたデータが印刷待ちの間格納される場所）を増やすことができます。プリンタに装着されたメモリの容量によって、各用紙サイズで使用される解像度も決まります。

また、以下のような場合に増設メモリ (DIMM) が必要になります。

- 最大パフォーマンスで印刷するとき
- 複雑な画像や複雑な PostScript 文書を印刷するとき
- 丁合い機能を強化するとき
- スプール機能を強化するとき

### 必要なメモリ

スタートアップページで、プリンタに十分なメモリが装着されているか確認してください。標準で 128 MB のメモリが装着されています。

用紙サイズ	片面		両面	
	600 dpi	1200 dpi	600 dpi	1200 dpi
A4 / Letter	64 MB	64 MB	64 MB	96 MB
Legal				64 MB
B4		96 MB		96 MB
A3 / Ledger				
注意	dpi : 1 インチあたりのドット数 (Dots per inch)			

## メモリの取り付けかた

### **⚠ ご注意**

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」(p. 10-4) に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の縁を持ってください。

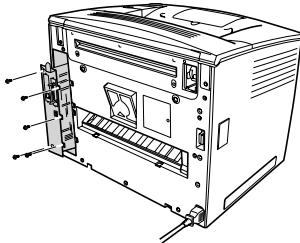
- 1 操作パネルの【ステータスページ】キーで詳細なステータスページを印刷してください。ステータスページが印刷できない場合は、手順2へ進んでください。

プリンタの設置と印刷の確認をすでに行っていて、メモリ装着後に現在のメモリ設定に戻す必要がある場合は、詳細なステータスページを印刷してください。

 メモリを取り付けると、自動的にメモリが初期設定に戻ります。

- 2 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとすべてのインターフェイスケーブルを取り外します。
- 3 コントローラボードを取り外します。

5本のネジを外し、コントローラボードをプリンタから引き出します。



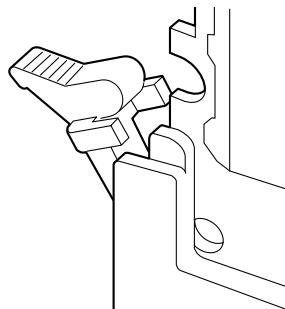
- 4 コントローラボードを平らな面に置いて、インターフェイスパネルが手前になるように平らに置きます。

 さらにメモリを取り付ける場合は、すでに装着されているメモリをより容量の大きいメモリに交換できます。

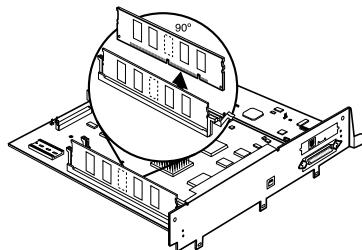
## 10 オプションの取り付け

**5** メモリを取り付ける前にメモリを取り外す必要がある場合は、以下の手順で取り外してください。取り外す必要がない場合は、手順 6 に進んでください。

- a** 両方の親指で、プラスチック製の固定クリップ (DIMM スロットの両側にあります) を開きます。

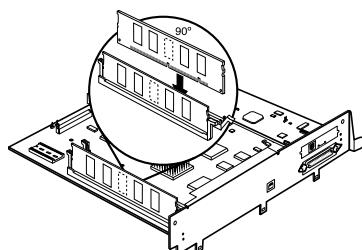


- b** DIMM スロットからメモリをまっすぐ持ち上げます。



**6** メモリの切り欠きを DIMM スロットに合わせて、プラスチック製の固定クリップがロックされる位置にはまるまでまっすぐ差し込みます。

メモリをしっかり差し込むことができない場合は、無理に押し込まないでください。メモリの底面が正しくスロットに差し込まれていることを確認して、もう一度取り付けてください。



**7** コントローラボードをプリンタに取り付けます。

しっかり取り付けられるまで、プリンタの溝に沿ってコントローラボードをゆっくりスライドさせ、5 本のネジで固定してください。

**8** インターフェイスケーブルをすべて接続します。

**9** 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

- 10** スタートアップページを印刷すると、プリンタに装着されているメモリの総容量の表示を確認できます。



[www.konicaminolta.net/printer/](http://www.konicaminolta.net/printer/)

## スタートアップ・ページ

### プリンター情報

製品名: PagePro 9100  
 プリンタ名: pp9100  
 シリアル番号: Q  
 システム日付: Mon Mar 08 21:52:40 2004  
 システム・ソフトウェア・リリース: 3.0.4  
 言語バージョン: 3010.041, リビジョン 35

実装メモリ容量: 128 MB

タイプフェース・フォント: 407  
 現在の解像度: 600x600

### 印刷概要

印刷フェース: 4230  
 印刷用紙枚数: 4119  
 A3 印刷フェース: 590  
 A3 印刷枚数: 590  
 OHP フィルム: 0

### 給紙カセット

手差し(1): a4  
 上段(2): govt.letter

プリンター・インターフェース  
 パラレル: Non-interactive  
 エミュレーション: ESP  
 データ・ビット: 8 Bits

USB  
 エミュレーション: ESP

オプショナル NIC: Enabled  
 タイプ: CrownNet 6.18ET+  
 エミュレーション: ESP  
 HW アドレス: 08.00.86.18.83.E5  
 IP アドレス: 192.168.118.178

実装オプション:  
 %disk7%  
 リュウミン L-K L™  
 中ゴシック B B B™




KONICA MINOLTA K および KONICA MINOLTA ロゴは  
 コニカミノルタホールディングス株式会社の商標または登録商標です。  
 PageProはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標または登録商標です。  
 その他すべての商標は、それぞれ各所有者の財産です。



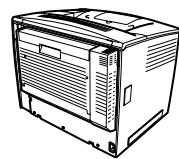






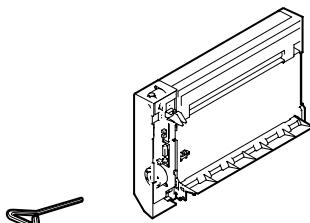
## 両面プリントユニットの取り付け

両面プリントユニットと十分なメモリが装着されていれば、自動的に両面印刷を行うことが可能です。「両面印刷」(p. 6-27) を参照してください。



### 両面プリントユニットの構成

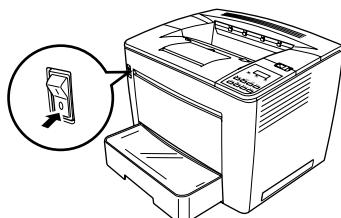
- 両面プリントユニット
- レンチ



### 両面プリントユニットの取り付けかた

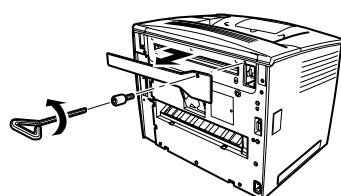
両面プリントユニットと4トレイメールボックススタッカの両方を取り付ける場合は、4トレイメールボックススタッカを先に取り付けてください。

- 1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとすべての接続ケーブルを取り外します。



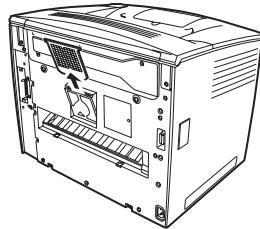
- 2 プリンタ背面のカバーを取り外します。

背面カバーはネジで固定されているため、両面プリントユニットに付属のレンチを使ってネジを取り外してください。



取り外したカバーは、また使うときのために安全な場所に保管してください。

- 3** 排気フィルタが取り付けられている場合は、取り外します。

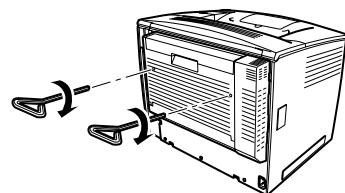
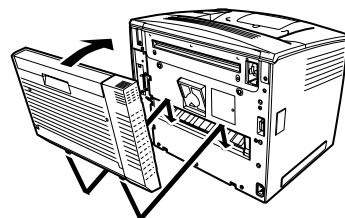


- 4** 両面プリントユニットをプリンタに取り付けます。

- a 両面プリントユニットの底面にある2つのタブを、プリンタ背面の取り付け穴に引っ掛けます。

**△ ご注意**

両面プリントユニットをネジで固定する前に両面プリントユニットを離すと、落下して破損する可能性があります。ネジで止めるまで、両面プリントユニットの上を支えてください。



- b 両面プリントユニットに付属のレンチを使って、2本のネジで両面プリントユニットをプリンタに固定させます。

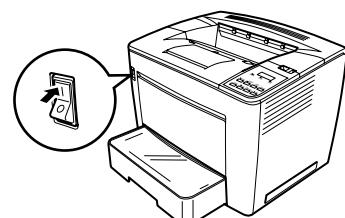
2本のネジは、両面プリントユニットに付属のもので、取り外せません。



レンチ使用後は、また使用する場合のために、安全な場所に保管してください。

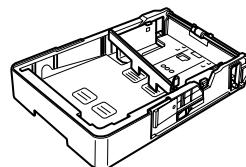
- 5** インターフェイスケーブルをすべて接続します。

- 6** 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



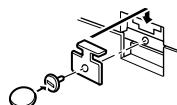
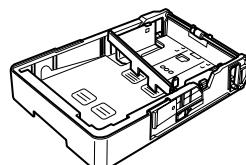
### 550 枚ユニバーサルカセットフィーダの取り付け

オプションの給紙カセットを使用して、プリンタの給紙容量を 550 枚ずつ増やすことができます。550 枚ユニバーサルカセットフィーダは 3 個まで増設することができます。プリンタの下に設置するため、水平面での追加スペースは必要ありません。



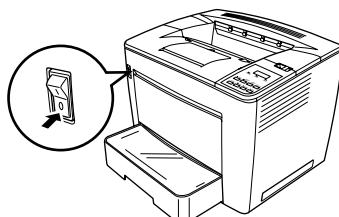
### 550 枚ユニバーサルカセットフィーダの構成

- 550 枚ユニバーサルカセット フィーダ
- 紙カセット（容量は 550 枚）
- ネジ 4 本
- 取り付け用金具 2 個



### 550 枚ユニバーサルカセットフィーダの取り付けかた

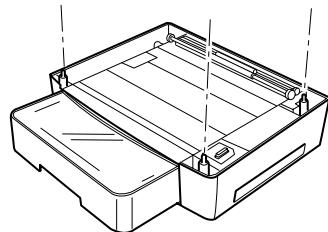
- 1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェイスケーブルをすべてプリンタから取り外します。



- 2** 550枚ユニバーサルカセットフィーダを箱から取り出し、プリンタの近くのテーブルまたは平らな場所に置きます。

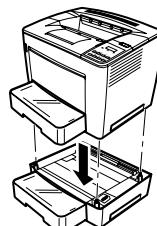
- 3** テープや梱包材を取り除きます。

 プリンタを移動したり発送したりするときのために、梱包材を取っておくことをお薦めします。



- 4** 550枚ユニバーサルカセットフィーダを複数取り付ける場合は、プリンタの設置場所に重ねて置きます。

- 5** 2人以上でプリンタを持ち上げ、550枚ユニバーサルカセットフィーダの上に置きます。



### ご注意

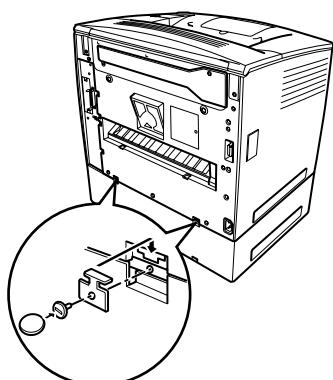
プリンタは組み立てた状態で約30.5kgあります。プリンタを持ち上げて移動するときには、必ず2人以上で行ってください。

- 6** 550枚ユニバーサルカセットフィーダ上のピンの位置を、上のプリンタまたは550枚ユニバーサルカセットフィーダの底にある穴の位置に合わせて正しく重ねてください。

- 7** 取り付け部品(ネジ4本と取り付け用金具)を使い、プリンタを550枚ユニバーサルカセットフィーダに固定します。

**a** 付属のネジを使って、付属の取り付け用金具をプリンタ背面の2箇所に取り付けます。

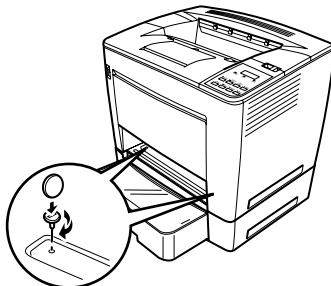
**b** ネジをしめます。



## 10 オプションの取り付け

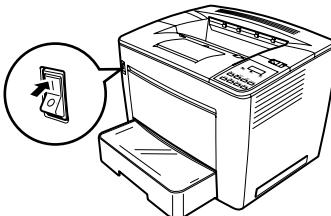
**8** 紙力セットを上のユニット（プリンタまたは550枚ユニバーサルカセットフィーダ）から取り外し、付属のネジで、図の位置の2箇所で2つのユニットを固定します。（硬貨を使ってネジをしめてください。）ネジをしめたら、紙力セットを元に戻してください。

複数の550枚ユニバーサルカセットフィーダを取り付けるときは、それぞれこの操作を行って550枚ユニバーサルカセットフィーダを固定してください。



**9** インターフェイスケーブルを接続します。

**10** 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



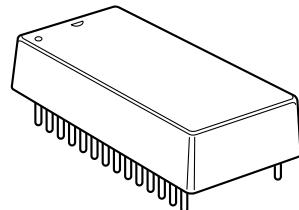
## 給紙力セット

プリンタは、250枚の容量の手差しトレイと、550枚の容量の標準給紙力セットを装備しています。オプションの550枚の容量の給紙力セットを3個まで取り付けることができます。追加の給紙力セット（カセット部のみ）を購入することもできます。給紙力セットが交換できると、以下のような利点があります。

- 用紙のサイズ、色、種類の変更を用紙を取り出してセットしなくてよいためより簡単になります。
- 交換用の給紙力セットを近くに置いておくと、給紙力セットを抜き出して別の給紙力セットを差しこむだけで、簡単に用紙を補給できます。

## Time-of-Day Clock の取り付け

本オプションを使用すると、スタートアップページとアカウントイングデータに日付と時刻を記録させることができます。

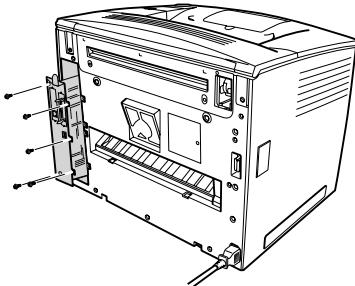


### Time-of-Day Clock の取り付けかた

#### **⚠ ご注意**

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」(p. 10-4) に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、基板の端だけを持ってください。

- 1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェイスケーブルをすべてプリンタから取り外します。
- 2 5 本のネジを外し、コントローラボードをプリンタから引き出します。

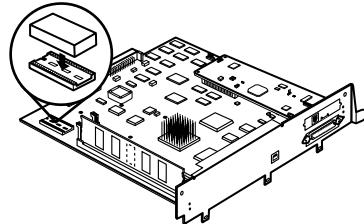


#### **警告！**

Time-of-Day Clock 内部にはバッテリーが含まれているため、Time-of-Day Clock の取り付け、交換が正しく行われないと、爆発のおそれがあります。対応している KONICA MINOLTA の Time-of-Day Clock のみ使用してください。Time-of-Day Clock を廃棄するときは、地域の条例にしたがってください。

## 10 オプションの取り付け

- 3** Time-of-Day Clock をコントローラボードに取り付けます。



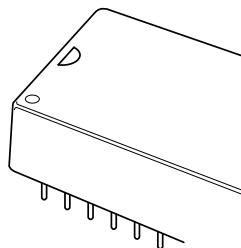
### ⚠ ご注意

Time-of-Day Clock のピンがコントローラボードの受信ソケットのピンに正しく合っていることを確認してください。ピンが正しく合っていないと、Time-of-Day Clock とコントローラボードが損傷するおそれがあります。

- a** コントローラボード上の Time-of-Day Clock ソケットと、ピン 1 の切り欠きまたは印刷されたラベルの位置を確認します。

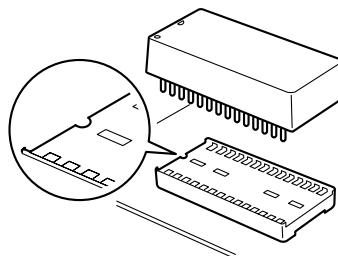
- b** Time-of-Day Clock 上のピン 1 表示マークの位置を確認します。

このマークは、Time-of-Day Clock の端の切り欠きか少しづぼみになっているところにある場合があります。



- c** この表示マークを、コントローラボード上のピン 1 の切り欠き／ラベルに合わせます。

- d** しっかりはまるまで、Time-of-Day Clock をゆっくり押します。



- 4** コントローラボードをプリンタに取り付けます。

- 5** しっかりはまるまでコントローラボードをプリンタの溝にスライドさせ、5 本のネジで固定します。

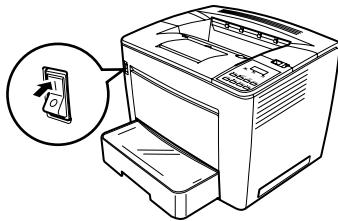
- 6** インターフェイスケーブルをすべて接続します。

- 7** 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

Time-of-Day Clock が取り付けられていれば、自動的に認識されます。

- 8** スタートアップページを印刷します。

今取り付けた Time-of-Day Clock はスタートアップページの「実装オプション」の項目には記載されませんが、「プリンター情報」の項目にシステム時間が記載されます。



### Time-of-Day Clock の使いかた

Time-of-Day Clock の設定方法と使用方法については、「Software Utilities」CD-ROM 内の「CrownBook」PDF を参照してください。

# エミュレーション、フォント、ハードディスク

## ■ エミュレーション

オプションの ImageServer エミュレーションを使用できます。ここでは、エミュレーションをプリンタのハードディスクにダウンロードする方法を説明します。



オプションのエミュレーションを使用するには、プリンタ内蔵のハードディスクが必要です。標準メモリ（128 MB）があれば、プリンタのパフォーマンスを落とさずにエミュレーションを動作させることができます。

### ImageServer とは

KONICA MINOLTA ImageServer は、画像ファイルを直接印刷することができます。

CCITT、G3/G4、G4 圧縮 TIFF、CALS、CGM をサポートしており、画像ファイルの連続印刷において、エンジンスピードとほぼ同等の印刷スピードを得ることができます。

詳しくは、ImageServer に付属のマニュアルを参照してください。

### パラレルインターフェイス経由でのダウンロード

- 1** プリンタの電源を入れ、ディスプレイに「アド」ル」と表示されるまで待ちます。
- 2** コンピュータに Windows が起動している場合は、DOS に切り替えます。
- 3** エミュレーションの CD-ROM をコンピュータに入れ、そのドライブ名を入力します。（例えば D ドライブを使用しているときは、d: と入力します。）
- 4** プリンタのハードディスクにエミュレーションを送ります。以下のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
copy ファイル名 1pt#.
```

「ファイル名」の部分にはインストールするファイル名を、「#」の部分にはプリンタが接続されているパラレルポートによって 1～3 を入力します（通常は 1）。

プリンタのメッセージウィンドウに「1 ACTIVE JOB」と表示され、エミュレーションがハードディスクにダウンロードされていることを示します。エミュレーションのダウンロードが完了すると、プロンプトに戻ります。

- 5** ハードディスクのランプの点滅が終わり、プリンタのメッセージウィンドウに「アイドル」と表示されてから（30秒以上かかります）、プリンタの電源を切ります。その後、再度電源を入れてください。

エミュレーションは、プリンタの起動ページの「実装オプション」、「アドミニストレーション / エミュレーション」メニュー、詳細なステータスページに記載、表示されます。

## イーサネットインターフェイス経由でのダウンロード



この操作を行う前に、プリンタとコンピュータがイーサネット（TCP/IP プロトコルで、有効な IP アドレスを持っているもの）に接続されている必要があります。

- 1** プリンタの電源を入れ、メッセージウィンドウに「アイドル」と表示されるまで待ちます。
- 2** コンピュータに Windows が起動している場合は、DOS に切り替えます。
- 3** エミュレーションの CD-ROM をコンピュータに入れ、DOS 上でそのドライブ名を入力します。（例えば D ドライブを使用しているときは、d: と入力します。）  
UNIX ワークステーションからエミュレーションをダウンロードしたいときは、インストールするファイルをエミュレーション CD-ROM から UNIX ワークステーション上の一時的なフォルダにコピーしてから、DOS 上でそのディレクトリに切り替えます。
- 4** 以下のいずれかのコマンドを入力して、コンピュータか UNIX ワークステーション上の FTP セッションを開きます。

```
ftp プリンタ名. (例 : ftp pctdev6.)
ftp IP アドレス. (例 : ftp 192.168.118.178.)
```

- 5** ユーザー名とパスワードの入力が表示されたら、どちらも【Enter】キーを押します。  
「ftp>」プロンプトが表示されます。
- 6** 「ftp>」プロンプトで以下のコマンドを入力して、バイナリモードに変更します。

```
bin.
```

## 10 オプションの取り付け

**7** 「ftp>」プロンプトで以下のコマンドを入力し【Enter】キーを押して、プリンタのハードディスクにエミュレーションファイルを送ります。

```
put ファイル名 ↵
```

「ファイル名」の部分にはインストールするファイル名を入力します。

プリンタのメッセージウィンドウに「1 ACTIVE JOB」と表示され、エミュレーションがハードディスクにダウンロードされていることを示します。エミュレーションのダウンロードが完了すると、「ftp>」プロンプトに戻ります。

**8** 「ftp>」プロンプトで以下のコマンドを入力して、FTP セッションを終了します。

```
quit.↵
```

**9** ハードディスクのランプの点滅が終わり、プリンタのディスプレイに「アドル」と表示されてから（30秒以上かかります）、プリンタの電源を切ります。その後、再度電源を入れてください。

**10** エミュレーションは、プリンタの起動ページの「実装オプション」、「アドミニストレーション / エミュレーション」メニュー、詳細なステータスページに記載、表示されます。

 コンピュータ（あるいは UNIX ワークステーション）上に残っているインストール用のファイル、一時的なディレクトリは削除していません。

## ImageServer エミュレーションの設定と使用方法

設定方法と使用方法については、エミュレーションに付属のマニュアルを参照してください。

## ■ フォント

### 市販のフォントのダウンロード

市販のフォントのダウンロードについては、各フォントメーカーのマニュアルを参照してください。

### ■ 漢字フォント内蔵 IDE ハードディスク（標準）

漢字フォント内蔵 IDE ハードディスクには、漢字フォントとその他のファイルが含まれています。これらのフォントは、いろいろなポイントのサイズで、異なったスタイルや解像度で印刷することができます。

PagePro 9100 に標準で搭載されている漢字フォントはプリンタの常駐フォントと同等に使用することができます。



---

トラブル  
シューティング

---

11

## セットアップ時の問題

症状	原因	処置のしかた
操作パネルが点灯しない メッセージが表示されない	ACコンセントから電気が届いていない。	ACコンセントが通電していることを確認してください。
	電源ケーブルがコンセントとプリンタの両方にしっかりと接続されていない。	プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを確実に接続してから、プリンタの電源をオンにしてください。
	プリンタの電源がオンになっていない。	プリンタの電源をオンにしてください。
	コンセントからの電源電圧がプリンタの電源条件に合っていない。	電源電圧がプリンタの電源条件を満たしていることを確認してください。「電源仕様」(p. A-4) を参照してください。
[オンライン] ランプがオンになっていてディスプレイに「アイドル」と表示されているが、スタートアップページがプリントされない	起動するまで十分に時間がたっていない。	プリンタは、ウォームアップに約70秒かかります。まずスタートアップページがプリントされるまで十分お待ちください。
	スタートアップページの出力設定が「オフ」になっている。	「アドミニストレーション / スタートオフション / スタートページプリント」をハイにしてください。
プリンタがコンピュータからデータを受信しない(ファイルを印刷しても「データ」ランプが点滅しない)	プリンタがオンラインになっていない。	プリンタをオンラインにして、メッセージウィンドウに「アイドル」と表示されることを確認してください。
	エミュレーションがESPから、送信したファイルに合わないエミュレーションに変わっている。	ステータスページをプリントしてください。ESPモードについて詳しくは、「付録」または「CrownBook」を参照してください。
	ポート設定が正しくない。	イーサネット接続、パラレル接続、USB接続の場合は、ポートを使用できるように設定しておいてください。
エラーメッセージが表示される	消耗品や給紙カセット／手差しトレイが正しく装着されていない。	ディスプレイに表示されたメッセージにしたがって対処してください。詳しくはp. 11-16を参照してください。
	紙づまりが起こっている。	ディスプレイに表示されたメッセージにしたがって対処してください。詳しくはp. 11-16を参照してください。
	プリンタ内部で問題が発生している。	

症状	原因	処置のしかた
ステータスページを印刷できない	給紙カセット／手差しトレイに用紙が入っていない。	給紙カセット／手差しトレイに用紙が正しく確実にセットされているか確認してください。
	給紙カセットおよびカバーがしっかりと閉まっていない。	給紙カセットおよびカバーをゆっくり確実に取り付けてください。プリンタをがたがた揺らさないでください。
	紙づまりが起こってる。	紙づまりが起きていないか確認してください。
プログラムのコードが印刷される、またはESPモード時に何も印刷されない	プリンタエミュレーションが正しくない。	印刷するファイルで使用する特定のプリンタのエミュレーション用にポートを再設定してください。
	ESPタイムアウトが短すぎる。	プリンタがESPモード時にPostScriptファイルからPostScript記述を印刷する場合、「アドミニストレーション／インターフェイス／タイムアウト／ESPタイムアウト」メニューでESPタイムアウトの時間を増やしてください。
ページの端が薄く印刷される	プリンタが水平な場所に置かれていない。	プリンタを平らで硬く安定した場所に置いてください。(例えば、丸い鉛筆を置いてどの方向にも転がらないことを確認してください。)

## プリンタ本体の問題

症状	原因	処置のしかた
プリンタの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にして、電源ケーブルをコンセントから外し、差し込みなおしてください。
	電源スイッチが正しい位置になっていない。	電源スイッチをオン（ の位置）にしてください。
	電源スイッチが正しくオン（ の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（ の位置）にしてください。
	プリンタが使用しているコンセントに問題がある。	コンセントにスイッチがある場合は、スイッチをオン（ の位置）にしてください。 他の電気機器をそのコンセントに接続して、その機器が正しく動作するか確認してください。
	プリンタが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンタの仕様に合っていない。	付録「電源仕様」（p. A-4）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
頻繁にプリンタがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがACコンセントに正しく接続されていない。	プリンタの電源を切り、電源ケーブルがACコンセントに正しく接続されているかどうか確認して、電源を入れなおしてください。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
プリンタにデータを送ったが、印刷されない	メッセージウィンドウにエラーメッセージが表示される。	表示されるメッセージにしたがって対処してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間がかかるモード（用紙の種類が厚紙やOHPフィルム）に設定されている。	OHPフィルムなどの特殊紙は、印刷に時間がかかります。普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで「用紙の種類」が「普通紙」に設定されていることを確認してください。
	プリンタが節電モードになっている。	プリンタが節電モードの状態では、印刷するまでに少し時間がかかります。節電モードを使用したくないときは、「アドミニストレーション/エイジン/セーテン モード」メニューで節電モードを無効にしてください。
	プリンタのメモリが十分でない。	メモリを増設してください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	お待ちください。何もする必要はありません。
	プリンタがシングルユーザーモードに設定されている。	用紙の種類に関係なくジョブをすぐに印刷したい場合は、ネットワークモードを使用してください（「オペレータコントール/メディア モード」メニュー）。「ネットワークモード」と「シングルユーザーモード」の違いについては、(p. 6-5) を参照してください。
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	正しい用紙を使用していることを確認してください。封筒、105 g/m <sup>2</sup> 以上の光沢紙、ラベル、はがき、105 g/m <sup>2</sup> 以上の厚紙、OHPフィルムでは、両面印刷しないでください。
		印刷する文書が2ページ以上あることを確認してください。
		スタートアップページを印刷して、装着されているオプションとして両面プリントユニットが記載されているか確認してください。
		プリンタドライバで、「短辺綴じ」（メモ帳のように縦にめくる）または「長辺綴じ」（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。

## 11 トラブルシューティング

症状	原因	処置のしかた
用紙の違う面に印刷される	プリンタが自動両面印刷に設定されているが、手動で両面印刷しようとしている。	手動両面印刷の場合は、プリンタ ドライバの「レイアウト」タブで「片面」を選択してください。
	用紙が正しくセットされていない。	印刷面を上にして用紙をセットしてください。
文字が正しく印刷されない	プリンタ ドライバでフォントが正しく設定されていない。	プリンタ ドライバで、正しいフォント (True Type フォントなど) 設定になっているか確認してください。
異常音がする	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを、平らで、固く、安定した、水平な場所に置いてください。
	給紙カセットが正しく取り付けられていない。	印刷に使用する給紙カセットを取り外し、確実に差し込み直してください。
	プリンタ内に異物がある。	プリンタの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
プリンタが節電モードになっている	30 分間使用されないと、プリンタが自動的に節電モードになる（初期設定）。	「アドミニストレーション/インジン/セッテイン モード」メニューで、節電モードになるまでの時間を変更することができます。
CrownView 内の Accounting にアクセスできない	プリンタの電源がオンになっていない。「アイドル」と表示されていない。	プリンタの操作パネルに「アイドル」と表示されていることを確認してください。  CrownView について詳しくは、5 章または「Software Utilities」CD-ROM 内の「CrownBook」PDF を参照してください。
	ハードディスクが装着されていない。	ハードディスクを取り付けてください。
フォントをハードディスクにダウンロードした後に、フォントリストが更新されていない	プリンタのフォントリストが更新されていない。	詳細なステータスページを印刷し、ダウンロードされたフォントを確認してください。

症状	原因	処置のしかた
プリンタがコンピュータからのデータを受信しない (ファイル送信後に「データ」ランプが点滅しない)	プリンタがオンラインになっていない。	プリンタをオンラインにして、「アド'ル」というメッセージが表示されることを確認してください。
	エミュレーションが ESP から、送ったファイルに合っていないエミュレーションに変わっている。	ステータスページを印刷してください。ESP モードについては、付録または「Software Utilities」CD-ROM 内の「CrownBook」PDF を参照してください。
	ポート設定が正しくない。	イーサネット接続、パラレル接続、USB 接続の場合は、ポートを「ユウコウ」に設定してください。
	パラレルケーブルが「ソウウコウ モード」(初期設定)に設定されているときに、パラレルケーブルを抜いて差し込むと、通信できなくなります。	「アド'ミnistレーショn / インタフェイス / パ'ラレル インタフェイス / モード」メニューで、パラレルケーブルを「ヒウウコウ」モードに設定してください。
多くのステータスページが印刷される	プリンタが、1枚の標準ステータスページではなく、複数の詳細なステータスページを印刷する設定になっている。	操作パネルの「アド'ミnistレーショn / スペ'シャル ペ'ージ / ステータスペ'ージ タイ'」メニューでステータスページの種類を「ヒヨウジ'ュン」に変更してください。
「セキュリティ」メニューの「オペ'レータ メニュー / パ'スワード ユウコウ」で、telnet session でパスワードの入力が必要になる	「セキュリティ / アド'ミン メニュー」で設定したパスワードが、アドミンモードとアドミンメニューの両方に影響している。	「セキュリティ / アド'ミン メニュー」で設定したパスワードを telnet admin mode で使用してください。

## 印刷の問題

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない	キーパッドがロックされた、紙づまりが起こった等のメッセージが操作パネル上に表示されている。	表示されているメッセージにしたがって操作してください。例えば、キーパッドがロックされているときは、プリンタがネットワークモードになっていて他の人が telnet セッションを開いてないか確認してください。プリンタの設定を「シングルユーザーモード」に変更してください（「オペレータコントロール / メディアモード」メニュー）。「ネットワークモード」と「シングルユーザーモード」の違いについては、(p. 6-5) を参照してください。
	プリンタドライバが正しく設定されていない。	プリンタドライバで正しく用紙設定を行ってください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を確認してください。湿気のある用紙を取り除いて新しい乾いた用紙に替えてください。
	電源がプリンタの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	プリンタの設置条件に問題がある。	プリンタを十分に支えることのできる、平らで、固く、安定した、水平な場所にプリンタを置いてください。
	用紙のサイズまたは種類が正しくない。	正しい用紙を使用しているか確認してください。「用紙の取り扱い」(p. 6-1) を参照してください。
	給紙カセットまたは給紙力セッタのカバーが正しく取り付けられていない。	給紙カセットと給紙カセットのカバーが正しく取り付けられ、差し込まれているか、確認してください。
	用紙が給紙カセット／手差しトレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえ、給紙カセット／手差しトレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷されない ページがある	プリンタの接続ケーブルの種類またはポートが間違っている。	接続ケーブルを確認してください。
	[キャンセル] キーが押された。	ジョブの印刷時に、誰も [キャンセル] キーを押していないことを確認してください。
	給紙カセット／手差しトレイが空になっている。	使用している給紙カセット／手差しトレイの用紙がなくなったというメッセージが表示されていないか確認してください。
複数の用紙が重なって排紙される	静電気が起きている。	給紙カセット／手差しトレイから用紙を取り除き、静電気が起きていないか確認してください。OHP フィルム以外の用紙であれば、用紙をさばいてから給紙カセット／手差しトレイに戻してください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットし直してください。

## 紙づまりの問題

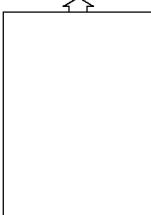
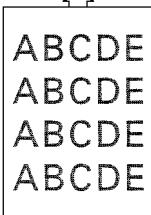
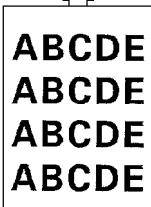
症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	複数のOHP フィルムが手差しトレイ内で静電気を起こしている。	OHP フィルムを取り除き、一度に1枚ずつ手差しトレイにセットします。セットする前にOHP フィルムをさばかないでください。
	標準カセットまたはオプションの給紙カセットのOHP フィルムが正しく給紙されない。	封筒、ラベル、はがき、特殊紙、厚紙、OHP フィルムは、手差しトレイでのみ印刷できます。
	推奨用紙のOHP フィルムまたはラベルが、手差しトレイ内で逆向きにセットされている。	OHP フィルムやラベルの向きを正しくセットしてください。
	表面加工されたOHP フィルムが使用されている。	KONICA MINOLTA 推奨のOHP フィルムを使用してください。
	正しくない給紙カセット／手差しトレイが使用されている。	封筒、ラベル、はがき、特殊紙、厚紙、OHP フィルムは、手差しトレイでのみ印刷できます。
	給紙カセット／手差しトレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙カセット／手差しトレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	給紙カセット／手差しトレイ内の用紙枚数が最大補給量を超えていている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、給紙カセット／手差しトレイ内の用紙の枚数を減らしてセットし直してください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙カセット／手差しトレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙カセット／手差しトレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
紙づまりが起きる	対応していない用紙（サイズ、厚さ、表面加工、種類が異なる用紙）を使用している。	プリンタに対応している用紙を使用してください。「用紙の取り扱い」(p. 6-1) を参照してください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりのメッセージが消えない	プリンタをリセットする必要がある。 紙づまりした用紙が機内に残っている。	トップカバーを開けてから閉めてください。 用紙が通る場所を再確認して、紙づまりした用紙がすべて取り除かれているか確認してください。
両面印刷の紙づまりが起きている	間違った用紙を使用している。	対応用紙のみ使用してください。「用紙の取り扱い」(p. 6-1) を参照してください。 105 g/m <sup>2</sup> 以下の上質紙または普通紙で両面印刷ができます。厚い紙の場合は、手動両面印刷を行う必要があります。手動両面印刷を行うには、用紙を取り除き、逆向きにして、セットしなおします。 給紙カセット内に異なる種類の用紙を混ぜて入れないでください。
	紙づまりした用紙が機内に残っている。	用紙が通る場所を再確認して、紙づまりした用紙がすべて取り除かれているか確認してください。
	手動両面印刷中、セットした用紙に曲がりくせ（カール）があり、紙づまりが起こる。	給紙カセット／手差しトレイからつまつた用紙を取り除き、残りの用紙の曲がりくせを矯正してからセットし直してください。
4 トレイメールボックススタッカで紙づまりが起きる	紙づまりした用紙が機内に残っている。	用紙が通る場所を再確認して、メールボックス内で紙づまりした用紙がすべて取り除かれているか確認してください。

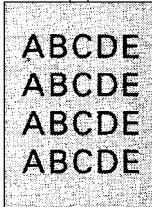
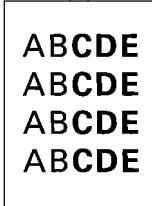
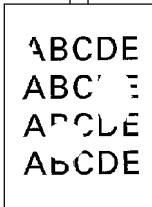
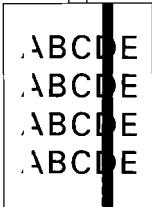
## 印刷品質

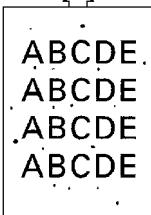
### 概要

印刷結果	参照ページ			印刷結果	参照ページ		
	トナー カート リッジ	画像転写 ローラー	給紙ロー ラーまたは用紙		トナー カート リッジ	画像転写 ローラー	給紙ロー ラーまたは用紙
A blank white page.	p. 11-13			The text "ABCDE" is printed vertically on the page.	p. 11-14	p. 11-14	
A solid black page.	p. 11-13			The text "ABCDE" is printed vertically, but the 'C' character is missing from each line.			p. 11-14
The text "ABCDE" is printed vertically, with a horizontal line through each character.	p. 11-13			The text "ABCDE" is printed vertically, with a vertical line through each character.	p. 11-14		
The text "ABCDE" is printed vertically, with each character appearing twice as tall.	p. 11-13			The text "ABCDE" is printed vertically, with each character appearing twice as tall.			p. 11-15
The text "ABCDE" is printed vertically, with significant noise or grain visible in the background.	p. 11-14						

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない 	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
まっ黒に印刷される 	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	修理が必要な場合があります。	販売店または弊社に連絡するか、 <a href="http://printer.konicaminolta.jp">http://printer.konicaminolta.jp</a> をご覧ください。
印刷が薄い 	トナーカートリッジのトナーが残り少なくなっている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、左右に数回振ってトナーを均一にしてください。 問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている場合があります。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
印刷が濃い 	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

## 11 トラブルシューティング

症状	原因	処置のしかた
全体に汚れる 	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
濃度が均一でない 	トナーカートリッジ内のトナーが偏っている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、左右に数回振ってトナーを均一にしてください。
	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	転写ローラーが壊れている場合があります。	転写ローラーを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、転写ローラーを交換してください。
一部分が欠ける 	湿度が高いため、または水に濡れたために、用紙が湿気を帯びている場合があります。	トナーは湿った用紙に付着しないため、乾いた用紙を使用してもう一度印刷してください。
	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
白または黒の線に入る 	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
しみがある 	トナーカートリッジ内のトナーが偏っている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、左右に数回振ってトナーを均一にしてください。
	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙の裏面にしみがある場合は、給紙ローラーが汚れています。	給紙ローラーを取り出し、ゴミがついていないか確認してください。必要であれば、給紙ローラーを交換してください。 販売店または弊社に連絡してください。詳しくは、 <a href="http://printer.konicaminolta.jp">http://printer.konicaminolta.jp</a> をご覧ください。

## ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。プリンタの情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役に立ちます。表示されたメッセージの状況が変わると、ウィンドウからメッセージが消えます。詳しくは、「Software Utilities」CD-ROM内の「CrownBook」PDFを参照してください。



プリンタがオフラインのときは、ステータスマッセージは表示されません。

### ステータス、エラーメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
プリントログ ノ セッティ ハ ムコウテス	アカウントの項目が現在設定中です。	何もする必要はありません。
プリントログ ノ セッティ ハ ユウコウテス		
ログファイル ガ 80% フルテス ログファイル ガ 85% フルテス ログファイル ガ 90% フルテス ログファイル ガ 95% フルテス	ジョブアカウントファイルが設定値容量の 80%、85%、90%、95% に達しました。	他の問題が隠れている可能性があるため、このメッセージにはすぐに対処してください。 一度アカウントメッセージが消えたら、「アドル」と表示されるか確認してください。「アドル」と表示されない場合、他のエラーメッセージが表示されます。表示されるメッセージに注意してください。  アカウントを有効にしたいときは、ジョブアカウントと用紙アカウントファイルをフロッピーディスクにコピーするか、あるいはFTPを使ってお使いのホストコンピュータに送ってください。その後アカウントファイルをリセットすると、新しいジョブを受信できるようになります。アカウントを使用しないときは、無効にすることもできます。

メッセージ	意味	処置のしかた
ログファイルが サクシ ヨサレマシタ	アカウントの項目が無効になり、アカウントファイルが空の状態です。リセット後ファイルは削除されます。これは、空のアカウントファイルでディスク容量を無駄に使用しないためです。	何もする必要はありません。
ログファイル <X> カ フルテス	ジョブまたは用紙アカウントファイルがフルです。 (<X> はファイルを示しています。)	他の問題が隠れている可能性があるため、このメッセージにはすぐに対処してください。  アカウントを有効にしたいときは、ジョブアカウントと用紙アカウントファイルをフロッピーディスクにコピーするか、あるいはFTPを使ってお使いのホストコンピュータに送ってください。その後アカウントファイルをリセットすると、新しいジョブを受信できるようになります。アカウントを使用しないときは、無効にすることもできます。
<X> トレイ ヲ セツトシテクタ サイ	指定された給紙カセット<X> が正しく差し込まれていません。確認が必要です。	必要に応じて、用紙と用紙ガイドを調整しなおしてから、もう一度給紙カセットを差し込んでください。
キャンセル <N>	[キャンセル] キーが押され、プリントキュー内の<N> 個のプリントジョブがキャンセルされています。	[セレクト] キーを押して、プリント中、読み込み中、スプール中、終了中のステータスのすべてのジョブを選ぶと、完全にシステムから削除されます。
プリントジョブ キャンセル ジョブ キャンセル	[キャンセル] キーが押され、プリントキュー内のプリントジョブがキャンセルされています。	[セレクト] キーを押すと、プリントキュー内のジョブがキャンセルされます。
ファイル ヲ サカセイシマシタ	アカウントファイルが作成されました。	何もする必要はありません。

## 11 トラブルシューティング

メッセージ	意味	処置のしかた
ジョブ ファイル サクセイチウ ファイルヲ サクセイシマシタ ペーパー-ファイル サクセイチウ ファイルヲ サクセイシマシタ	アカウントが有効になったときにこれらのファイルが存在しない場合、指定されたアカウントファイルが作成されるか、またはリセットアカウントの後にこれらのファイルが作成されます。	お待ちください。何もする必要はありません。
リョウメン <X>	<X> の部分は、「DUPLEX MEDIA ERROR」のように、両面印刷でのエラー情報になります。	メッセージの内容にしたがって処置をしてください。
ジョブ シュクリヨウ	[キャンセル] キーが押され、「ジョブ シュクリヨウ」オプションが選択されました。	[セレクト] キーを押して、ジョブのないプリントジョブを終了します。
セツテンチュウ	節電機能が働いています。プリンタが節電モードになり、動作していない間は消費電力が少くなります。プリントジョブを受信すると、プリンタは 90 秒以内に通常の消費電力に戻ります。節電モードの状態のときは、メッセージウィンドウに、ドアが開いている、給紙カセットが装着されていない等のプリンタの状態は表示されません。プリントジョブを受信するか、手動でオフラインからオンラインに切り替えるまでは、節電モードの状態のままです。	何もする必要はありません。
<X> カバー ガ アイネイマス	<X> で指定されたカバーが正しく閉まっていません。	カバーを閉めてください。
ハイストレイ メールビン <X> ガ フルデス	<X> で指定された排紙トレイがいっぱいになっているので、取り除く必要があります。	排紙トレイから用紙を取り除いてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
メールピン <X> デ メデ イジ ゃム	<X> で指定された排紙トレイで紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。給紙ローラーがすり減っていないか確認してください。必要であれば、給紙ローラーを交換してください。
アドル	プリンタはオンラインになっていますが、処理中のジョブはありません。	何もする必要はありません。
ショカチュウ	プリンタは初期化中です。	お待ちください。何もする必要はありません。
	プリンタはウォームアップ中で、オンラインになる準備中です。	お待ちください。何もする必要はありません。
トナーカートリッジ ガ チガ イマス	弊社推奨品以外のトナー カートリッジが装着されていないため、プリンタが正しく動作しません。	対応している KONICA MINOLTA の消耗品のみを使用してください。消耗品の注文については、 <a href="http://printer.konicaminolta.jp">http://printer.konicaminolta.jp</a> を参照してください。
メールピン <X>	4トレイメールボックススタートカの <X> の部分に確認が必要です。	メッセージの内容にしたがって解決してください。
ペーパージャム <X> または <X> デ メデ イジ ゃム	指定された場所 <X> で紙づまりが起きています。用紙を取り除くか、給紙ローラーの清掃、交換が必要な場合があります。	場所を確認してつまった用紙を取り除いてください。また、給紙ローラーがすり減っていないか確認してください。必要であれば、給紙ローラーを交換してください。
ハイストレイ アップ ガ フルテス	排紙トレイの用紙が最大積載量を超えています。	指定された排紙トレイから用紙を取り除いてください。
ドコカノトレニ キュウシテクダ サイ	給紙カセット／手差しトレイ内で検出されている用紙サイズが、用紙サイズの設定に合っていません。	給紙カセット／手差しトレイ内の用紙を変更するか、ドライバでの用紙サイズの設定を変更してください。

## 11 トラブルシューティング

メッセージ	意味	処置のしかた
ステータスページ ヲ プリントチュウ	ステータスページをプリント中です。	ステータスページが印刷されるまでお待ちください。印刷後メッセージは消えます。
<X> サイズ <Y> ヲ <Z> トレイニ セット	給紙カセット <Z> に、<X> のサイズ、<Y> の種類の用紙（例えは A4 サイズの OHP フィルム）をセットする必要があります。	表示されている給紙カセットに、表示されている用紙をセットしてください。
アカウントジ ヨウホウ リセットチュウ	リセットアカウントの操作が処理中です。	お待ちください。何もする必要はありません。
トナーカートリッジ ヲ カクジ ツニセツシテクダ サイ	トナーカートリッジがプリンタに正しく取り付けられていません。	対応している KONICA MINOLTA のトナーカートリッジを取り付けなおしてください。
トナー ガ アリマセン	トナーカートリッジのトナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。両面ユニットが装着されていない場合は、排気フィルターも交換してください。
トナー ガ ショウリヨウデス	トナーカートリッジがもうすぐ寿命です。「<X> トナー ガ ショウリヨウデス」と表示されてから A4 / Letter サイズの用紙を約 750 枚（5% の印字率場合）印刷すると、プリンタが動作しなくなります。	何もする必要はありません。 印刷品質が低下したら、トナーカートリッジを交換してください。両面ユニットが装着されていない場合は、排気フィルターも交換してください。
ウォーミング アップ	プリンタが印刷準備のためのウォームアップ中です。	お待ちください。他に何かする必要はありません。

## サービスメッセージ

いくつかの異常なイベントが発生した場合に、実際の問題が無くてもサービスメッセージが表示されることがあります。プリンタが動作せずサービスメッセージがメッセージウィンドウに表示されたら、プリンタの電源を切ってから入れなおしてください。この操作でサービスメッセージが消え、プリンタの動作が復旧することがあります。サポートセンターへ連絡する前に、必ず電源のオフ／オンをしてみてください。

サービスは、保守契約が結ばれているサービス店かお買い求めの販売店または、弊社サポートセンターにご連絡ください。

メッセージ	意味	処置のしかた
サービスコール <X>	サービスメッセージ内に表示されている <X> のエラーが検出されました。サービスコールが必要です。	プリンタを再起動してください。 状況が変わらない場合は、販売店または弊社に連絡してください。 詳しくは、 <a href="http://printer.konicaminolta.jp">http://printer.konicaminolta.jp</a> をご覧ください。

## HP-GL エラーコードと PCL エラーコード

HP-GL、PCL、PCLXL のエミュレーション動作時にプリンタのメッセージウィンドウに表示される可能性があるエラーコードは、以下の表のとおりです。

HP-GL	
エラー コード	内容
0	ジョブを実行するのに十分なメモリがありません。
1	変換が多すぎます。
2	計算エラー
3	ジョブが中止されました。
4	命令が認識されていません。
5	パラメータ数が違っています。
6	パラメータの範囲外、または違法な文字列です。
7	使用されていません。
8	不明な文字列が設定されています。
9	位置のオーバーフロー
10	バッファオーバーフロー
11	使用されていません。

PCL	
エラー コード	内容
0	ジョブを実行するのに十分なメモリがありません。
1	状態が失われています。
2	計算エラー
3	ジョブが中止されました。
4	マクロ用のメモリが不足しています。
5	ディスクがいっぱいです。 フォントを保存できません。
6-13	内部エラー 1 ~ 8

PCLXL	
エラー コード	内容
0	ジョブを実行するのに十分なメモリがありません。
1	計算エラー
2-7	内部エラー 1 ~ 6

## ポストスクリプトエラー

PostScript エミュレーション使用時にプリンタで印刷に問題がある場合は、操作パネルメニューの「エラーハンドラー セッティ」をオンにしてください。  
「エラーハンドラー セッティ」は、プリントジョブ中に起こる PostScript エラーを特定する診断ツールです。

メニュー	アドミニストレーション / スタート オプション / エラーハンドラー セッティ
選択	ハイ：再起動時に「エラーハンドラー セッティ」を読み込みます。 イエ：再起動時に「エラーハンドラー セッティ」を読み込みません。
初期設定	イエ
備考	PostScript エラーについて詳しくは、「PostScript Language Reference Manual Third Edition」(Adobe Systems Incorporated, Reading, PA: Addison-Wesley, 1999, ISBN 0-201-37922-8) を参照してください。  「エラーハンドラー セッティ」を有効にする設定後にプリンタを再起動する必要があります。

## ステータスページの印刷

ステータスページには、以下の2種類あります。

■ **標準**：印刷に関する一般的なプリンタ設定を1ページにまとめた概要です。

■ **詳細**：フォント、使用可能なエミュレーションなどのプリンタのパラメータ情報です。インストールされているフォントによってページ数が多くなる場合があります。オプションのメモリを装着した後など、メモリ設定を変更する必要がある場合に、詳細なステータスページを印刷してください。

操作パネルの「アドミニストレーション / スペシャルページ / ステータスページ タイプ」メニューで、ステータスページの種類を選択します。

種類を選択した後に、操作パネルの【ステータスページ】キーを押して、正しく印刷されるか確認してください。「アドミニストレーション / スペシャルページ / 行介入ページプリント」メニューでもステータスページを印刷することができます。


**PagePro 9100**      **ステータス・ページ**  
 プリンタ名: pp9100      Tue Mar 09 17:48:12 2004

プリンターアイデンティフィケーション	
システム・リスト:	3,024
バージョン:	2000.041, リビジョン 35
プロセッサ ID:	2831
印字フェース:	4232
印字用紙枚数:	4121
A4用紙枚数:	590
A3用紙枚数:	590

現在のメモリ設定	
場所	サイズ
ホスト入力:	1832 KB
ディスプレイ・リスト:	17692 KB
PS フォント:	3338 KB
PS ピード:	6458 KB
フレームバッファ:	102064 KB
エミュレーション:	64 KB
HW フォント:	3073 KB
エミュレーション・テンポラリー:	3073 KB
ディスク・キオッシュ:	1024 KB
システム・ユーティ:	1024 KB
メモリ合計:	<b>144384 KB</b>

PostScript®エミュレーション VM:	
割り当てる VM:	461036
残りの VM:	441348
	4468788

通信設定 & 入力バッファーサイズ	
パラレル:	ESP 8 Bits, Non-interactive
IF:	CrownNet 6.18NET+, ESP, HW address: 08.00.36.18.83.E5, Enabled
USB:	ESP
共有スヌーリング・スペース	15360 bytes
	15360 bytes
	1829888 bytes

ハードディスクの状況		
空き	パーティション	残り
84.6GB	2096955K	3103448K
合計	2096955K	3103448K

[ ]      ページ 1

## CrownView から PDF ファイルを直接印刷するときの トラブルシューティング

サイズの大きな PDF ファイルを直接印刷したり、コンピュータまたは UNIX から CrownView で印刷するときに問題がある場合は、「PS タイムアウト」の値を大きくしてください。

Web ブラウザから CrownView の機能でサイズの大きな PDF ファイルを印刷すると、エラーの通知がなく失敗することがあります。ジョブは通常どおり開始するように表示されますが、印刷されずに終了します。CrownView では、ファイルが印刷されたように表示されます。

問題を解決するには、PS タイムアウトになるまでの時間を増やします。初期設定では、このタイムアウトは 30 秒です。「アドミニストレーション / インターフェイス」で値を 60 秒に設定してください。「タイムアウト / PS タイムアウト」メニューで問題の多くを解決できます。また値を 0 秒にすると、タイムアウトの時間が無限に設定されたことになります。

# ネットワークプリントに関するトラブル シューティング

## はじめに

ネットワークのプリントに関する問題は、ネットワークの5つの異なる要素、すなわち

- プリンタ
- プリントサーバ
- ファイルサーバ
- ワークステーション
- これらのデバイス間の接続

のいずれかが原因で起きるため、原因の特定が容易ではありません。この章では、ネットワークのプリントに関する問題と解決法について説明します。このマニュアルの他にも、お使いのコンピュータのマニュアルや、ネットワークOSのマニュアル、ユーティリティソフトウェアをご参照ください。

## クイックチェック

ネットワーク上でプリンタの運用中に問題が発生しても、プリンタの状態を確認することで問題を解決できることがよくあります。特に、プリンタを設置したばかりの段階で問題が発生した場合は、もう一度マニュアルに従って確認してください。

### プリントできない

- プリンタとネットワークの設定をセットアップ手順どおりに行ないましたか？
- Ethernetケーブルをループ接続していませんか？
- ケーブル両端が正しくターミネートされていますか？
- 電源ケーブルがコンセントとプリンタの両方に接続されていますか？
- プリンタの電源がオンになっていますか？
- コンセントは通電し、正規の電圧が供給されていますか？
- プリンタはオンラインになっていますか？
- 使用中の給紙カセットに用紙がセットされていますか？
- トナーは不足していませんか？
- プリンタのカバーはすべてしっかりと閉じていますか？
- 紙づまりが起こっていませんか？

- お使いのアプリケーションは PostScript Level 3 をサポートしていますか？

- ネットワークに対して何らかの変更を行ないましたか？

設定変更の有無は、ハードウェア（ワークステーション、ケーブル、周辺装置）やソフトウェア（アプリケーション、ユーティリティ、構成）も含めて確認してください。

- プリンタの IP アドレスが重複していませんか？

- プリンタのスタートアップページやステータスページに記載された情報が、プリンタ、ホスト、ネットワークの設定と一致していますか？

アドミニストレーション／インターフェイスメニューで変更した設定が有効にならない

- プリンタをリスタートさせてみましたか？

設定変更の中には、プリンタをリスタートすることで初めて有効になるものがあります。プリンタの電源を一度オフにし、再度オンにしてみてください。

### EtherTalk の問題

ネットワークアイコンがコントロールパネルに表示されない

Macintosh あるいは Macintosh 用 Ethernet ボードに添付されている EtherTalk 用ソフトウェアを再インストールしてください。

EtherTalk アイコンがコントロールパネルに表示されない

Macintosh あるいは Macintosh 用 Ethernet ボードに添付されている EtherTalk 用ソフトウェアを再インストールしてください。

セレクタでプリンタが表示されない

- プリンタの電源スイッチがオンで、Ready ランプが点灯していますか？
- ケーブルがネットワークインターフェイスに正しく接続されていますか？正しくターミネートされていますか？
- Macintosh がネットワークに接続されていますか？

プリントできない

- Macintosh のコントロールパネルとセレクタで、ネットワーク、ゾーン、プリンタが選択されていますか？
- Macintosh のセレクタで、AppleTalk が「使用」になっていますか？
- プリンタの EtherTalk プロトコルが使用可能になっていますか（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CrownNet／EtherTalk／Protocol メニュー）？

プリンタがリストアートされる

- ネットワーク上の Macintosh ユーザのすべてが、同じバージョンの Macintosh システムを使用していますか？  
ネットワーク上では、ユーザのすべてが同じバージョンのシステムを使用している必要があります。  
■ ネットワーク上の Macintosh ユーザのすべてが、同じバージョンの LaserWriter、LaserPrep、プリントモニタファイルを使用していますか？  
ネットワーク上では、ユーザのすべてが同じバージョンの LaserWriter、LaserPrep、プリントモニタファイルを使用している必要があります。

LaserWriter、LaserPrep、プリントモニタファイルのバージョンは、以下の手順で確認します。

1. システムフォルダを開きます。
2. 機能拡張フォルダを開きます。
3. LaserWriter アイコンを選択します。

4. ファイルメニューから「情報を見る」を選択し、情報ウィンドウを表示します。
5. バージョンがテキストの下部の方に表示されます。なお、上部に表示されるバージョンはシステムのバージョンです。LaserWriter ファイルのバージョンではないので注意してください。
6. クローズボックスをクリックして、情報ウィンドウを閉じます。
7. 上記の手順を繰り返し、LaserPrep とプリントモニタのファイルのバージョンも確認します。
8. クローズボックスをクリックして、システムフォルダを閉じます。



LaserWriter ドライバのバージョンによっては LaserPrep が存在しない場合もあります。

### LAN Manager ／ LAN Server の問題

登録されたキューがプリントされない

- プリンタがオンラインになっていますか？
- プリンタがファイルサーバに正しく設定されていますか？
- プリンタとプリントキューがネットワークのプリント用に正しく設定されていますか？
- アプリケーションがネットワークのプリント用に正しく設定されていますか？
- プリンタに接続されていないプリントキューを指定していませんか？

プリントジョブの中に、プリントしないでプリントキューを通過するものがある

- CrownNet のプリンタ言語（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CrownNet／Common／Emulation メニュー）が正しく設定されていますか？

ESP か、アプリケーションに対応したプリンタ言語に設定されていることを確認してください。

- プロトコルが使用可能になっていますか？

プロトコルメニュー（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CrownNet／LAN Manager／Protocol）で LAN Manager／LAN Server プロトコルが使用可能になっていることを確認してください。

別のプリンタにプリントされる

- Add Queue ダイアログボックスで、正しいプリンタが選択されているかどうかを確認してください。別のプリンタがリストに選択されている場合は、選択を解除してください。

## NetWare の問題

プリントジョブをプリンタに送信したことがアプリケーションによって示されるが、ジョブがプリントされない

- アプリケーションの出力先が正しい LPT ポートに設定されていますか？

- LPT ポートが正しくリダイレクトされていますか？

Windows を使用しているときは、コントロールパネルのプリンタ設定で LPT ポートのネットワーク接続名を確認してください。

Windows を使用していないときは、capture コマンドによってリダイレクトする必要があります。正しく capture されていることを確認するには、DOS プロンプトで以下のコマンドを入力します。

```
capture sh..l
```

図 1 LPT ポートのリダイレクトを判別する

このコマンドによって、LPT ポートの現在の状態、特にポートが capture されたかどうか、また、ネットワークプリンタやファイルにデータを送信するように設定されたかどうか、capture のオプションがどのように設定されたかを表示できます。

- プリンタがオンラインになっていますか？
- プリンタがネットワークを利用できるように正しく設定されていますか？
- プリントサーバがキューを処理する権限を持っていますか？
- CrownNet のプリンタ言語メニュー（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC ／ Common ／ Emulation）が正しく設定されていますか？

ESP か、アプリケーションに対応したプリンタ言語に設定されている必要があります。

- capture のオプションに no banner(nb) と、no tabs(nt)、no formfeeds(nff) をコマンドに指定しましたか？
- プリントサーバに接続されていないプリントキューを割り当てていませんか？

## 11 トラブルシューティング

---

PCONSOLE によって、リモートプリンタが接続されていないことが報告された

プリントサーバ上で、SPX タイムアウト値を増やしてください。

(watchdog abort、watchdog verify、ack wait、defarts retry など)

プリントサーバが独立した PC の場合は、NetWare SPX タイムアウト値は、shell.cfg ファイルまたは net.cfg ファイルに入っている必要があります。shell.cfg ファイルを変更した場合は、プリントサーバを再起動して変更を有効にしてから、プリンタを再起動してプリントサーバと再接続してください。shell.cfg ファイルと net.cfg ファイルについての詳細は、NetWare のマニュアルを参照してください。

プリントサーバがファイルサーバの NLM (NetWare 用組み込みモジュール) の場合は、SPX\*CONFIG NLM を使用して、SPX タイムアウト値を変更してください。SPX\*CONFIG NLM についての詳細は、NetWare のマニュアルを参照してください。

### 図形データが正しくプリントされない

■ capture コマンドのオプションに notabs(nt) と noformfeeds(nff) を指定しましたか？

notabs(nt) と noformfeeds(nff) を capture コマンドに指定したかどうかを確認してください。PCL 以外のプリント言語を使用するときは nobanner(nb) も指定する必要があります。

PRINTCON ユーティリティで、プリントジョブ設定用の FileContents を Byte Stream に変更してください。

### ジョブ終了時に空白ページがプリントされる

Capture コマンドのオプションに noformfeeds(nff) を指定してください。詳細については、NetWare のマニュアルを参照してください。

### プリントキューの選択時と使用時に問題が発生する

CrownNet ネットワークインターフェイスカードがサービスするように選択したプリントキューは、別のプリンタがサービスすることはできません。以下の手順で、プリントキューが別のプリンタに割り当てられていないかどうかを確認してください。

1. スーパバイザとしてファイルサーバにログインします。
2. NetWare SYSCON ユーティリティを実行します。
3. Available Topics メニューから、“Supervisor Options” を選択します。
4. Supervisor Options メニューから、“Edit System AUTOEXEC File” を選択します。

5. System AUTOEXEC File エントリボックスで、以下の行を検索します。

```
printer number add queueName  
spool number to queueName
```

図 2 System AUTOEXEC File エントリボックスのメッセージ

これらの行が AUTOEXEC ファイルに存在しない場合は、キューを別のプリンタに割り当てていなかったことになるので、リモートプリンタに割り当てることができます。

これらの行が AUTOEXEC ファイルに存在する場合は、queueName が、別のプリンタに割り当てられたキューを表します。これらの行を AUTOEXEC ファイルから削除しないかぎり、このキューをリモートプリンタに割り当てることはできません。

### TCP/IP の問題

#### ファイルが正しくプリントされない

- プリンタがスプーリングシステムに正しく設定されていますか？  
プリントエラーが発生するようであれば、スプーリングシステムのログファイルと、TCP/IP のステータスファイルをチェックしてください。

BSD と SGI のスプーリングシステムでは、ログファイルは、/usr/spool/printename/log、ステータスファイルは、/usr/spool/printename/status です。

AIX と、HP-UX、SYSV のスプーリングシステムでは、ログファイルは、QMSoft/QDIR/printename/log、ステータスファイルは、/usr/spool/printename/status です。

#### BSD UNIX システムの問題

##### プリント時に予期しない問題が発生する

addprt ユーティリティを使用してプリンタを追加／変更した後で、ジョブが別のプリンタにプリントされたり、消滅したりした場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタに対するエントリが複数ありませんか？

/etc/printcap ファイルを確認して、プリンタに対するエントリが 1 つしかないことを確認してください。最初のエントリが常に優先されます。

##### ジョブがプリンタに送信されない

プリンタのログファイルを確認して、次のメッセージを探してください。

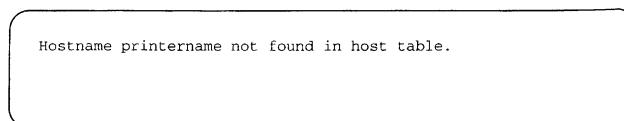


図 3 ログファイルのメッセージ

このメッセージが出ていた場合は、プリンタを /etc/hosts ファイルに追加してください。

## SYSV UNIX システムの問題

ログファイルまたはステータスファイルが更新されない

- lp がファイルの書き込み権をもっていません。ファイルに対して以下の処理を行なってください。

```
chown lp filename↵
chgrp lp filename↵
chmod 775 filename↵
```

図 4 ログファイルまたはステータスファイルが更新されない場合の処理

ジョブがプリンタに送信されない

- プリンタのログファイルを確認して、以下のメッセージを探してください。

```
Hostname printername not found in host table.
```

図 5 ログファイルのメッセージ

このメッセージが出ていた場合は、プリンタを /etc/hosts ファイルに追加してください。

# サービスとサポート

## ■ ユーザー登録

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。

<http://printer.konicaminolta.jp> より“サポート”を選び、“プリンタ”より“オンラインユーザー登録”にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

ユーザー登録の情報をもとに保証書を発行させていただきます。

## ■ プリンタに関するお問い合わせ

販売店および弊社にお問い合わせになるときには、次のような項目をあらかじめ調べておいていただきますと不具合の原因を調べる助けになります。

- プリンタの機種名
- プリンタに接続されているコンピュータの機種
- コンピュータで使用されているオペレーティングシステムの種類とバージョン
- プリンタとコンピュータを接続しているインターフェイスの種類
- 使用されているアプリケーションソフトウェアとバージョン

以下の場合には、お問い合わせに対してご回答できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

- アプリケーションソフトウェアの使い方および操作方法
- ホストコンピュータの使い方および操作方法
- お客様固有と思われるアプリケーションソフトウェアおよびホストコンピュータでの動作について
- 問題解決に必要な情報が不足している場合
- 本来の使い方および操作方法から逸脱している場合
- 本プリンタとは直接関係のない他社製品についてのお問い合わせ
- 本製品の非公開仕様に関するお問い合わせ

## ■ 保証の対象外となる項目について

プリンタのご使用にあたっては本説明書に記載の注意事項を良くお読みいただき、正しい操作方法でご使用いただくことをお願いいたします。

尚、下表に示す項目は保証の対象外となりますのでご注意ください。

弊社純正推奨品以外の消耗品、用紙、オプションを使用したことにより故障または損傷した場合、有償修理の対象となります。

以下の場合は、保証の対象外です。	
用紙	インクジェット用紙など、弊社推奨品以外の用紙を使用した場合。 詳しくは、「用紙の取り扱い」(p. 6-1) を参照してください。
静電気の放電	コントローラボードを扱う際（増設メモリの取り付けなど、いかなる場合でも）、人体からの静電気に対する適切な保護をされなかった場合。
操作	本書での操作の指示にしたがわなかった場合。
改造	プリンタを改造して使用された場合。 法令に触れたり安全や機能を損なうことがあります。
消耗品	弊社推奨品以外の消耗品を使用された場合。 (トナーを再充填してトナーカートリッジを使用するとプリンタの損傷や品質の低下につながる恐れがあります。)
プリントユニット、 トナーカートリッジ	誤った取り扱いをされた場合。
オプション	弊社純正品以外のオプションを使用された場合。

## ■ 年間保守契約について

本プリンタを安心してお使いいただくために年間保守契約の制度を設けております。年間保守契約についての詳しいことはお買い求めの販売店または弊社指定のサービス機関にお問い合わせください。

## ■ インターネットでのサポートについて

最新のソフトウェアのダウンロード、カタログ請求やカスタマ・サポート担当への電子メールにてユーザーサポートも受け付けております。

URL : <http://printer.konicaminolta.jp>



---

# 付録

---

## もくじ

---

## もくじ

A PagePro9100 の仕様 .....	A-1
はじめに .....	A-2
PagePro 9100 の仕様 .....	A-2
電源仕様 .....	A-4
プリンタ部とコントローラ部の仕様 .....	A-5
プリント速度 .....	A-5
プリンタ部 .....	A-5
コントローラ部 .....	A-6
電気 .....	A-7
物理特性 .....	A-8
B 特殊印刷 .....	B-1
はじめに .....	B-2
PDF ファイルの直接印刷 (Direct Printing) .....	B-2
PDF 印刷のためのメモリクライアントの調整 .....	B-3
CrownView を利用した印刷 .....	B-3
IPP 印刷 .....	B-4
ドキュメントオプションコマンド .....	B-6
DOC / PJL コマンド対応表 .....	B-9
メモリ設定 .....	B-12
C メニューの構造 .....	C-1
はじめに .....	C-2
「オペレータ コントロール」メニュー .....	C-3
「アドミニストレーション」メニュー .....	C-10
インターフェイス (Communications) .....	C-11
エミュレーション (Emulations) .....	C-46
スペシャル ページ (Special Pages) .....	C-56
スタート オプション (Startup Options) .....	C-59
メモリー (Memory) .....	C-60

---

---

エンジン (Engine) .....	C-64
ショウモウヒン (Consumables) .....	C-70
ソノタノセッティ (Miscellaneous) .....	C-71
ディスクオペレーション (Disk Operations) .....	C-74
「セキュリティ」メニュー .....	C-75
D セキュリティの設定 ..... D-1	
セキュリティ機能 .....	D-2
E UNIX ユーティリティの使い方 ..... E-1	
はじめに .....	E-2
リモートコンソールセッションの開始 .....	E-2
Telnet セッションの開始 .....	E-2
コンソールのモード .....	E-4
メッセージモード .....	E-4
コンソールモード .....	E-5
インターネットアドレスの設定 .....	E-7
bootp プロトコルで設定する .....	E-7
rarp プロトコルで設定する .....	E-9
qpr コマンド .....	E-10
構文 .....	E-10
オプション .....	E-10
注意事項 .....	E-12
FTP (ファイル転送プロトコル) .....	E-13
サポートされる FTP コマンド .....	E-13
FTP を使ったプリンタへのログイン .....	E-14
FTP の終了 .....	E-15

---

# もくじ

---

F リモートコンソールコマンド .....	F-1
はじめに .....	F-2
リモートコンソールコマンドの概要 .....	F-2
user / offline モードコマンド .....	F-2
admin モードコマンド .....	F-3
ジョブのステータス情報 .....	F-4
システム情報コマンド .....	F-5
ヘルプの表示 .....	F-5
フォント情報の表示 .....	F-6
ステータスページのプリント .....	F-8
時刻の表示 .....	F-8
エミュレーションの情報の表示 .....	F-9
コンソールユーザーの表示 .....	F-9
ジョブの表示 .....	F-10
ジョブ制御コマンド .....	F-11
ジョブ優先順位の変更 .....	F-11
ジョブの処理順序の変更 .....	F-13
特定のジョブを最優先に変更 .....	F-14
ジョブの取り消し .....	F-15
ファイル操作コマンド .....	F-16
現在の作業ディレクトリの表示 .....	F-17
ディレクトリ内容の表示 .....	F-17
作業ディレクトリの変更 .....	F-18
ファイルのコピー .....	F-19
ファイル名の変更 .....	F-20
ファイルの削除 .....	F-21
システム設定コマンド .....	F-22
システムロックの時刻設定 .....	F-22
メッセージモードを normal に設定 .....	F-23
メッセージモードを silent に設定 .....	F-23
すべてのジョブアカウント情報のリセット .....	F-24
プリンタの設定をリセット .....	F-24
プリンタの設定 .....	F-25

---

---

コンソールモード切り換えコマンド .....	F-27
システムを offline モードにする .....	F-27
offline モードから user モードに戻す .....	F-28
システムを admin モードにする .....	F-28
admin モードから user モードに戻す .....	F-29
セッション終了コマンド .....	F-30
コンソールセッションの終了 .....	F-30
システムのリスタート .....	F-30
コンソールの強制終了 .....	F-31
 G Crown Net の仕様 .....	G-1
はじめに .....	G-2
CrownNet ネットワークインターフェイスカード仕様 ....	G-2
ネットワーク／プロトコル .....	G-2
主な機能 .....	G-2
EtherTalk 仕様 .....	G-3
接続 .....	G-3
特徴 .....	G-3
プロトコル .....	G-3
LAN Manager ／ LAN Server 仕様 .....	G-4
接続 .....	G-4
特徴 .....	G-4
プロトコル .....	G-4
NetWare 仕様 .....	G-5
接続 .....	G-5
特徴 .....	G-5
プロトコル .....	G-5
TCP/IP 仕様 .....	G-6
接続 .....	G-6
特徴 .....	G-6
FTP .....	G-6
プロトコル .....	G-7
Telnet .....	G-7
索引 .....	G-8

---

# もくじ

---

---

# PagePro9100 の 仕様

---

A

## はじめに

この章では PagePro 9100 の仕様について説明します。

「PagePro 9100 の仕様」	p. A-2
「プリンタ部とコントローラ部の仕様」	p. A-5

## PagePro 9100 の仕様

製品名	PagePro 9100	
プリント方式	電子写真、半導体レーザービーム方式	
印刷スピード	片面印刷	35 枚／分 A4 (横)
	両面印刷	26 枚／分 A4 (横)
解像度	600 × 600 dpi、1200 × 1200 dpi	
CPU	64bit / 250 MHz RISC	
ファーストプリント時間	10 秒以下 (A4 横)	
ウォームアップ時間	70 秒以下	
エミュレーション	ポストスクリプト 3 互換、PCL6、PDF、HP-GL、Lineprinter	
内蔵フォント	モリサワ (リュウミン L-KL、中ゴシック BBB) 欧文フォント : (137PS、80PCL、50HP-GL)	
メモリ	標準	128 MB
	最大	512 MB
搭載メモリ スロット	2 基 (空きスロット 1 基)	
ハードディスク	内蔵 IDE ハードディスク	
インターフェイス	Ethernet (100Base-TX/10Base-T)、IEEE1284 双方向パラレル、USB	
ネットワーク プロトコル	TCP/IP、IPX/SPX、EtherTalk、NetBEUI/NetBIOS	
対応 OS	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP、 Mac OS 8、Mac OS 9、Mac OS X (10.2.1 ~ 10.3)、UNIX	

用紙サイズ	標準給紙 カセット	A3、A4、B4、Letter、Legal、B5(JIS)
	手差しトレイ	A3、B4、A4、Letter、Legal、Executive、 A5、B5(JIS)、官製はがき、封筒
	550 枚ユニ バーサルカ セットフィー ダ	A3、A4、B4、Letter、Legal、B5(JIS)
用紙種類	標準給紙 カセット	上質紙、普通紙 (60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> )、再生紙*
	手差しトレイ	上質紙、普通紙 (60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> )、OHP フィルム (90 ~ 163 g/m <sup>2</sup> )、厚紙 (91 ~ 163 g/m <sup>2</sup> )、ラベル紙、官製ハガキ、封筒、 再生紙*
	550 枚ユニ バーサルカ セットフィー ダ	上質紙、普通紙、再生紙*
給紙容量	標準	標準給紙カセット : 550 枚、 手差しトレイ : 250 枚
	オプション	550 枚 × 3
最大給紙容量	2,450 枚	
排紙容量	500 枚 (フェイスダウン)	
両面印刷	オプション (A3、B4、A4、A5、B5(JIS)、Letter、Legal 用 紙のみ対応)	
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高)	539 × 566 × 423 mm	
質量	28 kg (消耗品含まず)	
ノイズレベル	動作時	57 dB (A) 以下
	スタンバイ時	38 dB (A) 以下
動作環境	動作時	温度 : 10 °C ~ 35 °C、湿度 : 15% ~ 85%
	保存時	温度 : 0 °C ~ 35 °C、湿度 : 10% ~ 85%
電源	AC 100V 50/60 MHz	
消費電力	1,000 W (最大)、スリープモード 40 W 以下	
保証期間	1 年間	

\* 使用される紙種、使用環境により、印字品質が異なる場合があります。事前に試し印刷をすることをおすすめします。

## 電源仕様

### 警告！

電源プラグを 100V、15A 以上のコンセントに接続してください。他の機器を同じコンセントに接続しないでください。過熱による火災や感電の恐れがあります。電源ケーブルのアース線は、火災や感電を起こさないように正しいアース接続にしてください。

電源	AC 100V 50/60 Hz 注：アンペア数は、プリンタが使用するアンペア数の 1.2 倍以上の容量が必要です。
電圧の変動率	AC 100V ±10%
周波数の変動率	50/60 Hz ± 3 Hz
電流	15A 以上
プリンタ	8A
最大電流	動作時：8A
ノイズ発生機器	プリンタが接続しているコンセントには他の機器を接続しないでください。
接地	プリンタは AC コンセントに正しく接地してください。

# プリンタ部とコントローラ部の仕様

## プリント速度

最大プリント速度 (毎分のページ数)	片面	両面 *
A4 / Letter	35 枚	26 枚
A3	19 枚	13 枚

注：両面印刷は、坪量 105 g/m<sup>2</sup> 以下の用紙にのみ対応しています。  
封筒、はがき、ラベル、厚紙、OHP フィルムは、両面印刷に対応していません。

## プリンタ部

最大負荷サイクル	最大 100 万枚または 5 年のいずれか早い方 (A4 用紙) * 定期交換部品の交換が必要です。
プリンタタイプ	デスクトップ、ノンインパクト、モノクロプリンタ
プリント方式	電子写真、半導体レーザビーム方式 処理：黒トナー画像を用紙に転写 定着：ヒートローラー
解像度	600 × 600 dpi、1200 × 1200 dpi
ウォームアップ時間	標準：通常の温度と湿度の場合、電源をオンにしてから 70 秒
給紙	標準：250 枚手差しトレイ、550 枚標準カセット オプション：550 枚給紙カセットが追加可能
排紙	プリンタの上の 500 枚排紙トレイ オプションの 4 トレイメールボックススタッカ (各 50 枚)
用紙サイズと坪量	「用紙の取り扱い」(p. 6-1) 参照。
用紙の種類	「用紙の種類」(p. 6-7) 参照。
注意	両面印刷に対応している用紙の坪量は、105 g/m <sup>2</sup> 以下です。

## コントローラ部

CPU	IDT RC64474、250 MHz
常駐エミュレーション	HP PCL : PCL XL/5e/5c、PCL6、PCL5e/GL2 (HP PaintJet XL300 互換 300/600 dpi、300/600/1200 dpi、GL2のみ) HP-GL : 7475A/7550/Draftmaster (300/600 dpi) Lineprinter : 600 dpi PDF : Version 1.3 (PDF ファイルの直接印刷時) PostScript : Level 3 (600/1200 dpi)
オプションのエミュレーション	ImageServer
フォント	PostScript : 欧文 137 フォント、モリサワ 2 フォント (リュウミン L-KL、中ゴシック BBB) PCL : 欧文 80 フォント HP-GL : 欧文 50 フォント
標準ハードディスク	IDE ハードディスク (モリサワフォント内蔵)
標準インターフェイス	イーサネット : 100Base-TX/10Base-T パラレル : セントロニクス／IEEE 1284 双方向 USB : USB 1.1 (Windows 98SE 以降に対応)
メモリ	標準メモリ : 128 MB 総メモリ : 512 MB まで増設可能 (2 スロット) 以下の場合には、メモリ (DIMM) の増設を推奨します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 印刷のパフォーマンスを向上させる</li> <li>■ 複雑なグラフィックスまたは複雑な PostScript データを印刷する</li> <li>■ 丁合い機能を強化させる</li> <li>■ スプール機能を強化させる</li> </ul>
オプションのメモリ	64、128、256 MB の DIMM 2 つの DIMM スロットで最大 512 MB まで増設できます。
システムソフトウェア	書き換え可能、フラッシュ ROM 内に常駐
Time-of-day clock	オプション
ジョブアカウント	Crown ジョブアカウント

## 電気

### 電圧と電力

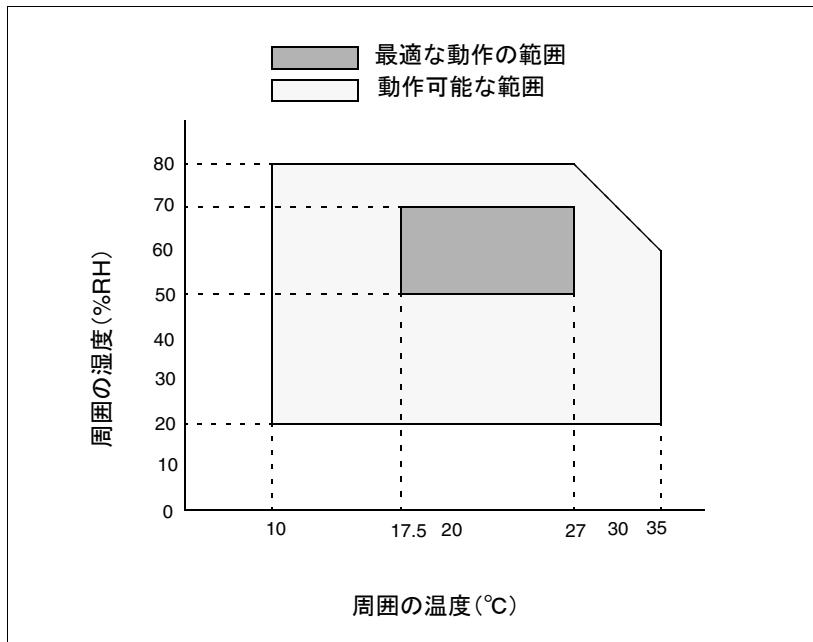
電圧／周波数	日本：100 V ±10%、50/60 Hz ±2 Hz		
位相	シングル		
消費電力	モード	平均	最大／最小
	動作中 省電力	750 W 以下 250 W 以下（スタンバイ）	1000 W 以下（最大） 40 W 以下（ヒーターオフ）

### 電流

モード	標準	最大
動作中	4 A	8 A
スタンバイ（省電力）	1.7 A	8 A

### 環境

ノイズレベル	印刷中：57 dB (A) 以下 スタンバイ：38 dB (A) 以下
相対湿度	動作中：20 ~ 80% RH (結露しない場合) 移動中／保管中：10 ~ 90% RH (結露しない場合)
温度範囲	動作中：10 ~ 35° C 移動中／保管中：0 ~ 35° C
高度	動作中：0 ~ 2500 m
傾き	動作中：プリンタ周辺すべて傾きが±1° 以下



## 物理特性

	本体	両面プリント ユニット	オプションの 給紙カセット (3個まで装着 可能)	4トレイメール ボックススタッカ
外形寸法	W : 539 mm H : 423 mm D : 448 mm	W : 100 mm H : 280 mm D : 415 mm	W : 512 mm H : 134 mm D : 551 mm	W : 465 mm H : 285 mm D : 395 mm
質量 (消耗品を含まない場合)	包装されていない状態 : 28 kg	2.04 kg	9.19 kg	8.39 kg
質量 (消耗品を含み、用紙を含まない場合)	30.50 kg			

---

特殊印刷

---

B

### はじめに

この章では Direct Printing、IPP 印刷についてや、メモリについてを説明します。

「PDF ファイルの直接印刷（Direct Printing）」	p. B-2
「IPP 印刷」	p. B-4
「ドキュメントオプションコマンド」	p. B-6
「メモリ設定」	p. B-12

### PDF ファイルの直接印刷（Direct Printing）

PostScript（ポストスクリプト）ファイルや PCL ファイルのように、PDF ファイルを直接印刷することができるので、印刷時間を短縮することができます。直接印刷では、Acrobat Reader 等のアプリケーションを開かずに、PostScript ドライバまたは PCL ドライバを使ってファイルを印刷できます。プリンタは、PDF ファイルのバージョン 1.3 まで対応しています。PostScript ファイルや PCL ファイルを印刷するときに通常使用している方法 (lpr、ftp 等) で、PDF ファイルをプリンタに送ることができます。

## PDF 印刷のためのメモリクライアントの調整

PDF ファイル固有の構造により、プリンタのメモリクライアントの初期設定を調整する必要があります。すべての PDF ファイルの最後には、プリンタで正しく処理されるのに必要な情報があります。そのため、プリンタがファイルを変換処理する前に、ファイル全体がプリンタにスプールされなければなりません。ジョブ全体をプリンタにスプールするためには、ホストインプットバッファの調整が必要です。ホストインプットメモリクライアントに必要なサイズを指定するため、最大ファイルサイズを予測し、そのサイズに 10% 追加した値を、必要なホストインプットメモリのサイズにします。問題が起こったときは、ホストインプットメモリのサイズを増やしてください。印刷できる PDF ファイルの最大サイズは、装着されたメモリ (RAM および内蔵ハードディスクを含む) の容量によって決まります。メモリを追加すると、より大きな PDF ファイルを印刷することができます。

### ご注意

メモリクライアントの調整方法については、「メモリ設定」(p. B-12)、「CrownBook」(「Software Utilities」CD-ROM 内の PDF) を参照してください。

## CrownView を利用した印刷

CrownView ユーティリティの Web ブラウザ機能を使ってホストから PDF ファイルを直接印刷することができます。その際に [参照] ボタンが表示され、ホスト上でファイルを選択できます。プリンタに送りたいファイルを選択すると、そのファイルが送られ印刷されます。

詳しくは「Crown View プリンタ Web ページ」を参照してください。

## IPP 印刷

### IPP とは

IPP には 2 つの意味があります。

#### Internet Printing Protocol (インターネット印刷プロトコル) :

遠くにある IPP 印刷可能なプリンタにインターネットとインターネットを使用して印刷することができます。Windows 2000 (以降) ベースのサーバー上で共有されているすべてのプリンタ (PagePro 9100 を含む) は、自動的に IPP を使用してアクセスできます。この技術により、文書をインターネットで配布したり、ユーザーとプリンタ間の通信したりすることができます。ジョブの送信、プリントジョブの状態の確認、ジョブのキャンセルを行うことができます。

Windows 2000 での IPP は、Microsoft Internet Information Services (IIS) をインストールすると自動的に使用できるようになります。IPP 印刷が可能な Microsoft Internet Explorer 4.01 (以降) を起動しているクライアントは、IPP 印刷が可能です。IPP は、HTTP 上、つまり TCP/IP 上で動作します。

- 1** ドライバをインストール後、[スタート] → [設定] → [プリンタ] をクリックし、[プリンタの追加] をダブルクリックします。
- 2** [次へ] をクリックし、「ネットワークプリンタ」を選択して、[次へ] をクリックします。
- 3** 「インターネットまたはインターネット上のプリンタに接続します」を選択します。
- 4** 「URL」の項目に、例えば「`http://<IP ホスト名>:80/<プリンタ名>`」のように、プリンタの URL を入力します。  
  <IP ホスト名> : ホストテーブルのプリンタ名、またはプリンタの IP アドレス。<IP ホスト名>は、ネットワーク管理者に確認してください。  
  <プリンタ名> : スタートアップページやステータスページに記載されているプリンタ名。プリンタ名には、スペースやアンダースコアを入れないでください。  
 プリンタ名の初期設定の変更方法については、「Software Utilities」CD-ROM 内の「CrownBook」PDF を参照してください。
- 5** [次へ] をクリックして、画面の指示にしたがって操作してください。

**6**

テストページを印刷して、印刷が正常に行われるか確認してください。

Windows 98/95 をお使いの場合は、Internet printing client を追加でインストールすることができます。「Windows 2000 Server」CD-ROM の以下のファイルをコピーしてください。

```
¥clients¥win9xipp.cli¥wpnpins.exe
```

### Internet Pull Printing（インターネットプル印刷）：

インターネットプル印刷は、すでにプリンタが解読できる形式になっているファイル（PS、PCL、HPGLなど）をダウンロードして、それらをコンピュータにダウンロードせずに直接プリンタに送信する方法です。



インターネットプル印刷には、Web ページを印刷する HTML エミュレーションはありません。

効率よくプル印刷を行うには、「http」と「ftp」の両方にアクセスできるようにしておく必要があります。

インターネットプル印刷は、プリンタの Web ページ（CrownView）から行うことができます。プリンタの Web ページ上で見えるメニュー選択に「インターネット プル印刷」があります。このメニューを選択すると、設定項目がいくつかあります。

**1**

ユーザー名は必要ありません。

**2**

パスワードは「admin」（すべて小文字）です。

**3**

URL は、例えば「<http://newsite.test.com/testfile.ps>」のように、印刷したいファイルの URL です。



「プロクシーを使用する」チェックボックスと「DNS/ プロキシー設定」は、お使いのネットワーク環境に最適になるように、ネットワーク管理者に確認して設定してください。

**4**

パスワードと URL を入力したら、「プル ファイル」ボタンをクリックするだけです。プリントキューに入った URL アドレスとファイルのリストが表示されたメッセージが現れます。

インターネットのトラフィックは、印刷スピードとジョブがどのくらい速く受信されるかに影響します。



エラーメッセージが表示されたり、指定したファイルが印刷されない場合は、「プロクシーを使用する」チェックボックスと「DNS/ プロキシー設定」について、ネットワーク管理者に相談してください。

# ドキュメントオプションコマンド

ここでは、PagePro 9100 で対応しているドキュメントオプションコマンド (DOC) のリストを記載します。これらのコマンドは、機能別にグループ化されています。

各コマンドは、前に DOC の記述 (%%) または IncludeFeature の記述 (%%IncludeFeature) がつきます。その他のコマンドについては、「Crown Document Option Commands」マニュアルを参照してください。

## Header/Trailer Page Commands

Print charge number	%%ChargeNumber
Print copyright statement	%%CopyRight:
Print document creator	%%Creator:
Print creation date and time	%%CreationDate:
Print current date	%%Date:
End comments	%%EndComments
Print document owner	%%For:
Print document host	%%Host: %%Pages
Job completion notification via email	%%Notify
Select page order	%%PageOrder
Save job for reprinting (proof and print)	%%Reprint:
Print routing information	%%Routing:
Print document title	%%Title:
Print version and revision	%%Version:
Print header page	%%IncludeFeature: header
Print trailer page	%%IncludeFeature: trailer

## HP-GL Emulation Commands

Select enhanced resolution	%%IncludeFeature: enhanced
Expand plot	%%IncludeFeature: expand
Select original paper size	%%IncludeFeature: size
Select pen width and color	%%IncludeFeature: pen
Select plotter	%%IncludeFeature: plotter
Scale the image	%%IncludeFeature: scaling
Set origin	%%IncludeFeature: origin

## HP PCL 5e Emulation Commands

Install object	%%IncludeFeature: install
Remove object	%%IncludeFeature: remove
Remove resource	%%IncludeFeature: removeresource
Retain temporary	%%IncludeFeature: retaintemporary
Select default font	%%IncludeFeature: font
Select default font ID	%%IncludeFeature: fontid
Reset	%%IncludeFeature: reset
Select symbol set	%%IncludeFeature: symbolset
Set carriage return to CR+LF	%%IncludeFeature: criscrlf
Set linefeed to CR+LF	%%IncludeFeature: lfiscrlf
Set number of lines per inch	%%IncludeFeature: linesperinchl
Set point size	%%IncludeFeature: pointsize
Resource	%%IncludeFeature: resource

## Lineprinter Emulation Commands

Select font for current job	%%IncludeFeature: font
Set point size for current job	%%IncludeFeature: pointsize
Specify character map type	%%IncludeFeature: map
Number lines	%%IncludeFeature: number
Set tabs	%%IncludeFeature: tabs
Set linefeed to CR+LF	%%IncludeFeature: lfiscrlf
Set carriage return to CR+LF	%%IncludeFeature: criscrlf
Set formfeed to CR+FF	%%IncludeFeature: ffiscrff
Wrap lines	%%IncludeFeature: autowrap
Set number of lines per page	%%IncludeFeature: linesperpage
Set margins	%%IncludeFeature: lpmargins
Set orientation	%%IncludeFeature: lporientation

## PostScript Emulation Command

SC 215 to set PostScript protocol

%%IncludeFeature:  
parpsprotocol x

### CCITT Groups 3 and 4 Commands

Start decompression	%%ImageData
Set encoded byte flag	%%EBAMode
Set end of block	%%BlockEnd
Set line end	%%LineEnd
Eject page	%%PageEnd
Set image position	%%ImagePosition
Invert image	%%InvertImage
Set dpi for image expansion	%%DPI
Set data compression	%%Compression
Reverse bits	%%BitReverse
End print job	%%JobEnd
Set image size	%%ImageSize
Set image rotation	%%Rotation
Set source image origin	%%SourceImageOrigin
Set source image position	%%SourceImagePosition

### Document Formatting

Logical page orientation	%%IncludeFeature: pageorientation
Number up printing	%%IncludeFeature: pagegrid
Offset logical page	%%IncludeFeature: pageoffsets
Print borders	%%IncludeFeature: border
Scale logical page	%%IncludeFeature: pagescaling
Print background images	%%IncludeFeature: background
Set printer resolution	%%IncludeFeature: resolution
Print page range	%%IncludeFeature: pagerange
Duplex printing	%%IncludeFeature: duplex
Collate print job	%%IncludeFeature: collate
Logical page size	%%IncludeFeature: pagesize
Select number of copies	%%IncludeFeature: numcopies
Select paper	%%IncludeFeature: input
Select paper	%%IncludeFeature: output
Select orientation	%%IncludeFeature: orientation
Select emulation	%%IncludeFeature: emulation
Logical margins	%%IncludeFeature: margins
New page layout	%%IncludeFeature: newlayout
Select color or monochrome	%%IncludeFeature: colormodel
Media type (such as thick stock)	%%IncludeFeature: mediatype

### Job and Subjob Boundary Commands

Sessions (only via network interface)	%%Sessions
End of document	%%EndOfDocument <ESC>%-12345X

## DOC／PJL コマンド対応表

空欄は対応されていないことを示しています。

ヘッダ／トレーラページのコマンド	
DOC	PJL
%%IncludeFeature:header	
%%IncludeFeature:trailer	
ヘッダ／トレーラ情報のコマンド	
DOC	PJL
%%Charge Number	SET CHARGENUMBER
%%Creator	
%%CreationDate	
%%Date	
%%For	SET USERNAME
%%Host	SET HOST
%%Title	JOB NAME
%%Version	
文書管理コマンド	
DOC	PJL
%%IncludeFeature	@PJL
%%Pages	
%%EndComments	
%%EndOfDocument	EOJ
<ESC>%-12345X	<ESC>%-12345X
%%Sessions	JOB
%%Notify	SET NOTIFY=JOBEND SET EMAILADDRESS

## B 特殊印刷

文書書式コマンド	
DOC	PJL
%%IncludeFeature:binding	SET BINDING
%%IncludeFeature:booklet	
%%IncludeFeature:collate	SET QTY
%%IncludeFeature:colormodel	
%%IncludeFeature:copies	SET COPIES
%%IncludeFeature:duplex	SET DUPLEX
%%IncludeFeature:emulation	ENTER LANGUAGE
%%IncludeFeature:input	SET MEDIASOURCE
%%IncludeFeature:mediatype	SET MEDIATYPE
%%IncludeFeature:newlayout	JOB
%%IncludeFeature:offset	
%%IncludeFeature:orientation	
%%IncludeFeature:output	SET OUTPUT
%%IncludeFeature:pagegrid	SET NUP
%%IncludeFeature:pageoffsets	
%%IncludeFeature: pageorientation	
%%IncludeFeature:pagerange	JOB START=# END=#
%%IncludeFeature:pagescaling	
%%IncludeFeature:pagesize	SET PAPER
%%IncludeFeature:quality	
%%IncludeFeature:resolution	SET RESOLUTION
%%IncludeFeature:staple	

HP PCL コマンド	
DOC	PJL
%%IncludeFeature:criscrlf	
%%IncludeFeature:font	
%%IncludeFeature:install	
%%IncludeFeature:lfiscrlf	
%%IncludeFeature:pointsize	
%%IncludeFeature:remove	
%%IncludeFeature:symbolset	

**ラインプリンタコマンド**

<b>DOC</b>	<b>PJL</b>
%%IncludeFeature:autowrap	
%%IncludeFeature:criscrlf	
%%IncludeFeature:ffiscrelf	
%%IncludeFeature:font	
%%IncludeFeature:linesperpage	
%%IncludeFeature:lpmargins	
%%IncludeFeature:lporientation	
%%IncludeFeature:lsiscrlf	
%%IncludeFeature:map	
%%IncludeFeature:number	
%%IncludeFeature:pointsize	
%%IncludeFeature:tabs	

**CALS コマンド**

<b>DOC</b>	<b>PJL</b>
%%IncludeFeature:autorotation	
%%IncludeFeature:autorotation	
%%IncludeFeature:autoscaling	

**TIFF コマンド**

<b>DOC</b>	<b>PJL</b>
%%IncludeFeature:autoscaling	
%%IncludeFeature:sheetsel	
%%IncludeFeature:tag	

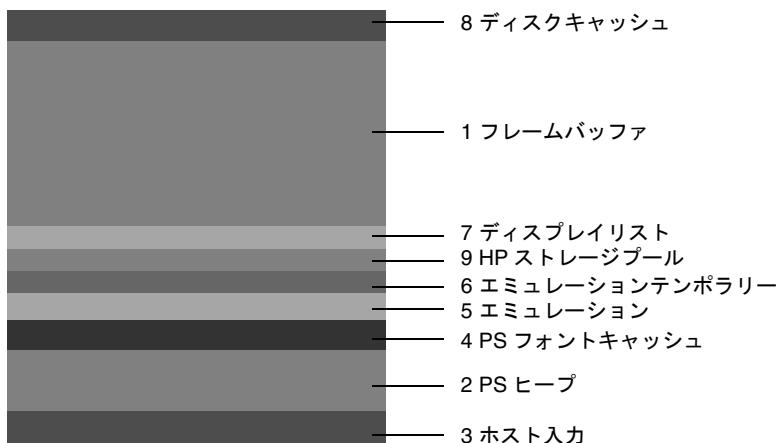
## メモリ設定

プリンタのメモリはプリントジョブのデータ保持や、プリント処理のワーク領域として使用されています。プリンタを効率よく使うために必要なメモリの総量や配分は、使用するアプリケーションや使用状況によって異なります。

メモリはそれぞれ異なる目的を持つた「メモリクライアント」と呼ばれるブロックに分割されます。メモリを増設した場合は、ユーザーのプリントの種類や使用環境に合わせて増設したメモリを振り分けることができます。ここでは、メモリクライアントについて、またメモリ割り当てを変更した場合について説明します。

ユーザーはプリンタのメモリ割り当てを必ずしも変更する必要はありません。本プリンタのメモリは出荷時に一般的なプリント環境で最適なように設定されています。また、コピー モードでのエンジンの最高スピードはインストールされているメモリには影響されません。

### メモリクライアントの名称



No.	メニュー項目での名称	ステータスページでの名称
1	フレームバッファ	フレームバッファ
2	PS ヒープ	PS ヒープ
3	K MEM スプール	ホスト入力
4	PS フォント	PS フォントキャッシュ
5	エミュレーション	エミュレーション
6	NON-PS フォント	エミュレーションテンポラリー
7	ディスプレイ	ディスプレイリスト
8	ディスクキャッシュ	ディスクキャッシュ
9	HP エミュレーション	HP ストレージプール

## メモリ設定を変える前に

最適なプリンタメモリの設定はユーザーの使用環境によって異なります。

プリンタの機能を使用するためには、その機能をコントロールするために十分なメモリをクライアントへ設定しなければなりません。

出荷時の設定がプリンタの使用環境に最適な場合もあれば、大量のポストスクリプトフォントを使用する場合などは、ポストスクリプトフォントキャッシュメモリクライアントにより多くのメモリを割り当てる設定が必要です。また「ある機能を使いたいがメモリが不足している」といった場合、使用しない機能に割り当てられたメモリを削って必要な機能にメモリを割り振ることができます。

プリンタメモリを再設定する必要があるかどうか、またどのように設定したらよいのかを決定するために下記の項目をチェックし、まずプリンタの使用環境を評価してみてください。それから、各メモリクライアントに関する記載を読んでください。

- プリンタには、標準またはオプションでどれだけのメモリが搭載されていますか？
- 必要ならばメモリを増設する予定がありますか？
- プリンタポートをすべて使用していますか？
- ネットワークインターフェイスを使用しますか？
- 同時にプリンタを使用するユーザーは何人くらいですか？
- プリンタにフォントをダウンロードしていますか？
- 異なったポイント数のフォントや書体を使用しますか？
- プリントをするファイルサイズはどのくらいですか？  
また、最大のファイルサイズはどれくらいですか？
- 文字中心にプリントしていますか、それともグラフィックス中心ですか？
- コレーション（丁合）を行いますか？  
また、その量はどのくらいですか？

### メモリクライアント

各メモリクライアントは、プリンタの設定メニューの中のメモリメニューにあります。メモリメニューを変更したいときは、新しいメモリの設定を確認するためにステータスページをプリントしてください。設定メニューを操作して各クライアントメモリを設定する際、メモリはキロバイト単位で配分されます。ステータスページにはキロバイト単位でサイズが表示されます。

#### ご注意

各メモリクライアントに割り当てるメモリの数値は4 KB で割り切れる値にしてください。もし4 KB で割り切れない値が入力された場合には4 KB で割り切れる値（入力した値より小さい）に自動的に変更されます。例えば、102 KB を入力すると、実際の値は100 KB になります。

### 1. フレームバッファ (Frame Buffer)

操作パネルのメッセージウィンドウには「フレームバッファ」と表示されます。フレームバッファメモリクライアントは、ラスタライズが完了してビットマップ化されたページイメージをプリンタエンジンに送る前に一時的に保管する領域です。フレームバッファに必要なメモリの量は、解像度と用紙サイズから決定されます。同じ用紙サイズの場合、解像度が倍になると必要なフレームバッファメモリは4倍になります。

フレームバッファに必要とするメモリは下記の計算式で求められます。

$$\text{用紙の幅 (インチ)} \times \text{水平方向の解像度 (dpi)} \div 8 = (1)$$

$$\text{用紙の長さ (インチ)} \times \text{縦方向の解像度 (dpi)} = (2)$$

$$(1) \times (2) = \text{メモリ容量 (バイト単位)}$$

$$\text{メモリ容量 (バイト単位)} \div 1024 = \text{メモリ容量 (キロバイト単位)}$$

例)

用紙サイズがA4（横8.2インチ、縦11.7インチ）の印刷で、解像度が600 dpiで必要とされるメモリ。

$$8.2 \times 600 \div 8 = 615, \quad 11.7 \times 600 = 7,020$$

$$615 \times 7,020 = 4,317,300, \quad 4,317,300 \div 1024 \neq 4,217$$

4,217 キロバイト

このフレームバッファメモリが不足するとプリント画面にいろいろな問題が発生します。

## 2. ポストスクリプトヒープ (PostScript Heap)

操作パネルのメッセージウィンドウには「PS ヒープ」と表示されます。ポストスクリプトヒープクライアントは、ポストスクリプトのワーク領域です。処理中のプリントジョブに使用されているポストスクリプトフォントやポストスクリプトオペレータ、およびフォーマットを保持しています。

ポストスクリプト用のプリントジョブを非効率的な方法で作成すると、メモリを無制限に使用したり、ポストスクリプトヒープ内にオブジェクトを残したままプリントジョブが終了したりして、メモリエラー（VM Error）の原因となることがあります。プリントジョブを正常に実行させるためには、ポストスクリプトヒープクライアントに十分なメモリを割り当てる必要があります。

ポストスクリプトヒープクライアントのメモリを増やすと、より複雑なプリントジョブを処理したり、プリントジョブの1ページ中で使用するフォントの種類を増やすことができます。

プリントジョブを実行中にメモリエラー（VM Error）が起きたとき以外では、ポストスクリプトヒープメモリクライアントのメモリを増やす必要はありません。また、増やすメモリは、エラーが起きない程度の量で十分です。

## 3. ホストインプットバッファ (Host Input Buffer)

操作パネルのメッセージウィンドウには「K MEM スバル」と表示されます。スバルバッファメモリクライアントは、プリンタが先行のプリントジョブを処理する間、すべてのインターフェイスから入ってくるデータを一時的に保存しています。スバルバッファメモリクライアントに十分なメモリが割り当てられていると、プリンタが同時に受け取れるジョブの数が増え、コンピュータはすみやかにプリント作業から解放されます。したがって、スバルバッファメモリクライアントを増やすと、ネットワークの負荷を減らすことができます。

## 4. ポストスクリプトフォントキャッシュ (PostScript Font Cache)

操作パネルのメッセージウィンドウには「PS フォント」と表示されます。ポストスクリプトフォントキャッシュメモリクライアントは、プリンタの電源を入れてからの間に使用されたポストスクリプトフォントをビットマップに展開された状態で保持しています。ポストスクリプトフォントキャッシュメモリがいっぱいになると、プリンタは新しい文字に使用する空き領域を作るため、フォントキャッシュ内のビットマップを順次消去します。

このクライアントに割り当てるメモリを増やすと、プリンタはより多くの文字を保持することができるため、ビットマップフォーマットにフォントを開く時間が減り、プリント速度を上げることができます。

異なるサイズのポイントで多くのフォントを使用しなければ、このメモリクライアントの容量を変更する必要はありません。フォントキャッシュに必要とされるメモリの量を決定する特別な公式はありませんが、あまり大量に割り当てるとき、キャッシュ内にあるビットマップを検索する時間が増え、プリントが遅くなることもあります。

### 5. エミュレーションバッファ (Emulation Buffer)

操作パネルのメッセージウィンドウには「エミュレーション」と表示されます。エミュレーションメモリクライアントは、ポストスクリプト以外のエミュレーションのワーク領域に使用されます。このクライアントのメモリを増やすと、ポストスクリプト以外のエミュレーションで、より複雑なプリントジョブを処理することができます。

エミュレーションをロードしたとき、エミュレーションメモリクライアントに十分なメモリがないと、必要なメモリを得るために、既にロードされている別のエミュレーションが自動的にメモリから消去されます。ポストスクリプト以外のエミュレーションのプリントジョブ間でプリント速度に遅れがあると思われる場合は、実行するたびにエミュレーションを再ロードしている可能性があります。この場合には、エミュレーションメモリクライアントを増やすことによって、エミュレーション消去と再ロードの繰り返しがなくなり、スループットを上げることができます。

### 6. エミュレーションテンポラリー (Emulation Temporary)

操作パネルのメッセージウィンドウには「NON-PS フォント」と表示されます。エミュレーションテンポラリーメモリクライアントは、ポストスクリプト以外のエミュレーションのダウンロードフォント、フォームおよびマクロを保持するために使用されます。このため、エミュレーションを変更しても、前のエミュレーションで使用したフォントやフォームをメモリ上に残しておくことができます。これを、「コンテクストスイッチング」といい、次に最初のエミュレーションのプリントジョブが来ても、メモリ上に残っているフォントやフォームをそのまま使用することができます。「コンテクストスイッチング」によって、ダウンロードを繰り返すことがなくなり、ネットワーク上の負荷を軽減することができます。

なお、多くのポストスクリプト以外のフォントをダウンロードしなければ、このメモリクライアントの設定を変更する必要はありません。

### 7. ディスプレイリスト (Display List)

操作パネルのメッセージウィンドウには「ディスプレイ」と表示されます。ディスプレイリストメモリクライアントは、ディスプレイリストに、ポストスクリプト処理後にプリントされるページイメージをブロック単位に圧縮した形で保持しています。

通常のA4サイズのページには約1ブロックを必要とします。グラフィックスを含むA4サイズのページには約4ブロックを必要とします。また、非常に複雑なページの場合は、500近いブロックが必要となることもあります。1ブロックには、約64KBのメモリが必要です。

ディスプレイリストには、同時に複数のプリントジョブに属する複数のページをブロックの形で保持できます。このクライアントに十分なメモリが割り当てられていれば、プリントエンジンに1ページ分のイメージが送られるとすぐに、次のページがプリントできる状態になります。また、このクライアントのメモリを増やせば、ソーティング(丁合)できるページを増やすことができます。

## 8. ディスクキャッシュ (Disk Cache)

操作パネルのメッセージウィンドウには「ディスクキャッシュ」と表示されます。ディスクキャッシュメモリクライアントは、ハードディスクから読み出したファイルをシステムメモリに一時的に保持します。ハードディスクを使用中にディスクへのアクセスが頻繁に行われる場合ディスクキャッシュにメモリを追加することによって、プリントの性能を向上させることができます。例えば、大量のフォントをディスクに保持しているときにディスクキャッシュのサイズを増やすと、ディスク内のフォントへのアクセスが軽減され、プリント処理がスピードアップされます。

ディスクキャッシュメモリクライアントに最低限必要なメモリ量は、ディスクの容量、ディスクのサブディレクトリ数、およびキャッシング用のメモリの容量によって決まります。

### ご注意

ディスクキャッシュの値を小さくすると、ハードディスクを認識しなくなります。

## 9. HP プール (HP Pool)

操作パネルのメッセージウィンドウには「HP エミュレーション」と表示されます。HP プールメモリクライアントは HP PCL や HP-GL などのエミュレーション、さらにはフォントやグラフィックスイメージのために使用されます。

### プリンタメモリ (Printer Memory)

操作パネルのメッセージウィンドウに「メモリーカイ」と表示されます。プリンタメモリクライアントは、プリンタに搭載された RAM の総容量をメガバイトで表示します。

### ご注意

ディスクスワップがオンのときは、仮想メモリの値を含めた合計がメガバイトで表示されます。

### ハードディスクの設定

プリンタに内蔵されたハードディスクは、ダウンロード可能なフォント、仮想メモリなどの割り当て領域となります。またプリントログもハードディスクに保持されます。

### 仮想メモリ

本プリンタは仮想メモリ機能を備えています。ディスクスワップ設定をオンに設定することで、仮想メモリが使用されます（出荷時設定はオンです）。

仮想メモリをオンにすると、プリント時メモリ不足になった場合も、プリンタは仮想メモリを使用してプリントを行うことができます。

仮想メモリはハードディスク上に自動的にスワップファイルを作り、その領域をRAMメモリの代わりに使用する機能です。ハードディスクはRAMメモリに比べてアクセス時間が非常に遅いため、仮想メモリを頻繁に使用する状態ではプリント処理スピードが大幅に低下します。そのような状態になった場合は、増設メモリによるRAM増設をおすすめします。スワップファイルのサイズは搭載メモリによって自動的に決定されます。



#### ご注意

---

フレームバッファとディスクキャッシュメモリクライアントはディスクスワップができません。

---

---

## メニューの構造

---

C

### はじめに

この章では本プリンタの操作パネル上で操作するメニュー項目を説明しています。

「「オペレータ コントロール」メニュー」	p. C-3
「「アドミニストレーション」メニュー」	p. C-10
「「セキュリティ」メニュー」	p. C-75

## 「オペレータ コントロール」メニュー

オペレータ コントロールではプリント部数、用紙方向などの給紙に関係する設定を行います。これらの設定はプリントジョブによって異なるため、通常はコンピュータ側で設定しますが、アプリケーションソフトウェアが対応していない場合は、操作パネルで行います。またこのオペレータ コントロールではカラーマッチングやプリントログの設定などができます。

### もくじ（階層）

「オペレータ コントロール」メニュー .....	p. C-3
■ プリントマイスウ セッティ (COPIES) .....	p. C-4
■ リョウメン インサツ (DUPLEX) .....	p. C-4
■ ハイシトレイ (OUTPUTBIN) .....	p. C-4
■ メールビン ノ レンケツ (CHAIN MAILBINS) .....	p. C-4
■ ソーティング セッティ (COLLATION) .....	p. C-4
■ プリントホウコウ (ORIENTATION) .....	p. C-5
■ ヨウシトレイ (INPUTBIN) .....	p. C-5
■ ヨウシトレイ ノ レンケツ (CHAIN INPUTBIN) .....	p. C-5
■ テサシサイズ (MULTIPURPOSE SIZE) .....	p. C-6
■ メディアモード (MEDIA MODE) .....	p. C-6
■ プリントログ セッティ (ACCOUNTING) .....	p. C-7
◆ モード (MODE) .....	p. C-7
◆ ディスクヨウリョウ セッティ (DISK SPACE) .....	p. C-7
◆ プリントログ サクジョ (RESET ACCOUNTING) .....	p. C-7
◆ ログファイルスウ セッティ (FILE SEGMENT) .....	p. C-8
■ MPT メディア (MEDIA) .....	p. C-8
■ カクニン プリント (PROOF-THEN-PRINT) .....	p. C-9
■ ショウモウヒン (CONSUMABLES) .....	p. C-9
◆ トウケイデータ プリント (PRINT STATISTICS) .....	p. C-9

## C メニューの構造

### ■ プリントマイスウ セッティ (COPIES)

機能	1 プリントジョブあたりのプリント部数を設定します。
初期値	001
設定範囲	001-999
備考	プリントジョブで部数指定がされていれば無効になります。

### ■ リョウメンインサツ (DUPLEX)

機能	両面プリントを設定します。(両面プリントユニット装着有効)。
初期	オフ
設定範囲	オフ、ロングエッジ、ショートエッジ
備考	ロングエッジは長辺で、ショートエッジは短辺で両面プリントします。

■ 関連メニュー項目：メモリ設定変更の「フレームバッファ」

### ■ ハイシトレイ (OUTPUTBIN)

機能	排紙トレイの設定をします。
初期値	upper
設定範囲	upper、mailbin1、mailbin2、mailbin3、mailbin4
備考	mailbin1～4は、オプションのメール binです。

### ■ メール bin ノ レンケツ (CHAIN MAILBINS)

機能	メール bin の連結を設定します。(オプションのメール bin 装着時有効)
初期値	オフ
設定範囲	オフ、オン

### ■ ソーティング セッティ (COLLATION)

機能	ソーティングの設定ができます。
初期値	オフ
設定範囲	オフ、オン
備考	例えば、3 ページのファイルを 5 部プリントする場合、設定をオンにすれば 3 ページづつ 5 部プリントします。

■ 関連メニュー項目：メモリ設定変更の「ディスプレイ」

## ■ プリントホウコウ (ORIENTATION)

機能	用紙に対してプリントする向きを設定します。
初期値	タテ
設定範囲	タテ 縦方向にプリントします。
	ヨコ 横方向にプリントします。

## ■ ヨウシトレイ (INPUTBIN)

機能	どの給紙口から用紙を給紙するのかを設定します。
初期値	upper
設定範囲	upper、multipurpose、optional1、optional2、optional3
備考	初期値の upper は標準カセット、multipurpose は手差しトレイ、optional1 ~ 3 はオプションの給紙カセットです。

## ■ ヨウシトレイ ノ レンケツ (CHAIN INPUTBIN)

機能	給紙するトレイを連結します。
初期値	オン
設定範囲	オフ、オン
備考	オプションのペーパーフィーダ増設時に使用できます。設定をオンにすると、給紙しているカセットに用紙がなくなった場合、同一サイズの用紙がセットされている他のカセットから給紙します。

## C メニューの構造

### ■ テサシサイズ (MULTIPURPOSE SIZE)

機能	手差しトレイの用紙サイズを設定します。
初期値	A4
設定範囲	A4、A3、B4、Folio、11×17、エグゼクティブ、B5 JIS、A5、Statement、B5 ISO、C5、DL、Com10、C6、Monarch、カンセイ ハガキ、32 kai、16 kai、8 kai、チュウケイ 3 ゴウ、チュウケイ 4 ゴウ、カスタム、レター、Gort. Letter、リーガル

アドミニストレーションメニューの「初期値に戻す」(アドミニストレーション/ソノタノセッティ / セッティチノフッキュウ / ショキチニモドス) を実行すると設定値が「レター」になりますので「A4」に設定してください。

### ■ メディアモード (MEDIA MODE)

機能	OHP フィルム、厚紙やラベル用紙などの特別な用紙を給紙するカセットの選択方法を設定します。
初期値	シングルユーザーモード
設定範囲	シングルユーザーモード、ネットワーク モード
備考	シングルユーザ モードでは、特別な用紙を給紙するカセットをプリンタ ドライバで選択しなければなりません。 ネットワーク モードでは、特別な用紙を給紙するカセットが自動で選択されます。

## ■ プリントログセッティ (ACCOUNTING)

本プリンタが処理したすべてのプリントジョブを、プリンタ自身が記録するプリントログ機能があります。

このログファイルは、ジョブファイル（ファイル名 :acc1.job）、ペーパーファイル（ファイル名 :acc.pap）とステータスファイル（ファイル名 :acc.sta）で構成され、ftp でコンピュータに転送したり、Crown View を利用し Windows95/98/Me/2000/XP 上でプリントログ記録を取得、閲覧したりできます。

### ◆ モード (MODE)

プリントログのオン／オフを設定します。セッティナシに設定した場合プリントジョブは記録されません。

モード	
初期値	セッティナシ
設定範囲	セッティナシ、ユウコウデス

### ◆ ディスクヨウリョウ セッティ (DISK SPACE)

プリントログの記録に使用するプリンタ内蔵ハードディスク領域のサイズを設定します。単位はキロバイトです。プリントログ記録は 1MB の領域を設定してある場合、約 4,000 ~ 5,000 件記録することができます。

ディスク ヨウリョウ セッティ	
初期値	1024
設定範囲	50 ~ 10240

### ◆ プリントログサクジョ (RESET ACCOUNTING)

プリンタ内のプリントログ記録をすべて消去するときに使用します。

プリントログ記録ファイルが使用ディスク領域で設定したサイズの 80%を超えると、ディスプレイに次の表示が現れます。xxx%消費したかを表わします。

「ログファイルガ 80% フルデス」

この表示が現れたら、ftp コマンドまたは Crown View でプリントログ記録ファイルをコンピューターに転送し、プリントログサクジョを行ってください。次にファイルの内容を消去し、新たに記録ができるようにしてください。



「ジョブファイルガ フルデス」または「ペーパーファイルガ フルデス」がディスプレイに表示されると、プリンタはプリントを停止します。

## C メニューの構造

プリントログ サクジョ			
初期値	イイエ		
設定範囲	ハイ	記録をすべて消去し、新たに記録ができるようになります。	
	イイエ	アカウンティング記録を続けます。	

### ◆ ログファイルスウ セッティ (FILE SEGMENT)

プリントタ内のプリントログ記録のファイル数を設定します。

記録ファイルのサイズは使用ディスク領域メニューで設定した数値が上限になります。

 マルチブルに設定すると、プリントログ記録ファイルは 1MB 単位で分割されます。

ログファイルスウ セッティ			
初期値	マルチブル		
設定範囲	シングル	プリントログ記録を 1 ファイルに保存します。	
	マルチブル	プリントログ記録を最大 10 ファイルまで保存します。	

ftp の get コマンドでのプリントログファイルの取得：ログイン時のユーザは「root」で、パスワードは「admin」です。

#### 1. ジョブファイル

```
ftp>get SYS:/admin/acc1.job c:¥acc1.job
```

「ログファイルスウ セッティ」が「マルチブル」で「ディスクヨウリョウセッティ」が 2.5MB の場合、ジョブファイル名は acc1.job、acc2.job、acc3.job となります。

#### 2. ペーパーファイル

```
ftp>get SYS:/admin/acc.pap c:¥acc1.pap
```

#### 3. ステータスファイル

```
ftp>get SYS:/admin/acc.sta c:¥acc1.sta
```

## ■ MPT メディア (MEDIA)

機能	手差しトレイで給紙する用紙の種類を指定します。
初期値	フツウシ
設定範囲	フツウシ、OHP フィルム、アツデ ヨウシ

## ■ カクニン プリント (PROOF-THEN-PRINT)

プリンタドライバのプロパティの「機能」にある「ドキュメントオプション」で「確認後に印刷」が選択され、「ファイル名」が指定されたプリントジョブに対して有効になります。第4章の「プリンタドライバの使い方」の「ドキュメントオプション」を参照してください。

カクニン プリント	
初期値	XXXXXXXXXXXXXX*
設定範囲	「確認後に印刷」の最大ファイル数の50。これはハードディスクの空容量によります。

\*XXXXXは「確認後に印刷」で指定されたファイル名。

操作パネルの「→」キーまたは「←」キーで設定範囲のファイルを選択できます。ファイルを選択後、[セレクト]キーを押すと、ファイルを「プリントスル」あるいは「サクジョスル」が選択できます。ファイルをプリントする場合、「プリントスル」で[セレクト]キーを押すとプリントできます。

## ■ ショウモウヒン (CONSUMABLES)

消耗品を交換した後にこのメニューを使用してください。

### ◆ トウケイデータ プリント (PRINT STATISTICS)

このメニューを実行すると、各消耗品の残量が記載されたページが出力されます。

トウケイデータ プリント	
設定範囲	ハイ、イイエ

# 「アドミニストレーション」メニュー

アドミニストレーションでは、プリンタとコンピュータとの通信やプリンタメモリ、エンジンなどに関係する設定を行います。

## もくじ（階層）

「アドミニストレーション」メニュー .....	p. C-10
└ インターフェイス (Communications) .....	p. C-11
└ ◆ タイムアウト (TIMEOUTS) .....	p. C-11
└ ◆ USB (USB) .....	p. C-12
└ ◆ パラレルインターフェイス (PARALLEL) .....	p. C-14
└ ◆ OPTIONAL NIC (イーサネットインターフェイス) .....	p. C-17
└ ● CROWNNET .....	p. C-17
└   ◆ COMMON .....	p. C-18
└   ◆ ETHERTALK .....	p. C-21
└   ◆ LASERWRITER .....	p. C-22
└   ◆ PAGEPRO RC RES .....	p. C-22
└   ◆ HP ZONER RES .....	p. C-23
└   ◆ DEFAULT .....	p. C-24
└   ◆ LAN MANAGAR .....	p. C-25
└   ◆ NETWARE .....	p. C-27
└   ◆ TCP/IP .....	p. C-35
└ ● MODE .....	p. C-43
└ ● EMULATION .....	p. C-43
└ ● MIN K SPOOL .....	p. C-43
└ ● DEF JOB PRIO .....	p. C-44
└ ● PS PROTOCOL .....	p. C-44
└ エミュレーション (Emulations) .....	p. C-46
└ スペシャルページ (Special Pages) .....	p. C-56
└ スタートオプション (Startup Options) .....	p. C-59
└ メモリー (Memory) .....	p. C-60
└ エンジン (Engine) .....	p. C-64
└ ショウモウヒン (Consumables) .....	p. C-70
└ ソノタノセッティ (Miscellaneous) .....	p. C-71
└ ディスクオペレーション (Disk Operations) .....	p. C-74

## インターフェイス (Communications)

インターフェイスメニューでは、各インターフェイスの設定を行います。

インターフェイス	
◆ タイムアウト (TIMEOUTS)	
◆ USB	
◆ パラレルインターフェイス (PARALLEL)	
◆ OPTIONAL NIC (イーサネットインターフェイス)	

### ◆ タイムアウト (TIMEOUTS)

コンピュータからデータが送信された場合に、プリンタのデータ待ち時間の限度を設定します。タイムアウトで設定された時間が過ぎてもコンピュータからデータが送信されない場合、プリントジョブを停止します。

#### ● PS タイムアウト (PS TIMEOUT)

ポストスクリプトデータのデータ待ち時間です。

データ量の大きいグラフィックスでタイムアウトエラーが起きるときは、この値を増やしてください。

「0」に設定するとタイムアウトになりません。



アドミニストレーションの「初期値に戻す」(アドミニストレーション/ソノタノセッティ/セッティチノフッキュウ/ショキチニモドス)を実行すると設定値が「120」になりますので「300」に設定してください。(単位:秒)

PS タイムアウト	
初期値	00120
設定範囲	00000 ~ 99999

#### ● エミュレーションタイムアウト (EMULATION TIMEOUT)

ポストスクリプトデータ以外のエミュレーションデータのデータ待ち時間です。(単位:秒)

「0」に設定するとタイムアウトになりません。

エミュレーションタイムアウト	
初期値	00005
設定範囲	00000 ~ 99999

## C メニューの構造

### ● ジョブ タイムアウト (JOB TIMEOUT)

プリントジョブ開始から終了までのタイムアウトです。

初期値の「0」ではタイムアウトにはなりません。(単位 : 秒)

ジョブ タイムアウト	
初期値	00000
設定範囲	00000 ~ 99999

### ● ESP タイムアウト (ESP TIMEOUT)

本プリンタが、ESP モードでデータを受信してから、どのプリンタ言語のデータなのかを識別するまでの時間の限度です。

設定値を過ぎても識別できない場合は、ESP 優先言語で設定してあるプリンタ言語でプリントします。(単位 : 秒)

ESP タイムアウト	
初期値	00003
設定範囲	00000 ~ 99999

## ◆ USB (USB)

USB の設定を行います。

### ● エミュレーション (EMULATION)

パラレルインターフェイスで受信できるプリントジョブのプリンタ言語を設定します。

初期値の「ESP」ではプリントジョブのプリンタ言語を自動認識します。

エミュレーション	
初期値	ESP
設定範囲	ESP、HEXDUMP、postscript、pdf、pclxl、pcl5e、hpgl、lineprinter

### ● ジョブシュウリョウモード (END JOB MODE)

受信したときにプリントジョブを完了させる特定の文字列 (EOD:END-Of-Document) を設定します。

「None」ではポストスクリプトオペレータの Control-D コマンド以外は受け付けません。

ジョブシュウリョウ モード	
初期値	セッティナシ
設定範囲	セッティナシ、DOC EOD、HP EOD

DOC EOD: (%%EndOfDocument)

HP EOD: (<ESC>%-12345X)

### ● スプール タイムアウト (SPOOL TIMEOUT)

コンピュータからのデータ待ち時間です。(単位:秒)

スプール タイムアウト	
初期値	00005
設定範囲	00000 ~ 99999

### ● PS プロトコル セッティ (PS PROTOCOL)

パラレルインターフェイスのバイナリ一転送のプロトコルを設定します。

PS プロトコル セッティ		
初期値	ノーマル	
設定範囲	ノーマル	データがアスキーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することができます。
	ノーマル フィックス	データがアスキーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更できません。
	キューバイナリ	データがバイナリーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することができます。
	キューバイナリ フィックス	データがバイナリーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更できません。

キューバイナリ／キューバイナリ フィックスモードで 8 ビットのバイナリーデータを転送する場合、プリンタの Binary Communication Protocol (BCP) がコントロールコードかプリントジョブデータかを識別します。

BCP について詳しくは以下の資料を参照してください。

PostScript Language Reference Manual

(Adobe Systems, Inc., Reading, MA: Addison-Wesley, 1990, ISBN 0-201-18127-4) ,

Adobe Serial and Parallel Communications Specifications (in Adobe Developer Support, Adobe Systems, Inc., February 14, 1992)

## C メニューの構造

### ◆ パラレルインターフェイス (PARALLEL)

パラレルインターフェイスの設定を行います。

#### ● モード (MODE)

パラレルインターフェイスの通信モードを設定します。

モード		
初期値	ソウホウコウ モード	
設定範囲	ソウホウコウ モード	プリンタとコンピュータ間で双方向に通信します。
	ヒソウホウコウ モード	コンピュータ→プリンタの一方向にのみ通信します。
	セッティナシ	パラレルインターフェイスからはデータを受け取りません。



この項目の設定を有効にするためには、設定後にプリンタをリストアートしてください。

#### ● エミュレーション (EMULATION)

パラレルインターフェイスで受信できるプリントジョブのプリンタ言語を設定します。

初期値の「ESP」ではプリントジョブのプリンタ言語を自動認識します。

エミュレーション	
初期値	ESP
設定範囲	ESP、HEXDUMP、postscript、pdf、pclxl、pcl5e、hpgl、lineprinter

#### ● MIN K スプール (KB)

パラレルインターフェイスに割り当てる最小限のスプールメモリを設定します。(単位 : キロバイト)

MIN K スプール (KB)	
初期値	00015
設定範囲	00000 ~ 99999



最小スプールメモリ (Min K スプール) の値は、K MEM スプールメモリの値を超えない範囲で設定してください。

### ● スプールタイムアウト (SPOOL TIMEOUT)

コンピュータからのデータ待ち時間です。(単位:秒)

スプールタイムアウト	
初期値	00030
設定範囲	00000 ~ 99999

### ● データビット (DATA BITS)

1文字のデータビット数を設定します。

データビット	
初期値	8ビット
設定範囲	8ビット、7ビット

### ● ジョブシュウリョウモード (END JOB MODE)

受信したときにプリントジョブを完了させる特定の文字列  
(EOD:END-Of-Document) を設定します。None ではポストスクリプトオペレータの Control-D コマンド以外は受け付けません。

ジョブシュウリョウモード	
初期値	セッティナシ
設定範囲	セッティナシ、DOC EOD、HP EOD

DOC EOD: (%EndOfDocument)

HP EOD: (<ESC>%-12345X)

### ● ジョブユウセンドティギ (DEF JOB PRIO)

複数のジョブを同時に受信した場合のパラレルインターフェイスの優先順位を設定します。優先順位が最も高いのは 001 です。

ジョブユウセンドティギ	
初期値	001
設定範囲	001 ~ 100

### ● PS プロトコル セッティ (PS PROTOCOL)

パラレルインターフェイスのバイナリー転送のプロトコルを設定します。

PS プロトコル セッティ		
初期値	ノーマル	
設定範囲	ノーマル	データがアスキーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することができます。
	ノーマル フィックス	データがアスキーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することができません。
	キューバイナリ	データがバイナリーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することができます。
	キューバイナリ フィックス	データがバイナリーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することができません。

キューバイナリ／キューバイナリ フィックスモードで 8 ビットのバイナリーデータを転送する際、プリンタは Binary Communication Protocol (BCP) によってそれがコントロールコードかプリントジョブデータなのかを識別します。

BCP について詳しくは以下の資料を参照してください。

PostScript Language Reference Manual

(Adobe Systems, Inc., Reading, MA: Addison-Wesley, 1990, ISBN 0-201-18127-4) ,

Adobe Serial and Parallel Communications Specifications (in Adobe Developer Support, Adobe Systems, Inc., February 14, 1992)

## ◆ OPTIONAL NIC (イーサネットインターフェイス)

本プリンタは、CrownNet ネットワークインターフェイスを内蔵していますので、Ethernet に直接接続することができます。

本プリンタで Ethernet ネットワークに接続する際には、あらかじめご使用のホストに対応したソフトウェアをインストールしてください。

OPTIONAL
● CROWNNET
● MODE (モード)
● EMULATION (エミュレーション)
● MIN K SPOOL (最小スプールメモリ)
● DEF JOB PRIO (ジョブ優先順位)
● PS PROTOCOL (PS プロトコル)

### ● CROWNNET

CrownNet メニューは、以下の方法で設定できます。

- 操作パネル  
プリンタの操作パネルを使用して設定する方法です。本説明書ではこの方法を説明しています。
- PageScope ネットワークユーティリティ  
本プリンタに付属の PageScope ユーティリティで設定する方法です。Macintosh、Windows、UNIX 環境でご使用できます。

CrownNet メニューでは、下記の各種プロトコルの設定を行います。

CROWNNET
◆ COMMON
◆ ETHERTALK
◆ LAN MANAGER
◆ NETWARE
◆ TCP/IP

## C メニューの構造

### ◆ COMMON

共通メニューでは、各プロトコルに共通の機能を設定します。

COMMON
▼ SPOOLING (スプール)
▼ HW ADDRESS (ハードウェア アドレス)
▼ CONFIG PAGE (コンフィグレーション ページ)
▼ FACTORY RESET (初期設定に戻す)
▼ SOFT RESET (CrownNet のリスタート)
▼ ETHERNET SPEED (イーサーネットのスピード)

### ▼ SPOOLING

CrownNet インターフェイスでのプリントジョブの受信を設定します。

SPOOLING		
初期値	On Input Idle	
設定範囲	On	ジョブデータを常に受信し、メモリにスプールします。複数のプリントジョブを同時に受け取ります。
	On Idle	プリンタがプリントを終了し、データ待ち状態（プリントジョブマチ表示）になればジョブデータを受信することができます。
	On Input Idle	プリンタがプリント中であっても、データ待ち状態（プリントジョブマチ表示）であれば、ジョブデータを受信することができます。



この項目の設定を有効にするためには、設定後にプリンタをリスタートしてください。

On または On Input Idle を設定していると、「アカウンティング／リバースチャネル」（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／TCP／IP／Acnting／Revchan）が自動的に Disabled に設定されるため、TCP/IP アカウンティング機能は無効になります。

### ▼ HW ADDRESS

プリンタのハードウェアアドレスを設定します。

HW ADDRESS	
初期値	FFFFFFFFFF
設定範囲	00000000 ~ FFFFFFFF



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートしてください。

ハードウェアアドレスは、スタートアップページにプリントされます。ハードウェアアドレス値の初期値を FFFFFFFF に選択すると、物理アドレスは初期設定の ID、080086xxxxxx になります。

通常は初期値でご使用ください。

Ethernet アドレスは、0800 で始まります。

たとえばハードウェアアドレス値を 12341234 に設置すると、プリンタの物理 Ethernet アドレスは 080012341234 になります。この 4 桁の数字は変更できません。

### ▼ CONFIG PAGE

CrownNet の現在の設定をすべて記したコンフィグレーションページをプリントします。

CONFIG PAGE			
初期値	No		
設定範囲	No	コンフィグレーションページをプリントしません。	
	Yes	コンフィグレーションページをプリントします。	

コンフィグレーションページには、CrownNet のすべてのプロトコルの設定に関する情報が含まれています。

「Yes」を選択し、プリンタをオンラインに戻すと自動的にコンフィグレーションページがプリントされます。

### ▼ FACTORY RESET

インターネットアドレス以外の CrownNet の設定を初期値に戻します。

FACTORY RESET			
初期値	No		
設定範囲	Yes	すべての設定を初期値に戻します。	
	No	現在値をそのまま使用します。	



この項目の設定を有効にするためには「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

「Yes」を選択すると、ネットワークインターフェイスに関する設定のみが初期値に戻ります。（ただしインターネットアドレスは変更されません。）

プリンタ本体のメニューは、設定した値が使用されます。

## C メニューの構造

### ▼ SOFT RESET

CrownNet ネットワークインターフェイスだけをリスタートする場合に使用します。

SOFT RESET		
初期値	No	
設定範囲	Yes	ネットワークインターフェイスをリスタートします。
	No	リスタートしません。

 CrownNet がジョブを受信している間はリスタートすることができません。

### ▼ ETHERNET SPEED

イーサネットのスピードを設定します。

ETHERNET SPEED		
初期値	Auto	
設定範囲	Auto	自動認識します。
	10 Half Duplex	Half Duplex の 10Mbps で送受信します。
	100 Half Duplex	Half Duplex の 100Mbps で送受信します。
	10 Full Duplex	Full Duplex の 10Mbps で送受信します。
	100 Full Duplex	Full Duplex の 100Mbps で送受信します。

 この項目の設定を有効にするためには「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

## ◆ ETHERTALK

EtherTalk プロトコルの機能を設定します。

ETHERTALK	
▼ PROTOCOL（プロトコル）	
▼ NETWORK IDENT（ネットワークの識別）	
▼ CONNECTION（コネクション）	
▼ ZONE NAME（ゾーン名）	

## ▼ PROTOCOL

EtherTalk プロトコルでプリントジョブを受信するかどうかを設定します。

PROTOCOL		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	EtherTalk プロトコルのプリントジョブを受信します。
	Disabled	EtherTalk プロトコルではプリントジョブを受信しません。



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

## ▼ NETWORK IDENT

ネットワークに送信する応答の形式を設定します。以下の 3 種類のモードがあります。

- ◆ LASERWRITER
- ◆ PAGEPRO RC RES
- ◆ HP ZONER RES

## C メニューの構造

### ◆ LASERWRITER

CrownNet プリンタを通常のプリント用にネットワークに登録する方法を識別します。

LaserWriter 型のネットワーク検索要求に対して CrownNet プリンタが応答するかどうかを設定します。

LASERWRITER		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	LaserWriter 型のネットワーク検索要求に応答します。
	Disabled	LaserWriter 型のネットワーク検索要求には応答しません。



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

### ◆ PAGEPRO RC RES

CrownNet プリンタをリモートコンソールのアクセス用ネットワークに登録する方法を識別します。

Page Pro\_REMOTE\_CONSOLE 型のプリンタ検出要求に対して CrownNet プリンタが応答するかどうかを設定します。

PAGEPRO RC RES		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	Page Pro_REMOTE_CONSOLE 型のネットワーク検出要求に応答します。
	Disabled	Page Pro_REMOTE_CONSOLE 型のネットワーク検出要求では応答しません。



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

Macintosh アプリケーションでは、どの EtherTalk デバイスがリモートコンソール機能をサポートするのかを識別します。

### ◆ HP ZONER RES

CrownNet プリンタを特定の EtherTalk ゾーン変更アプリケーション用にネットワークに登録する方法を識別します。

HP Zoner Responser 型のネットワーク検出要求に対して CrownNet プリンタが応答するかどうかを設定します。

HP ZONER RES		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	HP Zoner Responser 型のネットワーク検出要求に応答します。
	Disabled	HP Zoner Responser 型のネットワーク検出要求では応答しません。



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

Macintosh アプリケーションでは、どの EtherTalk デバイスがゾーン変更機能をサポートするのかを識別します。

### ▼ CONNECTION

Macintosh とプリンタとの通信モードを設定します。

CONNECTION		
初期値	Conventional	
設定範囲	Conventional	プリントジョブを 1 つずつ受信します。
	Spooling	最大 4 つまでのジョブをスプールします。
	Both	Conventional と Spooling の両方の機能を提供します。



「Both」を選択する場合は、「Conventional」または「Spooling」を単独で使用するときよりも多くのプリンタメモリが必要です。単独でしか使用しない場合は、「Conventional」または「Spooling」のどちらかに設定してください。

「Both」に設定すると、プリンタのパフォーマンスが低下します。この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

「Conventional」を選択すると、プリンタが「Macintosh」に接続してからジョブがプリントされるまで、1 人のユーザは一度に 1 つのジョブしか送信できません。

## C メニューの構造

「Spooling」を選択すると、ジョブをプリント中でも、プリントジョブはスプールされます。この場合、同時に最大 4 つまでスプールできます。

セレクタにはプリンタ名が「Page Pro 9100-SPOOLER」のように表示されます。「Both」を選択すると、セレクタには「Page Pro 9100」と「Page Pro 9100-SPOOLER」の 2 つのプリンタ名が表示され、ユーザは両方にプリントできます。

### ▼ ZONE NAME

EtherTalk ゾーンを設定します。プリンタのディスプレイ表示は 16 文字までなので、ゾーン名は「ZONE PART 1」「ZONE PART 2」を使用して英数字で最大 32 文字まで設定します。

ZONE NAME			
初期値	最初に検出されたゾーン		
設定範囲	ZONE PART 1	ゾーン名の最初の 16 文字	
	ZONE PART 2	ゾーン名の 17 文字～ 32 文字まで	

 操作パネルで間違ったゾーン名を設定した場合、操作パネルを使って正しいゾーン名に設定しなおしてください。ゾーン名に「@」と「~」は使用できません。

### ◆ DEFAULT

ゾーン名（Zone Name）メニューで設定した EtherTalk ゾーン名をリセットしたいときに使用します。

## ◆ LAN MANAGAR

LAN Manager メニューでは、LAN Manager ／ LAN Server プロトコルを設定します。

LAN MANAGER
▼ PROTOCOL (プロトコル)
▼ PRINTER NAME (プリンタ名)
▼ DEFAULT (プリンタ名のリセット)



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリストアト (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリストアトする必要があります。

## ▼ PROTOCOL

LAN Manager ／ LAN Server プロトコルでプリントジョブを受信するかどうかを設定します。

PROTOCOL		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	LAN Manager ／ LAN Server プロトコルでプリントジョブを受信します。
	Disabled	LAN Manager ／ LAN Server プロトコルではプリントジョブを受信しません。

## ▼ PRINTER NAME

最大 16 文字までのプリンタ名を大文字で設定します。

PRINTER NAME	
初期値	MIN_hwaddress*
設定範囲	最大 16 文字まで (大文字のみ)



\*hwaddress は、ハードウェアアドレスで設定されたハードウェアアドレス値です。

プリンタ名にスペースを使用しないでください。

スペースの右側に文字を入力しても、最初のスペースが検出されたところまでしかプリンタ名は設定されません。

スペース以降にある文字は消去されます。

複数の単語で構成される名前を設定するときは、アンダーバー ( \_) を使用します。たとえば、PROGRAM\_MGT のようなプリンタ名を設定できます。

## C メニューの構造

---

### ▼ DEFAULT

プリンタ名（PRINTER NAME）メニューで設定したプリンタ名をリセットしたいときに使用します。

DEFAULT		
初期値	No	
設定範囲	Yes	プリンタ名をリセットします。
	No	プリンタ名をリセットしません。

## ◆ NETWARE

NetWare メニューでは、NetWare プロトコルの機能を設定します。

NETWARE
▼ PROTOCOL (プロトコル)
▼ CONFIG PSERVER (プリントサーバの設定)
▼ R／N PRINTER (リモート／ネットワークプリンタの設定)
▼ PRINTER NAME (プリンタ名の設定)
▼ FRAME TYPES (フレームタイプ)

### ▼ PROTOCOL

NetWare プロトコルでプリントジョブを受信するかどうかを設定します。

PROTOCOL		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	NetWare プロトコルでプリントジョブを受信します。
	Disabled	NetWare プロトコルではプリントジョブを受信しません。



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリストアト (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリストアトする必要があります。

### ▼ CONFIG PSERVER

プリントサーバに関する情報を設定します。



プリントサーバは、独自に割り当てたプリンタに対して機能します。8つの構成可能なリモートプリンタは、ネットワーク上に配置された追加プリントサーバによってサービスされます。

### ◎ FILE SRV NAME

ファイルサーバ名を設定します。

FILE SRV NAME		
FILE SRV NAME[1]	初期値	空白
	設定値	最大 16 文字まで
FILE SRV NAME[2]	初期値	空白
	設定値	最大 16 文字まで
FILE SRV NAME[3]	初期値	空白
	設定値	最大 15 文字まで

FILE SRV NAME[1]、FILE SRV NAME[2]、FILE SRV NAME[3] の 3 つのメニューを使って、ファイルサーバ名を最大 47 文字まで設定できます。

ファイルサーバ名が 16 文字を超える場合は、最初の 16 文字を FILE SRV NAME[1] に設定し、17 文字目から 32 文字目を FILE SRV NAME[2] に設定します。ファイルサーバ名が 32 文字を超える場合は、33 文字目から 47 文字目までを FILE SRV NAME[3] に設定します。

#### MARKETING\_SERVER

ファイルサーバ名を設定すると、プリントサーバに接続されている追加ファイルサーバの名前を最大 15 個まで読み込むことができます。

ただし、追加ファイルサーバの名前はプリントサーバを設定しているファイルサーバに格納されているデータが使用されます。

ファイルサーバ名が空白（初期設定）の場合、ネットワーク上のすべてのファイルサーバに対してプリントサーバをサポートするかどうかが問い合わせされます。

プリントサーバは、プリントサーバをサポートするファイルサーバを最大 16 個まで接続します。



3 つの FILE SRV NAME オプションを使用しても、ファイルサーバ名は 1 つしか設定できません。ただし、この 3 つのオプションを使って最大 47 文字までのファイルサーバ名を設定することができます。サーバ名にスペースを使用しないでください。

スペースの右側に文字を入力しても、最初のスペースまでしかサーバ名は設定されず、スペース以降にある文字は消去されます。



複数の単語で構成される名前を設定するときは、アンダーバー（\_）を使用できます。

たとえば MARKETING\_SERVER のようなファイルサーバ名を設定できます。

この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

## ◎ DEFAULT

ファイルサーバ名の設定 (FILE SRV NAME) メニューで設定したファイルサーバ名をリセットしたいときに使用します。

DEFAULT		
初期値	No	
設定範囲	Yes	ファイルサーバ名をリセットします。
	No	ファイルサーバ名をリセットしません。

## ◎ PSERVER NAME[1] ~ [3]

プリントサーバ名を設定します。

PSERVER NAME	
初期値	空白
設定範囲	最大 47 文字

PSERVER NAME[1]、PSERVER NAME[2]、PSERVER NAME[3] の 3 つのオプションを使って、プリントサーバ名を最大 47 文字まで設定できます。

プリントサーバ名が 16 文字を超える場合は、最初の 16 文字を PSERVER NAME[1] に設定し、17 文字目から最大 32 文字目を PSERVER NAME[2] に設定します。プリントサーバ名が 32 文字を超える場合は、33 文字目から 47 文字目までを、PSERVER NAME[3] に設定します。

MARKETING\_PSERVER\_XXXXXXXXXXXX



サーバ名にスペースを使用しないでください。

スペースの右側に文字を入力しても、最初のスペースまでしかサーバ名は設定されず、スペース以降にある文字は消去されます。

複数の単語で構成される名前を設定するときは、アンダーバー (\_) を使用できます。たとえば PagePro\_PSERVER\_XXXXXXXXXXXX のようなファイルサーバ名を設定できます。

この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

## ◎ JOB CHECK DELAY

プリントサーバがプリントジョブのプリントキューをチェックしてから次にチェックするまでの秒数を選択できます。

JOB CHECK DELAY	
初期値	05
設定範囲	0 ~ 60

## C メニューの構造

### ◎ CONF CHECK DELAY

CONF CHECK DELAY	
初期値	300
設定範囲	0 ~ 65535

### ◎ BURST MODE

バースモードを使用するかどうかを設定します。

BURST MODE	
初期値	Enabled
設定範囲	Disabled、Enabled

### ◎ CONFIGURE NDS

NDS (Novell Directory Service) の設定をします。

CONFIGURE NDS	
<input type="radio"/> NDS LOGIN NAME	<ul style="list-style-type: none"><li>・ NDS LOGIN TYPE</li><li>・ NDS LOGIN NAME1 ~ 3</li><li>・ DEFAULT</li></ul>
<input type="radio"/> NDS CONTEXT	<ul style="list-style-type: none"><li>・ NDS CONTEXT[1] ~ [16]</li><li>・ DEFAULT</li></ul>

NDS (Novell Directory Service、旧名称 NetWareDirectory Service) の設定をします。

NDS LOGIN TYPE の設定範囲は TREE と PREFERRED SERVER で、初期値は「TREE」です。

## ▼ R/N PRINTER

リモート／ネットワークプリンタの設定を行います。

CrownNet ネットワークフェイスは最大 8 つのリモート／ネットワークプリンタをサポートしているので、R/N PRINTER #1 から R/N PRINTER #8 までの 8 つのオプションがあります。

### ◎ PRINTER SLOT#

プリンタスロット番号を設定します。

プリンタスロット番号は、PConsole の Print Server Configuration ／ Printer Configuration メニューで選択したスロット番号と一致している必要があります。

PRINTER SLOT#		
R/N PRINTER #1	初期値	001
	設定値	000 ~ 254
R/N PRINTER #2	初期値	002
	設定値	000 ~ 254
R/N PRINTER #3	初期値	003
	設定値	000 ~ 254
R/N PRINTER #4	初期値	004
	設定値	000 ~ 254
R/N PRINTER #5	初期値	005
	設定値	000 ~ 254
R/N PRINTER #6	初期値	006
	設定値	000 ~ 254
R/N PRINTER #7	初期値	007
	設定値	000 ~ 254
R/N PRINTER #8	初期値	008
	設定値	000 ~ 254



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

## C メニューの構造

### ◎ PSERVER NAME

プリントサーバ名を設定します。

PSERVER NAME#	
初期値	空白
設定範囲	最大 47 文字

PSERVER NAME[1]、PSERVER NAME[2]、PSERVER NAME[3] の 3 つのオプションを使って、プリントサーバ名を最大 47 文字まで設定できます。

プリントサーバ名が 16 文字を超える場合は、最初の 16 文字を PSERVER NAME[1] に設定し、17 文字目から最大 32 文字目を PSERVER NAME[2] に設定します。プリントサーバ名が 32 文字を超える場合は、33 文字目から 47 文字目までを、PSERVER NAME[3] に設定します。

MARKETING\_PSERVER



サーバ名にスペースを使用しないでください。

スペースの右側に文字を入力しても、最初のスペースまでしかサーバ名は設定されず、スペース以降にある文字は消去されます。

複数の単語で構成される名前を設定するときは、アンダーバー (\_) を使用できます。たとえば MARKETING\_PSERVER のようなプリントサーバ名を設定できます。

この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

### ◎ DEFAULT

プリントサーバ名の設定 (PSERVER NAME) メニューで設定したプリントサーバ名をリセットしたいときに使用します。

DEFAULT			
初期値	No		
設定範囲	Yes	プリントサーバ名をリセットします。	
	No	プリントサーバ名をリセットしません。	

## ▼ PRINTER NAME

プリンタ名を設定します。

PRINTER NAME[1]、PRINTER NAME[2]、PRINTER NAME[3]	
初期値	空白
設定範囲	最大 47 文字



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

PRINTER NAME[1]、PRINTER NAME[2]、PRINTER NAME[3] の 3 つのオプションを使って、プリント名を最大 47 文字まで設定できます。

プリンタ名が 16 文字を超える場合は、最初の 16 文字を PRINTER NAME[1] に設定し、17 文字目から最大 32 文字目を PRINTER NAME[2] に設定します。プリント名が 32 文字を超える場合は、33 文字目から 47 文字目までを、PRINTER NAME[3] に設定します。

### ◎ DEFAULT

プリンタ名の設定（PRINTER NAME）メニューで設定したプリンタ名をリセットします。

DEFAULT		
初期値	No	
設定範囲	Yes	プリント名をリセットします。
	No	プリント名をリセットしません。

## ▼ FRAME TYPES

プリンタは、ネットワークで使用されているフレームタイプを自動的に識別します。

CrownNet がサポートするフレームタイプの中から個別に使用するかどうかを設定できます。

### ◎ 802.3 IPX ADDR

802.3 IPX ADDR		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	フレームタイプを使用します。
	Disabled	フレームタイプを使用しません。

## C メニューの構造

### ◎ ETHER2 IPX ADDR

ETHER2 IPX ADDR		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	フレームタイプを使用します。
	Disabled	フレームタイプを使用しません。

### ◎ 802.2 IPX ADDR

802.2 IPX ADDR		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	フレームタイプを使用します。
	Disabled	フレームタイプを使用しません。

### ◎ SNAP IPX ADDR

SNAP IPX ADDR		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	フレームタイプを使用します。
	Disabled	フレームタイプを使用しません。



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート  
(アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／  
CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークイン  
ターフェイスをリスタートする必要があります。

## ◆ TCP/IP

TCP/IP メニューでは、TCP/IP プロトコルの機能の設定を行います。

TCP/IP
▼ PROTOCOL (プロトコル)
▼ INTERNET ADDRESS (インターネットアドレス)
▼ SUBNET MASK (サブネットマスク)
▼ DEFAULT ROUTER (デフォルトルータ)
▼ REMOVE PASSWORDS (パスワード解除)
▼ REMOVE HOSTS (ホストファイル削除)
▼ SECURE FILES (ファイルの保護)
▼ ACCNTING/REVCHAN (アカウンティング／リバースチャネル)
▼ ACCNTING TIMEOUT (アカウンティングタイムアウト)
▼ PORT ASSIGNMENT (ポート番号の割り当て)
▼ LPD BANNER (LPD バナーページ)
▼ BOOTP (BOOTP の設定)
▼ DHCP (DHCP の設定)
▼ RARP (RARP の設定)
▼ HTTP (HTTP の設定)
▼ WINS (WINS の設定)
▼ SNMP NMS (SNMP 情報の設定) SNMP NMS 1 ~ 5

### ▼ PROTOCOL

TCP/IP プロトコルでプリントジョブを受信するかどうかを設定します。

PROTOCOL		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	TCP/IP プロトコルでプリントジョブを受信します。
	Disabled	TCP/IP プロトコルでプリントジョブを受信しません。



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリストアト (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリストアトする必要があります。

## C メニューの構造

### ▼ INTERNET ADDRESS

プリンタのインターネット（IP）アドレスを設定します。

INTERNET ADDRESS	
初期値	000.000.000.000
設定範囲	それぞれの“XXX”のグループが001～254の範囲

 この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

アドレスの形式は“XXX.XXX.XXX.XXX”です。

アドレスには数字とピリオドしか使用できません。文字や別の記号を使用すると、エラーメッセージが表示されます。

“XXX”が1から9までの値の場合は、先頭に00を付けて3桁になるように設定してください。たとえば1は001、9は009と入力します。

“XXX”が10から99までの値の場合は、先頭に0を付けて3桁になるように設定してください。たとえば10は010、99は099と入力します。

### ▼ SUBNET MASK

プリンタのサブネットマスクを設定します。

SUBNET MASK	
初期値	000.000.000.000
設定範囲	それぞれの“XXX”のグループが001～255の範囲

 この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

マスクの形式は“XXX.XXX.XXX.XXX”です。

お使いのネットワークでサブネットを使用しない場合は、サブネットアドレスに“000.000.000.000”（初期値）を設定する必要があります。ネットワーク管理者に確認してください。

サブネットマスクを初期値（000.000.000.000）に設定すると、CrownNetはゲートウェイのサブネットマスクを自動的に識別します。ユーザーがサブネットマスクを指定すると、この自動識別は使用できなくなります。

アドレスには数字とピリオドしか使用できません。文字や別の記号を使用すると、エラーメッセージが表示されます。“XXX”が1から9までの値の場合は、先頭に00を付けて3桁になるように設定してください。たとえば1は001、9は009と入力します。

“XXX”が10から99までの値の場合は、先頭に0を付けて3桁になるように設定してください。たとえば10は010、99は099と入力します。

## ▼ DEFAULT ROUTER

デフォルトルータ（ゲートウェイ）のインターネットアドレスを設定します。

DEFAULT ROUTER	
初期値	000.000.000.000
設定範囲	それぞれの“XXX”のグループが001～254の範囲



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

アドレスの形式は“XXX.XXX.XXX.XXX”です。お使いのネットワークでゲートウェイを使用しない場合は、ゲートウェイアドレスに000.000.000.000（初期設定）を設定する必要があります。ネットワーク管理者に確認してください。

アドレスには数字とピリオドしか使用できません。文字や別の記号を使用すると、エラーメッセージが表示されます。

“XXX”が1から9までの値の場合は、先頭に00を付けて3桁になるよう設定してください。たとえば1は001、9は009と入力します。

“XXX”が10から99までの値の場合は、先頭に0を付けて3桁になるよう設定してください。たとえば10は010、99は099と入力します。

## ▼ REMOVE PASSWORDS

FTP パスワードファイル (PASSWD.FTP) を削除するかどうかを設定します。PASSWD.FTP を削除すると、パスワードをヴァリデーションする必要がなくなります。

REMOVE PASSWORDS		
初期値	No	
設定範囲	Yes	パスワードファイルを削除します。
	No	パスワードファイルを削除しません。

## ▼ REMOVE HOSTS

ホストアドレスファイル (HOST.EQ) を削除するかどうかを設定します。HOST.EQ を削除すると、ホスト保護が解除されます。

REMOVE HOSTS		
初期値	No	
設定範囲	Yes	ホストアドレスファイルを削除します。
	No	ホストアドレスファイルを削除しません。

## C メニューの構造

### ▼ SECURE FILES

プリンタのハードディスク上のファイルへのネットワークアクセスを排除するかどうかを設定します。

SECURE FILES		
初期値	No	
設定範囲	Yes	ネットワークアクセスを排除します。
	No	ネットワークアクセスを排除しません。

Yes に設定されている場合は、ユーザーがネットワーク経由でファイルの読み込みの設定をしようとすると、以下のエラーメッセージが表示されます。

FILES SECURED, PLEASE UN-SECURE AND TRY AGAIN

### ▼ ACCNTING/REVCHAN

プリントジョブに関するアカウンティング情報をホストに送信するかどうかを設定します。

アカウンティング情報には、現在のジョブの状態（待機、終了、プリント、ラスタライジング、インタープリティング、スプール）、現在のインターフェイス、ページ数、ジョブ ID、ユーザ名、ファイル名が含まれています。

ACCNTING/REVCHAN		
初期値	Disabled	
設定範囲	Enabled	アカウンティング情報を送信します。
	Disabled	アカウンティング情報を送信しません。



本メニューを「Enabled」に設定するとアカウンティングが使用可能になり、Spooling は自動的に「On Idle」に設定されます。Spooling を「On」または「On Input Idle」に設定するとアカウンティングは自動的に「Disabled」に設定されます。

### ▼ ACCNTING TIMEOUT

次のプリントジョブ受信を行うためにホストからのジョブ終了の確認を待つ時間の限度を設定します。(単位 : 秒)

ACCNTING TIMEOUT	
初期値	015
設定範囲	5 ~ 600

## ▼ PORT ASSIGNMENT

ポート番号を TCP/IP インターフェイスに割り当てて、ほかの環境との互換性を得ることができます。

PORT ASSIGNMENT	
初期値	0035
設定範囲	1 ~ 9999



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

この値は重複のないように設定する必要があります。

この項目の値は、UNIX ホストソフトウェアが使用する値と一致している必要があります。

ポート番号を変更した場合は、UNIX ホストソフトウェアが使用していたポート番号も変更する必要があります。

アプリケーションの環境の中には、TCP/IP インターフェイスへのポート割り当てが同じものもあります。要求されたポート番号割り当ては、一度入力されると、現在割り当てられているポート番号と一致するかどうかがチェックされます。要求されたポート番号が TCP/IP インターフェイスによってすでに使用されているポート番号と一致すると、「INCORRECT VALUE」というエラーメッセージがプリンタのディスプレイかリモートコンソールに表示されます。

## ▼ LPD BANNER

LPD バナーページを出力するかどうかを設定します。

LPD BANNER		
初期値	Disable	
設定範囲	Disable	LPD バナーページを出力しません。
	Enable	LPD バナーページを出力します。

## ▼ BOOTP

BOOTP を有効にするかどうかを設定します。

BOOTP ENABLE		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	BOOTP を有効にします。
	Disabled	BOOTP を無効にします。

## C メニューの構造

### ▼ DHCP

DHCP を有効にするかどうかを設定します。

DHCP		
初期値	Disabled	
設定範囲	Enabled	DHCP を有効にします。
	Disabled	DHCP を無効にします。

### ▼ RARP

RARP を有効にするかどうかを設定します。

RARP		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	RARP を有効にします。
	Disabled	RARP を無効にします。

### ▼ HTTP

HTTP を有効にするかどうかを設定します。

HTTP		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	HTTP を有効にします。
	Disabled	HTTP を無効にします。

### ▼ WINS (Windows Internet Name Service)

#### ◎ PROTOCOL

PROTOCOL		
初期値	Disabled	
設定範囲	Disabled	PROTOCOL を有効にします。
	Enabled	PROTOCOL を無効にします。

#### ◎ PRI WINS ADDR (PRI:Primary)

PRI WINS ADDR	
設定範囲	それぞれの “XXX” のグループが 001 ~ 254 の範囲

アドレスの形式は “XXX.XXX.XXX.XXX” です。

## ◎ SEC WINS ADDR (SEC:Secondary)

SEC WINS ADDR	
設定範囲	それぞれの “XXX” のグループが 001 ~ 254 の範囲

アドレスの形式は “XXX.XXX.XXX.XXX” です。

## ◎ NBT SCOPE ID

NBT SCOPE ID	
設定範囲	16 文字

NBT は NetBIOS over TCP/IP の略です。

## ▼ SNMP NMS

SNMP (Simple Network Management Protocol) は、デバイスとその接続先のネットワークをモニターするときに使用する標準プロトコルです。最大 5 つのネットワーク管理ステーション (NMS1 から NMS5 まで) を識別して設定します。

プリンタにアクセスできるようにするには、各 NMS に関する情報を提供する必要があります。

## ◎ COMMUNITY

NMS がデバイスへのアクセス権を得るためのコミュニティ名を設定します。

COMMUNITY	
初期値	public
設定範囲	最大 15 文字



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート (アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET)」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

コミュニティとは NMS が管理する SNMP エージェントのグループのことです、コミュニティ名は特定の NMS アドレスに関連付けられたものです。コミュニティ名は最大 15 文字まで設定できます。

## C メニューの構造

### ◎ INTERNET ADDRESS

プリンタと通信をするための NMS のインターネットアドレスを設定します。アドレスは 15 桁の値で、形式は、“XXX.XXX.XXX.XXX” です。

INTERNET ADDRESS	
初期値	000.000.000.000
設定範囲	それぞれの “XXX” のグループが 000 ~ 254 の範囲

 この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

“000.000.000.000” はワイルドカードアドレスです。ワイルドカードアドレスを設定すると、定義したコミュニティ名を使用して任意のコンピュータをプリンタと接続できます。

アドレスには数字とピリオドしか使用できません。文字や別の記号を使用すると、エラーメッセージが表示されます。

“XXX” が 1 から 9 までの値の場合は、先頭に 00 を付けて 3 桁になるように設定してください。たとえば 1 は 001、9 は 009 と入力します。

“XXX” が 10 から 99 までの値の場合は、先頭に 0 を付けて 3 桁になるように設定してください。たとえば 10 は 010、99 は 099 と入力します。

### ◎ ACCESS

SNMP に対してセキュリティを提供するため各 NMS に関連付けられた特権を設定します。

ACCESS		
初期値	1 : Write 2 ~ 5 : Read	
設定範囲	Read	NMS はすべての SNMP の変数を読み取ることができます。
	Write	NMS は、すべての SNMP 変数を読み取ることも、定義どおりに設定することもできます。
	Trap	プリンタエラーが発生すると、トラップが NMS (定義されている場合) に送信されます。
	Write -Trap	NMS は、すべての SNMP 変数を読み取ることができ、さらにプリンタエラーの発生時には SNMP トラップを受信することができます。
	Read-trap	NMS は、すべての SNMP 変数を読み取ることができ、さらにトラップを受信できます。
	None	エントリは構成されません。



この項目の設定を有効にするためには、「CrownNet のリスタート（アドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC／CROWNNET／COMMON／SOFT RESET）」でネットワークインターフェイスをリスタートする必要があります。

### ● MODE

CrownNet インターフェイスの通信をオン／オフします。

MODE		
初期値	Enabled	
設定範囲	Enabled	CrownNet インターフェイスからデータ受信します。
	Disabled	CrownNet インターフェイスからデータを受信しません。



この項目の設定を有効にするためには設定後にプリンタをリストートする必要があります。

### ● EMULATION

CrownNet インターフェイスで受信するプリントジョブのプリンタ言語を設定します。

EMULATION	
初期値	ESP
設定範囲	ESP、HEXDUMP、postscript、pdf、pclxl、pcl5e、hpgl、lineprinter

### ● MIN K SPOOL

インターフェイスに割り当てる最小限のスプールメモリを設定します。(単位：キロバイト)

MIN K SPOOL	
初期値	00015
設定範囲	00000 ~ 99999

## C メニューの構造

### ● DEF JOB PRIO

ジョブ優先順位 (Def Job Prio) では、複数のジョブを同時に受信した場合に、受信に使用したインターフェイスに応じて最初にプリントするジョブを設定します。

パラレルインターフェイスやシリアルインターフェイス経由で受信したジョブよりも、ネットワークインターフェイス経由で受信したジョブの方に優先度を設定できます。

DEF JOB PRIO	
初期値	001 (最高優先度)
設定範囲	001 ~ 100 (最高優先度から最低優先度)

### ● PS PROTOCOL

CrownNet インターフェイスのバイナリー転送のプロトコルを設定します。

PS PROTOCOL		
初期値	Normal	
設定範囲	Normal	データがアスキーフォーマットで転送されます。アスキーデータ用に設定されているので、バイナリーデータをプリントしない場合に適しています。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することができます。
	Normal Fixed	データがアスキーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することはできません。
	Binary	データがバイナリーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することができます。アスキイ値もプリントされます。
	Binary Fixed	データがバイナリーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することはできません。アスキイ値もプリントされます。
	QBinary	データがバイナリーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更できます。アスキイ値もプリントされます。特殊文字と ^D (EOF) に対しては BCP を使用します。
	QBinary Fixed	データがバイナリーフォーマットで転送されます。ポストスクリプトオペレータによって設定を変更することはできません。アスキイ値もプリントされます。コントロールコードと ^D (EOF) に対しては BCP を使用します。

Quoted Binary/Quoted Fixed Binary モードの場合に CrownNet インターフェイス経由の DOC session コマンドを使用すると、ポストスクリプトと非ポストスクリプトが混合したファイルを 1 つの文書として連結できます。

「Binary」モードの場合にシリアルインターフェイスまたはパラレルインターフェイス経由で送信されたデータストリームは、「Quoted Binary」モードで CrownNet インターフェイス経由で送信されたデータストリームと同じように処理されます。

ただし、CrownNet インターフェイスを経由して送信されたデータストリームと、「Binary」モードの場合に同じインターフェイス経由で送信されたデータストリームは同じように処理されません。CrownNet インターフェイスの「Binary」モードは、DOC session コマンドをサポートし、これによって、複数のファイルを 1 つの文書として連結することができます。

Binary/ Binary Fixed モードで 8 ビットのバイナリーデータを転送する場合、プリンタは、Binary Communication Protocol (BCP) によってそれがコントロールコードかプリントジョブデータなのかを識別します。

BCP について詳しくは以下の資料を参照してください。

PostScript Language Reference Manual

(Adobe Systems, Inc., Reading, MA: Addison-Wesley, 1990, ISBN 0-201-18127-4) ,

Adobe Serial and Parallel Communications Protocols Specifications

(in Adobe Developer Support, Adobe Systems, Inc., February 14, 1992) ,

PostScript Language Reference Manual

(in Supplement for Version 2011, Adobe Systems, Inc., January 24, 1992)

### エミュレーション (Emulations)

エミュレーションメニューでは、各プリンタ言語エミュレーションを設定します。

エミュレーション
◆ ESP
◆ POSTSCRIPT
◆ PCL 5E
◆ HPGL
◆ LINEPRINTER

#### ◆ ESP

受け取ったデータのプリンタ言語を ESP が識別できない場合に、優先的に使用するプリンタ言語を設定します。

ESP	
初期値	pcl5e
設定範囲	pcl5e、hpgl、lineprinter、postscript、pdf、pclxl



この項目の設定を有効にするためには設定後にプリンタをリストアする必要があります。

## ◆ POSTSCRIPT

ポストスクリプトエミュレーションを設定します。

### ● インサツノウド (INTENSITY)

プリントされる濃度を切り替えます。

インサツノウド	
初期値	フツウ
設定範囲	フツウ、ヤヤウスイ、ウスイ、コイ、ヤヤコイ

### ● ハーフトーンタイプ (HALFTONE TYPE)

ハーフトーン形式を切り替えます。

ハーフトーンタイプ	
初期値	スタンダード
設定範囲	スタンダード、アドバンスド、QMS ハーフトーン

### ● ダイタイフォント (SUBSTITUTE FONT)

置き換える文字を設定します。

ダイタイフォント	
初期値	ローマジ
設定範囲	ローマジ、カンジ

## ◆ PCL 5E

PCL 5E エミュレーションを設定します。

### ● ショキチノフォント (DEFAULT FONT)

PCL 5E エミュレーションでフォントが指定されていない場合に使うフォントを設定します。

ショキチノフォント	
初期値	Courier 12
設定範囲	Courier 12、Courier 12 Bold、Courier 12 Italic、 Courier 10、Courier 10 Bold、Courier 10 Italic、 Lineprinter、Times、Times Italic、Times Bold、 Times Blditalic、Univ、Univ Italic、Univ Bold、 Univ Bold Italic、Univcond、Univcond Italic、 Univcond Bold、Univcond Blditalic、 インデックス デ センタク

## C メニューの構造

### ● シンボル セット (SYMBOL SET)

シンボルセットを設定します。

シンボル セット	
初期値	PC-8 US
設定範囲	PC-8 US、PC-8 DN、PC-850、PC-852 (Latin2)、 PC-8 TK、Win 3.1 Latin 1、Win 3.1 Latin 2、Win 3.1 Latin 5、デスクトップ、PS Text、Ventura-Intl、 Ventura-US、Microsoft-Pub、MATH 8、PS-Math、 Ventura-Math、PI-Font、リーガル、ISO-4 (UK)、ISO-6 (ASCII)、ISO-11 (SWED)、ISO-15 (ITAL)、ISO-17 (SPAN)、ISO-21 (GERM)、ISO-60 (NORW)、ISO-69 (FREN)、Win 3.0 Latin1、MC テキスト、Roman-8、ISO Latin1、ISO Latin2、ISO Latin5

### ● ギョウスウ／インチ × 100 (LINES/INCH × 100)

1 インチに何行プリントするのかを設定します。(単位 : 1/100 行)

ギョウスウ／インチ × 100	
初期値	0600
設定範囲	100 ~ 4800

### ● ギョウノ シュウリヨウ (LINE TERMINATION)

キャリッジリターン／ラインフィードの行末記号を設定します。

ギョウノ シュウリヨウ	
初期値	CR=CR LF=LF
設定範囲	CR=CR LF=LF、CR=CR+LF LF=LF、CR=CR LF=CR+LF、 LF = CR+LE_

### ● ポイント サイズ × 100 (POINT SIZE × 100)

実際のポイント数の 100 倍の値で、ポイント数を設定します。

ただし、設定値は 25 きざみ (0.25 ポイント) の値で設定してください。たとえば、5 ポイントのときには 500 と設定します。

ポイント サイズ × 100	
初期値	01200
設定範囲	120 ~ 99975

### ● イチジテキニ ホゾンスル (RETAIN TEMPORARY)

PCL 5E エミュレーションでプリントジョブが終了するたびに、マクロとフォントを保存して次回のプリントジョブにも使用するかどうかを設定します。

イチジテキニ ホゾンスル		
初期値	オフ	
設定範囲	オフ	マクロとフォントの設定を消去します。
	オン	PCL のプリントジョブが終了するたびに、マクロとフォントの設定を保存します。
	ゴカンセイ	PCL のプリントジョブ間に、他のエミュレーションのジョブがあっても、マクロとフォントの設定を保存します。ただし、以下の場合には設定が消去されます。 ● 操作パネルで PCL 5E の設定を変更したとき

### ● ショキチフォント インデックス (DEFAULT FONT IDX)

PCL 5E エミュレーションでフォントを指定しない場合に、使うフォントの ID を数値で設定します。

ショキチフォント インデックス	
初期値	00000
設定範囲	0 ~ 32767

### ● モノクローム GL/2 (MONOCHROME GL/2)

PCL 5E に含まれる HP GL/2 でプロッタのエミュレーションを行う際に、カラー／白黒のどちらをエミュレーションするのかを設定します。

モノクローム GL/2		
初期値	オフ	
設定範囲	オン	白黒 2 値でプリントします。
	オフ	カラーでプリントします。モノクロプリンタではグレースケールになります。

### ● ダウンロード サキ (DOWNLD LOCATION)

PCL 5E 用のフォントをプリンタに追加する際に、メモリとハードディスク(オプション) のどちらにダウンロードするのかを設定します。

ダウンロード サキ		
初期値	メモリー	
設定範囲	メモリー	メモリにダウンロードします。
	ディスク	ハードディスクにダウンロードします。

## C メニューの構造

### ◆ HPGL

HPGL エミュレーションの設定をします。

#### ● プロッター (PLOTTER)

エミュレーションを行うプロッタのタイプを設定します。

プロッター	
初期値	7550A
設定範囲	7550A、Draftmaster、7475A、7470A、Colorpro

#### ● シュクシャク パーセント (SCALING PERCENT)

プリントの縮尺をパーセンテージで設定します。

シュクシャク パーセント	
初期値	100
設定範囲	001 ~ 150

#### ● ゲンテン セッティ (ORIGIN)

プリント開始位置を設定します。

### ▼ モード (MODE)

モード	
初期値	オン
設定範囲	オン、オフ

### ▼ X ジク ホウコウ (X DIRECTION)

X ジク ホウコウ	
初期値	0000
設定範囲	0 ~ 8500

### ▼ Y ジク ホウコウ (Y DIRECTION)

Y ジク ホウコウ	
初期値	0000
設定範囲	0 ~ 11000

● キョウカ モード (ENHANCED MODE)

ダウンロードしたキャラクタセットのグリッドの解像度を設定します。

キョウカ モード		
初期値	オフ	
設定範囲	オン	標準解像度でプリントします。
	オフ	拡張解像度でプリントします。

● カクチョウ モード (EXPAND MODE)

プリント領域を拡大するかどうかを設定します。

カクチョウ モード		
初期値	オフ	
設定範囲	オン、オフ	

● ヨウシノ タイプ (PAPER TYPE)

原稿の用紙サイズを設定します。

ヨウシノ タイプ		
初期値	スケールヲ ホジスル	
設定範囲	A、A4、B、A3、C、D、E、C ARCH、D ARCH、E ARCH、A2、A1、AO、スケールヲ ホジスル	

● ペン 1 ~ 8 (PEN1 ~ 8)

▼ ペン ノ ハバ (ペン1) (PEN WIDTH)

プロッタのペンの太さを設定します。ペンの幅は 0.1mm 単位で選択できます。(単位: 1/10 ミリメートル)

ペン ノ ハバ (ペン1)		
初期値	07	
設定範囲	0 ~ 60	

ペン ノ ハバ (ペン2 ~ 8)		
初期値	03	
設定範囲	0 ~ 60	

## C メニューの構造

### ▼ ペンノカラー (PEN COLOR)

プロッタのペンの色を設定します。

ペンノカラー		
ペン 1	初期値	ブラック
	設定範囲	ブラック、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、バイオレット、ブラウン、グレー 25% / 50% / 75%
ペン 2	初期値	ブラック
	設定範囲	ブラック、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、バイオレット、ブラウン、グレー 25% / 50% / 75%
ペン 3	初期値	レッド
	設定範囲	ブラック、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、バイオレット、ブラウン、グレー 25% / 50% / 75%
ペン 4	初期値	グリーン
	設定範囲	ブラック、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、バイオレット、ブラウン、グレー 25% / 50% / 75%
ペン 5	初期値	ブルー
	設定範囲	ブラック、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、バイオレット、ブラウン、グレー 25% / 50% / 75%
ペン 6	初期値	バイオレット
	設定範囲	ブラック、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、バイオレット、ブラウン、グレー 25% / 50% / 75%
ペン 7	初期値	オレンジ
	設定範囲	ブラック、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、バイオレット、ブラウン、グレー 25% / 50% / 75%
ペン 8	初期値	ブラウン
	設定範囲	ブラック、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、バイオレット、ブラウン、グレー 25% / 50% / 75%

## ◆ LINEPRINTER

ラインプリンタメニューでは、ラインプリンタエミュレーションの設定を行ないます。

ラインプリンタエミュレーションは、単純なバイトオリエンテッドのラインプリンタファイルをプリントします。各行は、キャリッジリターンおよび改行記号によって区切られます。

### ● フォント (FONT)

プリントに使用するフォントを英数字で設定します。利用できるポストスクリプトフォントの一覧を確認するためには、ステータスページ (Advanced) をプリントします。

フォント	
初期値	Courier
設定範囲	プリンタに搭載されている欧文ポストスクリプトフォント

### ● 1/100 ノ ポイントサイズ (POINT SZ 100ths)

プリントに使用するフォントのポイント数を、実際のポイント数の 100 倍の数値で設定します。

1/100 ノ ポイントサイズ	
初期値	00880 (8.8 ポイント)
設定範囲	00000 ~ 99999

### ● キャラクター マップ (CHARACTER MAP)

使用する文字コードを設定します。

キャラクターマップ	
初期値	ASCII
設定範囲	ASCII,EBCDIC

### ● ギョウバンゴウ (LINE NUMBERING)

5 桁の行番号を各行の先頭につけるかどうかを設定します。

ギョウバンゴウ	
初期値	オフ
設定範囲	オン、オフ

## C メニューの構造

### ● タブストップ (TAB STOPS)

タブ間のスペース数を設定します。

タブストップ	
初期値	008
設定範囲	0 ~ 256

### ● LF = CRLF

プリントジョブ中のラインフィードを、キャリッジリターンとラインフィードの組み合わせに交換するかどうかを設定します。

LF = CRLF	
初期値	オン
設定範囲	オン、オフ

### ● CR = CRLF

プリントジョブ中のキャリッジリターンを、キャリッジリターンとラインフィードの組み合わせに変換するかどうかを設定します。

CR = CRLF	
初期値	オフ
設定範囲	オン、オフ

### ● FF = CRFF

プリントジョブ中のフォームフィードを、キャリッジリターンとフォームフィードの組み合わせに交換するかどうかを設定します。

FF = CRFF	
初期値	オン
設定範囲	オン、オフ

### ● プリントホウコウ (ORIENTATION)

用紙に対して縦／横どちらの向きにプリントするのかを設定します。

プリントホウコウ		
初期値	タテ (Portrait)	
設定範囲	タテ	縦長方向にプリントします。
	ヨコ	横長方向にプリントします。

### ● オートラップ (AUTOWRAP)

用紙の1行分より長い行の場合に、1行でおさめられない分を次の行で折り返すかどうかを設定します。

オートラップ	
初期値	オン
設定範囲	オン、オフ

### ● ページアタリノ ギョウスウ (LINES PER PAGE)

1ページに何行プリントするのかを設定します。行間は、選択したポイント数に設定されています。

ページアタリノ ギョウスウ	
初期値	087
設定範囲	1 ~ 128

### ● マージン (MARGINS)

上下左右のマージンを設定します。79200は11インチです。

マージン		
初期値	00000	
設定範囲	ヒダリ	0000 ~ 79200
	ミギ	0000 ~ 79200
	トップ	0000 ~ 79200
	サイシュウ	0000 ~ 79200

## スペシャル ページ (Special Pages)

本プリンタには、プリンタ／プリントジョブの状態を記したページをプリントする機能があります。スペシャルページでは、これらのページの設定を行います。

スペシャルページ
◆ ステイタスページ プリント (Print Status)
◆ クギリページ 1 (Header Page)
◆ クギリページ 2 (Trailer Page)
◆ クギリページ 1 ヨウシトレイ (Header Inputbin)
◆ クギリページ 2 ヨウシトレイ (Trailer Page)
◆ キャリレーション ページ (Calibration Page)
◆ ステイタスページ タイプ (Status Page Type)

### ◆ ステイタスページ プリント (LINES PER PAGE)

ステイタスページをプリントするときに使用します。ステイタスページには標準ステイタスページと詳細ステイタスページがあり、どちらをプリントするかは、ステイタスページタイプで設定します。

ステイタスページ プリント		
設定範囲	ハイ	ステイタスページプリントします。
	イイエ	ステイタスページプリントしません。

### ◆ クギリページ 1 (HEADER PAGE)

プリントジョブごとに、プリンタ言語、インターフェイスを記したプリントジョブ開始ページを付け加えるかどうかを設定します。

クギリページ 1		
初期値	オフ	
設定範囲	オン	ジョブごとにヘッダページをプリントします。
	オフ	ヘッダページをプリントしません。

## ◆ クギリページ 2 (TRAILER PAGE)

プリントジョブごとに、プリンタ言語、インターフェイス等を記したプリントジョブ終了ページを付け加えるかどうかを設定します。

クギリページ 2		
初期値	オフ	
設定範囲	オフ	クギリページ 2 をプリントしません。
	オン	ジョブごとにクギリページ 2 をプリントします。
	エラー / クギリ プリント	ジョブに何らかのエラーが起きたときにのみエラーのない内容を含むクギリページ 2 をプリントします。
	エラーページ プリント	ジョブに何らかのエラーが起きたときにエラーの内容のみを記したクギリページ 2 をプリントします。

## ◆ クギリページ 1 ヨウシトレイ (HEADER INPUTBIN)

クギリページ 1 に使用する用紙の給紙口を設定します。

クギリページ 1 ヨウシトレイ	
初期値	upper (標準の上段トレイ)
設定範囲	upper、multipurpose

## ◆ クギリページ 2 ヨウシトレイ (TRAILER INPUTBIN)

クギリページ 2 に使用する用紙の給紙口を設定します。

クギリページ 2 ヨウシトレイ	
初期値	upper (標準の上段トレイ)
設定範囲	upper、multipurpose

## ◆ キャリブレーション ページ (CALIBRATION PAGE)

キャリブレーションページをプリントするときに使用します。

キャリブレーション ページ		
設定範囲	ハイ	キャリブレーションページをプリントします。
	イイエ	キャリブレーションページをプリントしません。

### ◆ ステイタスページ タイプ (STATUS PAGE TYPE)

ステイタスページのタイプを設定します。ステイタスページには、現在のプリントの設定がプリントされます。

「ショウサイ」を選択すると全てのメニュー設定の状態、エミュレーション別の搭載フォント名一覧がプリントされます。ステイタスページはステイタスページプリントメニューを使ってプリントできます。

ステイタスページ タイプ		
初期値	ヒョウジュン	
設定範囲	ヒョウジュン	標準のステイタスページです。
	ショウサイ	より詳細なステイタスページです。

## スタートオプション (Startup Options)

スタートオプションでは、プリンタ起動時にプリンタが行なう動作を設定します。

スタートオプション	
◆ スタートページ プリント (Do Start Page)	
◆ システム スタート (Do Sys Start)	
◆ エラーハンドラー セッティ (Do Error Handler)	

### ◆ スタートページ プリント (DO START PAGE)

プリンタ起動時にスタートページをプリントするかどうかを設定します。

スタートページ プリント		
初期値	ハイ	
設定範囲	ハイ	プリンタ起動時にスタートアップページをプリントします。
	イイエ	スタートアップページをプリントしません。

### ◆ システム スタート (DO SYS START)

プリンタ起動時に専用フォント設定ファイルを開くかどうかを設定します。

システム スタート		
初期値	ハイ	
設定範囲	ハイ	プリンタ起動時にシススタートファイルを開きます。
	イイエ	シススタートファイルを開きません。



「イイエ」に設定すると、日本語のプリントを行なう場合にプリント速度が低下したり、追加した日本語書体がプリントできなくなります。通常は初期値の「ハイ」にしておいてください。

### ◆ エラーハンドラー セッティ (DO ERROR HANDLER)

プリントジョブ実行中にポストスクリプトエラーが起きた場合、エラー内容をプリントするかどうかを設定します。

エラーハンドラー セッティ		
初期値	イイエ	
設定範囲	ハイ	エラーの内容をプリントします。
	イイエ	エラーの内容をプリントしません。

## メモリー (Memory)

メモリーメニューは、プリンタメモリを配分するために使用します。メモリーメニューを使用して、さまざまなプリントジョブにあわせて最適なプリンタメモリを配分することができます。

メモリー
◆ メモリ セッティヘンコウ (Manual Config)
◆ ディスク スワップ セッティ (Enable Disk Swap)

### ◆ メモリ セッティ ヘンコウ (MANUAL CONFIG)

メモリ セッティ ヘンコウ
● K MEM スプール (KB) (K MEM Spool)
● PS ヒープ (KB) (K MEM For PSHeap)
● PS フォント (KB) (K MEM PS Fonts)
● エミュレーション (KB) (K MEM EMULATION)
● HP エミュレーション (KB) (K MEM HP Pool)
● NON-PS フォント (KB) (K MEM EMUL TEMP)
● ディスプレイ (KB)
● フレームバッファ (KB)
● ディスクキャッシュ (KB)
● メモリ ゴウケイ (MB)

現在のプリンタのメモリ配分を調べるには、ステータスページをプリントする方法と、メニューで各メモリクライアントを確認する方法があります。

各メモリクライアントの設定範囲における実際の最大値は、搭載メモリの容量、「DISK SWAP」を使用しているかどうか、また機種により異なります。最大値を超えて設定した場合は、メモリーオーバー (EXCEEDS MEMORY) となり設定できません。また実際の最小値以下に設定した場合は、BELOW MIN. SIZE となり設定できません。

### ● K MEM スプール (KB) (K MEM SPOOL)

インターフェイスから入力されたプリントデータを、プリントが実行されるまでのスプール領域に割り当てるメモリを設定します。スプールメモリが十分に割り当てられていれば、ホストがプリントジョブによって占有される時間が短縮され、同時に実行できるプリントジョブの数が増加します。(単位 : キロバイト)

K MEM スプール	
初期値	自動的に設定
設定範囲	000000 ~ 999999

### ● PS ヒープ (KB) (K MEM FOR PSHEAP)

フォントおよびポストスクリプトエミュレーションのワーク領域に割り当てるメモリを設定します。(単位 : キロバイト)

PS ヒープ	
初期値	自動的に設定
設定範囲	00000 ~ 99999

### ● PS フォント (KB) (K MEM PS FONTS)

ポストスクリプトエミュレーションのフォントキャッシュ領域に割り当てるメモリを設定します。この値を増やすと漢字のプリントが高速になります。(単位 : キロバイト)

PS フォント	
初期値	自動的に設定
設定範囲	00000 ~ 99999

### ● エミュレーション (KB) (K MEM EMULATION)

ポストスクリプト以外のエミュレーションの一時的な保存で使用されるメモリを設定します。(単位 : キロバイト)

エミュレーション	
初期値	自動的に設定
設定範囲	00000 ~ 99999

## C メニューの構造

### ● HP エミュレーション (KB) (K MEM HP POOL)

HP エミュレーションで使用されるワーク領域に割り当てるメモリを設定します。またこの領域はフォントやグラフィックイメージにも使用されます。(単位:キロバイト)

HP エミュレーション	
初期値	自動的に設定
設定範囲	00000 ~ 99999

### ● NON-PS フォント (KB) (K MEM EMUL TEMP)

ポストスクリプト以外の各種エミュレーションのダウンロードフォントやフォーマット領域に割り当てるメモリを設定します。(単位:キロバイト)

NON-PS フォント	
初期値	自動的に設定
設定範囲	00000 ~ 99999

### ● ディスプレイ (KB) (K MEM DISPLAY)

ディスプレイラストに割り当てるメモリを設定します。

ディスプレイラストは、PostScript 処理後にページイメージのデータを圧縮した形で一時的に記憶しておく領域です。この値を増やすと、コレーション(丁合)を行うページ数を増やすことができます。(単位:キロバイト)

ディスプレイ	
初期値	自動的に設定
設定範囲	000000 ~ 999999

### ● フレームバッファ (KB) (K MEM FRAMEBUFF)

フレームバッファメモリに割り当てるメモリサイズを設定します。

フレームバッファメモリはメモリクライアントの中で最優先されます。(単位:キロバイト)

フレームバッファ	
設定範囲	000000 ~ 999999



フレームバッファ領域に割り当てるメモリの設定は初期値以下にしないでください。初期値は、プリンタの最大用紙サイズと解像度で計算された結果に余裕を持たせた値です。カラーではこの値の 4 倍になります。

### ● ディスクキャッシュ (KB) (K MEM DISK CACHE)

ディスクキャッシュ領域に割り当てるメモリを設定します。(単位 : キロバイト)

ディスクキャッシュ	
初期値	自動的に設定
設定範囲	00000 ~ 99999

### ● メモリ ゴウケイ (MB) (MB PRINTER MEM)

プリンタに搭載されているメモリを表示します。(単位 : メガバイト)

メモリ ゴウケイ	
初期値	プリンタに搭載されているメモリを表示



「ディスクスワップ」が「オン」の場合、仮想メモリのサイズがプラスされて表示されます。

### ◆ ディスク スワップ セッティ (ENABLE DISK SWAP)

本プリンタでは内蔵ハードディスクを利用して、フレームバッファとディスクキャッシュ以外の全てのメモリクライアントに対する仮想メモリの使用が可能です。

この設定を「オン」にするとプリンタはハードディスク上に「スワップファイル」を作成します。「スワップファイル」の領域は搭載されている RAM の容量に比例して自動的に設定されます。RAM の容量が大きければ「スワップファイル」の領域もそれに比例して増えます。プリンタはこの「スワップファイル」を仮想メモリの領域として使用します。

ディスク セッティ スワップ	
初期値	オン
設定範囲	オン、オフ

## エンジン (Engine)

エンジンメニューでは、プリンタエンジンの設定を行ないます。

エンジン
◆ プリント カイシイチ セッティ (Image Alignment)
◆ カタメンイメージ カイテン (Rotate Simplex)
◆ ヨウシサイズ セッティ (Default Paper)
◆ ヨウシカセット 1 ノ メイショウ (Inputbin 1 Name)
◆ ヨウシカセット 2 ノ メイショウ (Inputbin 2 Name)
◆ ヨウシカセット 5 ノ メイショウ (Inputbin 5 Name)
◆ ヨウシカセット 6 ノ メイショウ (Inputbin 6 Name)
◆ ヨウシカセット 7 ノ メイショウ (Inputbin 7 Name)
◆ ハイシトレイ 1 ノ メイショウ (Outputbin 1 Name)
◆ ハイシトレイ 2 ノ メイショウ (Outputbin 2 Name)
◆ ハイシトレイ 3 ノ メイショウ (Outputbin 3 Name)
◆ ハイシトレイ 4 ノ メイショウ (Outputbin 4 Name)
◆ ハイシトレイ 5 ノ メイショウ (Outputbin 5 Name)
◆ カイゾウド セッティ (Def.Resolution)
◆ ページノ フッキュウ (Page Recovery)
◆ セツデン モード (Energy Saver)
◆ トナーローデノ プリント (Tonar Low Action)
◆ ヨウシノゼンリョウイキ (Edge to Edge)
◆ プリントヒンシツ (Print Quality)
◆ トナーノウド チョウセイ (Density)

### ◆ プリント カイシイチ セッティ (IMAGE ALIGNMENT)

#### ● ヨコイチノセッティ (HORIZ.OFFSET)

用紙に対して左右のプリント開始位置を設定します。設定値が 100 より下であれば、左に移動し、100 より上であれば右に移動します。

ヨコイチノセッティ	
初期値	100
設定範囲	0 ~ 300 (0"/0 mm ~ 1"/25.4 mm)

### ● タテイチノセッティ (VERTICAL OFFSET)

用紙に対して上下のプリント開始位置を設定します。設定値が 100 より下であれば下に移動し、100 より上であれば上に移動します。

タテイチノセッティ	
初期値	100
設定範囲	0 ~ 300 (0"/0 mm ~ 1"/25.4 mm)

### ● 2 ページメ H. オフセット (DUPLEX HORIZONTAL OFFSET)

両面印刷の場合の偶数ページに対して左右のプリント開始位置を設定します。設定値が 100 より下であれば左に移動し、100 より上であれば右に移動します。

2 ページメ H. オフセット	
初期値	100
設定範囲	0 ~ 300 (0"/0 mm ~ 1"/25.4 mm)

### ● 2 ページメ V. オフセット (DUPLEX VERTICAL OFFSET)

両面印刷の場合の偶数ページに対して上下のプリント開始位置を設定します。設定値が 100 より下であれば下に移動し、100 より上であれば上に移動します。

2 ページメ V. オフセット	
初期値	100
設定範囲	0 ~ 300 (0"/0 mm ~ 1"/25.4 mm)

### ◆ カンタンイメージカイテン (ROTATE SIMPLEX)

穴開きシートで出力の場合、それが生じたときに印字領域の補正を行います。

\* 穴開きシートの出力に関しては、紙詰まり等の発生が生じる恐れがありますので保証しかねます。

カンタンイメージカイテン	
初期値	オフ
設定範囲	オフ、オン

## C メニューの構造

### ◆ ヨウシサイズ セッティ (DEFAULT PAPER)

プリントジョブで用紙サイズが指定されていない場合に、優先的に使用される用紙サイズを設定します。

ヨウシサイズ セッティ	
初期値	A4
設定範囲	A4、レター

### ◆ ヨウシカセット 1 ノ メイショウ (INPUTBIN 1 NAME)

標準（上段）トレイの名称を設定します。

ヨウシカセット 1 ノ メイショウ	
初期値	multipurpose
設定範囲	最大 16 文字

### ◆ ヨウシカセット 2 ノ メイショウ (INPUTBIN 2 NAME)

オプションの給紙トレイの名称を設定します。

ヨウシカセット 2 ノ メイショウ	
初期値	upper
設定範囲	最大 16 文字

### ◆ ヨウシカセット 5 ノ メイショウ (INPUTBIN 5 NAME)

オプションの給紙トレイの名称を設定します。

ヨウシカセット 5 ノ メイショウ	
初期値	optional1
設定範囲	最大 16 文字

### ◆ ヨウシカセット 6 ノ メイショウ (INPUTBIN 6 NAME)

オプションの給紙トレイの名称を設定します。

ヨウシカセット 6 ノ メイショウ	
初期値	optional2
設定範囲	最大 16 文字

◆ ヨウシカセット 7 ノ メイショウ (INPUTBIN 7 NAME)

オプションの給紙トレイの名称を設定します。

ヨウシカセット 7 ノ メイショウ	
初期値	optional3
設定範囲	最大 16 文字

◆ ハイシトレイ 1 ノ メイショウ (OUTPUTBIN 1 NAME)

排紙トレイの名称を設定します。

ハイシトレイ 1 ノ メイショウ	
初期値	upper
設定範囲	最大 16 文字

◆ ハイシトレイ 2 ノ メイショウ (OUTPUTBIN 2 NAME)

排紙トレイの名称を設定します。

ハイシトレイ 2 ノ メイショウ	
初期値	mailbin1
設定範囲	最大 16 文字

◆ ハイシトレイ 3 ノ メイショウ (OUTPUTBIN 3 NAME)

排紙トレイの名称を設定します。

ハイシトレイ 3 ノ メイショウ	
初期値	mailbin2
設定範囲	最大 16 文字

◆ ハイシトレイ 4 ノ メイショウ (OUTPUTBIN 4 NAME)

排紙トレイの名称を設定します。

ハイシトレイ 4 ノ メイショウ	
初期値	mailbin3
設定範囲	最大 16 文字

## C メニューの構造

### ◆ ハイシトレイ 5 ノ メイショウ (OUTPUTBIN 5 NAME)

排紙トレイの名称を設定します。

ハイシトレイ 5 ノ メイショウ	
初期値	mailbin4
設定範囲	最大 16 文字

### ◆ カイゾウド セッティ (DEF. RESOLUTION)

プリントジョブ中に解像度の指定がない場合に、使用される解像度を設定します。(単位 : dpi)

カイゾウド セッティ	
初期値	1200 DPI
設定範囲	600 DPI、1200 DPI、

### ◆ ページ ノ フッキュウ (PAGE RECOVERY)

紙づまりが起きた場合に、プリントできなかったページを再プリントするかどうかを設定します。

ページ ノ フッキュウ	
初期値	オフ
設定範囲	オン、オフ

### ◆ セツデン モード (ENERGY SAVER)

セツデン モードでは、プリンタがプリントジョブを受け取らない状態が設定時間を超えると、定着ユニットへの通電を停止し、消費電力を減らします。

セツデン モード	
初期値	30 ブン
設定範囲	15 ブン、30 ブン、1 ジカン、2 ジカン、3 ジカン、オフ



[オンライン] キーを 2 回押すと解除できます。「セツデン モード」からは 5 分以内に通常モードに戻ります。

### ◆ トナーロー デノ プリント (TONER LOW ACTION)

トナーが残り少なくなった時にプリント動作を続けるか止めるかを設定します。設定を「プリントヲ ゾッコウスル」にしていても、トナーがなくなるとプリントは停止します。

トナーロー デノ プリント	
初期値	プリントヲ ゾッコウスル
設定範囲	プリントヲ テイシスル、プリントヲ ゾッコウスル

### ◆ ヨウシノ ゼンリョウイキ (EDGE TO EDGE)

用紙の余白部分の印刷を設定します。

ヨウシノ ゼンリョウイキ	
初期値	オフ
設定範囲	オン、オフ

### ◆ プリント ヒンシツ (PRINT QUALITY)

トナーの節約を設定します。

「トナーセツヤク」に設定したときは、ノーマル時と比べ、約 3/5 のトナーで印刷を行います。

プリント ヒンシツ	
初期値	ノーマル
設定値	ノーマル、トナーセツヤク

### ◆ トナーノウド チョウセイ (DENSITY)

トナーの濃度調整を行います。

例えば「-2」に設定したときは約 20% トナー付着量が減少します。

トナーノウド チョウセイ	
初期値	0
設定範囲	-2、-1、0、1、2

### ショウモウヒン (Consumables)

消耗品のメニューは、消耗品を交換したときやプリンタのメンテナンスのときに使用します。

ショウモウヒン
◆ サービスカウンタ リセット (Start Period)
◆ ホシュ サービス (Service)

#### ◆ サービスカウンタ リセット (START PERIOD)

CrownView の「統計」で閲覧できる「ユーザ」の全ての項目（シート、フェースなど）の値がリセットされます。

サービスカウンタ リセット	
設定範囲	ハイ、イイエ

#### ◆ ホシュ サービス (SERVICE)

弊社カスタマーエンジニアが使用する機能です。

お客様はご利用になれません。

## ソノタノセッティ (Miscellaneous)

その他のメニューでは、以下の設定を行ないます。

ソノタノセッティ
◆ セッティチノホゾン (Save Defaults)
◆ セッティチノフッキュウ (Restore Defaults)
◆ プリントタノリブート (Reboot System)
◆ フームウェアダウンロード (New System Image)
◆ プリントジョブノホゾン (Capture Printjob)
◆ ゲンゴノキリカエ (Keypad Language)
◆ トケイノセッティ * (Clock Operations)

\* このメニューはオプションの Time of Day Clock を装着した場合に表示されます。

### ◆ セッティチノホゾン (SAVE DEFAULTS)

メニューで設定した現在の値を初期値として保存できます。

セッティチノホゾン	
初期値	イイエ
設定範囲	イイエ、ハイ

### ◆ セッティチノフッキュウ (RESTORE DEFAULTS)

メニューで設定した値を初期値に戻す場合に使用します。「セッティチノフッキュウ」メニューには、下記の項目があります。

- ショキチニモドス (FACTORY DEFAULTS)  
プリントの初期値に戻します。

ショキチニモドス		
初期値	イイエ	
設定範囲	イイエ	設定した値を使用します。
	ハイ	設定を“初期値”に戻します。

## C メニューの構造

- ホゾンセッティチニ モドス (CUSTOM DEFAULTS)  
セッティチノ ホゾンで保存した初期値に戻します。

ホゾンセッティチニ モドス		
初期値	イイエ	
設定範囲	ハイ	設定をセッティチノ ホゾンで保存した初期値に戻します。
	イイエ	設定した値を使用します。

 通常の使用では、「ショキチニ モドス」で「ハイ」を選択しないでください。「ショキチニ モドス」の設定は、必ず弊社カスタマサポートの指示に従ってください。

## ◆ プリンタ ノ リブート (REBOOT SYSTEM)

プリンタの設定を変更して、プリンタのリスタートが必要な場合に使用します。

プリンタ ノ リブート		
初期値	イイエ	
設定範囲	イイエ	プリンタをリスタートしません。
	ハイ	プリンタをリスタートします。

## ◆ フームウェア ダウンロード (NEW SYSTEM IMAGE)

プリンタのシステムソフトウェア更新時に使用します。

システムの更新については弊社カスタマ・サポートの指示に従ってください。

フームウェア ダウンロード		
初期値	イイエ	
設定範囲	イイエ	システムを更新しません。
	ハイ	システムを更新します。

 システムソフトウェア更新の時以外に本メニューを操作すると、プリンタが起動しなくなることがあります。通常は絶対に操作しないでください。

## ◆ プリントジョブノホゾン (CAPTURE PRINTJOB)

プリントジョブをキャプチャーします。キャプチャーしたファイルはハードディスクに保存され、FTP の get コマンドで取得することができます。

ファイル名 : SYS:/USR/LOGFILE.DAT

プリントジョブノホゾン		
初期値	ムコウ	
設定範囲	ムコウ	プリントジョブをキャプチャーしません。
	ツギノジョブヲホゾン	プリントジョブをキャプチャーします。
	ホゾンジョブノサクジョ	キャプチャーされたジョブを削除します。

## ◆ ゲンゴノキリカエ (KEYPAD LANGUAGE)

ディスプレイの表示言語を設定します。

ゲンゴノキリカエ	
初期値	ニホンゴ
設定範囲	ニホンゴ、デンマークゴ、オランダゴ、チェコゴ、チュウゴクゴ (ハンタイジ)、チュウゴクゴ (カンタイジ)、カンコクゴ、エイゴ、フランスゴ、ドイツゴ、スペインゴ、イタリアゴ、ポルトガルゴ



アドミニストレーションメニューの「初期値に戻す」(アドミニストレーションメニュー / ソノタノセッティ / セッティチノフッキュウ / ショキチニモドス) を実行すると設定値が English になります。その場合 Administration/Miscellaneous/KeypadLanguage で 「Japanese」 を設定してください。

## ◆ トケイノセッティ (CLOCK OPERATIONS)

日時／時刻の設定を行います。

トケイノセッティ	
設定範囲	トケイヲセッタル、トケイヲアワセル (-155 ~ +155)

### ディスク オペレーション (Disk Operations)

ディスクオペレーションメニューでは、ハードディスクの操作に関する設定を行います。

ディスク オペレーション
◆ ディスク フォーマット (Format Disk)
◆ ディスク バックアップ (Backup Hard Disk)
◆ ディスク リストア (Restore Disk)

 ハードディスクの操作に関する設定は、必ず弊社サポートセンターの指示に従って行ってください。

#### ◆ ディスク フォーマット (FORMAT DISK)

ハードディスクをフォーマットするときに使用します。

DSK 7 は標準の内蔵ハードディスクを示します。

ディスク フォーマット	
初期値	DSK 7

 本メニューを操作すると、ハードディスクに搭載されている日本語フォントが削除され、使用できなくなります。日常の使用時には絶対に操作しないでください。

#### ◆ ディスク バックアップ (BACKUP HARD DISK)

ハードディスクのバックアップをとるときに使用します。

標準の内蔵ハードディスクの他にバックアップ用のハードディスクを接続していないと、このメニューは使用できません。

なお、DSK 7 は標準の内蔵ハードディスクです。

ディスク バックアップ	
設定値	DSK 7 フル、DSK 7 インクリメント

#### ◆ ディスク リストア (RESTORE DISK)

バックアップをとったハードディスクを復元させるときに使用します。

DSK 7 は標準の内蔵ハードディスクです。

ディスク リストア	
初期値	DSK 7

## 「セキュリティ」メニュー

セキュリティメニューではプリントメニューに対してセキュリティをかけるためのパスワード設定をします。

### もくじ（階層）

「セキュリティ」メニュー .....	p. C-75
—— オペレータメニュー（Operator Menu） .....	p. C-75
—— アドミン メニュー（Admin menu） .....	p. C-76
—— セキュリティ パスワード（Security Password） .....	p. C-76

## オペレータメニュー（Operator Menu）

オペレータコントロールに入るためのパスワードを設定します。

オペレータメニュー	
◆ パスワード セット	
◆ パスワード ユウコウ	

### ◆ パスワードセット（Set Password）

アルファベット、数字のパスワードを設定することができます。

パスワードセット	
初期値	空白
設定範囲	最大 16 文字

### ◆ パスワードユウコウ（Enable Password）

パスワードセットで設定したパスワードの有効、無効の設定を行います。

パスワードユウコウ	
初期値	オフ
設定範囲	オン、オフ

## C メニューの構造

---

### アドミン メニュー (Admin menu)

アドミニストレーションメニューに入るためのパスワードを設定します。

アドミン メニュー	
◆ パスワード セット	
◆ パスワード ユウコウ	

#### ◆ パスワード セット (Set Password)

アルファベット、数字のパスワードを設定することが可能です。

パスワード セット	
初期値	空白
設定範囲	最大 16 文字

#### ◆ パスワード ユウコウ (Enable Password)

パスワード セットで設定したパスワードの有効、無効の設定を行います。

パスワード ユウコウ	
初期値	オフ
設定範囲	オン、オフ

### セキュリティ パスワード (Security Password)

オペレータメニュー、アドミニストレーションメニューに入るためのパスワードを設定します。

セキュリティ パスワード	
初期値	空白
設定範囲	最大 16 文字

# D

---

## セキュリティの 設定

---

## セキュリティ機能

本プリンタでは、セキュリティに関して以下の機能を提供しております。

- 操作パネルの保護 \*
- FTP ユーザの管理
- 指定 IP アドレスの管理

ここではこれらの機能の設定方法を説明します。

\* 「操作パネルの保護」の設定に関しては、付録 C 「メニューの構造」の「セキュリティ」メニューを参照してください。

## FTP ユーザの管理

ワープロ等でログイン名とパスワードを記述したファイルを作成します。ファイル名は PASSWD.FTP です。ファイル名はすべて大文字です。

Windows で作成した場合、大文字で入力したファイル名が Passwd.ftp となりますが、大文字で入力されていれば問題ありません。またファイル名には作成したアプリケーションでの拡張子が付加されますが、この拡張子は削除してください。

PASSWD.FTP の記述例（ログイン名が 1 名）：

KonicaMinolta:04573

KonicaMinolta がログイン名で、04573 がパスワードです。

PASSWD.FTP の記述例（ログイン名が 1 名以上）：

KonicaMinolta:04573

PagePro:1009775

作成したファイルをプリンタに FTP で put します。

FTP を起動させます。ログイン名は root です。パスワードは入力しなくともかまいません。ログインしたら、ディレクトリを admin に変更します (cd admin)。次に作成したファイルを put します (put PASSWD.FTP)。put が完了したら quit で FTP を終了します。

## 指定 IP アドレスの管理

ワープロ等でログインを受け付けるクライアントの IP Address を記述したファイルを作成します。

ファイル名は HOST.EQ です。ファイル名はすべて大文字です。

Windows で作成した場合、大文字で入力したファイル名が Host.eq となりますが、大文字で入力されていれば問題ありません。またファイル名には作成したアプリケーションでの拡張子が付加されますが、この拡張子は削除してください。

HOST.EQ の記述例（1 クライアント）：

192.168.118.178

PASSWD.FTP の記述例（1 クライアント以上）：

192.168.118.178

192.168.118.179

FTP を起動させます。ログイン名は root です。パスワードは入力しなくともかまいません。ログインしたら、ディレクトリを admin に変更します (cd admin)。次に作成したファイルを put します (put HOST.EQ)。put が完了したら quit で FTP を終了します。

## D セキュリティの設定

---

「FTP ユーザの管理」もしくは「指定 IP アドレスの管理」の設定を行なった場合、コピーしたファイルを削除されないよう、そのファイルを以下の手順で保護する必要があります。

1. プリンタ本体の操作パネルの【オンライン】キー押してオフラインにします。
  - メニューキーを押します。(ディスプレイ : OPERATOR CONTROL)
  - →キーを押します。(ディスプレイ : ADMINISTRATION)
  - セレクトキーを押します。(ディスプレイ : COMMUNICATIONS)
  - セレクトキーを押します。(ディスプレイ : TIMEOUTS)
  - →キーを 3 回押します。(ディスプレイ : OPTIONAL NIC)
  - セレクトキーを押します。(ディスプレイ : CROWNNET)
  - セレクトキーを押します。(ディスプレイ : COMMON)
  - →キーを 4 回押します。(ディスプレイ : TCP/IP)
  - セレクトキーを押します。(ディスプレイ : PROTOCOL)
  - →キーを 6 回押します。(ディスプレイ : SECURE FILES)
  - セレクトキーを押します。(ディスプレイ : \* NO)
  - →キーを押します。(ディスプレイ : YES)
  - セレクトキーを押します。(ディスプレイ : YES IS SELECTED 次に SECURE FILES)
  - オンラインキーを押します。(ディスプレイ : IDLE)
2. プリンタを再起動します。



ご使用のプリンタにハードディスクが接続（内蔵または外付け）されていなければ、「FTP ユーザの管理」、「指定 IP アドレスの管理」は設定することができません。「操作パネルの保護」の設定だけとなります。

---

# UNIX ユーティリティの使い方

---

E

## はじめに

リモートコンソールセッションでは、さまざまな UNIX ユーティリティを使うことができます。この章では、以下について説明しています。

「リモートコンソールセッションの開始」	p. E-2
「コンソールのモード」	p. E-4
「インターネットアドレスの設定」	p. E-7
「qpr コマンド」	p. E-10
「FTP（ファイル転送プロトコル）」	p. E-13

## リモートコンソールセッションの開始

UNIX システムでは、telnet コマンドを使用してリモートコントロールセッションを開始します。これを「telnet セッション」と呼びます。ここでは telnet セッションの開始方法を説明します。

### Telnet セッションの開始

- 1** telnet コマンドを使用してプリンタと接続します。UNIX シェル上で以下のように入力します。

```
telnet printernameJ
```

図 1 プリンタと接続する(telnet セッション)

- 2** printername を、使用しているプリンタ名にします（この名前は、システム管理者が／etc／hosts ファイルで割り当てます）。コンソールセッションを開始すると、printername で指定されたコニカミノルタプリンタの設定を表示できます。

 printername のかわりに、使用しているプリンタの IP アドレスを入力してもコンソールセッションを開始することができます。

- 3** コンソールセッションを開始します。進行状況を示すメッセージ（Trying... や Connected... など）が画面に表示されます。接続が完了すると、プリンタ名とバージョン、現在のプリンタの状態を示すプロンプトが表示されます。

例えばコニカミノルタプリンタを使用している場合、次のようなメッセージが表示されます。

```
PagePro CrownNet Rev 6.18ET
PagePro 9100; Release 3.0.4; Processor RMS5200; CROWN, 0;

QMS Console Manager
pp9100->
pp9100->アイドル
pp9100->
```

図 2 セッションを開始する

ここまでのお操作で、リモートコンソールセッションに入りました。リモートコンソールの使用法についての詳細は、付録 F 「リモートコンソールセッションの開始」をご参照ください。

## Telnet セッションが開始できなかったら

以下の場合は、Telnet セッションが開始できないことがあります。

- オープンしているリモートコンソールセッション数が、同時にオープンできる最大数に達している場合

同時にオープンできるリモートコンソールセッションの数には、上限があります。ほとんどのプリンタでは、8 セッションまでオープンできます。最大数を超えてコンソールセッションをオープンすることはできません。

- ➔ 8 つのセッションのうちどれか 1 つが利用できるようになるまで待ち、もう一度やり直してください。
- プリンタがオフラインになっている場合（システムが offline モードまたは admin モードにある場合）

プリンタがオフラインになっている場合は、新しいコンソールセッションをオープンすることはできません。

```
Connection closed: Insufficient Printer Resources.
Connection closed by foreign host.
```

図 3 プリンタがオフラインになっている場合

- ➔ プリンタをオンラインにしてからもう一度やり直してください。

- プリンタがビジー状態の場合

プリンタが極端なビジー状態になっているときに、リモートコンソールのオープン要求が拒否されることがあります。

- ➔ システムがビジー状態になっていないときにもう一度行なってください。

# コンソールのモード

## メッセージモード

メッセージモードには、ユーザに対するメッセージをコンソール画面に表示する normal モードと、表示しない silent モードがあります。

メッセージモードは、normal コマンドと silent コマンドで切り替えます。

モード	コマンド	説明
normal モード	normal	normal モードに設定します。すべてのメッセージを表示します。
silent モード	silent	silent モードに設定します。メッセージを表示しません。【Enter】キーを押すと、紙づまりやトナー切れなどの重要なメッセージのみが表示されます。

リモートコンソールが normal モードの場合、プリンタ上でジョブが処理されると、コンソール画面に以下のように表示されます。

```
pp9100->アド'ル
pp9100->ジョブ'スタート'イン'チユウ 00006 [オーナー: suzuki, ファイル: Microsoft Word ...]
pp9100->アリ'リト'ジョフ'マチ フ'プリ'ト'チ'ウ
pp9100->アド'ル
pp9100->
```

図 4 normal モードの表示例

リモートコンソールの初期値は silent モードです。normal モードのときは TCP/IP のアカウンティングやリバースチャネルメッセージが表示されます。silent モードのときには表示されません。

normal モードの場合、用紙が不足していることや、排紙トレイがいっぱいであること、紙づまりが発生したことなどがメッセージとして表示されます。メッセージは、【Enter】キーを押すごとに再表示されます。

メッセージはプリンタの状態が以下の場合に表示されます。

- プリンタの状態が以下のように変化した場合
  - 新しいジョブを開始する
  - 紙づまり、トナー不足、用紙不足
  - システムが、アイドルまたはオフラインになる
- 文書のプリント時にエラーが発生した場合

問題が解決され、プリント可能な状態になると、以下のメッセージが表示されます。

```
pp9100->アド'ル
```

図 5 問題が解決された場合

## コンソールモード

コンソールの使用目的によって、コンソールモードを切り替えることができます。

これは、コンソールを使用する目的が、一般ユーザとシステム管理者では以下のように異なるためです。

### ■ 一般ユーザ

プリントジョブの状態をチェックしたり、プリントジョブを消去したり、プリンタの設定をチェックしたりするためにコンソールを使用します。一般ユーザが利用できるコマンドについては、付録 F 「user／offline モードコマンド」を参照してください。

### ■ システム管理者

プリンタ設定やファイル・システムを管理するために、より広範囲にコンソールを使用します。システム管理者が利用できるコマンドについては、付録 F 「admin モードコマンド」(p. F-3) を参照してください。

コンソールモードには、4種類のモードがあります。コンソールがどのモードで動作しているかは、プロンプトの種類で分かります。

### ■ user モード

コンソールセッションを開始したときの初期モードです。このモードのとき、以下のプロンプトが表示されます。



図 6 user モード

### ■ offline モード

用紙やトナーの追加などを行なうためにプリンタをオフラインにしたときのモードです。offline コマンドでこのモードに切り換わります。このモードのとき、以下のプロンプトが表示されます。



図 7 offline モード

## ■ admin モード

admin モードは、システム管理者がプリンタを設定するモードです。この時、プリンタはオフラインになります。

一度に1つのコンソールセッションのみを admin モードにすることができます。このモードのとき、以下のプロンプトが表示されます。



図 8 admin モード



admin モードにすると、プリンタのディスプレイに“KEYBOARD LOCKED”と表示され、操作パネルで操作できなくなる他、プリントできなくなります。

## ■ block モード

別のユーザが admin モードまたは offline モードに入っていたり、プリンタがプリンタの操作パネルからオフラインにされた場合、block モードになります。このモードのとき、以下のプロンプトが表示されます。



図 9 block モード

実行できるコマンドは、コンソールの現在のモードによって決まります。block モードの場合、コンソールからコマンドを入力することはできません。admin モードや、user モード、offline モードで使用できるコマンドを表示するには、“help”と入力して【Enter】キーを押すか、そのショートカットの“?”を入力して【Enter】キーを押します。

リモートコンソールコマンドについての詳細は、付録 F「リモートコンソールコマンド」(p. F-1) を参照してください。

コンソールモードを切り換えるコマンドの一覧は以下のとおりです。

現在	切り換え先のモード		
	user	offline	admin
user	—	offline	admin
offline	online	—	admin
admin	exit	—	—

## インターネットアドレスの設定

TCP/IP を使用する場合、プリンタのインターネット（IP）アドレスは、必ず設定する必要があります。アドレスは、“XXX,XXX,XXX,XXX” の形式で一意に指定します。

インターネットアドレスには、以下の 3 種類の設定方法があります。

- プリンタ操作パネルまたはリモートコンソールの config コマンドでアドミニストレーション／インターフェイス／OPTIONAL NIC ／ CrownNet ／ TCP/IP ／ Internet Adress メニューを使用する
- bootp プロトコルを使用する
- rarp プロトコルを使用する

ここでは bootp、rarp プロトコルを使用した設定方法を説明します。操作パネルでの設定方法はプリンタのオペレーション・マニュアル、リモートコンソールでの設定方法は本章の前半、および付録 F 「リモートコンソールコマンド」(p. F-1) を参照してください。

### bootp プロトコルで設定する

Bootstrap プロトコル (bootp) は、アプリケーション層のプロトコルです。プリンタの開始時に動作環境パラメータ（インターネットアドレスなど）を読み取ります。インターネットアドレスの設定は以下の手順で行ないます。

- 1 必要に応じて、システムホストテーブルを更新します。／etc／hosts ファイルに以下の行を追加します。

```
internetaddress hostname
```

図 10 システムホストテーブルの更新

internetaddress にはプリンタのインターネットアドレスを指定します。  
hostname にはプリンタのホスト名を指定します。

- 2 必要に応じて、NIS (Yellow Page) データベースを更新します。

## E UNIX ユーティリティの使い方

- 3** ホストのブートテーブル（一般には、／etc／bootptab ファイル）に、以下の行を追加します。

```
hostname: ht=type: vm=format: ha=hardadd: ip=intadd  
sm=submask: gw=router
```

図 11 ブートテーブルに追加する行

行中の変数には、以下の表に示す情報を指定します。

フィールド	変数	入力する情報
Host Name	hostname	ホスト
ht (Hardware Type)	type	ハードウェアタイプ：通常は ether
vm (Vendor Magic)	format	bootp フォーマット：通常は rfc1048
ha (Hardware Address)	hardadd	プリンタのハードウェア (MAC) アドレス
ip (Internet Address)	intadd	プリンタのインターネットアドレス
sm (Subnet Mask)	submask	サブネットマスク
gw (Gateway)	router	デフォルトゲートウェイアドレス

- 4** bootp デーモンを開始します（まだ実行していない場合）。以下のように入力します。

```
bootpd -J
```

図 12 bootp デーモンを開始する



このコマンドはシステムによって異なります。お使いの UNIX システムのマニュアルをご参照ください。

- 5** プリンタを再起動することにより、インターネットアドレスと、デフォルトゲートウェイアドレス、ネットマスクをダウンロードします。

## rarp プロトコルで設定する

Reverse Address Resolution Protocol (rarp) は、低レベルのトランスポート層プロトコルです。プリンタのスタート時にインターネットアドレスを読み取ります。インターネットアドレスの設定は以下の手順で行ないます。

- 1 必要に応じて、システムホストテーブルを更新します。／etc／hosts ファイルに以下の行を追加します。

```
internetaddress hostname
```

図 13 システムホストテーブルを更新する

internetaddress にはプリンタのインターネットアドレスを指定します。  
hostname にはプリンタのホスト名を指定します。

- 2 必要に応じて、NIS (Yellow Page) データベースを更新します。
- 3 ホストの Ethernet Address テーブル（一般には、／etc／ethers ファイル）に、以下の行を追加します。

```
xx:xx:xx:xx:xx:xx nameJ
```

図 14 Ethernet Address テーブルにアドレスとホスト名を追加する

XX:XX:XX:XX:XX:XX: にはプリンタのハードウェアアドレスを指定します。  
name には／etc／hosts ファイルで指定した名前を入力します。

- ハードウェアアドレスはスタートアップページに記載されています。
- 4 rarp デーモンを開始します（まだ実行していない場合）。以下のように入力します。

```
rarpd -aJ
```

図 15 rarp デーモンを開始する

- このコマンドはシステムによって異なります。お使いの UNIX システムのマニュアルをご参照ください。
- 5 プリンタを再起動して、インターネットアドレスをダウンロードします。

## qpr コマンド

TCP/IP を経由してファイルをプリントする場合、qpr コマンドを使ってプリンタにファイルを送信します。

### 構文

以下のように入力します。

```
qpr options file
```

図 16 qpr コマンド

options は次に示す表の中から指定します。file にはプリントするファイルを指定します。

### オプション

qpr コマンドでは次のオプションが指定できます。

 サポートされているオプションは、お使いになっているコニカミノルタプリンタの機種によって異なります。

オプション	内容
- # n	ドキュメントのコピー部数を n で指定する。
- B value	ページの周りに value で指定した太さの境界線を描く。
- c	コレーション（丁合）機能を使用する。
C option	用紙に収まるように論理ページを拡大縮小する。 option には、on または off が指定できる。
- d	ドキュメントを両面プリントする（お使いのプリンタがサポートする場合）。
- D string	ドキュメントオプションコマンドに string を追加する。
- f title	ヘッダページにプリントされるドキュメントのタイトルを、title に変更する。何も指定していない場合、タイトルにはファイル名が使用される。
- F left top	論理ページのオフセットを指定する。 Left および top には、用紙の端からの距離を正または負の値で指定する。

オプション	内容
- g fn cycle unit	プリンタ上のファイルfnを処理し、ジョブの背景イメージとしてプリントする。 cycleが「1」の場合、背景イメージは、ジョブの最初のページにのみプリントされる。 cycleが「*」の場合、背景イメージは、ジョブの各ページにプリントされる。unitが「sheet」の場合、背景ジョブは、用紙全体にマップされる。unitが「page」の場合、背景ジョブは、論理ページにマップされる。
- G col row sp order	用紙を複数のページに分割する。 colはシートごとの列数、rowは行数、spは列の間隔を指定する。 orderにはページを並べる順序を指定する。
- h option	ヘッダページのオンとオフを切り替える。 optionには、onまたはoffが指定できる。
- H source	ヘッダページに使用する給紙口を指定する。指定方法は、- I の場合と同様。
- i type	用紙のサイズを指定する。typeには、Letter、Legal、Ledger、Executive、A6、A5、A4、A3、B5、B4の値を指定できる。
- I bin	使用する給紙口を指定する。binには、1、2、3、4、manualfeed、“*”（引用符は必須）を指定できる。 “*”は、指定された用紙サイズ（- i type）の給紙口のうち使用可能なものが使用される（手差しトレイを除く）。
- I language	使用するエミュレーション（hpglやpclなど）を指定する。 languageには、postscript、hpgl、pcl、lineprinter、ln03を指定する。
- ls	ランドスケープでプリントする。
- k # fold mar thick	#は、用紙の枚数を指定する。 foldは、とじ方向を指定する（verticalまたはhorizontal）。 marは、とじしろの幅を指定する。 thickは、使用する用紙の厚さを1／10,000インチ単位で指定する。
- m	プリントジョブが完了したときに、mail(1)を使って通知する。
- M left top bot alt	用紙の余白を指定する。 余白は、用紙の端からの距離をデシポイン（1／720インチ）単位で指定する。 leftは左余白インチ、topは上余白、rtは右余白、botは下余白、altは代替余白を指定する。
- o bin	使用する排出トレイの番号または論理名を指定する。 binには1、2、3、“*”（引用符は必須）が指定できる。 “*”を指定した場合、フェイスダウントレイの中で使用可能なものが使用される。
- p	ポートレイトでプリントする。

# E UNIX ユーティリティの使い方

オプション	内容
- p printer	送信するプリンタ名を指定する。このオプションを省略すると、ファイルは（BSD では PRINTER 環境変数を使用する）ユーザのデフォルト設定プリンタに送信される。
- r resolution	指定した解像度（resolution）でプリントする。
- R fpage lpage	プリントするページの範囲を指定する。ドキュメントの終わりを示すには、"/*" を使用する（引用符は必須）。 Fpage はプリントを始めるページ、lpage はプリントする最後のページを示す。 初期値は、「1 /*」（引用符は必須）。
- S type	論理ページのサイズを指定する。 type の値は、- i の場合と同様。
- t	Tumble Duplex モードでドキュメントをプリントする。
- tr option	現在のプリントジョブのトレーラページのオンとオフを切り替える。option には、on または off を指定できる。
- ts option	トレーラページで使用する給紙口を指定する。option の値は - l の場合と同様。このオプションは、- tr と共に使用する。

## 注意事項

- qpr のパラメータは、ドキュメント自体の設定によって無効となることがあります。
- ローカルシステムスプーラの lpr (1) や lp (1) は、起動時のパスに指定されていることを前提としています。
- qpr はファイルの先頭に DOC コマンドを追加した後、%%EndComments を付加します。したがって最初からファイル中に含まれている DOC コマンドは認識されません。

## FTP（ファイル転送プロトコル）

FTP の通常のインプリメンテーションは、ホスト間のファイル転送を目的としています。コニカミノルタプリンタでのインプリメンテーションは、ホストからコニカミノルタプリンタへファイル転送することを目的としています。これによって、ユーザは FTP をサポートする全てのホストからファイルをプリントすることができます。

### サポートされる FTP コマンド

FTP コマンドの中にはプリント環境に適していないものもあります。このため、コニカミノルタプリンタインプリメンテーションでは、標準 FTP コマンドのプリンタ関連のサブセットのみをサポートしています。

FTP コマンドには、使用するシステムによって違いがあることに注意する必要があります。

ただし、次のコマンドは、コニカミノルタプリンタインプリメンテーションを含めて、ほとんどの FTP コマンドのインプリメンテーションでサポートされています。

コマンド	目的
cd directory	指定したプリンタディレクトリに移動する
close	ftp セッションを終了する
dir	プリンタディレクトリの内容を表示する
get	プリンタからファイルを受信する
help	FTP サーバによって現在サポートされているコマンドを表示する
ls	ディレクトリの内容を表示する（ファイル名のみ）
mput filenames	複数のファイルをプリンタに送信する
open	ftp セッションを開始する
put filename	プリンタにファイルを 1 つ送信する
pwd	現在のプリンタディレクトリのパス名を表示する
quit	FTP を終了する
type filetype	転送するファイルを ASCII 形式とバイナリ形式のどちらで取り扱うかを指定する

### FTP を使ったプリンタへのログイン

FTP を使用してコニカミノルタプリンタと接続する場合は、データをプリンタへ送信してプリントしたり格納したりするのみでなく、プリンタからの情報を対話的に要求することもできます。

プリンタにログインするには、次のいずれかを入力します。

```
ftp printernname
```

図 16 プリンタへのログイン(printername による)

printernname は、接続するプリンタのホスト名です。

```
ftp 192.168.118.178
```

図 17 プリンタへのログイン(ipaddress による)

#### 使用例

```
Connected to 192.168.118.178.  
220 PagePro CrownNet Rev 6.18ET ready.  
User (192.168.118.178:(none)): root  
331 User name ok, need password  
Password:  
230 User logged in  
ftp>
```

図 18 プリンタへのログイン例

## FTP の終了

FTP 接続を終了するには、プロンプトで以下のように入力します。

```
quit
```

図 19 FTP を終了する

### 使用例

```
Connection to host lost.  
ftp> quit  
221 Goodbye.
```

図 20 quit コマンドの使用例



---

リモートコン  
ソールコマンド

---

F

## はじめに

この章では、リモートコンソールコマンドによるプリンタの操作や設定について説明しています。

「リモートコンソールコマンドの概要」	p. F-2
「システム情報コマンド」	p. F-5
「ジョブ制御コマンド」	p. F-11
「ファイル操作コマンド」	p. F-16
「システム設定コマンド」	p. F-22
「コンソールモード切り換えコマンド」	p. F-27
「セッション終了コマンド」	p. F-30

## リモートコンソールコマンドの概要

リモートコンソールコマンドは、リモートコンソールで使うことができるコマンドです。ユーザが利用できるコマンドは、システム管理者が設定したプリンタの機種、アクセス権、ディスクドライブの有無によって異なります。

コマンドの中には、ショートカットを利用できるものもあります。例えば“?”は、help コマンドのショートカットです。使用できるコマンドは、ご使用のリモートコンソールのモードによって異なります。

### user／offline モードコマンド

user モードと offline モードで使用できるコマンドを、user／offline モードコマンドといいます。

user／offline モードでは、コンソールコマンドのサブセットのみが利用できます。以下の表に、user／offline モードコマンドの一覧を示します。

コマンド	ショートカット	機能
admin	—	admin モードに入る
cancel <i>n</i>	c	ジョブ <i>n</i> を取り消す（ <i>n</i> を省略するとすべてのジョブを取り消す）
fonts	f	利用できるフォントのリストを表示する
help	?	使用できるコマンドの一覧を表示する
jobs <i>n</i>	j	ジョブ <i>n</i> の詳細を表示する（ <i>n</i> を省略するとすべてのジョブ一覧を表示する）
languages	l	各エミュレーションの設定を表示する
next <i>n</i>	nt	ジョブ <i>n</i> を最優先してプリントする
normal	n	メッセージモードを normal に変更する
offline	o	プリンタをオフラインにする

コマンド	ショートカット	機能
online	—	プリンタをオンラインにする
order <i>j1 j2</i>	jo	ジョブ <i>j1</i> をジョブ <i>j2</i> より優先してプリントする
printsetup	s	ステータスページをプリントする
priority <i>j p</i>	p	ジョブ <i>j</i> のプリント優先順位を <i>p</i> に変更する
quit	q	コンソールセッションを終了する
silent	s	メッセージモードを silent に変更する
time	t	現在の日付と時刻を表示する
who	w	リモートコンソールにログインしているユーザのリストを表示する

## admin モードコマンド

admin モードで使用できるコマンドを、admin モードコマンドといいます。以下の表に、admin コマンドの一覧を示します。

コマンド	ショートカット	機能
cancel <i>n</i>	c	ジョブ <i>n</i> を取り消す ( <i>n</i> を省略すると全てのジョブを取り消す)
cd	—	ディレクトリを変更する
config	menu	プリンタの設定を変更する
copy	cp	ファイルをコピーする
del	rm	ファイルを削除する
dir	ls	ファイルのリストを表示する
exit	x	admin モードから抜け、user モードに戻る
fonts	f	利用できるフォントのリストを表示する
format	—	フロッピーディスクをフォーマットする
help	?	使用できるコマンドの一覧を表示する
jobs <i>n</i>	j	ジョブ <i>n</i> の詳細を表示する ( <i>n</i> を省略するとすべてのジョブ一覧を表示する)
languages	l	各エミュレーションの設定を表示する
next <i>n</i>	nt	ジョブ <i>n</i> を最優先してプリントする
normal	n	メッセージモードを normal に変更する
offline	o	プリンタをオフラインにする
online	—	プリンタをオンラインにする
order <i>j1 j2</i>	jo	ジョブ <i>j1</i> をジョブ <i>j2</i> より優先してプリントする
printsetup	s	ステータスページをプリントする
priority <i>j p</i>	p	ジョブ <i>j</i> のプリント優先順位を <i>p</i> に変更する
pwd	—	現在のディレクトリを表示する
quit	q	コンソールセッションを終了する

## F リモートコンソールコマンド

コマンド	ショートカット	機能
reboot	—	プリンタをリスタートする
rename	mv	ファイル名を変更する
reset	—	プリンタの設定を初期値にリセットする
resetaccount	ra	ジョブアカウント情報をリセットする
settime	—	日付と時刻を設定する
silent	s	メッセージモードを silent に変更する
time	t	現在の日付と時刻を表示する
who	w	リモートコンソールにログインしているユーザのリストを表示する



以下のコマンドは、使用しているプリンタにディスクドライブが装着されているときのみ、admin モードで使用できます。

cd, copy, del, rem, format, ls, dir, pwd, rename, mv

## ジョブのステータス情報

リモートコンソールコマンドを使用しているときに、コンソールに表示される用語の意味を、以下の表に示します。

コマンド	機能
Cancelled	ジョブが取り消された
Interface	ジョブを受信したインターフェイス
Interpreting	ジョブが処理中
Job	ジョブの番号
Owner	ジョブの作成者
Page	プリントされたページ数
Printed	ジョブが終了して、すべてのページがプリントされた
Printing	ジョブがプリント中
Prio	ジョブのプリント優先度 優先度が大きいジョブが最初にプリントされる 優先度が同じジョブは、受信された順番にプリントされる
Sheet	プリントされた用紙枚数
Spooled	プリンタが、ジョブのデータをすべて受信した
Spooling	プリンタが、ジョブのデータを受信中
Status	ジョブの現在の状態
Terminating	ジョブが終了中
Title	ジョブファイルのタイトル

## システム情報コマンド

システム情報コマンドによって、プリンタの現在の状態を知ることができます。

- ヘルプの表示
- フォント情報の表示
- ステータスページのプリント
- 時刻の表示
- エミュレーションの設定の表示
- コンソールセッションのチェック
- プリントジョブの表示

以降、コマンドの説明で（ ）内に記述している文字は、コマンドのショートカットを表します。

## ヘルプの表示

コマンド	help (?)
内容	現在のコンソールモードで利用できるコマンドを表示します。 特定のモードのヘルプにアクセスするには、まず、そのモードに入ってから、help コマンドを入力します。
使用可能モード	user、admin、offline

### 使用例

```
pp9100->help

jobs [n] - ジョブ一覧を表示します。マクro [n] のショウサインを表示します
fonts - フォント一覧を表示します
cancel [n] - ショウサインをキャンセルします
printsetup - プリントセットアップ情報を表示します
offline - プリントオフモードになります
admin - アドミンモードになります
help, ? - ヘルプメニュー
time - 時間を表示します
languages - 言語選択メニューを表示します
who - コンソールサーバーにログインしているユーザーを表示します
quit - コンソールセッションを終了します
normal - ノーブルモードへ戻ります
silent - 黙りモードへ戻ります
priority j p - j のプリオリティを変更します
order j1 j2 - j1, j2 のリソースを並び替える
next [n] - ジョブ [n] の次へ移動します
```

図 1 help コマンド

## フォント情報の表示

コマンド	fonts (f)
内容	各エミュレーションで利用可能なフォントを表示します。
使用可能モード	user、admin、offline

fonts コマンドを実行すると、プリンタ搭載のエミュレーション一覧メニューが表われます。メニューから、必要なエミュレーションを指定してください。オプションのエミュレーションとフォントがインストールされている場合は、これらも表示されます。

## 使用例

```
pp8100->fonts
フォント ノ リスト :
1. postscript
2. pdf
3. pclxl
4. pcl5e
5. hewl
0. メニュー シュウリョウ

ヒツ セタ [0]: 1

##FONTS##
407
GothicBBB-Medium.Hiragana; 0
GothicBBB-Medium-Add-SuppB-HV; 0
GothicBBB-Medium-MS90-SuppB-HV; 0
GothicBBB-Medium-MS90-RKSJ-UserGaiji; 0
GothicBBB-Medium-Ext-H; 0
GothicBBB-Medium-83pv-SuppA-H; 0
GothicBBB-Medium-90ms-RKSJ-H; 0
ChuGothicBBB-Mono.FC; 0
GothicBBB-Medium-SuppA-H; 0
RyuminKL,A0; 0
Ryumin-Light-RKSJ-UserGaiji; 0
RyuminKL,88; 0
RyuminKL,87; 0
RyuminKL,86; 0
RyuminKL,85; 0
GothicBBB-Medium.Katakana; 0
GothicBBB-Medium-83pv-SuppB-H; 0
GothicBBB-Medium-Ext-RKSJ-V; 0

TimesNewRomanCE; 0

ENTER キー ディスプレイス

OptimaCE-Bold; 0
MonacoCE; 0
PalatinoCE-Bold; 0
NewCenturySchlbkCE-Italic; 0
StempelGaramondCE-Bold; 0
StempelGaramondCE-Italic; 0
PalatinoCE-Italic; 0
TimesCE-Italic; 0
OptimaCE-Italic; 0
UniversCE-BoldExtOb1; 0
UniversCE-Oblique; 0
TimesNewRomanCE-Italic; 0
NewCenturySchlbkCE-Bold; 0
UniversCE-CondensedOblique; 0
NotDefFont; 0
UniversCE-LightOblique; 0
UniversCE-Extended; 0
LetterGothicCE-Bold; 0
TimesCE-Bold; 0
UniversCE-Medium; 0
```

図 2 fonts コマンド

この例では、「##FONTS##」の次の行の数字「407」は、利用できるフォントの数を示しています。それ以降の行では、フォント名の後に、そのフォントで利用できるポイントサイズを示しています。ポイントサイズの番号が0の場合、そのフォントがスケーラブルフォント（拡大縮小が可能なフォント）であることを示します。

## ステータスページのプリント

コマンド	printsetup (s)
内容	プリンタにステータスページをプリントします。ステータスページの内容は、プリンタの機種によって異なります。
使用可能モード	user、offline、admin

### 使用例

```
pp9100->アイト
pp9100->printsetup
スティラス ページ フリント キュースミ
pp9100->アイト
pp9100->フリントジョブマチ フリントチウ
pp9100->アイト
```

図 3 printsetup コマンド

## 時刻の表示

コマンド	time (t)
内容	プリンタのシステムクロックでの現在の時刻を表示します。
使用可能モード	user、offline、admin

### 使用例

```
pp9100->time
スイカヒ 3 ガツ 24, 2004 18:43:35
```

図 4 time コマンド

## エミュレーションの情報の表示

コマンド	languages (l)
内容	選択したエミュレーションに関する現在の設定を表示します。
使用可能モード	user、offline、admin

### 使用例

```
pp9100->languages
エミュレーション
1. ESP
2. POSTSCRIPT
3. PCL 5e
4. HPGL
5. LINEPRINTER
0. メニュー シュウジョウ

ヒツ セタク [0]: 2

POSTSCRIPT
1. ハーフトン タイپ*
2. イサツ タイپ*
3. ダイタイ フォント
0. メニュー シュウジョウ

ヒツ セタク [0]: 1

ハーフトン タイپ*:
1. QMSハーフトン
2. スタダント*
3. アドバンスト*

イノ セタク ls [2]
ENTER キーティックタス
```

図 5 languages コマンド



このコマンドは、表示専用のコマンドです。エミュレーション設定を変更することはできません。

## コンソールユーザーの表示

コマンド	who (w)
内容	コンソールにログインしているユーザー一覧と、作業中のモードを表示します。
使用可能モード	user、offline、admin

### 使用例

```
pp9100->who
**** Session open status ****
セッション 0 -- ユーザ" #ト"
```

図 6 who コマンド

## ジョブの表示

コマンド	jobs (j) n
内容	スプール中、処理中、終了したジョブをリスト表示します。プリント済みのジョブは点線の下に表示されます（最大5つまで）。nを指定すると、ジョブnの詳細を表示します。システム管理者はこのコマンドを使って、プリンタの状態を監視できます。例えば、未プリントのファイル数を判別できます。
使用可能モード	user、offline、admin

### 使用例

```
pp9100->jobs
```

Job	Status	Prio	Owner	Title	Interface	Sheet	Page
00008	プリント済み	0001	suzuki	Microsoft Word - Do	ETRAX100-NI	0001	0001
00009	プリント済み	0001	suzuki	Microsoft Word - Do	ETRAX100-NI	0001	0001
00010	プリント済み	0001	yamada	Microsoft Word - Do	ETRAX100-NI	0001	0001
00011	プリント済み	0001	tanaka	Microsoft Word - Do	ETRAX100-NI	0001	0001
00012	プリント済み	0001	tanaka	Microsoft Word - Do	ETRAX100-NI	0001	0001

図 7 jobs コマンド

### ジョブステータス

特定の番号を指定して jobs コマンドを入力すると、指定したジョブのステータスが表示されます。このオプションは終了したジョブに対して使うことはできません。

```
pp9100->j 19
pp9100->
Description for job [19]
Job Number: 19
Status: Spooled
Priority: 1
Owner:
Title:
Interface: Ethernet 1
Sheet: 0
Page: 0
End of job query
```

図 8 jobs コマンド(ジョブステータスの表示)

## ジョブ制御コマンド

ジョブ制御コマンドは、ジョブを処理する順序を設定するときやジョブを取り消すときなどに使用するコマンドです。以降、コマンドの説明で（ ）内に記述している文字は、コマンドのショートカットを表します。

### ジョブ優先順位の変更

コマンド	priority (p) jp
内容	ジョブのプリント優先度を設定することによって、プリントの順序を早めたり遅くしたりすることができます。
使用可能モード	user、offline、admin

#### 使用例

#### 1 初期画面

```
pp9100->j ↵
pp9100->
Job Status Prio Owner Title Interface Sheet Page
027 Terminating 0001          Ethernet 1 0001 0001
028 Interpreting 0001         stdin (ditroff) Ethernet 1 0000 0000
029 Spooled     0001          Ethernet 1 0000 0000
030 Spooled     0001          Ethernet 1 0000 0000
031 Spooled     0001          Ethernet 1 0000 0000
032 Spooled     0001          Ethernet 1 0000 0000
033 Spooled     0001          Ethernet 1 0000 0000
034 Spooled     0001          Ethernet 1 0000 0000
035 Spooled     0001          Ethernet 1 0000 0000
036 Spooled     0001          Ethernet 1 0000 0000
037 Spooled     0001         stdin (ditroff) Ethernet 1 0000 0000
038 Spooled     0001          Ethernet 1 0000 0000
039 Spooled     0001         stdin (ditroff) Ethernet 1 0000 0000
```

図 9 ジョブ優先順位の変更: 初期画面

## 2 ジョブ 33 のプリント優先度を 10 番に変更

```
pp9100 ->priority 33 10.J  
pp9100 ->j ↴  
pp9100 ->  
Job Status Prio Owner Title Interface Sheet Page  
033 Spooled 0010 Ethernet 1 0000 0000  
028 Terminating 0001 stdin (ditroff) Ethernet 1 0000 0000  
029 Interpreting 0001 Ethernet 1 0000 0000  
030 Spooled 0001 Ethernet 1 0000 0000  
031 Spooled 0001 Ethernet 1 0000 0000  
032 Spooled 0001 Ethernet 1 0000 0000  
034 Spooled 0001 Ethernet 1 0000 0000  
035 Spooled 0001 Ethernet 1 0000 0000  
036 Spooled 0001 Ethernet 1 0000 0000  
037 Spooled 0001 stdin (ditroff) Ethernet 1 0000 0000  
038 Spooled 0001 Ethernet 1 0000 0000  
039 Spooled 0001 stdin (ditroff) Ethernet 1 0000 0000
```

図 10 priority コマンド



優先度は、1 から 100 までの値が有効です。マイナス値を入力すると、“##incorrect entry##” というエラーメッセージが表示されます。100 より大きな値を入力すると、100 が入力されたものとみなされます。0 を入力すると、1 が入力されたものとみなされます。

## ジョブの処理順序の変更

コマンド	order (jo)
内容	特定のジョブを別のジョブの前にプリントするように設定します。
使用可能モード	user、offline、admin

### 使用例

- 1 ジョブ 39 を 31 より前にプリントするように設定します。

```
pp9100 ->order 39 31 ↵

pp9100 ->j ↵
pp9100 ->
Job Status      Prio Owner Title          Interface Sheet Page
033 Terminating 0010                           Ethernet 1 0000 0000
030 Terminating 0001                           Ethernet 1 0000 0000
039 Spooled     0001      stdin (ditroff) Ethernet 1 0000 0000
031 Terminating 0001                           Ethernet 1 0000 0000
032 Spooled     0001                           Ethernet 1 0000 0000
034 Spooled     0001                           Ethernet 1 0000 0000
035 Spooled     0001                           Ethernet 1 0000 0000
036 Spooled     0001                           Ethernet 1 0000 0000
037 Spooled     0001      stdin (ditroff) Ethernet 1 0000 0000
038 Spooled     0001                           Ethernet 1 0000 0000

End of job query
```

図 11 order コマンド

## 特定のジョブを最優先に変更

コマンド	next (nt) n
内容	特定のジョブを最優先にプリントするように設定します。
使用可能モード	user、offline、admin

### 使用例

- 1 ジョブ 37 を次にプリントするように設定します。

```
pp9100 ->next 37
pp9100 ->j
pp9100 ->

Job    Status      Prio Owner Title           Interface   Sheet Page
037   Spooled     0001  stdin (ditroff)  Ethernet 1  0000  0000
039   Printing    0001  stdin (ditroff)  Ethernet 1  0012  0012
032   Terminating 0001                           Ethernet 1  0010  0010
034   Spooled     0001                           Ethernet 1  0000  0000
035   Spooled     0001                           Ethernet 1  0000  0000
036   Spooled     0001                           Ethernet 1  0000  0000
038   Spooled     0001                           Ethernet 1  0000  0000

End of job query
```

図 12 next コマンド

## ジョブの取り消し

コマンド	cancel n (c)
内容	特定のジョブまたはすべてのジョブを取り消します。
使用可能モード	user、offline、admin



### ご注意

ジョブ番号を指定しないで cancel コマンドを使用すると、全てのジョブが取り消されます。

### 使用例

#### 全てのジョブを取り消す場合

```
pp9100->cancel<J  
pp9100->Cancelled Job
```

図 13 cancel コマンド(現在のジョブを取り消す)

#### ジョブ 41 を取り消す場合

```
pp9100->cancel 41<J  
QMS xxxx Print System->Cancelled Job
```

図 14 cancel コマンド(ジョブ 41 を取り消す)

## ファイル操作コマンド

ファイル操作コマンドは、プリンタに接続されたディスク内のファイルを操作するときに使用します。ファイル操作の対象となるのは、次のディレクトリです。このコマンドは、お使いのプリンタにディスク ドライブが接続されているときにのみ使用できます。

- DSK # : ／USR／xxxxxxxx
- DSK # : ／ADMIN／xxxxxxxx

#は、プリンタに接続されたディスクの ID 番号を表し、xxxxxxxx は、ユーザが作成したサブディレクトリを表します。

以降、コマンドの説明で（　）内に記述している文字は、コマンドのショートカットを表します。

### パス名の表記

.	カレントディレクトリ
..	親ディレクトリ

### ファイルとディレクトリの命名規則

- ファイルとディレクトリの名前は、最大 8 文字までのファイル名と、最大 3 文字までの拡張子から構成されます。
- ファイル名には、大文字と小文字の区別がありません。つまり、ファイル名「ABC.doc」と「abc.doc」は同じファイルを指します。
- ファイル名にワイルドカード（\* または？）を使用することはできません。ただし、以下の例外があります。

```
cp source_directory/* destination_directory
rm directory/*
```

図 15 ワイルドカードを使用できる場合

- dir \*.txt や、cp bin／\* admin のようなコマンドは無効です。

## 現在の作業ディレクトリの表示

コマンド	pwd
内容	現在の作業ディレクトリを表示します。
使用可能モード	admin

### 使用例

```
アドミニン->pwd
DSK7:/USR
```

図 16 pwd コマンド

## ディレクトリ内容の表示

コマンド	dir (ls)
内容	現在のディレクトリ内や、ディレクトリを指定して、そのディレクトリ内のファイル一覧を表示します。
使用可能モード	admin

### 使用例

#### 現在のディレクトリの場合

```
アドミニン->dir
.
.
.
FILES
GMS
```

.	.	<DIR>	06-11-2003	11:20:01
.	.	<DIR>	06-11-2003	11:20:01
.	.	<DIR>	06-11-2003	11:20:01
FILES				
GMS	.ACC	325	03-10-2004	19:45:01

図 17 dir コマンド(現在のディレクトリの表示)

#### ディレクトリを指定する場合

```
アドミニン->dir dsk7:/admin
.
.
.
ACC
ACC
ACC
ACC
ACC
```

.	.	<DIR>	06-11-2003	11:20:01
.	.	<DIR>	06-11-2003	11:20:01
ACC	.DIC	8411	03-24-2004	15:50:01
ACC	.STA	154	03-24-2004	19:04:00
ACC	.WORK.DIC	839	03-10-2004	18:56:01
ACC1	.JOB	1048576	03-24-2004	19:04:00
ACC	.PAP	102400	03-09-2004	22:41:01

図 18 dir コマンド(ディレクトリを指定した場合の表示)

## 作業ディレクトリの変更

コマンド	cd
内容	作業ディレクトリを変更します。
使用可能モード	admin

### 使用例

- 1 下図のようにタイプします。

```
アドミン->cd admin
アドミン->アドミン
```

図 19 ディレクトリを変更する

- 2 ディレクトリ DSK7:/admin: の内容を表示します。

```
アドミン->dir dsk7:/admin:
.
..
ACC   .DIC 8411 06-11-2003 11:20:01
ACC   .STA 154  03-24-2004 15:50:01
ACC_WORK.DIC 839 03-24-2004 19:04:00
ACC1  .JOB 1048576 03-24-2004 19:04:00
ACC   .PAP 102400 03-09-2004 22:41:01
```

図 20 ディレクトリ DSK7:/admin: の内容を表示する

- 3 親ディレクトリに変更します。

```
アドミン->cd ..
```

図 21 親ディレクトリに変更する

- 4 ルートディレクトリに変更します。

```
アドミン->cd
```

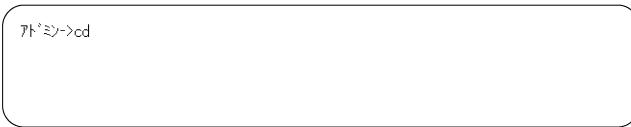
図 22 ルートディレクトリに変更する

## ファイルのコピー

コマンド	copy (cp)
内容	ファイルをコピーします。
使用可能モード	admin

### 使用例

- 1** ディレクトリ admin および bin の内容



```
アドミニン->cd
```

図 23 ディレクトリの内容

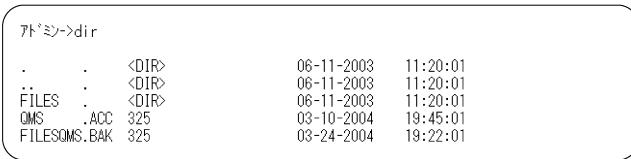
- 2** ファイル DSK7:/admin/acc.acc を DSK7:/bin/acc.bak にコピーします。



```
アドミニン->copy qms.acc filesqms.bak  
データ フ ロ ニ ピー ジ テイム
```

図 24 DSK7:/bin/acc.bak にコピーする

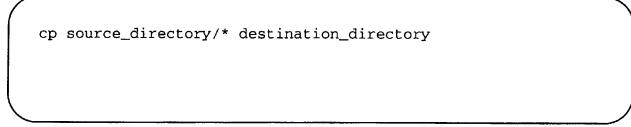
- 3** ディレクトリ bin の内容は下図のようになります。



```
アドミニン->dir
.
.
..
FILES   : <DIR>          06-11-2003  11:20:01
QMS     : <DIR>          06-11-2003  11:20:01
ACC    325             06-11-2003  11:20:01
FILESQMS.BAK 325       03-10-2004  19:45:01
FILESQMS.BAK 325       03-24-2004  19:22:01
```

図 25 コピー後のディレクトリ bin

ディレクトリ内のファイルをすべて別のディレクトリにコピーするときは、以下のワイルドカードを使用できます。



```
cp source_directory/* destination_directory
```

図 26 ディレクトリ内のファイルをすべてコピーする

## ファイル名の変更

コマンド	rename (mv)
内容	ファイル名を新しいファイル名に変更します。別のディレクトリが指定された場合には、ファイルはそのディレクトリに移動します。
使用可能モード	admin

### 使用例

同じディレクトリ内でファイル acc.bak の名前を acc.old に変更する場合

```
アドミン->rename fileacc.bak acc.old
```

図 27 rename コマンド(同一ディレクトリ内での変更)

ファイル acc.bak の名前を acc.old に変更し、親ディレクトリに移動する場合

```
admin->mv acc.bak ../acc.old
```

図 28 rename コマンド(変更後に親ディレクトリへ移動)

ファイル acc.bak の名前を変更しないで、サブディレクトリ backup に移動する場合

```
アドミン->rename acc.old ..../acc.bak
```

図 29 rename コマンド(ディレクトリの移動のみの例)



新しいディレクトリは、前もって存在している必要があります。存在していない場合、“file name is invalid”というエラーメッセージが表示されます。この場合、FTP を使用してディレクトリを作成する必要があります。

このコマンドは、ファイルに対してのみ動作します。ディレクトリ名を変更することはできません。

## ファイルの削除

コマンド	del (rm)
内容	ファイルを削除します。
使用可能モード	admin

### 使用例

```
アドミン->del qms.bak
```

図 30 ファイルの削除

## システム設定コマンド

システム設定コマンドはプリンタの設定を変更するときに使用します。以降、コマンドの説明で（ ）内に記述している文字は、コマンドのショートカットを表します。

### システムロックの時刻設定

コマンド	settime
内容	システムロックの日付と時刻を設定します。
使用可能モード	admin

#### 使用例

```
アト>ミン->settime
ヒニチ (1~31)
アタイ ニュウリョク [24]:21

ヅキ (1~12)
アタイ ニュウリョク [3]:4

ネン (1990 ~ 2089)
アタイ ニュウリョク [2004]:2005

シユウ (0 ~ 23)
アタイ ニュウリョク [19]:21

フン (0~59)
アタイ ニュウリョク [29]:5

ピュウ (0 ~ 59)
アタイ ニュウリョク [54]:30

アト>ミン->アイト>
```

図 32 settime コマンド

[ ] 内の値は、現在選択されている値です。値を変更する場合は、コロン(:)に続けて値を入力します。

新しい時刻が設定されたかどうかを検証するには、time コマンドを入力します。

```
アト>ミン->time
スヨウヒ 3 ガツ 24, 2004 19:33:11

アト>ミン->アイト>
```

図 33 時刻設定を確認する

## メッセージモードを normal に設定

コマンド	normal (n)
内容	メッセージモードを normal に設定します。
使用可能モード	user、offline、admin

### 使用例

```
pp9100->normal
```

図 34 normal コマンド

## メッセージモードを silent に設定

コマンド	silent
内容	メッセージモードを silent に設定します。
使用可能モード	user、offline、admin

### 使用例

```
pp9100->silent
```

図 35 silent コマンド

## すべてのジョブアカウント情報のリセット

コマンド	resetaccount (ra)
内容	すべてのジョブアカウント情報をリセットします。
使用可能モード	admin

### 使用例

```
アト>ミニ->resetaccount
アカウント ジョブアカウントリセット (y/n) [n]:y
アト>ミニ->アカウントジョブアカウントリセット
ジョブファイル サクセスジョブ
ファイル フォルダ名マスク サクセスジョブ
バーバルファイル サクセスジョブ
ファイル フォルダ名マスク サクセスジョブ
```

図 36 resetaccount コマンド

[ ] 内の値は、現在選択されている値です。値を変更する場合は、コロン(:)に続けて値を入力します。

## プリンタの設定をリセット

コマンド	reset
内容	プリンタの設定を初期値にリセットし、プリンタをリスタートします。コンソールセッションはすべて終了します。
使用可能モード	admin

### 使用例

```
アト>ミニ->reset
プリンタ セティリセット (y/n) [n]:y
Connection to host lost.
F:\Documents and Settings\suzuki>
```

図 37 reset コマンド

[ ] 内の値は、現在選択されている値です。値を変更する場合は、コロン(:)に続けて値を入力します。

### ご注意

プリンタにスプールされたジョブは、すべて失われます。

## プリンタの設定

コマンド	config (menu)
内容	メニューにアクセスして、プリンタの設定を変更します。
使用可能モード	admin

config コマンドは、ご使用のプリンタの操作パネルメニューにアクセスするために使用します。このコマンドを使用すると、プリンタの「操作パネルの設定」を、リモートコンソールから行なうことができます。

使用例：オペレータコントロールメニュー

- 1 下図のようにタイプし、メニューに入ります。

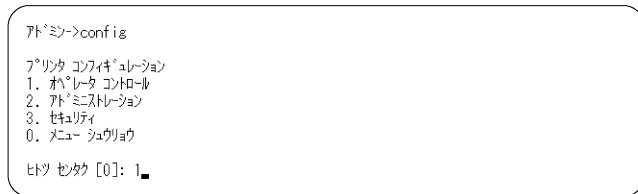


図 38 config コマンド

- 2 「1」を入力するとオペレータコントロールメニューが表示されます。



図 39 オペレータコントロールメニューに入る

## F リモートコンソールコマンド

- 3** 1. で「2」を入力すると、アドミニストレーションメニューが表示されます。



図 40 アドミニストレーションメニューに入る

[ ] 内の値は、現在選択されている値です。値を変更する場合は、コロン(:)に続けて値を入力します。

## コンソールモード切り換えコマンド

コンソールモードを切り換えるコマンドについて説明します。以降、コマンドの説明で（ ）内に記述している文字は、コマンドのショートカットを表します。

### システムを offline モードにする

コマンド	offline (o)
内容	user モードから offline モードに切り換えて、システムをオフラインにします。
使用可能モード	user

#### 使用例

```
pp9100->offline
システム オフライン
オンライン->
オンライン->アイドル
```

図 41 offline コマンド

システムがビジー状態になっている場合、以下のメッセージが表示されます。

```
オンライン->アイドル... オンライン キー ニューヨク テン オペレータモードへ モドリマス
online
```

図 42 システムがビジー状態のとき

online コマンドを入力すると、user モードに戻ります。

## F リモートコンソールコマンド

### offline モードから user モードに戻す

コマンド	online
内容	offline モードから user モードに切り換えて、システムをオンラインにします。
使用可能モード	offline

#### 使用例

```
オンライン->online  
オンライン->アイドル  
オンライン->システム オンライン
```

図 43 online コマンド

### システムを admin モードにする

コマンド	admin
内容	user モードまたは offline モードから admin モードに切り換えて、システムをオフラインにします。
使用可能モード	user, offline

#### 使用例

user モードから admin モードに切り換える

```
オンライン->admin  
アドミン->アイドル
```

図 44 admin コマンド

offline モードから admin モードに切り換える

```
pp9100->admin  
システム オフライン  
オンライン->  
アドミン->アイドル
```

図 45 admin コマンド

システムがビジー状態になっている場合、以下のメッセージが表示されます。

```
オンライン->アイト'ル ... オンライン キー ニューリヨク テ'オペ'レータモード'へ モド'リマス'
```

図 46 システムがビジー状態のとき

online を入力すると、user モードに戻ります。

```
admin->online↵
pp9100->
```

図 47 online コマンド(user モードに戻る)

## admin モードから user モードに戻す

コマンド	exit (x)
内容	admin モードから user モードに切り換えて、システムをオンラインにします。
使用可能モード	admin

### 使用例

```
アドミニン->exit
オンライン->アイト'ル
オンライン->システム オンライン
pp9100->
```

図 48 exit コマンド

## セッション終了コマンド

コンソールセッションを終了したり、システム全体をリスタートしたりすることができます。

### コンソールセッションの終了

コマンド	quit (q)
内容	現在のコンソールセッションを終了します。
使用可能モード	user、offline、admin

#### 使用例

```
pp8100->quit
Connection to host lost.
F:\$Documents and Settings\$suzuki>
```

図 49 quit コマンド

リモートコンソールセッションを終了すると、メッセージが表示されて、接続がクローズされます。

セッションは、システムが利用不可能な状態になると自動的にクローズされます。

### システムのリスタート

コマンド	reboot
内容	システムを再起動し、コンソールセッションをすべて終了します。
使用可能モード	admin

#### 使用例

```
アドミニン->reboot
アドミニン フ リターン? ジスカ? (y/n) [n]:y
*** コンソールニ ヨッテ リブート サレマシタ ***
Connection to host lost.
F:\$Documents and Settings\$suzuki>
```

図 50 reboot コマンド

[ ] 内の値は、現在選択されている値です。値を変更する場合は、コロン(:)に続けて値を入力します。

## コンソールの強制終了

プリンタ操作パネルメニューの中には、変更内容がシステムのリスタート後に有効になるものがあります（メモリメニューなど）。これらのメニューを変更した場合、ユーザが操作パネルメニューから出るときにシステムが再起動し、すべてのセッションが強制終了します。



---

# Crown Net の 仕様

---



### はじめに

この章では CrownNet や NetWare などの仕様について説明します。

「CrownNet ネットワークインターフェイスカード仕様」	p. G-2
「EtherTalk 仕様」	p. G-3
「LAN Manager ／ LAN Server 仕様」	p. G-4
「NetWare 仕様」	p. G-5
「TCP/IP 仕様」	p. G-6

### CrownNet ネットワークインターフェイスカード仕様

#### ネットワーク／プロトコル

- EtherTalk (Phase2)
- LAN Manager ／ LAN Server (NetBios ／ NetBEUI)
- NetWare (IPX ／ SPX)
- TCP/IP (BSD UNIX システム、System V UNIX システム、AIX、IBMMVS を含む)

#### 主な機能

- 全てのネットワークプロトコルを同時にサポート
- ステータスページによる各種設定の確認機能
- ハードウェアアドレス設定変更可能
- 診断機能

# EtherTalk 仕様

## 接続

- Conventional × 1
- PAP (Printer Access Protocol) スプール × 4

## 特徴

- ADSC2.0 (Abode Document Structure Convention) サポート
- LaserWriter をサポート
- リモートコンソール機能
- ゾーン名：設定変更可能、AppleTalk ゾーンのネーミング規則との完全互換

## プロトコル

- AARP (AppleTalk Address Resolution Protocol)
- ATP (AppleTalk Transaction Protocol)
- NBP (Name Binding Protocol)
- PAP (Printer Access Protocol) スプール
- RTMP (Routing Table Maintenance Protocol)
- ZIP (Zone Information Protocol)

## LAN Manager ／ LAN Server 仕様

### 接続

- 複数のキューをサポート
- 複数のサーバをサポート

### 特徴

- OS／2 形式のヘルプ機能
- IBM LAN Server バージョン 1.3 以降(OS／2 バージョン 1.2 以降で動作)
- ジョブ完了通知
- ジョブエラーの検出、報告、ログ
- Microsoft LAN Manager バージョン 2.0 以降(OS／2 バージョン 1.2 以降で動作)
- NPS Manager をサポート
- OS／2 スプール機能をサポート
- パイプをサポート
- プリンタ選択ユーティリティをサポート
- Program ／ Print Manager をサポート
- リモートコンソール機能
- 複数のレベルのセキュリティ
- セパレータページをサポート

### プロトコル

- NetBEUI (NetBIOS 拡張ユーザインターフェイス)
- NetBIOS
- プリントサーバ

## NetWare 仕様

### 接続

- ファイルサーバ : 同時に 16 台までのファイルサーバに対応可能
- 96 個までのジョブをキューで管理
- RPrinter ／ NPrinter : 任意の組み合わせで同時に合計 8 台まで
- 同時にアクティブにできる PServer と RPrinter ／ NPrinter

### 特徴

- NetWare の count 機能による、複数枚のコピー機能をサポート
- 再起動時のファイルサーバの回復
- フレーム型 : IEEE 802.2 と、IEEE 802.3、SNAP、Ethernet II のフレーム型の自動認識
- ジョブ完了通知 : NetWare の notify をサポート
- NetWare2.2、3.11、3.12、4.0 x との互換
- ヘッダページ機能
- リモートコンソール機能
- 出力データのルーティング

### プロトコル

- IPX
- NCP (NetWare Core Protocols)
- RIP (Routing Information Protocol)
- SAP (Service Advertising Protocol)
- SPX

## TCP/IP 仕様

### 接続

- FTP (File Transfer protocol) : 最大 4 つまで同時に接続可能
- LPD (Line Printer Daemon) : 最大 4 つまで同時に接続可能
- Telnet : 最大 8 つまで同時に接続可能
- トランスポート 1 : 最大 8 つまで同時に接続可能
- TFTP (Trivial File Transfer Protocol) : 最大 1 つまで同時に接続可能

### 特徴

- ジョブアカウンティング機能
- ゲートウェイをサポート
- HOST.EQ ファイルによる接続（またはプリント要求）ホスト管理機能をサポート
- IP パケット復元機能
- PASSWORD.FTP ファイルによるパスワード保護
- lpq (Line Printer Queue) によるプリンタの状態の通知
- qef をサポート
- SNMP をサポート
- サブネットマスクをサポート
- TCP (Transmission Control Protocol) のウィンドウ化
- Telnet と Telnet オプションをサポート
- インターネットホストの要求条件：通信層
- インターネットホストの要求条件：アプリケーションとサポート

### FTP

- get : 同時に 1 つまで
- 同時ログイン : 同時に 4 つまで
- 同時 mput : 同時に 1 つまで
- 同時 put : 同時に 1 つまで
- タイムアウト（時間の変更は不可）

## プロトコル

- ARP (Address Resolution Protocol)
- BOOTP (Bootstrap Protocol)
- ECHO
- FTP (File Transfer Protocol)
- ICMP (Internet Control Message Protocol)
- IP (Internet Protocol)
- RARP (Reverse Address Resolution Protocol)
- SNMP (Simple Network Monitoring Protocol)
- TCP (Transmission Control Protocol)
- Telnet
- TFTP (Trivial File Transfer Protocol)
- UDP (User Datagram Protocol)
- MIB II 互換
- トラップ (例外事象発生の通知) : 最大で 5 つの NMS に対する報告

## Telnet

- 接続タイムアウト : なし
- リモートコンソールをサポート
- 同時接続 : 8
- タイムマーク

# 索引

## 数字

4 トレイメールボックススタッカ .....	1-4, 7-10, 10-2, 10-5
4 トレイメールボックススタッカ用コネクタ .....	1-3
550 枚ユニバーサルカセットフィーダ .....	1-4, 10-2, 10-16

## A-Z

CrownView .....	5-1, 5-2, B-3
Crown プリントモニタ .....	3-3, 3-6
Crown ポート .....	3-9
DHCP .....	3-7
DOC .....	
%%Charge Number .....	B-9
%%CreationDate .....	B-9
%%Creator .....	B-9
%%Date .....	B-9
%%EndComments .....	B-9
%%EndOfDocument .....	B-9
%%For .....	B-9
%%Host .....	B-9
%%IncludeFeature .....	B-9
autorotation .....	B-11
autoscaling .....	B-11
autowrap .....	B-11
binding .....	B-10
booklet .....	B-10
collate .....	B-10
colormodel .....	B-10
copies .....	B-10
crisrclf .....	B-10, B-11
duplex .....	B-10
emulation .....	B-10
ffiscrclf .....	B-11
font .....	B-10, B-11
header .....	B-9
input .....	B-10
install .....	B-10
lfiscrclf .....	B-10
linesperpage .....	B-11
lpmargins .....	B-11
lporientation .....	B-11
lsiscrclf .....	B-11
map .....	B-11
mediatype .....	B-10
newlayout .....	B-10
number .....	B-11
offset .....	B-10
orientation .....	B-10
output .....	B-10

pagegrid .....	B-10
pageoffsets .....	B-10
pageorientation .....	B-10
pagerange .....	B-10
pagescaling .....	B-10
pagesize .....	B-10
pointsize .....	B-10, B-11
quality .....	B-10
remove .....	B-10
resolution .....	B-10
sheetsel .....	B-11
staple .....	B-10
symbolset .....	B-10
tabs .....	B-11
tag .....	B-11
trailer .....	B-9
%%Notify .....	B-9
%%Pages .....	B-9
%%Sessions .....	B-9
%%Title .....	B-9
%%Version .....	B-9
%-12345X .....	B-9
CALS コマンド .....	B-11
HP PCL コマンド .....	B-10
TIFF コマンド .....	B-11
文書管理コマンド .....	B-9
文書書式コマンド .....	B-10
ヘッダ／トレイラ情報のコマンド .....	B-9
ヘッダ／トレイラページのコマンド .....	B-9
ラインプリントコマンド .....	B-11
End of Job オプション .....	4-14
FireWall .....	3-30
FQDN .....	3-28
FTP ユーザの管理 .....	D-2
HP-GL エラーコード .....	11-22
HP プール .....	B-17
ImageServer .....	1-4, 10-22
IPP 印刷 .....	B-4
IPP 接続 .....	3-27, 3-30
IP アドレスの管理 .....	D-2
IP アドレスの設定 .....	2-23, 3-7
Macintosh PPD .....	3-3
Macintosh でのインストール .....	3-32
NDPS .....	3-6
OHP フィルム .....	4-22, 6-13, 6-26
OPC ドラム .....	2-7
PageScope .....	3-3, 3-6
PCL エラーコード .....	11-22
PDF 印刷 .....	B-3
PDF ファイルの直接印刷 .....	11-25, B-2
PostScript ドライバ .....	3-2

# 索引

PostScript プリンタ ドライバ .....	3-6
PPD .....	3-3
SNMP コミュニティ .....	3-25
Time-of-Day Clock .....	1-4, 10-2, 10-19
UNIX .....	3-50
UNIX ホストソフトウェア .....	3-3
UNIX ユーティリティ .....	E-1
FTP .....	E-13
qpr コマンド .....	E-10
インターネット アドレス .....	E-7
コンソールのモード .....	E-4
リモートコンソールセッション .....	E-2
USB 接続 .....	
Windows .....	3-12
USB デバイス ドライバ .....	3-12
USB ポート .....	2-22
Web ページ .....	5-2
Windows 2000 .....	
USB デバイス ドライバ .....	3-13
パラレル接続 .....	3-17
Windows 98 .....	
USB デバイス ドライバ .....	3-15
パラレル接続 .....	3-19
Windows Me .....	
USB デバイス ドライバ .....	3-14
パラレル接続 .....	3-18
Windows XP .....	
USB デバイス ドライバ .....	3-12
パラレル接続 .....	3-16

## あ

厚紙 .....	4-22, 6-9, 6-25
アドミニストレーションメニュー .....	C-10
イーサネット接続 .....	
Windows .....	3-7
イーサネットポート .....	2-22
一般設定 .....	4-21
印刷効果 .....	4-13
印刷設定 (Macintosh) .....	4-21
印刷中止 .....	4-4
印刷内容の配置 .....	6-15
印刷の手順 .....	4-2
印刷の問題 .....	11-8
印刷品質 .....	11-12
印刷方向 .....	4-6
インストーラー .....	3-5
インストール .....	
Windows 用 ソフトウェア .....	3-4
Macintosh 用 ソフトウェア .....	3-32
USB デバイス ドライバ .....	3-12
プリンタ ドライバ .....	3-1

プリンタドライバ (Windows) .....	3-20
インターネット印刷プロトコル .....	B-4
インターネットプル印刷 .....	5-15, B-5
インターネットプル接続 .....	3-30
インターフェイスポート .....	1-3
ウォーターマーク .....	4-17
エミュレーション .....	10-22
エミュレーションテンポラリー .....	B-16
エミュレーションバッファ .....	B-16
エラーコード .....	11-22
エラーメッセージ .....	11-16
エンハンスメント .....	4-13
オーナー .....	3-25
オーバーレイ .....	4-16, 4-19
オプション .....	1-4
取り付け .....	2-16, 10-1
プリンタドライバ .....	3-22
オプション取り付けカバー .....	1-3
オプショントレイ .....	4-11
オペレータ コントロールメニュー .....	C-3
オペレーター・コントロール .....	5-3
オンラインキー .....	2-18
オンラインランプ .....	2-21

## か

解像度 .....	4-12, 4-21
回転 .....	4-13
課金番号 .....	3-25
課金ログデータ .....	3-25
拡大／縮小 .....	4-9
確認後に印刷 .....	4-15
カスタムドキュメント設定 .....	4-15
仮想メモリ .....	B-18
片面 .....	4-7
カタメンイメージ カイテン .....	6-15
紙さばきローラー .....	7-2, 7-4
紙づまり .....	8-1, 11-10
4トレイメールボックススタッカ .....	8-13, 8-16
給紙カセット .....	8-7
給紙部 .....	8-6
ステータスマッセージ .....	8-5
手差しトレイ .....	8-9
排紙トレイ .....	8-16
排紙部 .....	8-16
プリンタ内部 .....	8-10
両面ユニット .....	8-15
漢字フォント .....	10-25
官製ハガキ .....	6-12
キー .....	2-18
機能 .....	4-12
キャンセルキー .....	2-18

給紙カセット .....	1-4, 6-17, 10-2, 10-16, 10-18
給紙ローラー .....	7-2, 7-4
清掃 .....	9-4, 9-5
クイック設定 .....	3-24
グラフィックスオプション .....	4-13
計算 .....	5-6
言語選択 .....	2-20
交換	
トナーカートリッジ .....	7-5
排気フィルタ .....	7-11
コントローラ部の仕様 .....	A-5
コンフィグレーションの閲覧 .....	5-16
コンプレックス .....	4-16

## さ

サービスコール .....	11-21
サービスとサポート .....	11-36
サービスメッセージ .....	11-16, 11-21
サイクル .....	4-16
システム・サポート .....	5-13
実装済みオプション .....	3-24
自動選択 .....	4-11
自動両面印刷 .....	6-27
ジャムリカバリー機能 .....	8-3
仕様 .....	A-2
CrownNet .....	G-1
CrownNet ネットワークインターフェースカード .....	G-2
EtherTalk .....	G-3
LAN Manager .....	G-4
LAN Server .....	G-4
NetWare .....	G-5
TCP/IP .....	G-6
使用可能オプション .....	3-24, 4-21
状況 .....	5-10
上段トレイ .....	4-9, 4-11
省電力 .....	A-4
消耗品 .....	1-4, 3-26
交換 .....	7-1
残量 .....	5-12
寿命 .....	7-2, 7-3
注文 .....	7-4
消耗品の状態 .....	5-5
ジョブタイムアウト .....	4-14
ジョブファイル .....	5-6, 5-7
ジョブモード .....	6-6
シングルユーザーモード .....	6-5
ステータスファイル .....	5-6, 5-10
ステータスページキー .....	2-19
ステータスページの印刷 .....	11-24
ステータスマッセージ .....	11-16
スペース .....	2-3

全ての設定を初期値に戻す .....	4-18
清掃 .....	9-3
給紙ローラー .....	9-4, 9-5
プリンタ外側 .....	9-3
プリンタ内部 .....	9-4
清掃用具 .....	9-3
静電気防止 .....	10-4
操作パネル	
保護 .....	D-2
セキュリティメニュー .....	C-75
セキュリティ機能 .....	D-2
接続	
コンピュータ .....	2-22
電源ケーブル .....	2-17
設置 .....	2-2, 2-6
設置スペース .....	2-3
設置場所 .....	2-4
設定 .....	3-24
セットアップ .....	2-1
セレクトキー .....	2-19
全般的な設定 .....	5-4
操作パネル .....	1-2, 2-18
キー .....	2-18
ランプ .....	2-21
増設メモリ .....	1-4, 10-10
ゾーンの設定 .....	3-33

## た

ダウンロード .....	10-22
ダウンロードマネージャ .....	3-3, 3-6, 4-17
短辺綴じ .....	4-7
地域設定 (Windows) .....	3-2
中止 .....	4-4
長辺綴じ .....	4-7
直接印刷 .....	B-2
通気口 .....	1-2
定期交換部品 .....	7-4
ディスクキャッシュ .....	B-17
ディスプレイリスト .....	B-16
定着ユニット .....	1-3, 7-2, 7-4
定着ユニットカバー .....	1-3
データランプ .....	2-21
手差しトレイ .....	1-2, 6-21
用紙のセット .....	2-15
テサシトレイキー .....	2-18
手差しフィーダー .....	4-11
テストプリント (Macintosh) .....	3-38
デフォルトハーフトーン .....	4-13
電気 .....	A-7
電源ケーブル .....	2-17
電源コネクタ .....	1-3

# 索引

電源仕様 .....	A-4
電源スイッチ .....	1-2
電子メール通知 .....	3-25
転写ローラー .....	1-3, 7-2, 7-4
問い合わせ .....	11-36
統計 .....	5-12
ドキュメントオプション .....	4-15
ドキュメントオプションコマンド .....	B-6
取っ手 .....	1-2, 1-3
トップカバー .....	1-3
トップカバー解除レバー .....	1-2
トナーカートリッジ .....	1-3, 1-4, 7-2, 7-3
交換 .....	7-5, 7-7
寿命 .....	7-6
取り扱い .....	7-6
取り付け .....	2-7
トナー節約モードを使用 .....	4-13
トラブルシューティング .....	11-1
NetWare .....	11-31
SYSV UNIX システム .....	11-35
TCP/IP .....	11-34
印刷 .....	11-8
印刷品質 .....	11-12
紙づまり .....	11-10
セットアップ時 .....	11-2
ネットワークプリント .....	11-26
プリンタ本体 .....	11-4
EtherTalk .....	11-28
LAN Manager .....	11-30
LAN Server .....	11-30
取り扱い .....	9-2
取り付け	
4 トレイメールボックススタッカ .....	10-5
550 枚ユニバーサルカセットフィーダ .....	10-16
Time-of-Day Clock .....	10-19
オプション .....	2-16, 10-1
メモリ .....	10-10, 10-11
両面プリントユニット .....	10-14

## な

内容物 .....	1-2
ネットワークモード .....	6-5
年間保守契約 .....	11-37
ノーマルモード .....	4-13

## は

バージョン情報 .....	4-18
ハードディスク .....	1-4, 10-25
ハードディスクの設定 .....	B-17
ハーフトーン .....	4-21
排気口 .....	1-3

排気フィルタ	7-2, 7-3
交換	7-11
取り付け	2-10
排紙トレイ	6-28, 10-5
排紙トレイ拡張部	1-2
排紙方法	4-9
はがき	6-12, 6-25
パラレル接続	3-16
パラレルポート	2-22
搬送ユニット	10-5
標準給紙カセット	1-2
用紙のセット	2-11
ファイヤーウォール	3-30
ファイル印刷	5-14, B-3
ファインモード	4-13
封筒	6-9, 6-23
フォント	1-4, 10-22, 10-25
部数	4-21
付属品	1-4
部単位で印刷	4-9
普通紙	6-7
プラグアンドプレイ	3-16
プリンタ Web ページ	5-1
プリンター・ジョブ	5-5
プリンタ清掃	9-3
プリンタ通信	3-25
プリンタドライバ	3-2
インストール	3-1
設定	3-22
使いかた	4-1
プリンタドライバの設定（Windows）	4-5
プリンタドライバ（Windows）	3-20
プリンタの取り扱い	9-2
プリンタ部の仕様	A-5
プリンタ名の変更	3-28
プリンタ名の変更（Macintosh）	3-44, 3-49
プリンタメモリ	B-17
プリント速度	A-5
プリント枚数	5-12
プリントモニタ	3-10
フレームバッファ	B-14
ページエレメントハーフトーン	4-13
ページのマージン	6-15
ペーパーファイル	5-6, 5-9
ポート名／IP アドレス	3-25
保守契約	11-37
ホスト	3-25
ホストインプットバッファ	B-15
ポストスクリプトエラー	11-23
ポストスクリプトエラー情報を印刷	4-14
ポストスクリプトオプション	4-14

ポストスクリプトヒープ .....	B-15
ポストスクリプトフォントキャッシュ .....	B-15
<b>ま</b>	
枚数 .....	6-4
向き .....	4-6
名称 .....	1-2
メールピン .....	4-9
メールボックススタッカ .....	10-5
メッセージ .....	11-16
メッセージウィンドウ .....	2-20
メッセージランプ .....	2-21
メディア .....	4-11
メディアタイプ .....	4-21, 4-22
メディアモード .....	6-5
メニューキー .....	2-19
メモリクライアント .....	B-12, B-14
PDF印刷 .....	B-3
メモリ設定 .....	B-12
メモリの取り付け .....	10-10, 10-11
メモリ(DIMM) .....	10-2
面 .....	7-2
メンテナンス .....	9-1
モリサワフォント .....	1-4
問題	
EtherTalk .....	11-28
LAN Manager .....	11-30
LAN Server .....	11-30
NetWare .....	11-31
SYSV UNIX システム .....	11-35
TCP/IP .....	11-34
印刷 .....	11-8
印刷品質 .....	11-12
紙づまり .....	11-10
セットアップ時 .....	11-2
ネットワークプリント .....	11-26
プリンタ本体 .....	11-4
<b>や</b>	
矢印キー .....	2-19
ユーザー登録 .....	11-36
ユーザ設定のポストスクリプト外部ヘッダ .....	4-14
ユーティリティ .....	3-2, 3-3
用紙 .....	6-1
給紙カセットへの補給 .....	6-17
給紙方法 .....	4-11
サイズ .....	6-3
種類 .....	6-5
セット .....	6-16
手差しトレイへの補給 .....	6-21
プリンタドライバ .....	4-11

---

保管方法 .....	6-28
マージン .....	6-15
枚数 .....	6-4
用紙送りの流れ .....	8-3
用紙ガイド .....	1-2, 6-21
用紙固定ガイド .....	6-17
用紙サイズ .....	4-8, 6-3
用紙トレイ番号 .....	5-9
用紙の種類 .....	4-11, 6-5, 6-6
用紙のセット .....	6-16
手差しトレイ .....	2-15
標準給紙カセット .....	2-11
用紙の取り扱い .....	6-1
用紙の補給 .....	6-17, 6-21
 ら	
ラベル .....	6-24
ラベル紙 .....	6-10
ランプ .....	2-21
リモートコンソールコマンド .....	F-1
admin モードコマンド .....	F-3
user / offline モードコマンド .....	F-2
概要 .....	F-2
コンソールモード切り換えコマンド .....	F-27
システム情報コマンド .....	F-5
システム設定コマンド .....	F-22
ジョブ制御コマンド .....	F-11
ジョブのステータス情報 .....	F-4
セッション終了コマンド .....	F-30
ファイル操作コマンド .....	F-16
両面印刷 .....	4-7, 6-27
両面プリントユニット .....	1-4, 10-2
取り付け .....	10-14
両面プリントユニット用コネクタ .....	1-3
レイアウト .....	4-6
レンチ .....	10-5, 10-14

---

## ■ 商標記事

PostScript（ポストスクリプト）は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の登録商標です。本説明書中で使用される「PostScript 3」とは、アドビ システムズ社によって定義されている PostScript 3 ページ記述言語の諸機能を意味します。これらの機能は、PostScript 3 互換機能を提供する KONICA MINOLTA 開発のエミュレーションによって実現され、PagePro 9100 に搭載されています。

Centronics は Centronics Data Computer Corporation の商標です。

Ethernet は富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

HP PCL、HP-GL は Hewlett-Packard Co. の商標です。

IBM および PC/AT は International Business Machine Corporation の登録商標もしくは商標です。

Macintosh、AppleTalk、EtherTalk Mac OS および LaserWriter は Apple Computer, Inc. の登録商標もしくは商標です。

Microsoft、Windows、Windows XP、Windows NT は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標もしくは商標です。

Novell、NetWare および NDS は Novell, Inc. の登録商標です。

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、PageScope ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標もしくは商標です。

PagePro および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズの登録商標もしくは商標です。

リュウミン L – KL<sup>TM</sup>、中ゴシック BBB<sup>TM</sup> は株式会社モリサワの商標です。

各社社名および製品名はそれぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

本マニュアルに記載された仕様等は予告なく変更される場合があります。

# **PagePro 9100 Print System**

## **ユーザーズ・マニュアル**

---

2004年4月

初版第1刷発行

2007年8月

4版第1刷発行

発行

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

● 本文には古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

R100

● 本書は大豆油インキで印刷しています。



1800670-003F